

島本町
「障害者計画」および
「障害福祉計画（障害児福祉計画）」策定のための
アンケート調査報告書

令和5年12月
島本町

目次

1. 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査期間と調査方法
3. 調査対象と回収状況
4. 報告書の見方
5. 調査結果の概要

2. 18歳未満 調査結果

1. お子さんの年齢について
2. お子さんの障害の状況について
3. お子さんの発達上の特徴について
4. 住まいや暮らしについて
5. 介助について
6. 外出について
7. 保健・医療について
8. 保育・教育・療育について
9. 相談について
10. 情報・コミュニケーションについて
11. 福祉サービスの利用について
12. 障害者理解・権利擁護について
13. 災害時の対応について
14. 自由意見

3. 18歳以上 調査結果

1. あなたの年齢について
2. あなたの障害の状況について
3. 住まいや暮らしについて
4. 介助について
5. 外出・余暇支援について
6. 保健・医療について
7. 就労について
8. 相談について
9. 情報・コミュニケーションについて
10. 福祉サービスの利用について
11. 障害者理解・権利擁護について
12. 災害時の対応について
13. 自由意見

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から開始する「第4次島本町障害者計画」及び「第7期島本町障害福祉計画（第3期島本町障害児福祉計画）」を策定するにあたり、障害のある人の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向などを把握し、計画策定の基礎資料として障害者福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

2. 調査期間と調査方法

- ・調査期間：令和5年8月23日から令和5年9月13日まで（9月29日回収分まで反映）
※10月以降に18歳未満・18歳以上で各1件回答をいただいております、自由意見のみ本報告書に反映しています。
- ・調査方法：郵送により配布・回収（無記名で回答）

3. 調査対象と回収状況

対象者	配布数	回収数	回収率
18歳未満	247	129	52.2%
18歳以上	1,447	768	53.1%

4. 報告書の見方

- 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しているため、比率（％）の合計が100.0％にならないことがあります。
- 図表及び解説文では、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。
- 階層集計の比率（％）は、すべて各階層ごとの該当対象者数を100として算出しています。
- 回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出した。2つ以上の回答を求める設問では、比率（％）の合計は100％を超えています。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 障害別の集計では、障害者手帳所持の状況や障害の種類別の回答状況によって、それぞれの障害別にクロス集計をかけることで身体障害者【身体障害】・知的障害者【知的障害】・精神障害者【精神障害】等を別々に集計しています。よって、障害が重複する人については、それぞれに数えられ、集計されています。
- 文章で回答いただいた内容については、個人や団体が特定されないような表現に修正している場合があります。
- クロス集計表は回答の多い上位2項目に網掛け（「その他」「不明・無回答」を除く）を行っています。

5. 調査結果の概要

(1) 回答者の状況について

【回答者の年齢】	
18歳未満	「6～11歳」(46.5%)、「0～5歳」(30.2%)、「15歳以上」(13.2%)の順に高い。
18歳以上	「75歳以上」(40.7%)、「65～74歳」(19.2%)、「50～64歳」(15.8%)の順に高い。
【手帳の種類】	
18歳未満	「障害者手帳は持っていないが、障害福祉サービス等を利用している」(45.0%)、「療育手帳」(39.5%)、「身体障害者手帳」(8.5%)、「精神障害者保健福祉手帳」(7.8%)。
18歳以上	「身体障害者手帳」(66.5%)、「精神障害者保健福祉手帳」(17.9%)、「療育手帳」(12.5%)、「障害者手帳は持っていないが、障害福祉サービス等を利用している」(1.4%)。
【障害の種類】	
18歳未満	障害の種類は、「発達障害」(69.8%)、「知的障害」(31.8%)、「肢体不自由」(6.2%)の順に高い。
18歳以上	障害の種類は、「肢体不自由」(31.5%)、「内部障害」(23.3%)、「精神障害」(16.9%)の順に高い。

(2) お子さんの発達上の特徴について

【発達の特徴を最初に心配した年齢】	
18歳未満	「0～2歳」(69.8%)に次いで「3～5歳」(24.0%)となっている。
【発達の特徴に最初に気づいた人】	
18歳未満	「保護者」(62.0%)、「医師」(13.2%)、「お子さんが通う保育所(園)や幼稚園の職員」(10.9%)の順に高い。
【すぐに専門機関に相談したか】	
18歳未満	「1か月以内に相談した」(53.5%)に次いで「1か月以内に相談しなかったが1年以内には相談した」(38.0%)が高い。
18歳以上	障害の種類は、「肢体不自由」(31.5%)、「内部障害」(23.3%)、「精神障害」(16.9%)の順に高い。
【すぐに相談できなかった理由】	
18歳未満	「もう少し様子を見ようと思った」(70.2%)が特に高く、次いで「その他」(21.1%)、「重要なこととは思わなかった」(12.3%)の順に高い。

(3) 住まいや暮らしについて

【現在の暮らし】	
18歳以上	「家族と一緒にくらしている」(73.3%)が特に高く、次いで「一人でくらしている」(16.5%)。

【将来どのようにくらしたいか】	
18歳未満	「わからない」(31.0%)、「家族と一緒にくらしたい」(28.7%)、「一人でくらしたい」(23.3%)の順に高い。
18歳以上	「家族と一緒にくらしたい」(50.1%)、「わからない」(17.0%)、「一人でくらしたい」(16.0%)の順に高い。
【地域で生活するために必要なこと】	
18歳未満	「必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること」(72.9%)、「働く場」や、就労収入が確保されること(61.2%)、「地域の人たちの障害への理解があること」(59.7%)の順に高い。
18歳以上	「生活に必要な費用の負担が軽くなること」(57.6%)、「必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること」(56.9%)、「災害時や緊急時に支援があること」(52.7%)の順に高い。

(4) 介助について

【介助の必要】	
18歳未満	「食事をとる」「トイレ」については、自分でできる割合が6～7割である一方、「家事」「外出」「お金の管理」については、介助を要する割合が高い。
18歳以上	「食事をとる」「入浴」「トイレ」については、自分でできる割合が約7～8割である一方、「家事」「外出」「お金の管理」については、自分でできる割合が約4～5割とやや低くなり、介助を要する割合が約3～4割。
【介助している方】	
18歳未満	「父母、祖父母」が86.8%を占めており、介助している家族・親族の性別は「女性」が91.2%、年齢は「40歳～49歳」(51.3%)に次いで「30歳～39歳」(35.4%)が高い。
18歳以上	「配偶者」(34.4%)、「介助は受けていない」(19.3%)、「父母、祖父母」(14.9%)の順に高い。介助している家族・親族の性別は「女性」が61.0%、「男性」が35.2%、年齢は「75歳以上」(33.0%)に次いで「50～64歳」(31.2%)が高い。

(5) 外出・余暇支援について

【主な交通手段】	
18歳未満	「徒歩」(79.1%)、「家族などが運転する自動車」(62.0%)、「自転車、電動自転車、バイク」(48.1%)の順に高い。
18歳以上	「徒歩」(57.7%)、「電車」(44.2%)、「家族などが運転する自動車」(31.6%)の順に高い

【外出するときに困ること】	
18歳未満	「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい」(36.4%)、「困ったとき周囲に助けを頼みにくい」(33.3%)、「周囲の視線や言葉が気になる」(25.6%)、「キップの買い方や、乗り換えの方法がわからない」(24.8%)の順に高い。
18歳以上	「道路や歩道の段差」(30.0%)、「ベンチなどの休む場所が少ない」(25.8%)、「タクシーが利用しにくい」(22.0%)の順に高い。
【余暇支援】	
18歳以上	自由時間にしたいことは、「庭仕事や家事、テレビや読書など家で過ごす」(50.5%)、「家族と時間を過ごす」(44.2%)、「買い物」(42.2%)の順に高い。自由時間にしたい活動をするために必要なことについては、「特にない」(32.3%)に次いで「いつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所」(29.3%)、「介助者や支援者の付き添い」(18.5%)の順に高い。

(6) 保健・医療について

【医療を受けるうえで困っていること】	
18歳未満	「特に困っていることはない」(47.3%)に次いで「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」(23.3%)、「専門的な医療機関が近くにない」(12.4%)の順に高い。
18歳以上	「特に困っていることはない」(38.1%)に次いで「通院にかかる交通費の負担が大きい」(16.5%)、「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」(14.7%)、「通院の移動が困難」(14.5%)の順に高い。

(7) 保育・教育・療育について

【保育や教育、療育について充実してほしいこと】	
18歳未満	「教員・職員の障害への理解」(69.0%)、「能力や障害に応じた指導」(57.1%)、「保育・教育・福祉の各機関の連携」「他の児童や保護者の障害への理解」(ともに54.0%)の順に高い。
【学校教育終了後の進路を考えるにあたっての不安】	
18歳未満	「会社・役所などに就職することについて」(57.4%)、「就労に向けて専門機関の支援を受けられるかどうか」(36.4%)、「職業訓練機関で個人の能力や技能を高められるかどうか」(29.5%)の順に高い。

(8) 就労について

【現在の就労（雇用）形態】	
18歳以上	「福祉施設や作業所で働いている」(33.2%)、「パート・アルバイト、派遣社員として働いている」(25.9%)、「正社員・正職員として働いている」(25.4%)の順に高い。
【生活を支えている収入】	
18歳以上	「あなたの年金や手当」(73.8%)、「家族の収入」(39.7%)の順に高い。
【障害のある方が働くために必要なこと】	
18歳以上	「職場の人の障害への理解」(33.9%)、「体調や障害の特性に配慮した勤務体制」(30.4%)の順に高い。

(9) 相談について

【相談したいこと】	
18歳未満	「就学や進学のこと」(65.9%)、「学校・施設内の人間関係」(35.7%)、「仕事や就職のこと」(31.8%)の順に高い。
18歳以上	「自分の健康や治療のこと」(42.4%)、「家族(介助者)の健康状態や高齢化」(38.4%)の順に高い。
【家族や親族以外で相談する方】	
18歳未満	「学校、保育所、幼稚園」(70.5%)、「町の相談窓口」(49.6%)、「友人、知人、近所の人」(41.9%)の順に高い。
18歳以上	「友人、知人、近所の人」(34.6%)、「医療機関」(26.3%)、「町の相談窓口」(22.8%)の順に高い。

(10) 情報・コミュニケーションについて

【情報の入手や、コミュニケーションで困っていること】	
18歳未満	「特にない」(55.8%)に次いで「どこに情報があるかわからない」(26.4%)が高い。
18歳以上	「特にない」(42.4%)に次いで「どこに情報があるかわからない」(29.7%)が高い。
【情報をどこから得ているか】	
18歳未満	「町の広報誌」(57.4%)、「相談支援事業所や福祉施設」(37.2%)、「役場」(32.6%)の順に高い。
18歳以上	「町の広報誌」(63.4%)、「家族・知人」(28.0%)、「役場」(18.3%)の順に高い。

(11) 福祉サービスの利用について

【現在利用しているサービス】	
18歳未満	「放課後等デイサービス」(42.6%)、「児童発達支援」(34.9%)、「障害児相談支援」(32.6%)、「保育所等訪問支援」(20.2%)の順に高い。
18歳以上	「相談支援事業」(13.5%)、「居宅介護」(9.7%)、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(7.3%)、「移動支援」(6.7%)、「生活介護」(6.6%)、「就労継続支援(A型・B型)」(6.2%)の順に高い。
【今後3年以内の利用予定】	
18歳未満	「今よりも利用を増やす予定」は「障害児相談支援」(33.3%)、「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」(ともに21.7%)と高い。また、「今よりも利用を減らす予定」では、「放課後等デイサービス」(5.4%)、「児童発達支援」(3.9%)、「医療型児童発達支援」(0.8%)となっている。
18歳以上	「今よりも利用を増やす予定」は「相談支援事業」(10.1%)で比較的高く、次いで「短期入所」(5.3%)、「居宅介護」(4.9%)となっている。

(12) 障害者理解・権利擁護について

【「障害者差別解消法」の認知度】	
18歳未満	「名前も内容も知らない」(51.9%)に次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」(36.4%)。
18歳以上	「名前も内容も知らない」(60.1%)に次いで、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(24.0%)。
【「合理的配慮」の認知度】	
18歳未満	「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」(36.4%)に次いで「名前も内容も知っている」(34.1%)。
18歳以上	「名前も内容も知らない」(64.9%)に次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(17.6%)。
【差別経験】	
18歳未満	「ない」(38.8%)に次いで「過去にはあった」(22.5%)、「わからない」(20.9%)の順となっている。どのような場面(場所)かについては、「学校・保育所などの対応」(56.0%)、「公共交通機関を利用するとき」(24.0%)、内容については、「嫌な言葉をいわれた」(60.0%)、「じろじろと見られた」(44.0%)などで高い。
18歳以上	「ない」(51.5%)に次いで「過去にはあった」(14.9%)、「わからない」(11.5%)の順となっている。どのような場面(場所)かについては、「職場」(33.1%)、「近所づきあい」(24.9%)、「学校・保育所などの対応」(24.3%)、内容については、「嫌な言葉をいわれた」(56.4%)、「じろじろと見られた」(32.0%)などで高い。

【障害への理解が深まっていると思うか】	
18歳未満	障害がある人に対する理解が深まっていると思うかについては、「ある程度そう思う」(48.1%)、「わからない」(23.3%)、「思わない」(20.2%)の順に高い。
18歳以上	障害がある人に対する理解が深まっていると思うかについては、「ある程度そう思う」(35.1%)、「わからない」(28.9%)、「思わない」(16.5%)の順に高い。
【差別や偏見をなくすために必要なこと】	
18歳未満	「学校での福祉教育」(79.1%)、「障害のある人となない人の交流の場」(34.9%)、「外出支援や就労支援など障害者の社会参加の促進」(32.6%)の順に高い。
18歳以上	「学校での福祉教育」(42.9%)、「広報誌やホームページでの啓発」(31.0%)、「障害のある人となない人の交流の場」(23.9%)の順に高い。

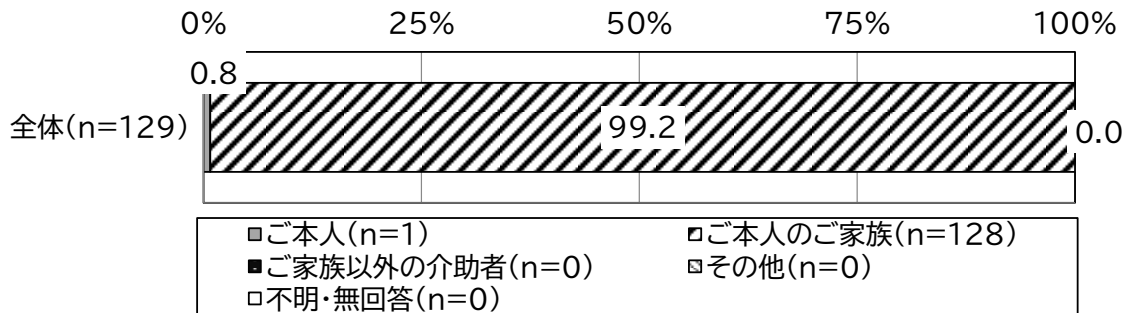
(13) 災害時の対応について

【身近に助けてくれる人がいるか】	
18歳未満	「同居している家族」(86.0%)、「その他の家族・親族」(34.1%)、「近所の人」(31.8%)の順に高い。
18歳以上	「同居している家族」(65.8%)、「その他の家族・親族」(24.1%)、「近所の人」(17.5%)の順に高い。
【災害時に支援してほしいこと】	
18歳未満	「避難時に声かけをしてほしい」(54.3%)、「避難所の場所や行き方を教えてほしい」(44.2%)、「災害に関する情報を知らせてほしい」(41.1%)の順に高い。
18歳以上	「災害に関する情報を知らせてほしい」(50.1%)、「障害者に配慮した避難場所を確保してほしい」(39.8%)、「必要な薬を確保してほしい」(38.3%)の順に高い。

2. 18歳未満 調査結果

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。(1つに○)

回答者についてみると、「ご本人のご家族」が99.2%を占めています。



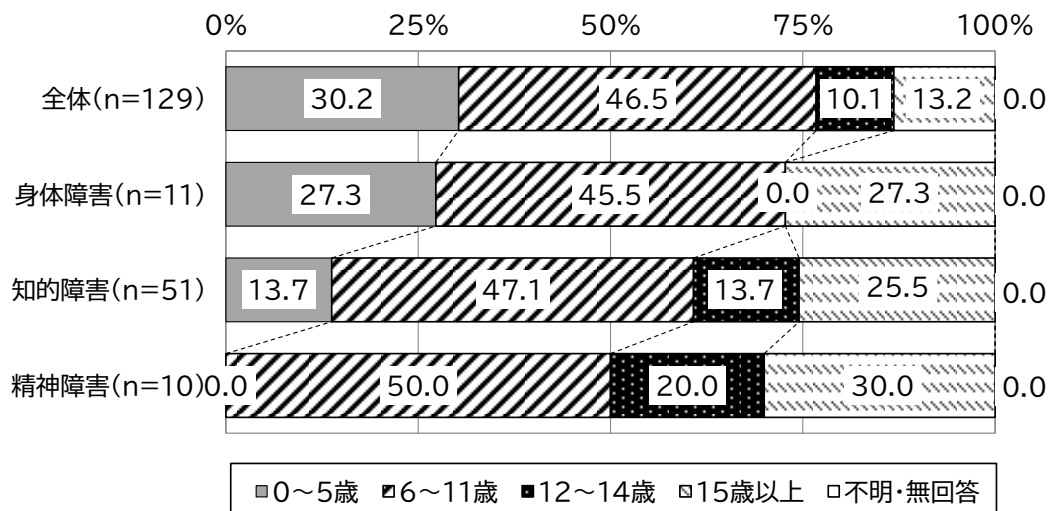
※これ以降、この調査票（18歳未満の方用）が郵送された宛名の方（この調査票の対象者：ご本人）を「お子さん」と表記します。

1. お子さんの年齢について

問2 お子さんの年齢をお答えください。(令和5年8月1日現在)

全体では「6～11歳」が46.5%と最も高くなっており、次いで「0～5歳」が30.2%、「15歳以上」が13.2%となっています。

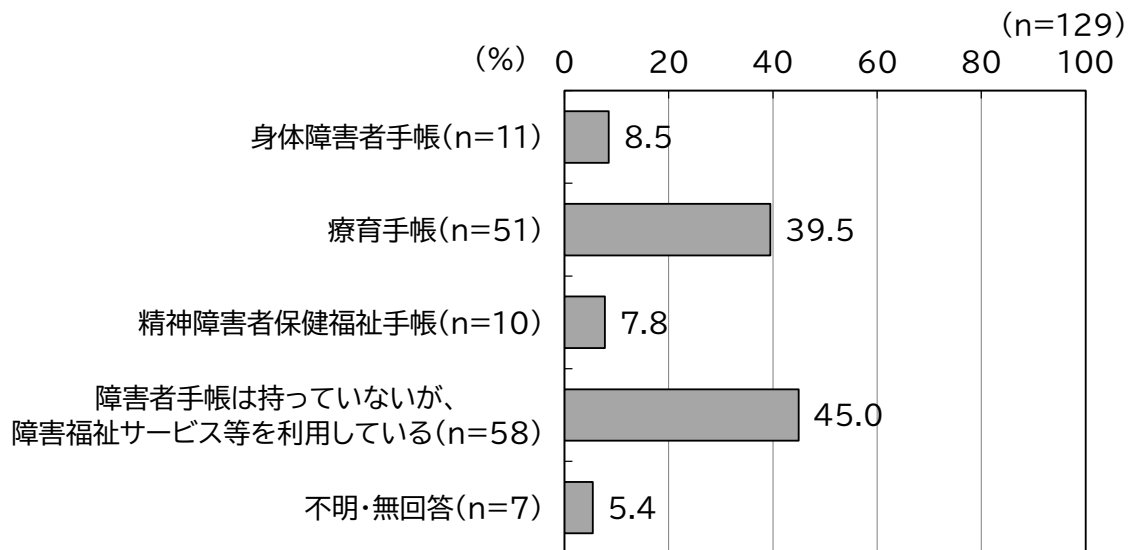
障害別にみると、以下の通りとなっています。



2. お子さんの障害の状況について

問3 お子さんがお持ちの障害者手帳をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

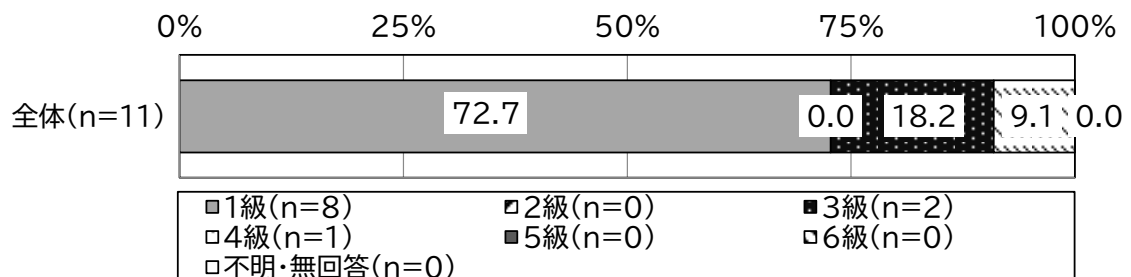
手帳の種類についてみると、「障害者手帳は持っていないが、障害福祉サービス等を利用している」が45.0%、「療育手帳」が39.5%、「身体障害者手帳」が8.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.8%となっています。



【問3で「身体障害者手帳」と答えた方にお聞きします】

問4 身体障害者手帳の総合等級をお答えください。(1つに○)

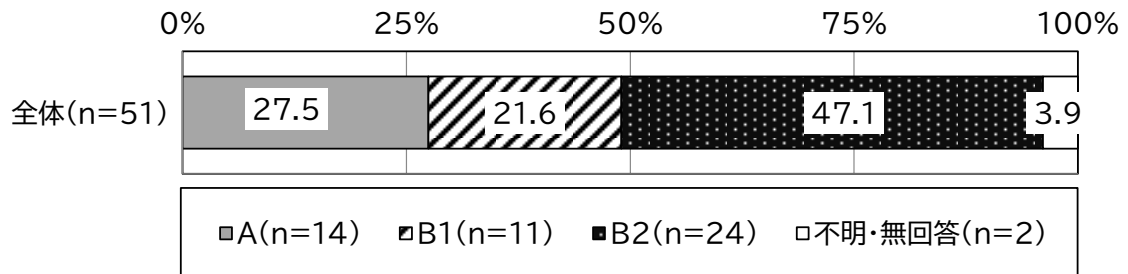
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が72.7%と最も高く、次いで「3級」が18.2%となっています。



【問3で「療育手帳」と答えた方にお聞きします】

問5 療育手帳の総合判定をお答えください。(1つに○)

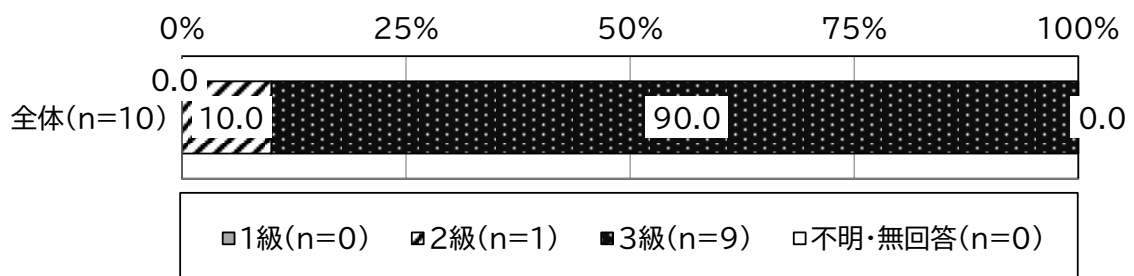
療育手帳所持者の判定についてみると、「B2」が47.1%と最も高く、次いで「A」が27.5%となっています。



【問3で「精神障害者保健福祉手帳」と答えた方にお聞きします】

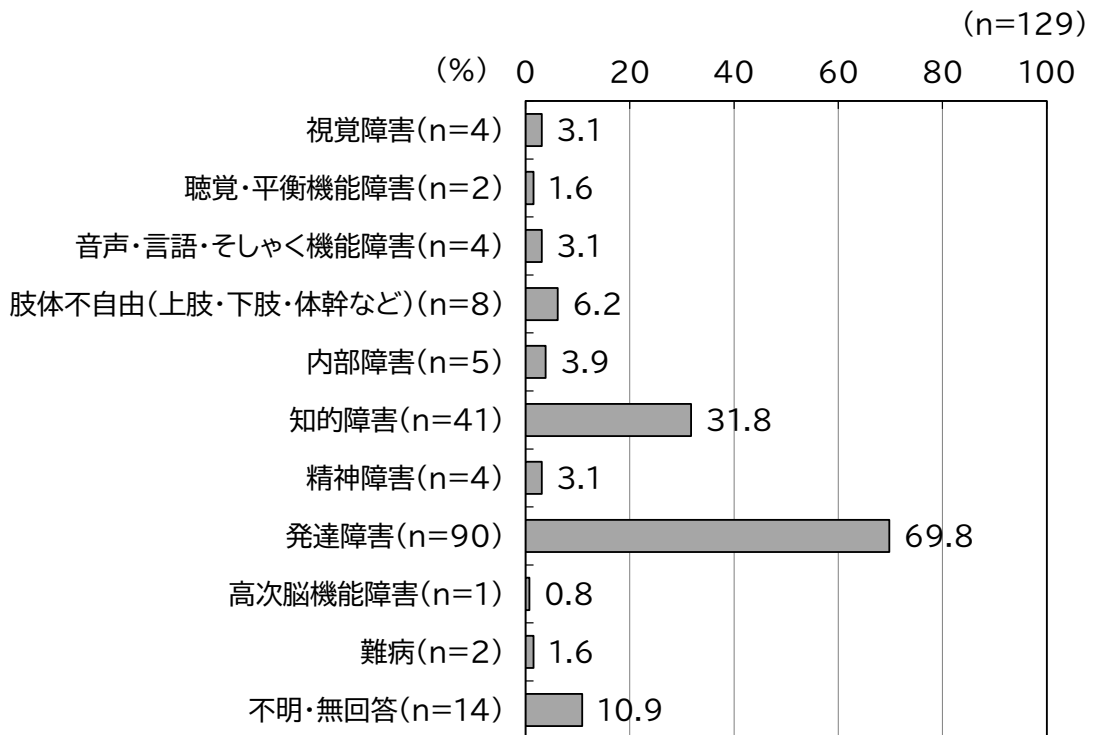
問6 精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。(1つに○)

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「3級」が90.0%と最も高く、次いで「2級」が10.0%となっています。



問7 お子さんの障害の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

障害の種類についてみると、「発達障害」が69.8%と最も高く、次いで「知的障害」が31.8%、「肢体不自由」が6.2%となっています。

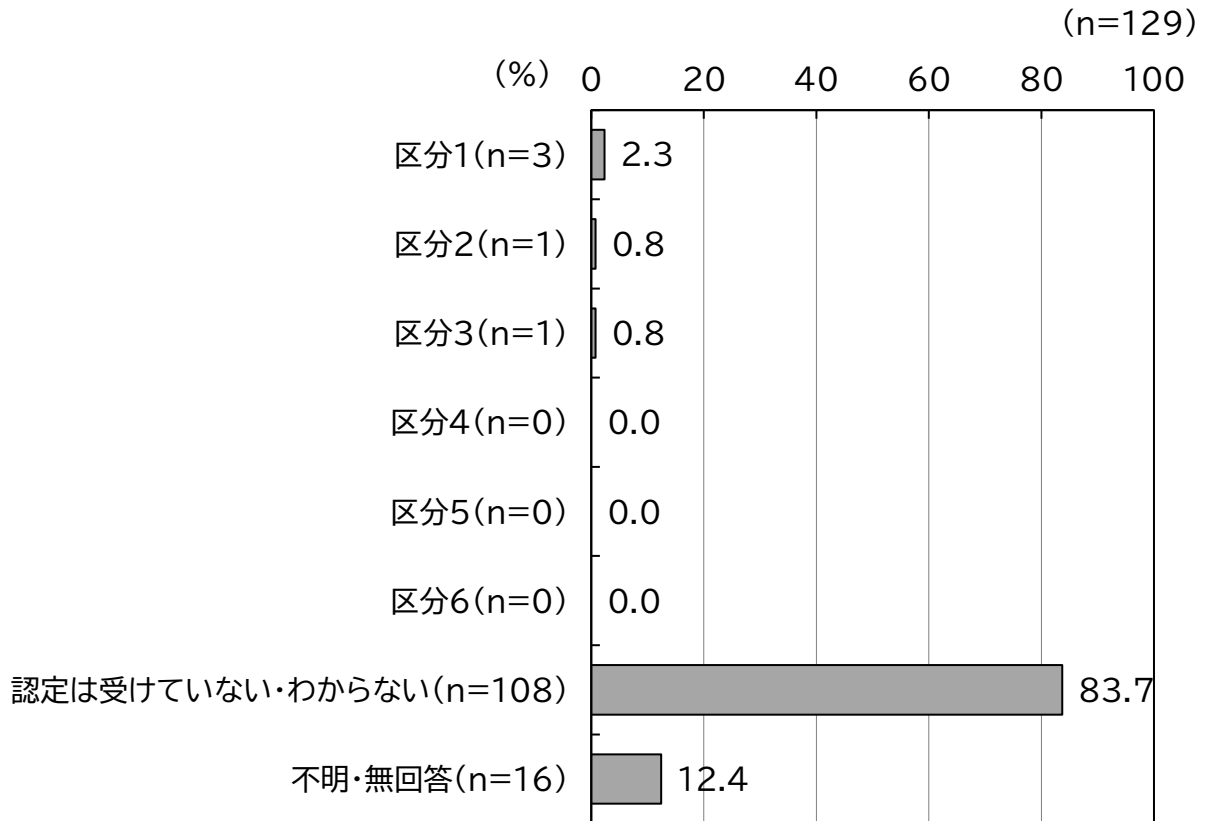


年代別にみると、0～14歳までは「発達障害」がもっとも高く、15歳以上では「知的障害」「発達障害」がともに最も高くなっています。

	(n)	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	不明・無回答
全体	129	3.1	1.6	3.1	6.2	3.9	31.8	3.1	69.8	0.8	1.6	10.9
年代別	0～5歳	39	0.0	2.6	2.6	5.1	0.0	12.8	0.0	64.1	0.0	15.4
	6～11歳	60	1.7	0.0	3.3	8.3	5.0	33.3	5.0	71.7	1.7	11.7
	12～14歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	0.0	84.6	0.0	7.7
	15歳以上	17	17.6	5.9	5.9	5.9	11.8	64.7	5.9	64.7	0.0	0.0

問8 お子さんは、「障害支援区分」の認定を受けていますか。受けている場合は、認定結果（認定区分）をお答えください。（1つに○）

認定状況についてみると、「認定を受けていない・わからない」が83.7%と最も高くなっています。

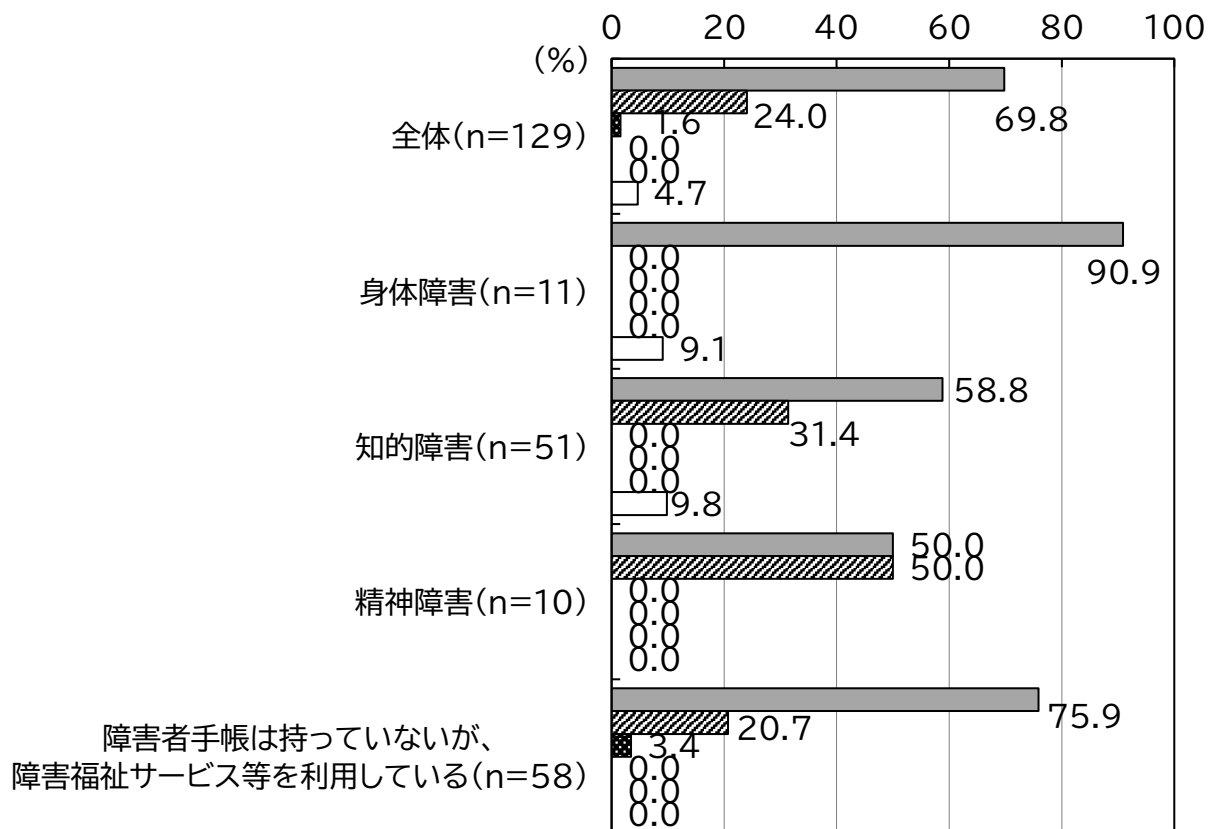


3. お子さんの発達上の特徴について

問9 お子さんの発達の特徴のことを最初に心配されたのはお子さんがいくつの時ですか。年齢をお書きください。

お子さんの発達の特徴を最初に心配した年齢についてみると、全体では「0～2歳」が69.8%と最も高く、次いで「3～5歳」が24.0%となっています。

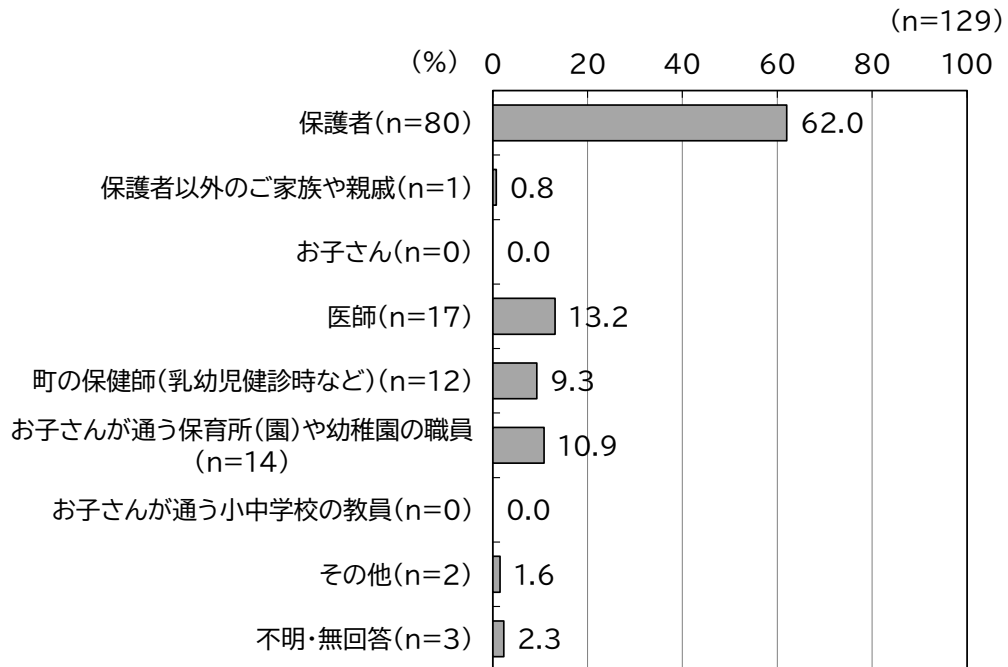
障害別にみると、精神障害では「0～2歳」「3～5歳」が半数ずつとなっています。



0～2歳
 3～5歳
 6～8歳
 9～11歳
 12歳以上
 不明・無回答

問10 誰が最初に気づきましたか。(1つに○)

誰が最初に気づいたかについてみると、全体では「保護者」が62.0%と最も高く、次いで「医師」が13.2%、「お子さんが通う保育所（園）や幼稚園の職員」が10.9%となっています。



◇誰が最初に気づいたか「その他」の回答

内容
うまれる時に早産、超未熟児だったから。
引っ越しで自治体が変わったから。
ママ友

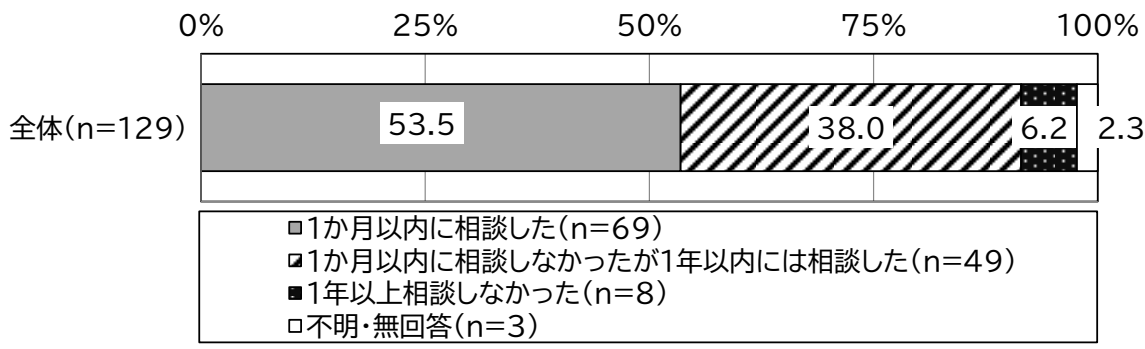
障害別にみると、身体障害では「医師」が最も高く、知的障害、精神障害では「保護者」が最も高くなっています。

年代別にみると、12～14歳では「お子さんが通う保育所（園）や幼稚園の職員」が約3割と比較的高くなっています。

		(n)	保護者	親戚 保護者以外のご家族や	お子さん	医師	町の保健師	お子さんが通う保育所 (園)や幼稚園の職員	お子さんが通う 小中学校の教員	その他	不明・無回答
全体		129	62.0	0.8	0.0	13.2	9.3	10.9	0.0	1.6	2.3
障 害 別	身体障害	11	9.1	0.0	0.0	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1
	知的障害	51	52.9	2.0	0.0	15.7	9.8	13.7	0.0	2.0	3.9
	精神障害	10	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
年 代 別	0～5歳	39	71.8	2.6	0.0	10.3	5.1	7.7	0.0	0.0	2.6
	6～11歳	60	60.0	0.0	0.0	15.0	11.7	8.3	0.0	1.7	3.3
	12～14歳	13	61.5	0.0	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	47.1	0.0	0.0	23.5	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0

問 11 お子さんの発達の特徴に気づき、すぐに医療機関や、町の福祉推進課、いきいき健康課、教育センターなどの専門機関に相談しましたか。
(1つに○)

すぐに専門機関に相談したかについてみると、全体では「1か月以内に相談した」が53.5%と最も高く、次いで「1か月以内に相談しなかったが1年以内には相談した」が38.0%、「1年以上相談しなかった」が6.2%となっています。



障害別にみると、知的障害、精神障害で「1か月以内に相談しなかったが1年以内には相談した」がそれぞれ4割、6割と高くなっています。

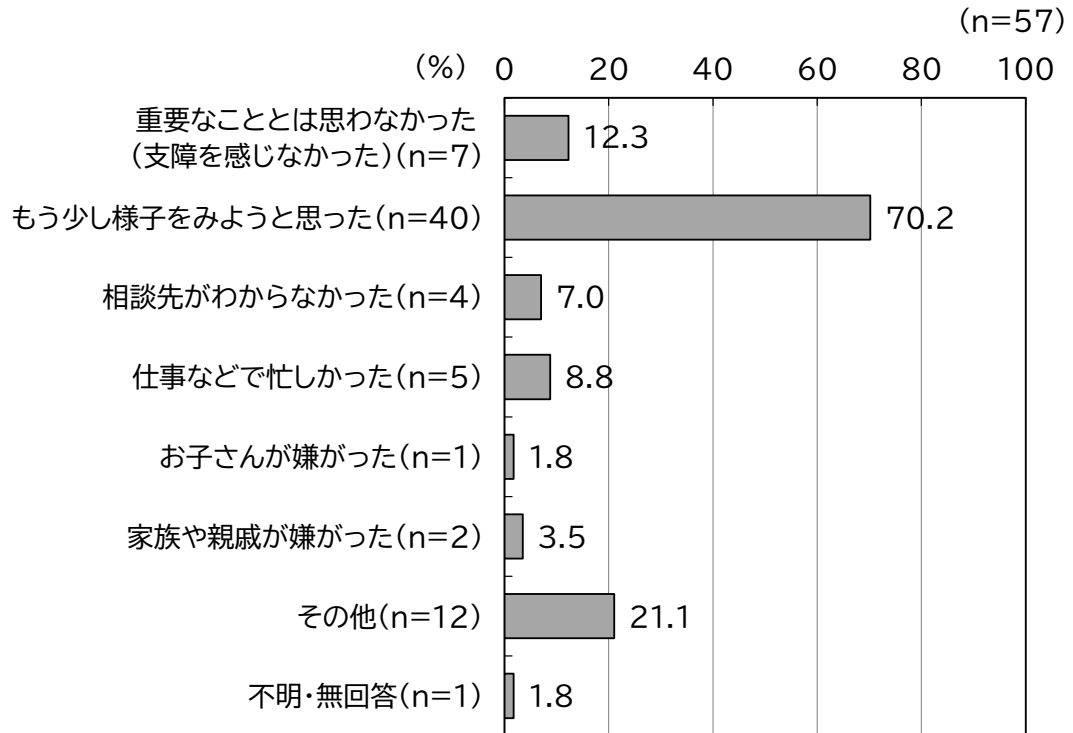
また、発達上の特徴に気づいた年齢が低いほど、「1か月以内に相談した」の割合が高くなっています。

		(n)	1か月以内に相談した	1か月以内に相談しなかったが1年以内には相談した	1年以上相談しなかった	不明・無回答
全体		129	53.5	38.0	6.2	2.3
障害別	身体障害	11	72.7	9.1	9.1	9.1
	知的障害	51	51.0	41.2	3.9	3.9
	精神障害	10	40.0	60.0	0.0	0.0
発達上の特徴に気づいた年齢別	0～2歳	90	61.1	32.2	6.7	0.0
	3～5歳	31	38.7	54.8	6.5	0.0
	6～8歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0

【問 11 で「1 か月以内に相談しなかった」と答えた方にお聞きします】

問 12 すぐに相談できなかった理由は何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

すぐに相談しなかった理由についてみると、全体では「もう少し様子を見ようと思った」が 70.2% と最も高く、次いで「その他」が 21.1%、「重要なこととは思わなかった」が 12.3% となっています。



◇すぐに相談できなかった理由「その他」の回答

内 容
医者のみが診断できるとは知らず、保健師さんに相談しただけですぐに診断されてしまうと思いがあつた。
発語がないことや周囲との違いや、偏食の多さなどで、町の育児相談へ何度か行ったが、助言はもらえず、ただもんもんと「成長と共に…」そんなレベルでないはず…。初めてのことで自分も認めきれず、言い出せなかった。この時が一番辛かった。
保育所の先生に相談したから。
同年代の他の子と比べる時がなかった。
医師の話で療育園へ町の事は知らなかった。
1歳半健診の時に相談しようと思った。
新しいことを始める気力がなかった。
3ヶ月後が3歳3ヶ月検診だったのでそこで相談することにした。

障害別・発達上の特徴に気づいた年齢別にみると、以下の通りとなっています。

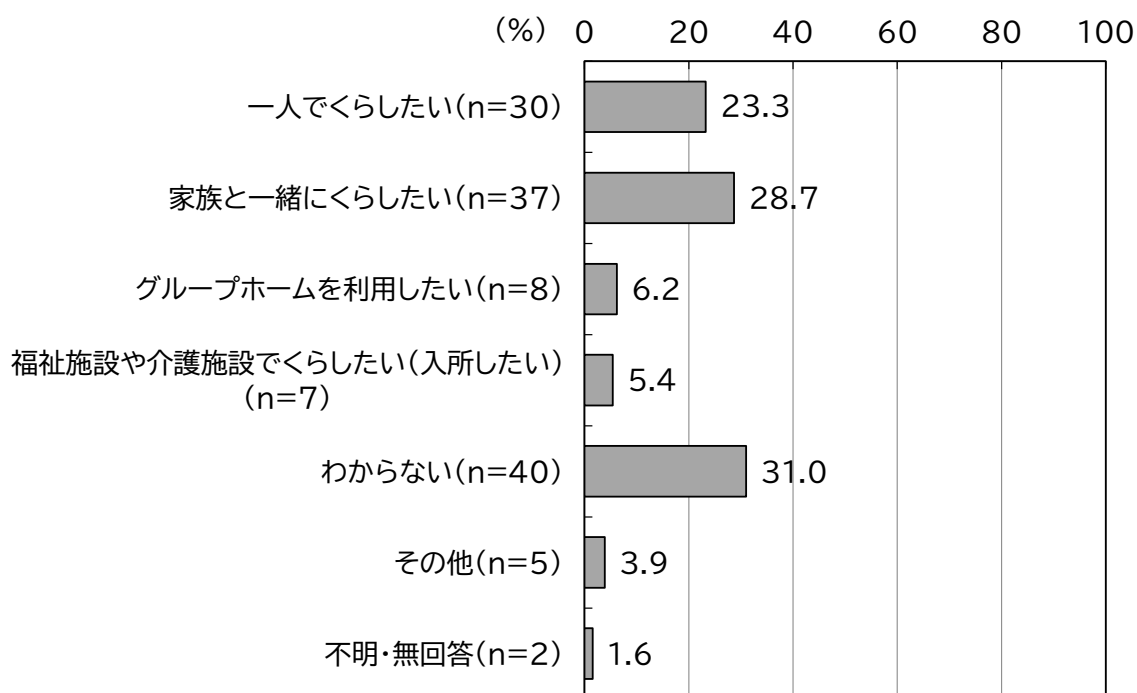
		(n)	重要なこととは思わなかった	もう少し様子をみようと思った	相談先がわからなかった	仕事などで忙しかった	お子さんが嫌がった	家族や親戚が嫌がった	その他	不明・無回答
全体		57	12.3	70.2	7.0	8.8	1.8	3.5	21.1	1.8
障害別	身体障害	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害	23	8.7	56.5	8.7	4.3	0.0	8.7	34.8	0.0
	精神障害	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
発達上の特徴に 気づいた年齢別	0～2歳	35	5.7	71.4	8.6	8.6	0.0	2.9	20.0	0.0
	3～5歳	19	21.1	78.9	5.3	10.5	5.3	5.3	21.1	0.0
	6～8歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

4. 住まいや暮らしについて

問13 お子さんは将来、どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

将来どのように暮らしたいかについてみると、全体では「わからない」が31.0%と最も高く、次いで「家族と一緒に暮らしたい」が28.7%、「一人で暮らしたい」が23.3%となっています。

(n=129)



◇お子さんは将来どのように暮らしたいか「その他」の回答

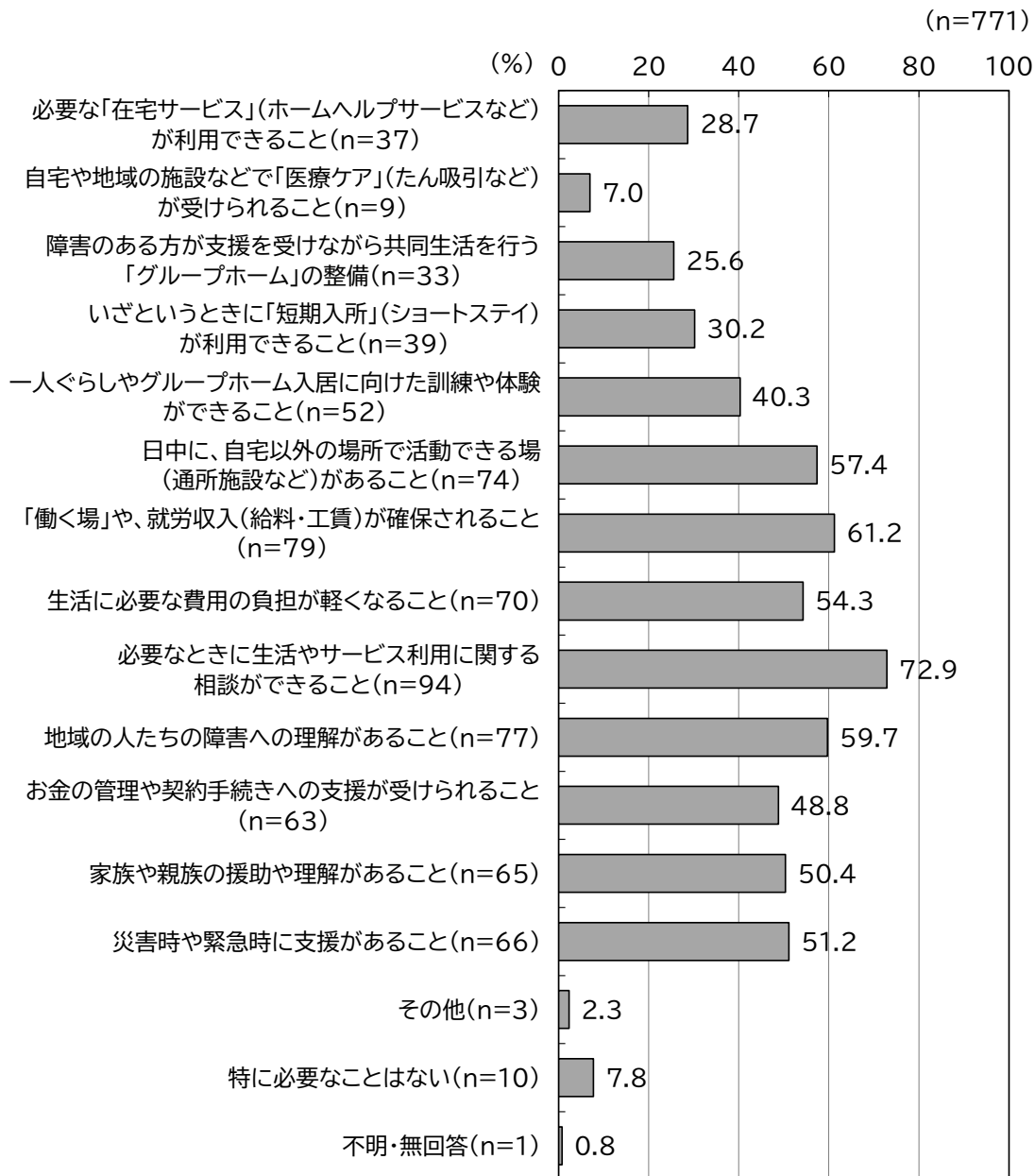
内容
子供の考えにそえるように考えていく。
できれば独立して欲しいと思っている。
まだ小さいのでわからない。身のまわりのことをできるようであれば一人で暮らしたらいいし、難しいのであれば GH や施設など利用してもいいし、家族と一緒にでもいい。
将来のことを本人が考えられるようになったら聞いてみたい。
その時の状況による。

障害別にみると、身体障害では「わからない」、知的障害では「家族と一緒にくらしたい」「わからない」、精神障害では「一人でくらしたい」がそれぞれ最も高くなっています。

		(n)	一人でくらしたい	家族と一緒にくらしたい	グループホームを利用したい	福祉施設や介護施設でくらしたい	わからない	その他	不明・無回答
全体		129	23.3	28.7	6.2	5.4	31.0	3.9	1.6
障害別	身体障害	11	18.2	18.2	9.1	18.2	36.4	0.0	0.0
	知的障害	51	15.7	23.5	15.7	13.7	23.5	3.9	3.9
	精神障害	10	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 14 お子さんが地域で生活するために、何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するために必要なことについてみると、全体では「必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること」が72.9%と最も高く、次いで「働く場」や、就労収入が確保されること」が61.2%、「地域の人たちの障害への理解があること」が59.7%となっています。



◇お子さんが地域で生活するために必要なこと「その他」の回答

内 容	
療育	周囲による特性への理解

障害別・年代別にみると、以下の通りとなっています。

問 14 お子さんが地域で生活するために必要なこと①

		(n)	必要な「在宅サービス」が利用できること	自宅や地域の施設などで「医療ケア」が受けられること	障害のある方が支援を受けながら共同生活を行う「グループホーム」の整備	いざというときに「短期入所」が利用できること	一人暮らしやグループホーム入居に向けた訓練や体験ができること	日中に、自宅以外の場所で活動できる場があること	「働く場」や、就労収入が確保されること	生活に必要な費用の負担が軽くなること
全体		129	28.7	7.0	25.6	30.2	40.3	57.4	61.2	54.3
障 害 別	身体障害	11	45.5	36.4	27.3	54.5	45.5	54.5	45.5	54.5
	視覚障害	4	50.0	75.0	25.0	75.0	100.0	75.0	75.0	100.0
	聴覚・平衡機能障害	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	4	50.0	50.0	25.0	75.0	75.0	100.0	50.0	100.0
	肢体不自由	8	75.0	37.5	50.0	75.0	62.5	75.0	37.5	62.5
	内部障害	5	40.0	60.0	20.0	60.0	60.0	60.0	40.0	80.0
	知的障害	51	56.9	11.8	47.1	56.9	66.7	64.7	80.4	78.4
	精神障害	10	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0	30.0	60.0	60.0
	発達障害	90	22.2	4.4	22.2	25.6	35.6	57.8	62.2	51.1
	高次脳機能障害	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
難病	2	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	
年 代 別	0～6歳	39	20.5	10.3	20.5	25.6	28.2	64.1	46.2	46.2
	6～11歳	60	36.7	5.0	33.3	36.7	45.0	66.7	70.0	55.0
	12～14歳	13	15.4	0.0	23.1	15.4	46.2	15.4	69.2	61.5
	15歳以上	17	29.4	11.8	11.8	29.4	47.1	41.2	58.8	64.7

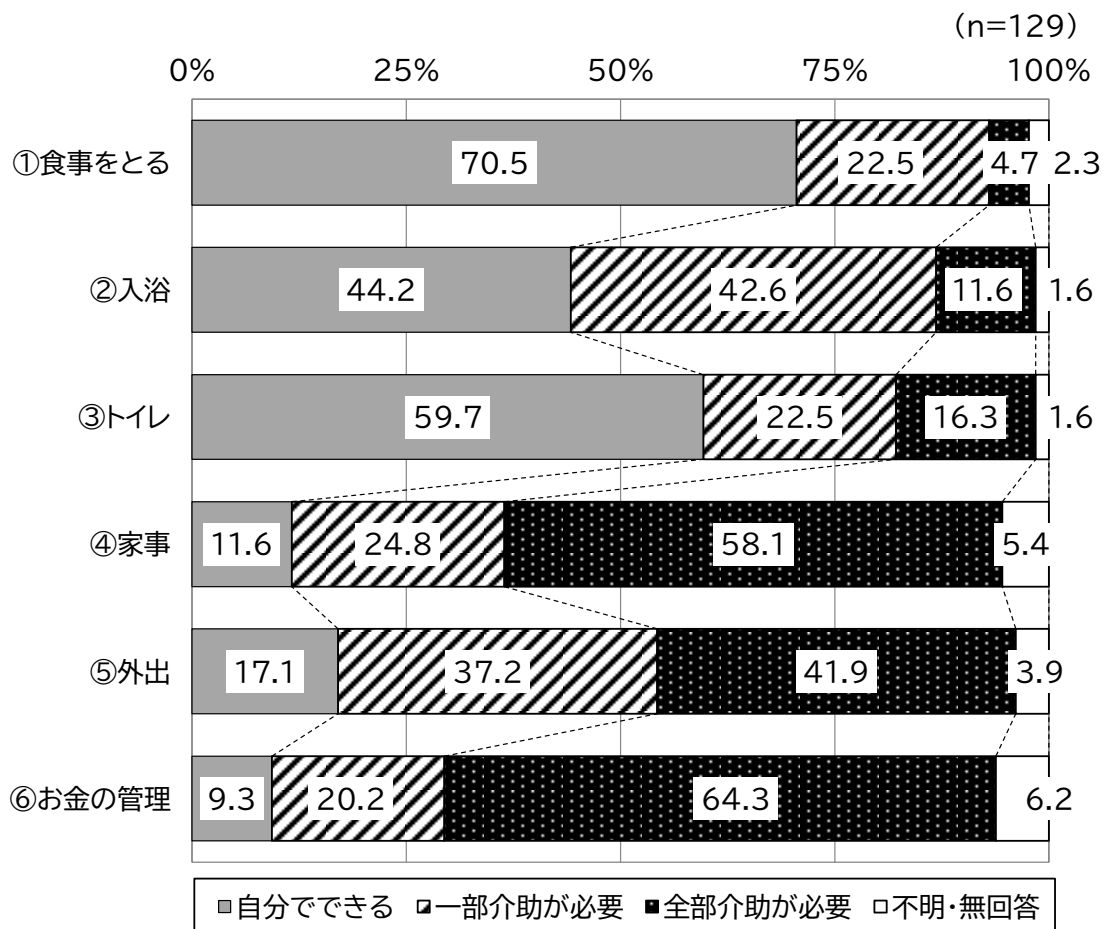
問 14 お子さんが地域で生活するために必要なこと②

		(n)	必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること	地域の人たちの障害への理解があること	お金の管理や契約手続きへの支援が受けられること	家族や親族の援助や理解があること	災害時や緊急時に支援があること	その他	特に必要なことはない	不明・無回答
全体		129	72.9	59.7	48.8	50.4	51.2	2.3	7.8	0.8
障 害 別	身体障害	11	63.6	45.5	36.4	36.4	45.5	0.0	0.0	9.1
	視覚障害	4	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚・平衡機能障害	2	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	4	100.0	50.0	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由	8	75.0	62.5	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	内部障害	5	80.0	20.0	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0
	知的障害	51	90.2	74.5	74.5	52.9	64.7	0.0	2.0	0.0
	精神障害	10	60.0	70.0	30.0	40.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	発達障害	90	72.2	56.7	46.7	53.3	47.8	3.3	7.8	0.0
	高次脳機能障害	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	難病	2	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	0～5歳	39	66.7	59.0	30.8	51.3	51.3	2.6	7.7	0.0
	6～11歳	60	81.7	61.7	58.3	53.3	55.0	3.3	5.0	0.0
	12～14歳	13	53.8	69.2	46.2	30.8	46.2	0.0	7.7	0.0
	15歳以上	17	70.6	47.1	58.8	52.9	41.2	0.0	17.6	5.9

5. 介助について

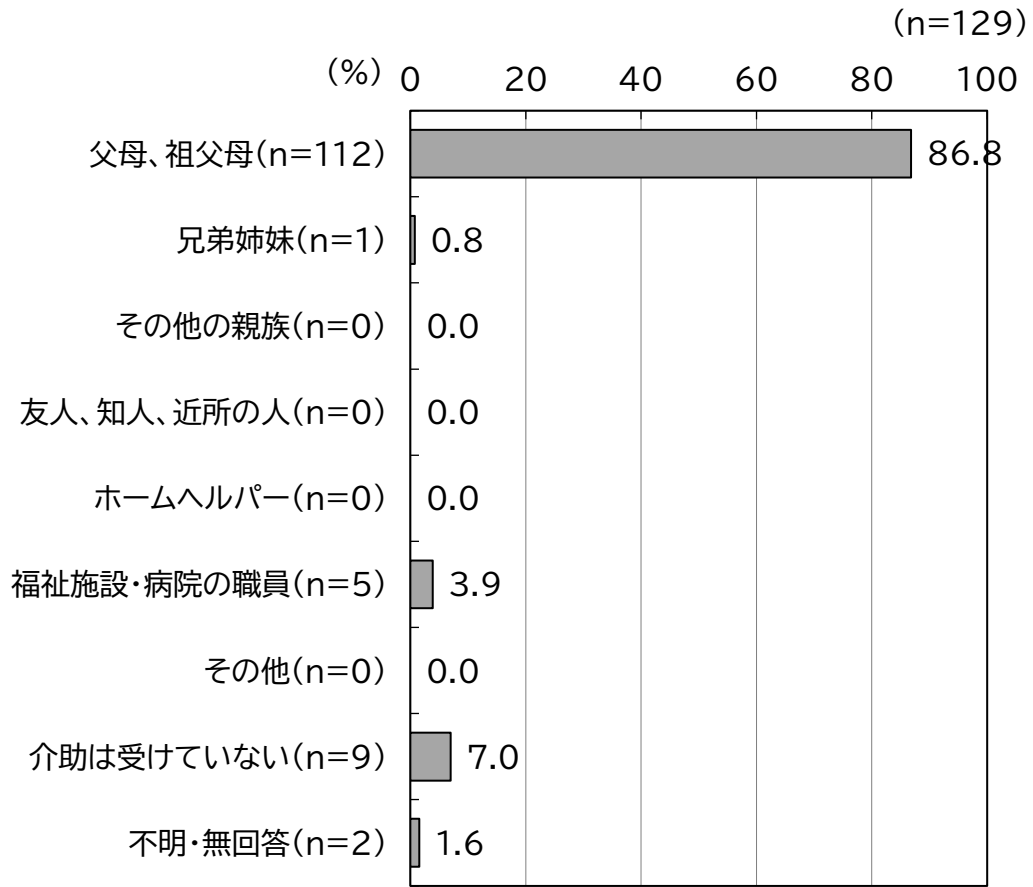
問 15 お子さんは日常生活中で、どのようなときに介助（手助け）を必要としますか。
 (①～⑥の各項目で、1～3のいずれか1つに○)

「①食事をとる」「③トイレ」については、自分でできる割合が6～7割となっています。また、「②入浴」については、自分でできると一部介助が必要が、ともに4割強となっています。一方で、「④家事」「⑤外出」「⑥お金の管理」については、自分でできる割合が2割を下回り、介助を要する割合が高くなっています。



問 16 日常生活において、お子さんを主に介助（手助け）している人はどなたですか。
 （特に中心となっている方1つに○）

介助している方についてみると、全体では「父母、祖父母」が86.8%を占めており、次いで「介助は受けていない」が7.0%、「福祉施設・病院の職員」が3.9%となっています。



年代別にみると、いずれも「父母、祖父母」が特に高くなっています。

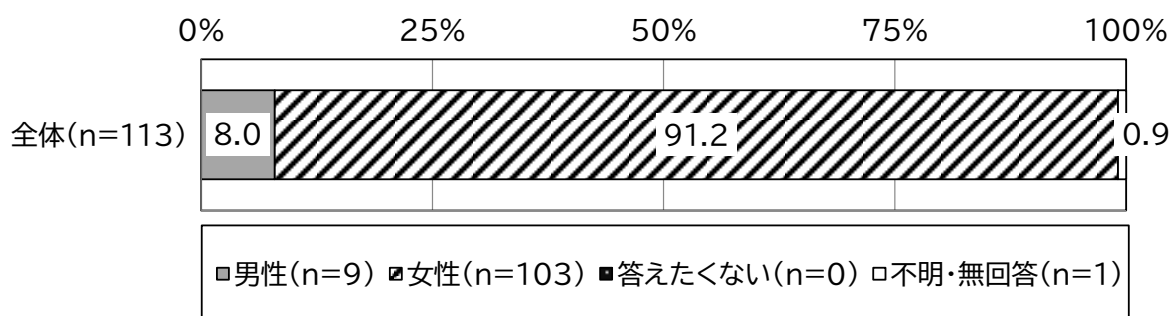
		(n)	父母、 祖父母	兄弟 姉妹	その 他の 親族	友人、 知人、 近所の人	ホーム ヘルパー	福祉施設・ 病院の職員	その他	介助は受けて いない	不明・無 回答
全体		129	86.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	7.0	1.6
年代 別	0～5歳	39	89.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	2.6	2.6
	6～11歳	60	85.0	1.7	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	8.3	0.0
	12～14歳	13	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	5.9

【問 16 で、1～3（主な介助者が家族・親族）と答えた方にお聞きします】

問 17 お子さんを主に介助している家族・親族（特に中心となっている方）の性別、年齢、健康状態をお聞きします。（①～③の各項目で、いずれか1つに○）

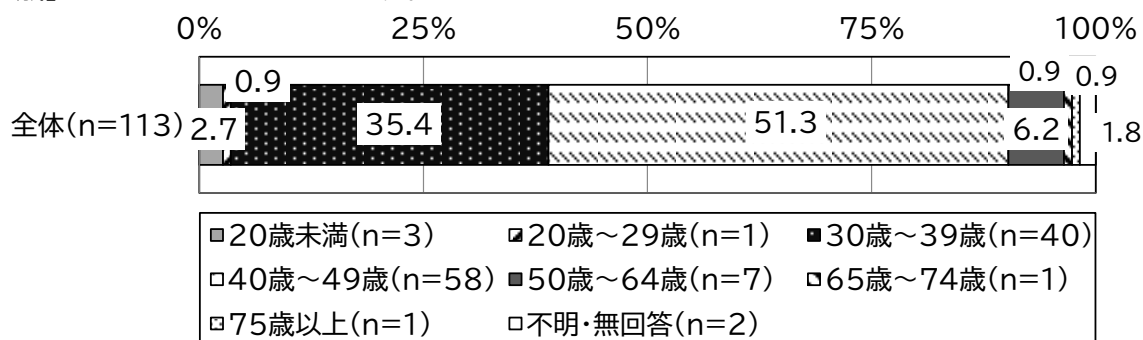
【①性別】

介助している家族・親族の性別についてみると、「女性」が91.2%を占め、「男性」が8.0%となっています。



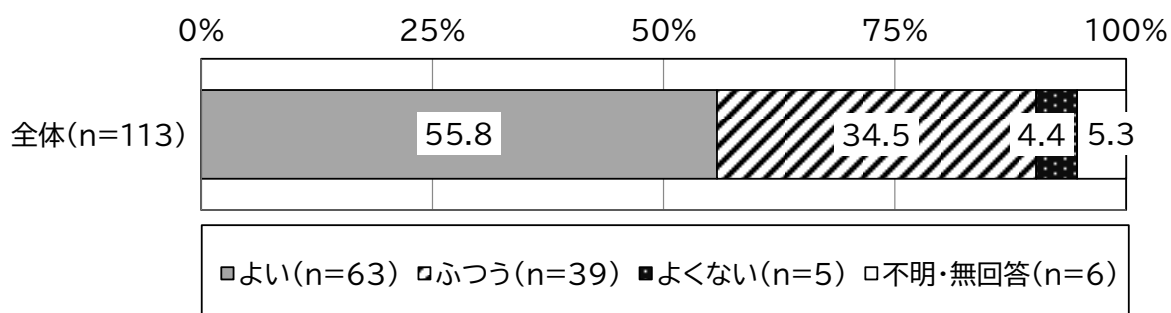
【②年齢】

介助している家族・親族の年齢についてみると、「40歳～49歳」が51.3%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が35.4%となっています。



【③健康状態】

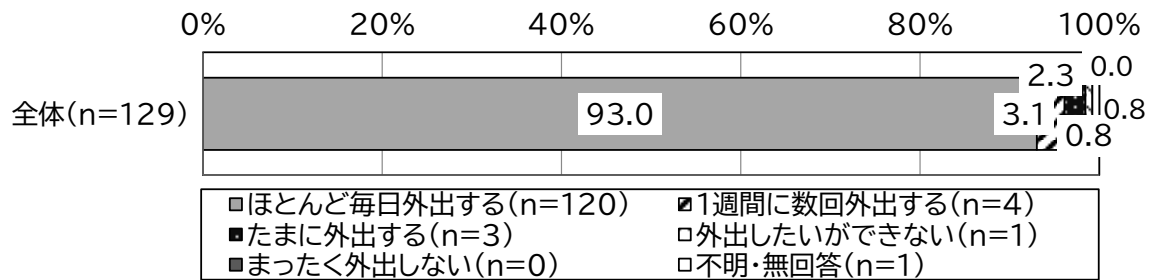
介助している家族・親族の健康状態についてみると、「よい」が55.8%と最も高く、次いで「ふつう」が34.5%となっています。



6. 外出について

問18 お子さんのふだんの外出の回数ほどのくらいですか。(通所、通学などを含む)
(1つに○)

ふだんの外出の回数についてみると、全体では「ほとんど毎日外出する」が93.0%と最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が3.1%となっています。

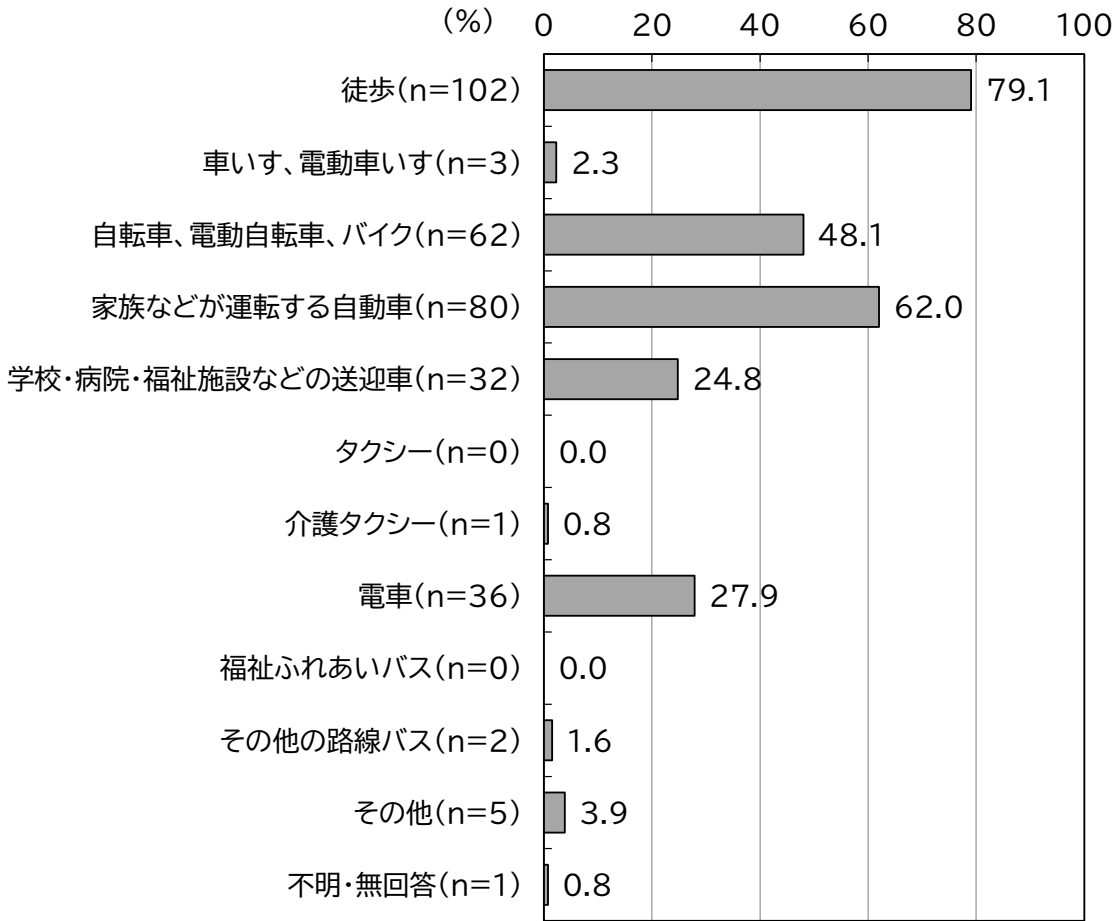


障害別・年代別にみると、いずれも「ほとんど毎日外出する」が最も高くなっています。

		(n)	ほとんど毎日外出する	1週間に数回外出する	たまたまに外出する	外出したいができない	まったく外出しない	不明・無回答
全体		129	93.0	3.1	2.3	0.8	0.0	0.8
障害別	身体障害	11	81.8	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
	知的障害	51	94.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害	10	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
年代別	0～2歳	39	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	60	91.7	5.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	13	84.6	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
	15歳以上	17	88.2	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9

問 19 お子さんが外出するときの主な交通手段をお聞きします。(3つまで○)

主な交通手段についてみると、全体では「徒歩」が79.1%と最も高くなっており、次いで「家族などが運転する自動車」が62.0%、「自転車、電動自転車、バイク」が48.1%となっています。
(n=129)



◇外出時の主な交通手段「その他」の回答

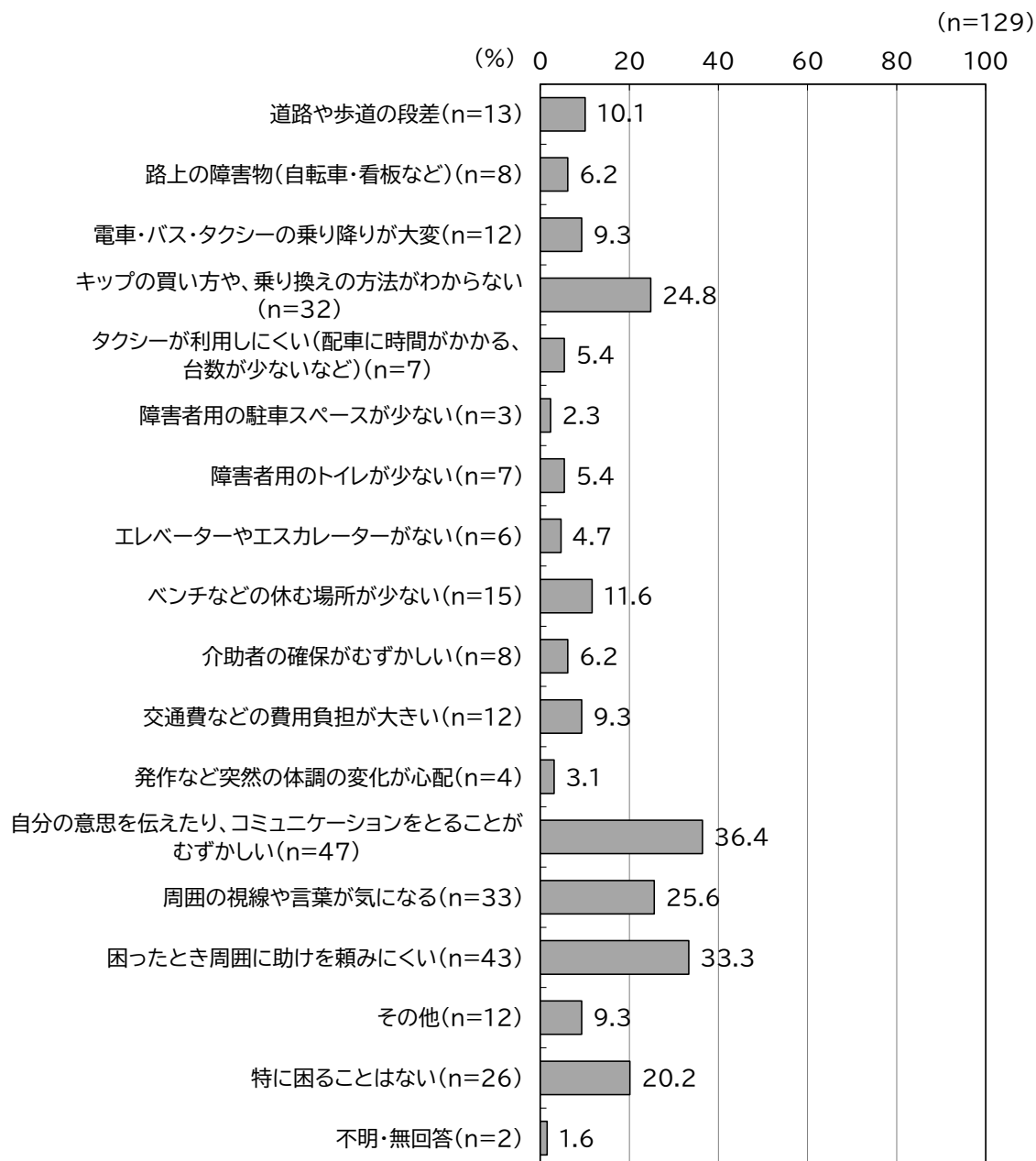
内 容	
まだ小さいので家族が運転する自転車	ベビーカー
通学バス	

障害別にみると、身体障害では「家族などが運転する自動車」、知的障害、精神障害では「徒歩」が最も高くなっています。

	(n)	徒歩	車いす、 電動車いす	自転車、 電動自転車、 バイク	家族などが 運転する自動車	学校・病院・ 福祉施設などの 送迎車	タクシー	介護タクシー	電車	福祉ふれあいバス	その他の 路線バス	その他	不明・ 無回答	
全体	129	79.1	2.3	48.1	62.0	24.8	0.0	0.8	27.9	0.0	1.6	3.9	0.8	
障 害 別	身体障害	11	36.4	27.3	27.3	72.7	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	18.2	9.1
	知的障害	51	78.4	3.9	49.0	62.7	31.4	0.0	2.0	35.3	0.0	2.0	2.0	0.0
	精神障害	10	90.0	0.0	70.0	40.0	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 20 お子さんが外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出するときに困ることについてみると、全体では「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい」が 36.4%と最も高く、次いで「困ったとき周囲に助けを頼みにくい」が 33.3%、「周囲の視線や言葉が気になる」が 25.6%、「キップの買い方や、乗り換えの方法がわからない」が 24.8%となっています。



◇外出するときに困ること「その他」の回答

内 容
視覚的支援がもっと増えてほしい。絵で誰もがわかるように止まる足マーク。図書館など、エレベーター4Fの横に本のマーク etc.
まだ小さいので1人では出ないのでわかりません。

内 容	
過敏すぎてすぐ酔う。	外出する前に乗り換え、道行練習
きょうだいゲンカ	子供同士でケンカする。
ベビーカー	交通機関の遅れなど咄嗟の判断
突然走り出す為、事故の心配。	目がいつときもはなせない。
西国街道など狭い道でスピードを出す車にパニックになる。	交通量が多い。
人が多い場所に長時間いづらい。	

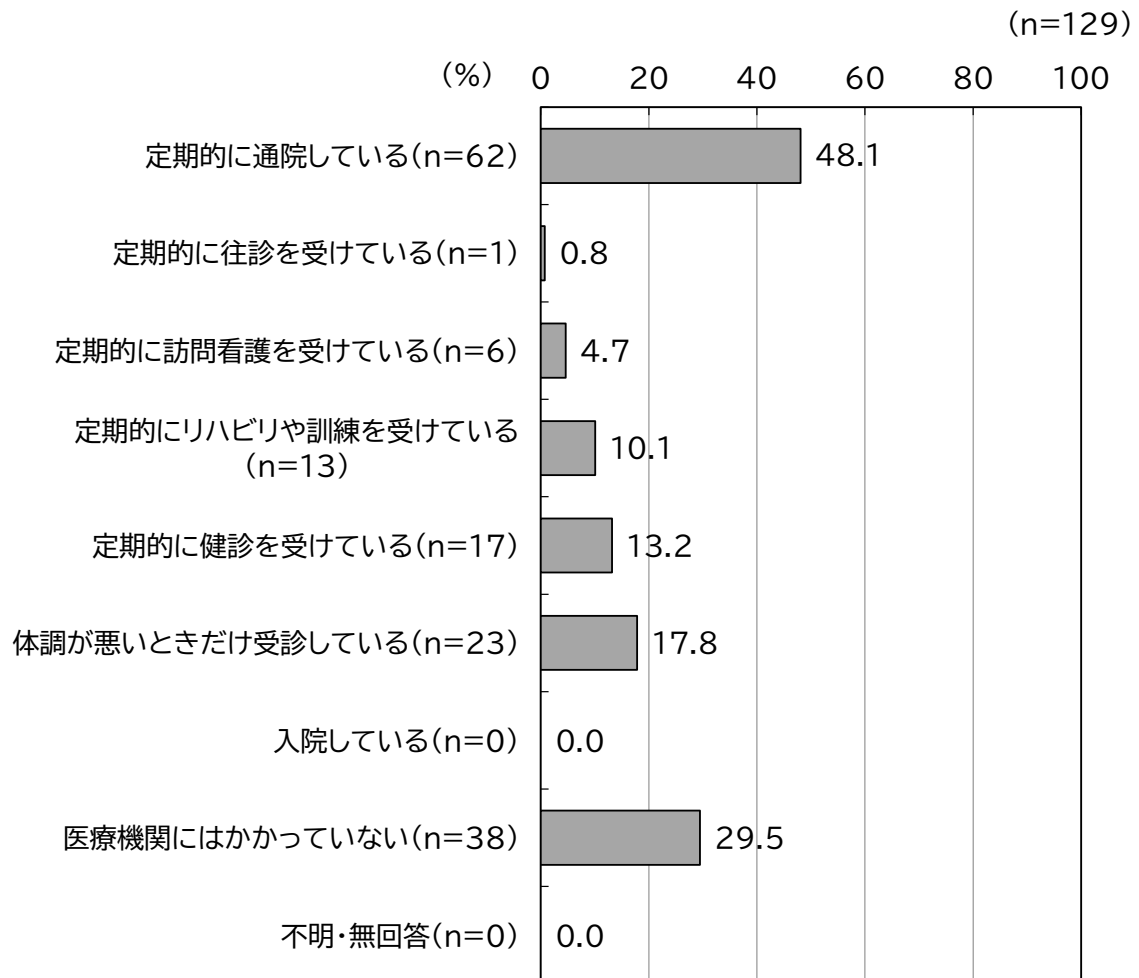
障害別にみると、身体障害では「道路や歩道の段差」、知的障害では「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい」、精神障害では、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい」「困ったとき周囲に助けを頼みにくい」が最も高くなっています。

		(n)	道路や歩道の段差	路上の障害物	電車・バス・タクシーの乗り降りが大変	キップの買い方や、乗り換えの方法がわからない	タクシーが利用しにくい	障害者用の駐車スペースが少ない	障害者用のトイレが少ない	エレベーターやエスカレーターがない	ベンチなどの休む場所が少ない
全体		129	10.1	6.2	9.3	24.8	5.4	2.3	5.4	4.7	11.6
障 害 別	身体障害	11	54.5	18.2	36.4	9.1	18.2	18.2	27.3	27.3	18.2
	知的障害	51	11.8	11.8	13.7	45.1	7.8	5.9	11.8	3.9	9.8
	精神障害	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
		(n)	介助者の確保がむずかしい	交通費などの費用負担が大きい	発作など突然の体調の変化が心配	自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい	周囲の視線や言葉が気になる	困ったとき周囲に助けを頼みにくい	その他	特に困ることはない	不明・無回答
全体		129	6.2	9.3	3.1	36.4	25.6	33.3	9.3	20.2	1.6
障 害 別	身体障害	11	9.1	18.2	0.0	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1
	知的障害	51	7.8	13.7	2.0	56.9	33.3	41.2	11.8	7.8	0.0
	精神障害	10	10.0	20.0	0.0	40.0	30.0	40.0	10.0	30.0	0.0

7. 保健・医療について

問 21 お子さんの通院の状況や、保健・医療サービスの利用状況をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

通院の状況などについてみると、全体では「定期的に通院している」が48.1%と最も高く、次いで「医療機関にはかかっていない」が29.5%となっています。

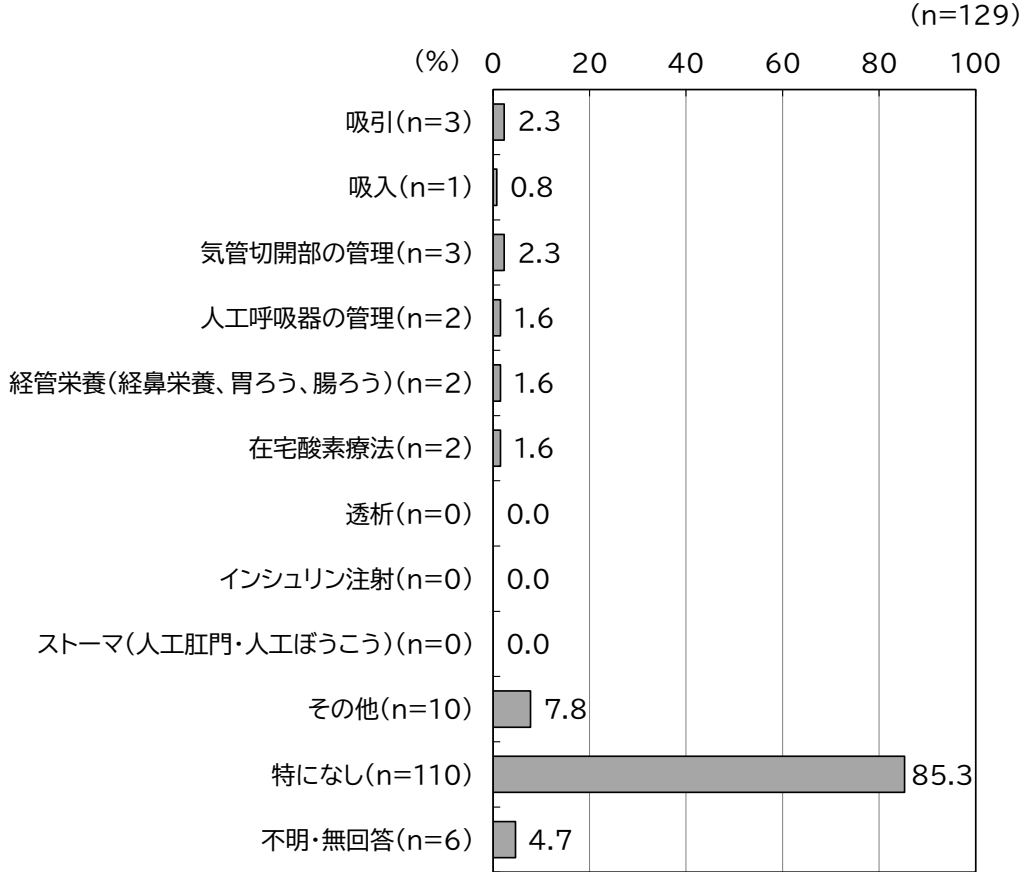


障害別にみると、身体障害では「定期的に通院している」が約9割と高くなっています。

		(n)	定期的に通院している	定期的に往診を受けている	定期的に訪問看護を受けている	定期的にリハビリや訓練を受けている	定期的に健診を受けている	体調が悪いときだけ受診している	入院している	医療機関にはかかっていない	不明・無回答
全体		129	48.1	0.8	4.7	10.1	13.2	17.8	0.0	29.5	0.0
障害別	身体障害	11	90.9	9.1	36.4	63.6	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
	知的障害	51	58.8	2.0	3.9	13.7	19.6	23.5	0.0	17.6	0.0
	精神障害	10	60.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	30.0	0.0

問 22 お子さんが現在受けている医療ケアをお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

現在受けている医療ケアについてみると、「特になし」が 85.3%と大半を占めていますが、何らかの医療ケアを必要とする人の中では、「その他」が 7.8%、「吸引」「気管切開部の管理」が 2.3%となっています。

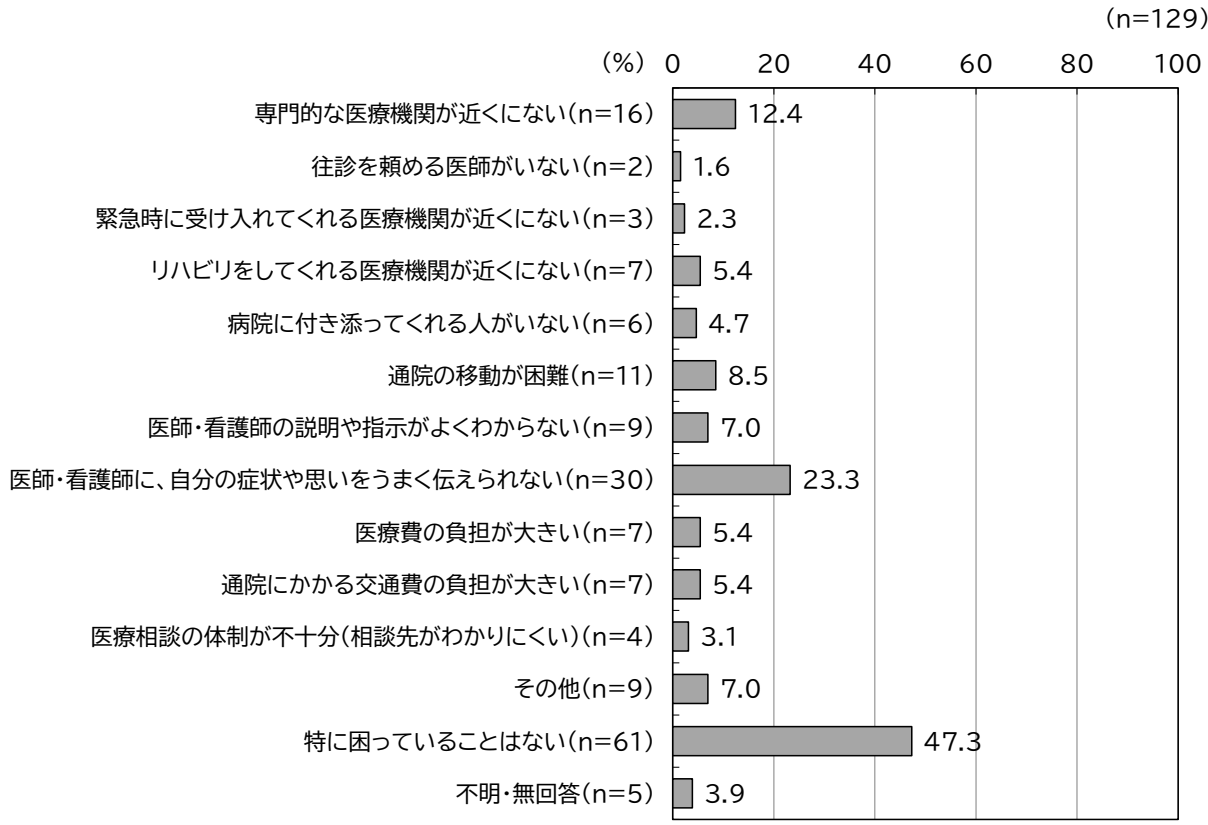


◇現在受けている医療ケア「その他」の回答。

内 容	
GH 療法	投薬
近況報告、相談	投薬(コンサータ)
イライラや不安をやわらげる薬の服薬	薬の処方

問 23 お子さんが医療を受けるうえで困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

医療を受けるうえで困っていることについてみると、全体では「特に困っていることはない」が47.3%と最も高く、次いで「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」が23.3%、「専門的な医療機関が近くにない」が12.4%となっています。



◇医療を受けるうえで困ること「その他」の回答

内容
暴れてしまう。
18才以上になると医療費が高くなる。
親のつきそいが大変
親の付き添いの負担
受診の際暴れたりとびだしたりする、待ち時間に待てない。
婦人科の検査をしたいが、子供がさわぐ、嫌がるので受けられない。
作業療法を定期的にうけているが、小6までなので来年度からがまだ決まっていないので不安。

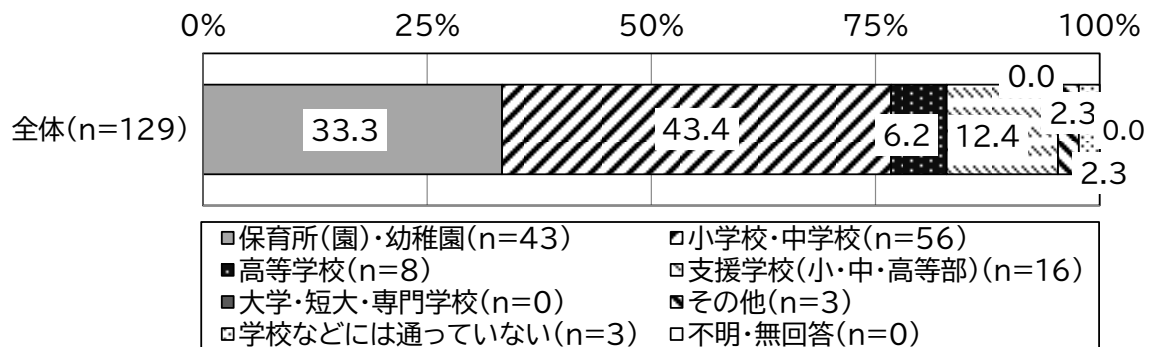
障害別・年代別にみると、以下の通りとなっています。

	(n)	専門的な医療機関が近くにない	往診を頼める医師がない	緊急時に受け入れてくれる医療機関が近くにない	リハビリをしてくれる医療機関が近くにない	病院に付き添ってくれる人がいない	通院の移動が困難	医師・看護師の説明や指示がよくわからない	医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない	医療費の負担が大きい	通院にかかる交通費の負担が大きい	医療相談の体制が不十分	その他	特に困っていることはない	不明・無回答	
全体	129	12.4	1.6	2.3	5.4	4.7	8.5	7.0	23.3	5.4	5.4	3.1	7.0	47.3	3.9	
障害別	身体障害	11	54.5	9.1	9.1	36.4	18.2	27.3	0.0	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	27.3	0.0
	知的障害	51	15.7	2.0	5.9	9.8	5.9	11.8	11.8	29.4	5.9	9.8	3.9	7.8	37.3	5.9
	精神障害	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	10.0
年代別	0～2歳	39	2.6	0.0	0.0	2.6	5.1	12.8	5.1	15.4	5.1	2.6	0.0	7.7	59.0	5.1
	3～5歳	60	20.0	3.3	3.3	6.7	6.7	8.3	10.0	25.0	5.0	6.7	5.0	6.7	41.7	3.3
	6～8歳	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	46.2	0.0	7.7	0.0	15.4	23.1	7.7
	15歳以上	17	11.8	0.0	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0	58.8	0.0

8. 保育・教育・療育について

問 24 お子さんは、保育所・幼稚園・学校などに通学（通園）していますか。（1つに○）

通学（通園）先の状況についてみると、「小学校・中学校」が43.4%と最も高く、次いで「保育所（園）・幼稚園」が33.3%、「支援学校（小・中・高等部）」が12.4%となっています。



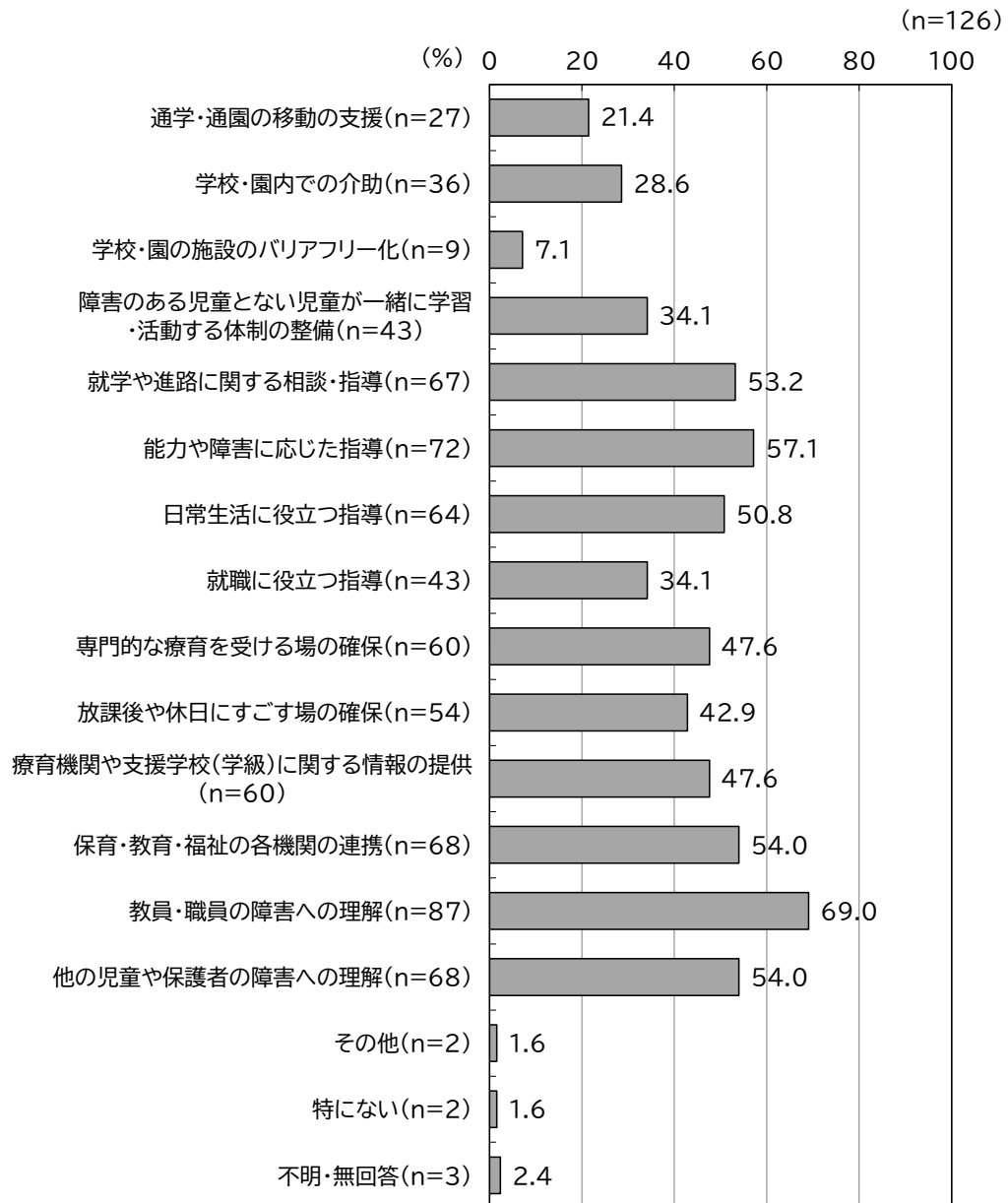
◇通学・通園の状況「その他」の回答

内 容	
高等支援学校	療育園

【問 24 で、「学校・保育所・幼稚園などに通っている」と答えた方にお聞きします】

問 25 障害のある子どもへの保育や教育、療育について、充実してほしいことをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

保育や教育、療育について充実してほしいことについてみると、全体では「教員・職員の障害への理解」が69.0%で最も高く、次いで「能力や障害に応じた指導」が57.1%、「保育・教育・福祉の各機関の連携」「他の児童や保護者の障害への理解」がともに54.0%となっています。



◇お子さんへの保育や教育、療育について充実してほしいこと「その他」の回答

内容
障害のある子どもを持つ保護者のつながり
学校は何も期待できず、名前だけ所属している状態です。
学校の受け入れ体制を十分に確保、教育を受ける権利を守ること、理解がある、適切な対応ができる職員の確保人員不足、親の負担が大きい。親がくじけたらおわり。

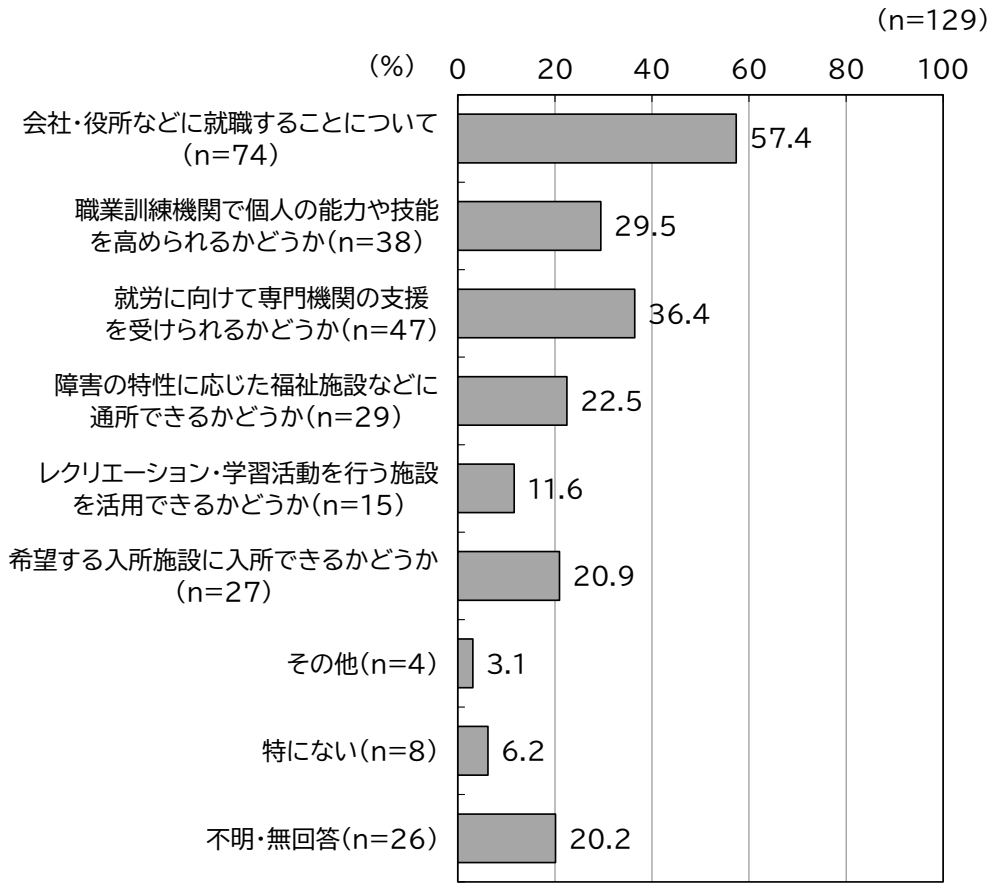
障害別にみると、いずれも「教員・職員の障害への理解」が最も高くなっています。

通学・通園先別にみると、保育所（園）・幼稚園、小学校・中学校、高等学校では「教員・職員の障害への理解」（高等学校では「就学や進路に関する相談・指導」も同率）、支援学校では「放課後や休日に過ごす場の確保」が最も高くなっています。

		(n)	通学・通園の移動の支援	学校・園内での介助	学校・園の施設の バリアフリー化	障害のある児童と ない児童と一緒に学習・ 活動する体制の整備	就学や進路に関する 相談・指導	能力や障害に応じた指導	日常生活に役立つ指導	就職に役立つ指導	専門的な療育を受ける 場の確保	
全体		126	21.4	28.6	7.1	34.1	53.2	57.1	50.8	34.1	47.6	
障 害 別	身体障害	11	45.5	36.4	36.4	36.4	45.5	54.5	36.4	27.3	54.5	
	知的障害	51	31.4	35.3	11.8	35.3	51.0	60.8	58.8	45.1	56.9	
	精神障害	10	20.0	0.0	10.0	20.0	50.0	60.0	40.0	40.0	50.0	
通 学 ・ 通 園 先 別	保育所(園)・幼稚園	43	16.3	34.9	2.3	32.6	39.5	46.5	41.9	16.3	46.5	
	小学校・中学校	56	28.6	25.0	7.1	39.3	57.1	60.7	57.1	35.7	42.9	
	高等学校	8	12.5	25.0	12.5	37.5	87.5	75.0	37.5	62.5	50.0	
	支援学校 (小・中・高等部)	16	12.5	25.0	12.5	25.0	62.5	68.8	56.3	62.5	62.5	
	その他	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	
		(n)	場の確保	放課後や休日にすこす に関する情報の提供	療育機関や支援学校(学級) に関する情報の提供	各機関の連携	保育・教育・福祉の 障害への理解	教員・職員の 障害への理解	他の児童や保護者の 障害への理解	その他	特になし	不明・無回答
全体		126	42.9	47.6	54.0	69.0	54.0	1.6	1.6	2.4		
障 害 別	身体障害	11	45.5	36.4	54.5	63.6	54.5	9.1	0.0	0.0		
	知的障害	51	52.9	54.9	60.8	68.6	58.8	2.0	2.0	3.9		
	精神障害	10	30.0	40.0	50.0	80.0	40.0	10.0	0.0	10.0		
通 学 ・ 通 園 先 別	保育所(園)・幼稚園	43	39.5	41.9	58.1	67.4	48.8	0.0	2.3	0.0		
	小学校・中学校	56	37.5	50.0	53.6	69.6	58.9	3.6	0.0	1.8		
	高等学校	8	25.0	37.5	25.0	87.5	37.5	0.0	0.0	0.0		
	支援学校 (小・中・高等部)	16	75.0	62.5	56.3	62.5	56.3	0.0	6.3	6.3		
	その他	3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3		

問 26 学校に通学しているお子さんや、これまでに通学していたお子さん全員にお聞きします。学校教育終了後の進路を考えるにあたって、どのような不安を持っていますか(どのような不安を持っていましたか)。(あてはまるものすべてに○)

学校教育終了後の進路を考えるにあたっての不安についてみると、全体では「会社・役所などに就職することについて」が 57.4%で最も高く、次いで「就労に向けて専門機関の支援を受けられるかどうか」が 36.4%、「職業訓練機関で個人の能力や技能を高められるかどうか」が 29.5%となっています。



◇学校教育終了後の不安「その他」の回答

内容
社会の理解
障害者でわからないからといって乱暴にあつかわれぬか心配
進路の選択肢自体がわからないので、全体的なビジョンを示してくれる場が欲しい。
障害が重くても働くことの価値や、作業を身に付けられる場所があるのか→意味ある場所、行くだけの場所ではなく。

障害別にみると、身体障害では「希望する入所施設に入所できるかどうか」、知的障害、精神障害では「会社・役所などに就職することについて」が最も高くなっています。

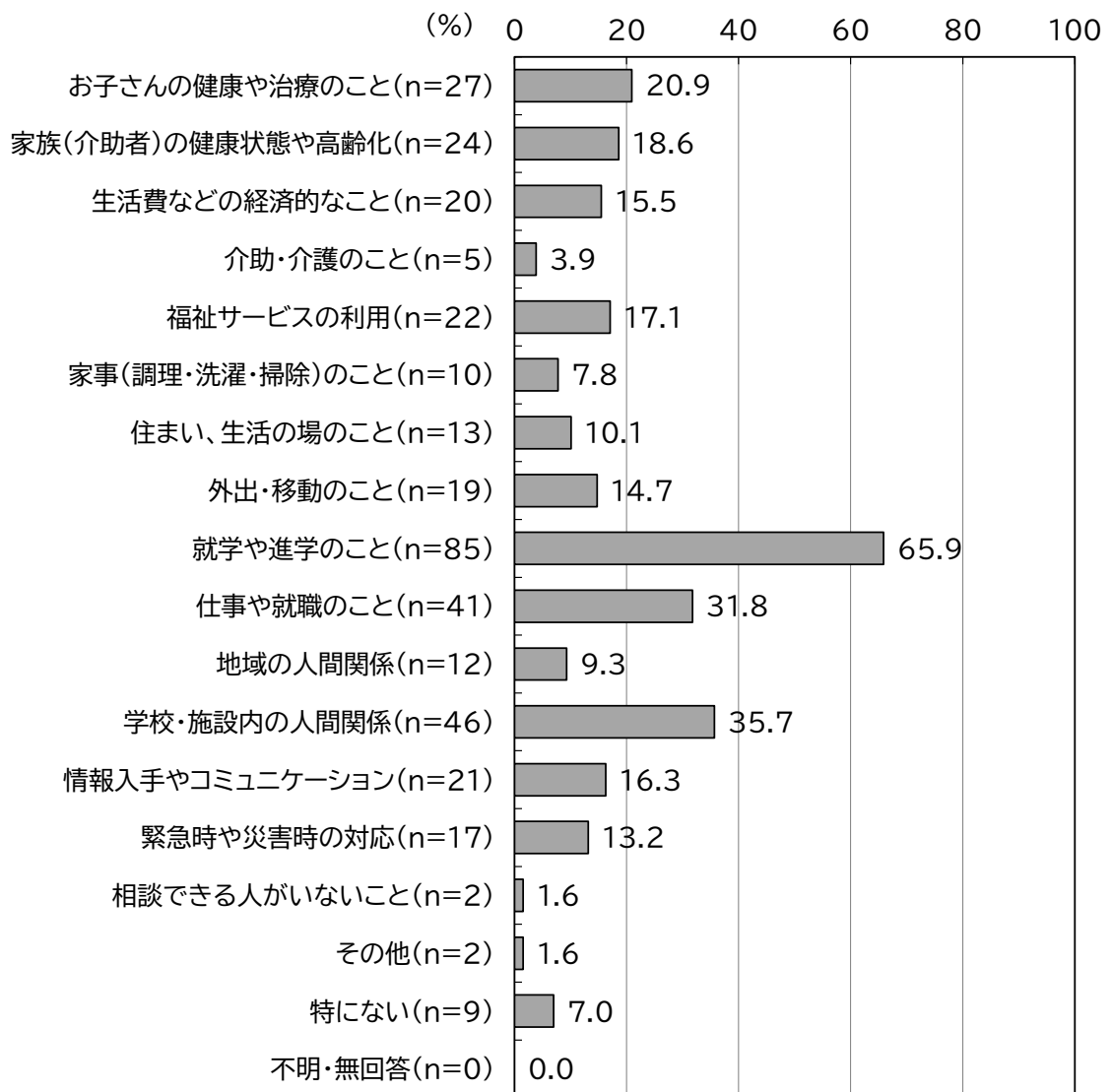
	(n)	会社・役所などに就職することについて	職業訓練機関で個人の能力や技能を高められるかどうか	就労に向けて専門機関の支援を受けられるかどうか	障害の特性に応じた福祉施設などに通所できるかどうか	レクリエーション・学習活動を行う施設を活用できるかどうか	希望する入所施設に入所できるかどうか	その他	特にない	不明・無回答	
全体	129	57.4	29.5	36.4	22.5	11.6	20.9	3.1	6.2	20.2	
障害別	身体障害	11	36.4	18.2	9.1	36.4	9.1	45.5	9.1	0.0	18.2
	知的障害	51	56.9	39.2	52.9	41.2	23.5	39.2	5.9	0.0	9.8
	精神障害	10	80.0	30.0	40.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0

9. 相談について

問 27 お子さんが現在の生活で困っていることや不安に思っていることで、相談したいことは何ですか。(5つまで○)

相談したいことについてみると、全体では「就学や進学のこと」が 65.9%で最も高く、次いで「学校・施設内の人間関係」が 35.7%、「仕事や就職のこと」が 31.8%となっています。

(n=129)



◇現在の生活で困っていることや不安に思っていること「その他」の回答

内容
参加したくない授業があること
運動会などのながれに参加できるかどうか。

障害別にみると、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害で「就学や進学のこと」が最も高くなっています。

年代別にみると、12～14歳で特に「就学や進学のこと」が高く、15歳以上では「仕事や就職のこと」が高くなっています。

問27 現在の生活で困っていることや不安に思っていること①

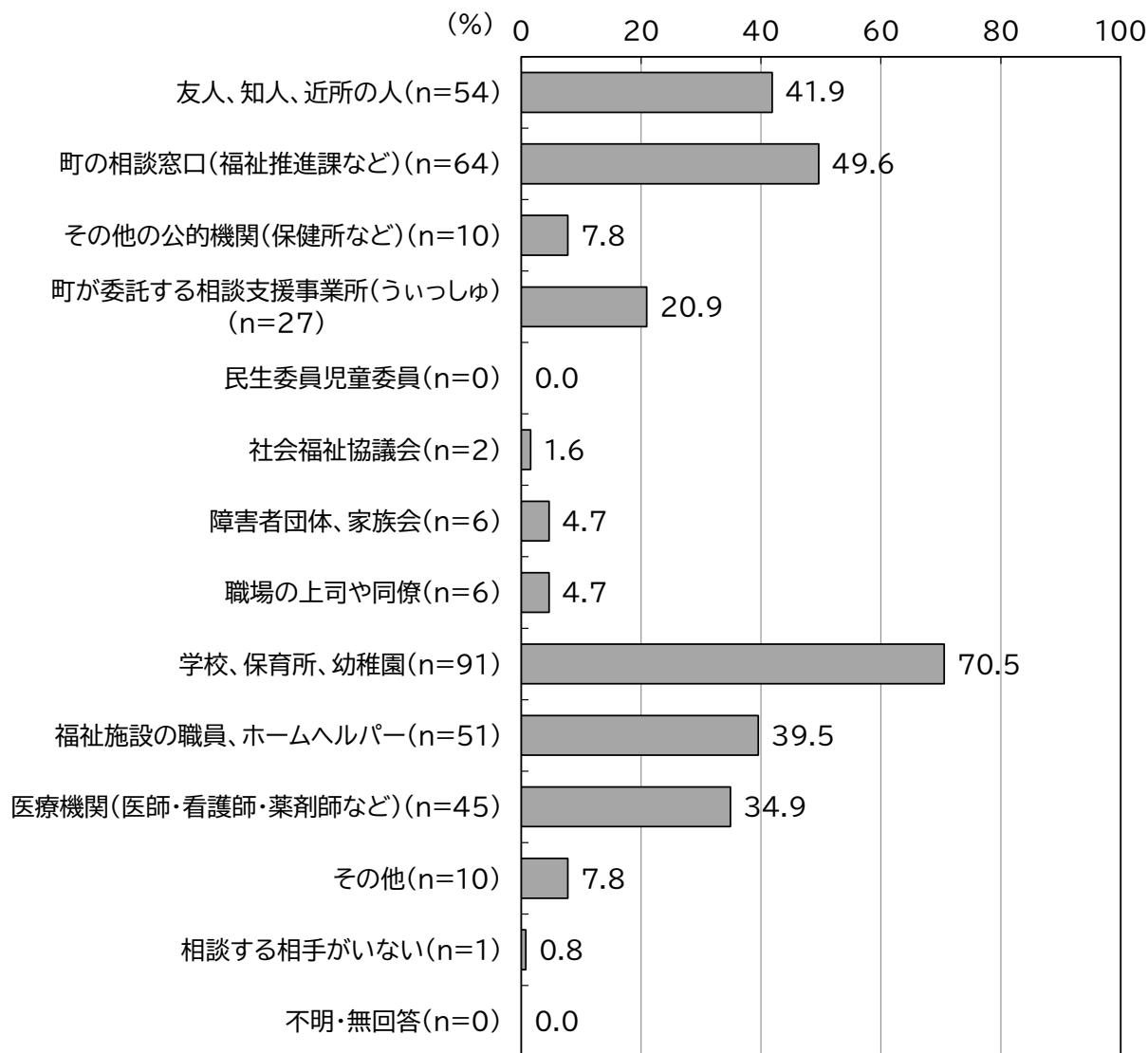
	(n)	お子さんの健康や治療のこと	家族（介助者）の健康状態や高齢化	生活費などの経済的なこと	介助・介護のこと	福祉サービスの利用	家事のこと	住まい、生活の場のこと	外出・移動のこと	就学や進学のこと	
全体	129	20.9	18.6	15.5	3.9	17.1	7.8	10.1	14.7	65.9	
障 害 別	身体障害	11	63.6	27.3	18.2	27.3	45.5	0.0	18.2	18.2	63.6
	視覚障害	4	25.0	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0
	聴覚・ 平衡機能障害	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	4	25.0	75.0	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	肢体不自由	8	75.0	37.5	37.5	37.5	62.5	0.0	25.0	25.0	50.0
	内部障害	5	60.0	40.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	80.0
	知的障害	51	15.7	21.6	23.5	7.8	23.5	7.8	15.7	19.6	58.8
	精神障害	10	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	60.0
	発達障害	90	15.6	21.1	13.3	3.3	15.6	7.8	8.9	12.2	64.4
	高次脳機能障害	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
年 代 別	0～5歳	39	17.9	10.3	10.3	0.0	12.8	0.0	5.1	10.3	56.4
	6～11歳	60	25.0	20.0	18.3	5.0	23.3	10.0	11.7	18.3	71.7
	12～14歳	13	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	15.4	92.3
	15歳以上	17	11.8	29.4	17.6	5.9	11.8	11.8	17.6	11.8	47.1

問 12 地域で生活するために必要なこと②

	(n)	仕事や就職のこと	地域の人間関係	学校・施設内の人間関係	情報入手やコミュニケーション	緊急時や災害時の対応	相談できる人がいないこと	その他	特にない	不明・無回答
全体	129	31.8	9.3	35.7	16.3	13.2	1.6	1.6	7.0	0.0
障 害 別	身体障害	11	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0
	視覚障害	4	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚・ 平衡機能障害	2	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由	8	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0
	内部障害	5	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害	51	49.0	11.8	23.5	19.6	19.6	3.9	0.0	0.0
	精神障害	10	30.0	0.0	50.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0
	発達障害	90	34.4	8.9	36.7	20.0	11.1	1.1	2.2	8.9
	高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	0～5歳	39	12.8	12.8	33.3	15.4	15.4	0.0	2.6	17.9
	6～11歳	60	30.0	11.7	46.7	20.0	8.3	1.7	1.7	0.0
	12～14歳	13	53.8	0.0	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	64.7	0.0	5.9	17.6	23.5	5.9	0.0	11.8

問 28 お子さんのことで困ったことがあるとき、家族や親族以外で、だれに相談しますか。(5つまで○)

家族や親族以外で相談する方についてみると、全体では「学校、保育所、幼稚園」が70.5%と最も高く、次いで「町の相談窓口」が49.6%、「友人、知人、近所の人」が41.9%となっています。
(n=129)



◇家族や親族以外の相談相手「その他」の回答

内 容	
放課後デイの職員	療育機関
支援に入れている子の親	療育の職員
教育センターの臨床心理士さん	療育機関の先生
事業所の先生	

障害別にみると、身体障害では「医療機関」、知的障害では「学校、保育所、幼稚園」、精神障害では「学校、保育所、幼稚園」「医療機関」が最も高くなっています。

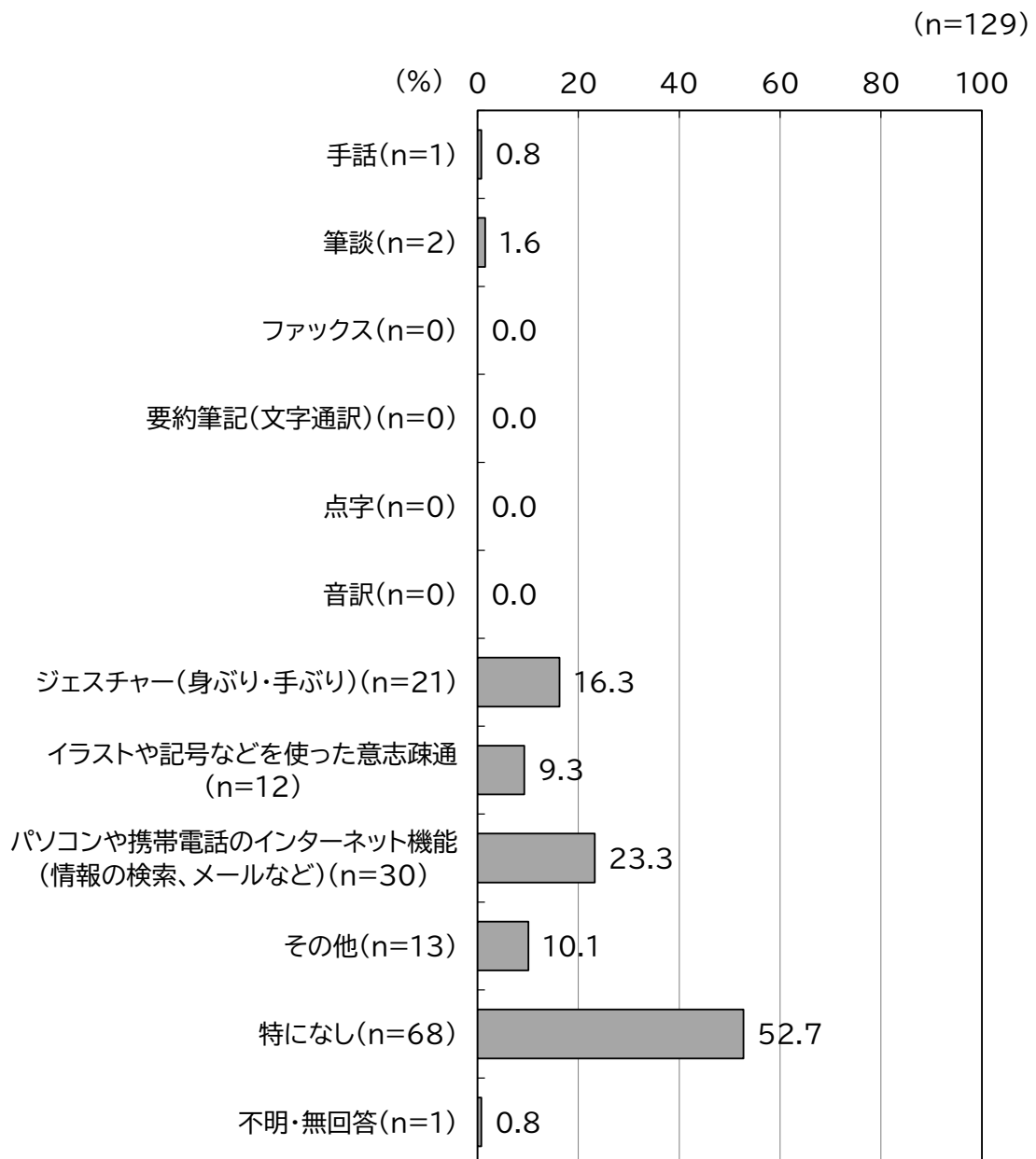
年代別にみると、0～5歳では「町の相談窓口」、それ以外の年代では「学校、保育所、幼稚園」が最も高くなっています。

		(n)	友人、知人、近所の人	町の相談窓口	その他の公的機関	町が委託する相談支援事業所	民生委員児童委員	社会福祉協議会	障害者団体、家族会
全体		129	41.9	49.6	7.8	20.9	0.0	1.6	4.7
障害別	身体障害	11	36.4	36.4	36.4	9.1	0.0	0.0	18.2
	知的障害	51	39.2	49.0	9.8	19.6	0.0	2.0	7.8
	精神障害	10	30.0	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0
年代別	0～5歳	39	35.9	71.8	7.7	23.1	0.0	5.1	0.0
	6～11歳	60	51.7	46.7	6.7	23.3	0.0	0.0	5.0
	12～14歳	13	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7
	15歳以上	17	35.3	29.4	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8
		(n)	職場の上司や同僚	学校、保育所、幼稚園	ホームヘルパー 福祉施設の職員、	医療機関	その他	相談する相手がない	不明・無回答
全体		129	4.7	70.5	39.5	34.9	7.8	0.8	0.0
障害別	身体障害	11	9.1	45.5	27.3	54.5	18.2	9.1	0.0
	知的障害	51	9.8	64.7	43.1	37.3	3.9	2.0	0.0
	精神障害	10	10.0	70.0	20.0	70.0	30.0	0.0	0.0
年代別	0～5歳	39	5.1	69.2	43.6	17.9	7.7	0.0	0.0
	6～11歳	60	1.7	73.3	43.3	45.0	5.0	0.0	0.0
	12～14歳	13	0.0	84.6	38.5	38.5	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	17.6	52.9	17.6	35.3	23.5	5.9	0.0

10. 情報・コミュニケーションについて

問 29 お子さんは、情報の入手や、周囲の人とのコミュニケーションのために、どのような手段を使いますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手や、コミュニケーションのために使う手段についてみると、全体では「特になし」が52.7%で最も高く、次いで「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が23.3%、「ジェスチャー」が16.3%となっています。



◇情報入手やコミュニケーションの手段「その他」の回答。

内 容	
言葉で伝えますが、要求のみで気持ちや難しい事(状態や原因、理由など)伝える事が難しい。	本人なりに頑張って話したり、ジェスチャーをしてくれるが、中々伝えるのは難しい。
話す	母に頼む
言葉	クレーン
会話	ひらがな表で意志を伝達
会話、テレビ	口頭で伝えることができる。
普通に会話で行ってます。	

障害別にみると、精神障害では「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が7割と比較的高くなっています。

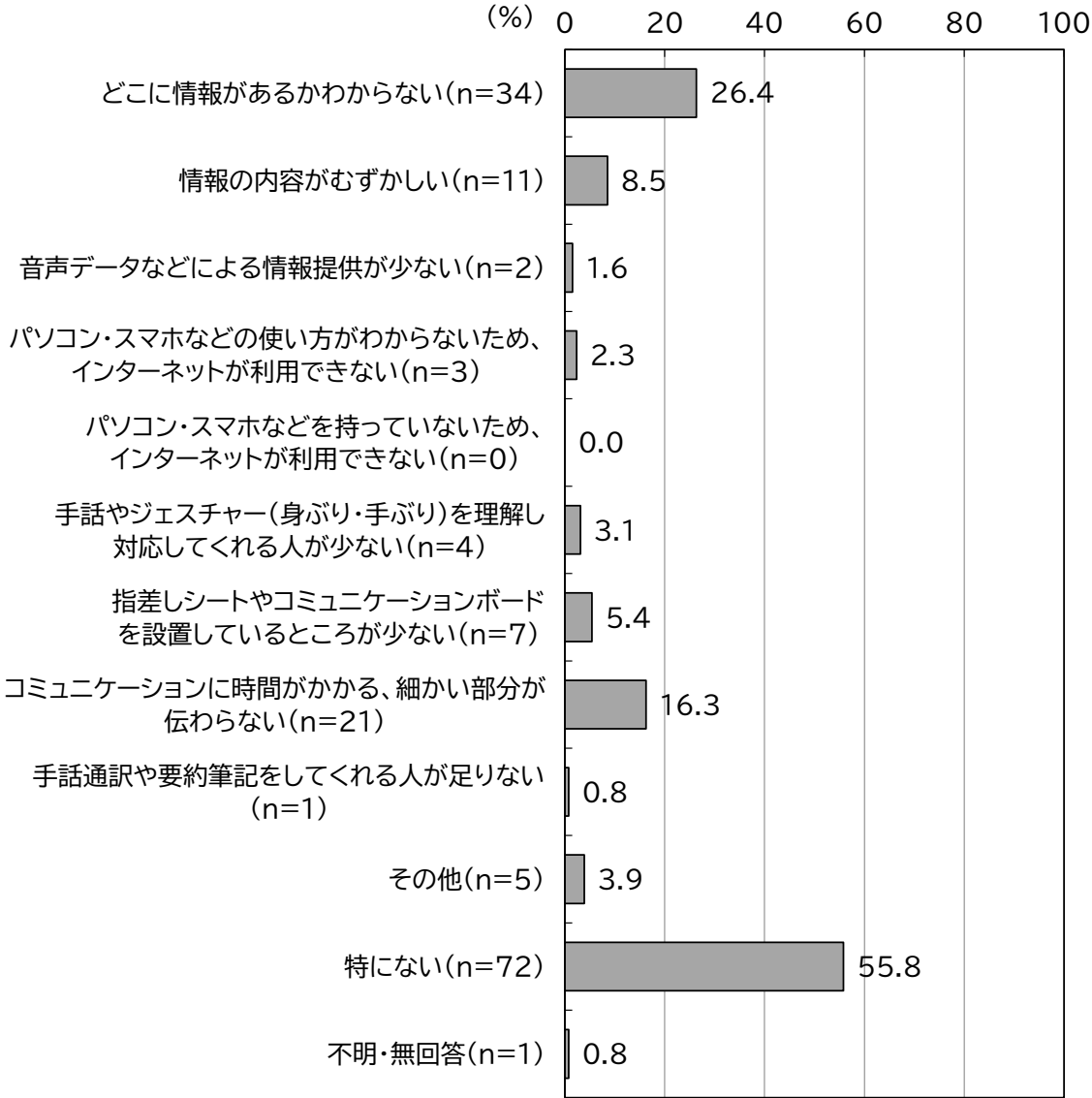
年代別にみると、12歳以上では「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が約5～6割と比較的高くなっています。

		(n)	手話	筆談	ファックス	要約筆記(文字通訳)	点字	音訳	ジェスチャー	イラストや記号などを使った意志疎通	パソコンや携帯電話のインターネット機能	その他	特になし	不明・無回答
全体		129	0.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3	9.3	23.3	10.1	52.7	0.8
障 害 別	身体障害	11	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	18.2	0.0	9.1	63.6	0.0
	知的障害	51	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.5	15.7	25.5	9.8	43.1	0.0
	精神障害	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	30.0	0.0
年 代 別	0～5歳	39	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	12.8	0.0	10.3	56.4	2.6
	6～11歳	60	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	23.3	11.7	60.0	0.0
	12～14歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	7.7	30.8	0.0
	15歳以上	17	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	5.9	47.1	5.9	35.3	0.0

問 30 お子さんのことで、福祉に関する情報の入手や、周囲の人とのコミュニケーションについて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手や、コミュニケーションで困っていることについてみると、全体では「特にない」が55.8%で最も高く、次いで「どこに情報があるかわからない」が26.4%、「コミュニケーションに時間がかかる、細かい部分が伝わらない」が16.3%となっています。

(n=129)



◇情報入手やコミュニケーションについて困ること「その他」の回答

内 容
小さい為、マークや標識などがあると良い。
まだ利用することが少ないのでよくわからない。
利用者の声が聞きたい。子供の障害程度と合わない。
相談支援の担当者に相談・情報共有しても有意義な回答や意見が得られない。

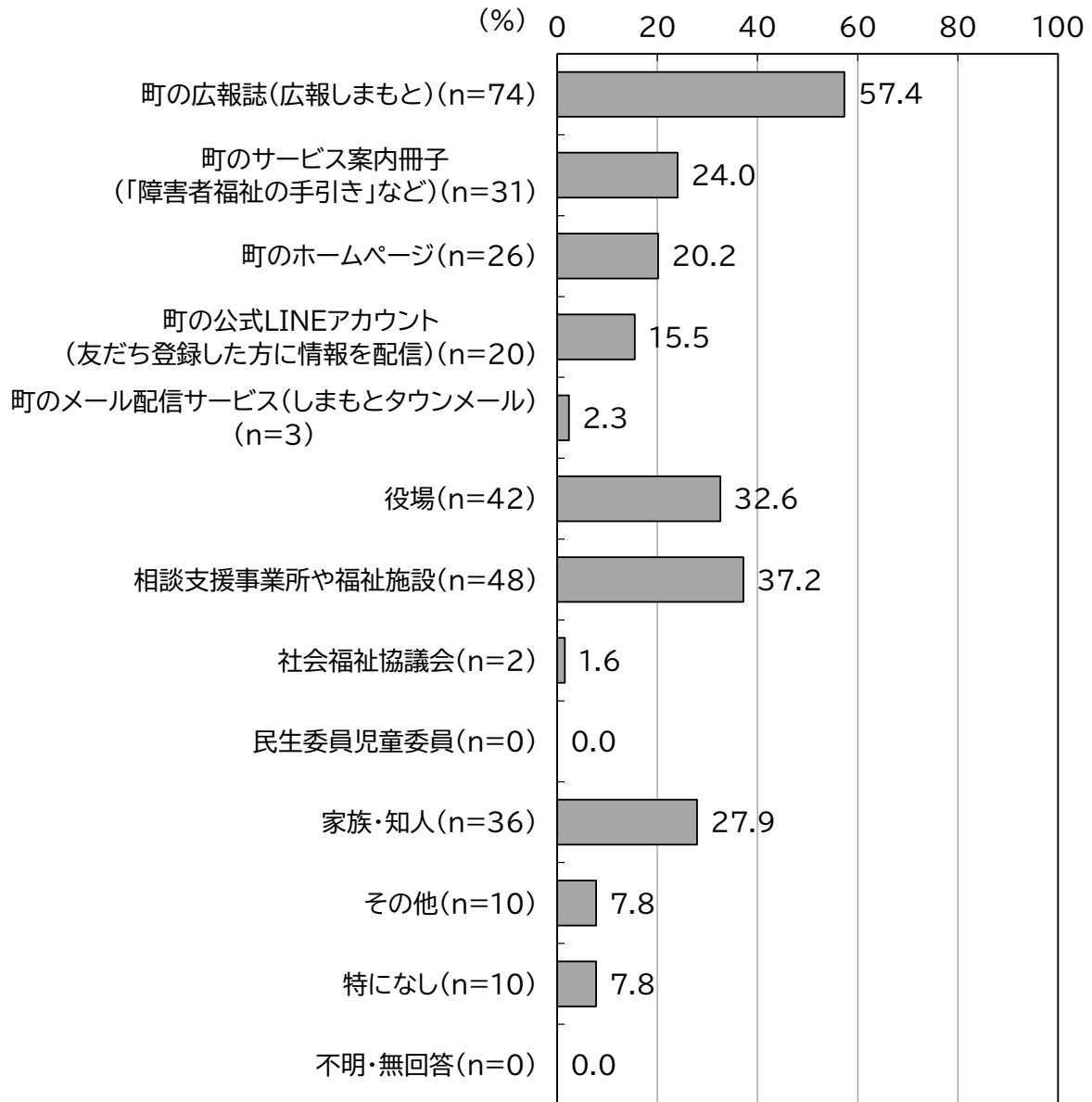
障害別にみると、身体障害では「どこに情報があるかわからない」が最も高くなっています。
 年代別にみると、12～14歳では「どこに情報があるかわからない」が最も高く、それ以外の年代
 では「特にない」がもっとも高くなっています。

		(n)	どこに情報があるかわからない	情報の内容がむずかしい	音声データなどによる情報提供が少ない	パソコン・スマホなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない	パソコン・スマホなどを持っていないため、インターネットが利用できない	手話やジェスチャーを理解し対応してくれる人が少ない	指差しシートやコミュニケーションボードを設置しているところが少ない	細かい部分が伝わらない	コミュニケーションに時間がかかる、	手話通訳や要約筆記をしてくれる人が足りない	その他	特にない	不明・無回答
全体		129	26.4	8.5	1.6	2.3	0.0	3.1	5.4	16.3	0.8	3.9	55.8	0.8	
障 害 別	身体障害	11	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	
	知的障害	51	35.3	11.8	3.9	5.9	0.0	5.9	11.8	23.5	2.0	3.9	43.1	0.0	
	精神障害	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	70.0	0.0	
年 代 別	0～5歳	39	15.4	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	5.1	25.6	0.0	2.6	59.0	2.6	
	6～11歳	60	28.3	10.0	1.7	3.3	0.0	3.3	6.7	11.7	0.0	6.7	55.0	0.0	
	12～14歳	13	53.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	30.8	0.0	
	15歳以上	17	23.5	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	70.6	0.0	

問 31 地域での生活や福祉サービスに関する情報を、どこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

情報をどこから得ているかについてみると、全体では「町の広報誌」が57.4%で最も高く、次いで「相談支援事業所や福祉施設」が37.2%、「役場」が32.6%となっています。

(n=129)



◇情報の入手先「その他」の回答

内 容	
学校	保育所
放デイ	保育所の先生
放課後デイのスタッフ	療育施設の先生
保険師さんに相談	サークル仲間
小学生以降の学童期の福祉サービスがあまりない。	カンガルー教室 OB 会

障害別・年代別にみると、いずれも「町の広報誌」が最も高くなっていますが、精神障害では「役場」、15歳以上では「町のサービス案内冊子」も同率で最も高くなっています。

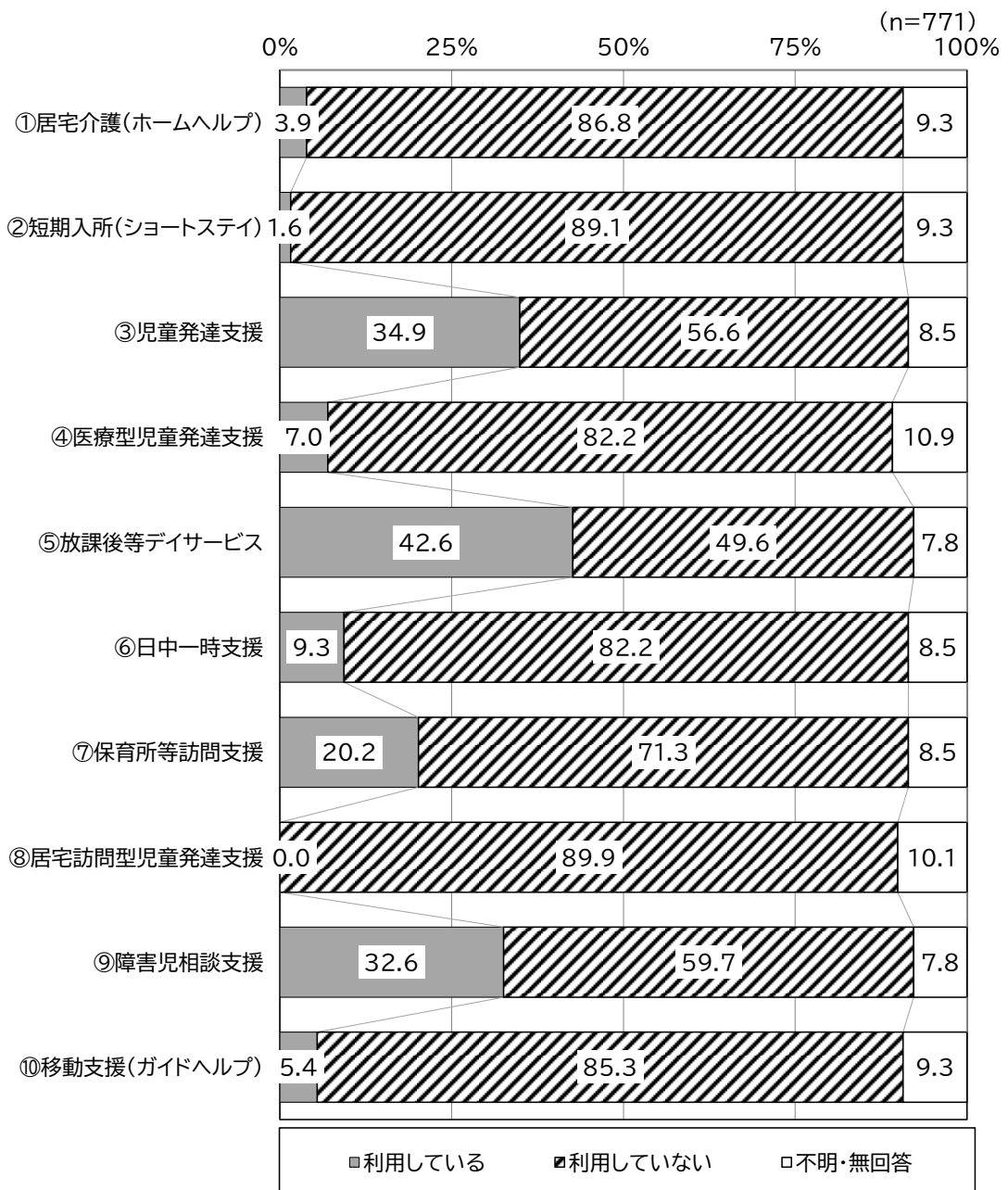
		(n)	町の広報誌	町のサービス案内冊子	町のホームページ	町の公式LINEアカウント	町のメール配信サービス	役場	相談支援事業所や福祉施設	社会福祉協議会	民生委員児童委員	家族・知人	その他	特になし	不明・無回答
全体		129	57.4	24.0	20.2	15.5	2.3	32.6	37.2	1.6	0.0	27.9	7.8	7.8	0.0
障 害 別	身体障害	11	45.5	27.3	27.3	9.1	9.1	18.2	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	36.4	0.0
	知的障害	51	58.8	33.3	21.6	13.7	3.9	27.5	43.1	2.0	0.0	29.4	3.9	11.8	0.0
	精神障害	10	50.0	20.0	10.0	20.0	0.0	50.0	30.0	0.0	0.0	40.0	10.0	10.0	0.0
年 代 別	0～5歳	39	53.8	12.8	28.2	17.9	0.0	38.5	35.9	2.6	0.0	17.9	7.7	5.1	0.0
	6～11歳	60	65.0	30.0	18.3	13.3	0.0	35.0	41.7	1.7	0.0	33.3	10.0	5.0	0.0
	12～14歳	13	61.5	15.4	0.0	15.4	7.7	7.7	53.8	0.0	0.0	38.5	7.7	0.0	0.0
	15歳以上	17	35.3	35.3	23.5	17.6	11.8	29.4	11.8	0.0	0.0	23.5	0.0	29.4	0.0

11. 福祉サービスの利用について

問 32 お子さんは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えるか。(①から⑩のそれぞれについて、「現在の利用」、「今後3年以内の利用予定」についてを回答(番号に○)してください)

【現在の利用】

現在利用しているサービスでは、「放課後等デイサービス」が42.6%、「児童発達支援」が34.9%、「障害児相談支援」が32.6%、「保育所等訪問支援」が20.2%と高くなっています。



【今後3年以内の利用予定】

今後3年以内の利用予定についてみると、「今よりも利用を増やす予定」は「障害児相談支援」が33.3%、「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」がともに21.7%と高くなっています。また、「今よりも利用を減らす予定」では、「放課後等デイサービス」が5.4%、「児童発達支援」が3.9%、「医療型児童発達支援」が0.8%となっています。

(n=129)	今よりも利用を増やす予定	今と同じくらい利用する予定	今よりも利用を減らす予定	利用予定がない	不明・無回答
①居宅介護（ホームヘルプ）	2.3	2.3	0.0	76.0	19.4
②短期入所（ショートステイ）	6.2	1.6	0.0	69.8	22.5
③児童発達支援	2.3	19.4	3.9	46.5	27.9
④医療型児童発達支援	0.8	5.4	0.8	62.8	30.2
⑤放課後等デイサービス	21.7	30.2	5.4	20.9	21.7
⑥日中一時支援	7.0	7.8	0.0	55.0	30.2
⑦保育所等訪問支援	21.7	0.0	0.0	45.7	32.6
⑧居宅訪問型児童発達支援	0.8	0.0	0.0	61.2	38.0
⑨障害児相談支援	33.3	0.0	0.0	34.9	31.8
⑩移動支援（ガイドヘルプ）	7.0	3.1	0.0	51.9	38.0

【利用予定がない理由】

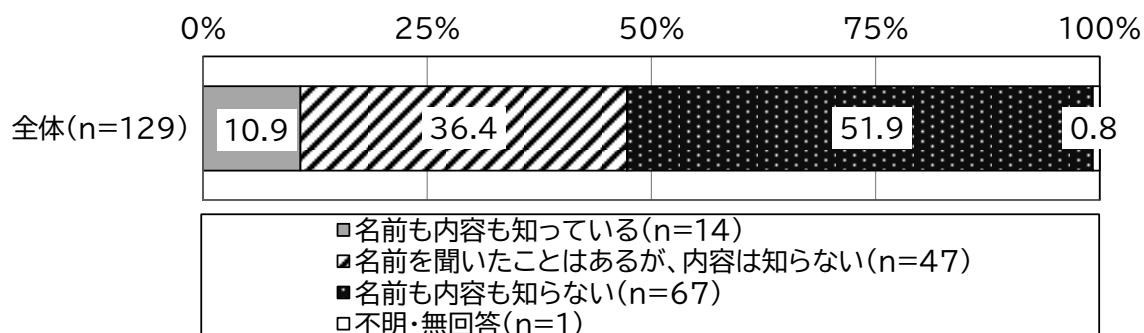
利用予定がない理由についてみると、すべてのサービスで「サービスを受ける必要がないため」がもっとも高くなっています。

	サービスを受ける必要がないため	対象者に含まれないため (障害要件が合致しないため)	既に別のサービスの提供を受けているため	サービス利用時間の都合が合わないため	サービス提供場所が近くにないため	利用料金がかかるため	その他	不明・無回答
①居宅介護(ホームヘルプ) (n=98)	78.6	8.2	2.0	1.0	0.0	0.0	5.1	5.1
②短期入所(ショートスイ) (n=90)	76.7	8.9	1.1	1.1	0.0	0.0	6.7	5.6
③児童発達支援 (n=60)	48.3	43.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	6.7
④医療型児童発達支援 (n=81)	63.0	16.0	2.5	1.2	1.2	2.5	6.2	7.4
⑤放課後等デイサービス (n=27)	37.0	25.9	3.7	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1
⑥日中一時支援 (n=71)	66.2	7.0	2.8	1.4	4.2	0.0	9.9	8.5
⑦保育所等訪問支援 (n=59)	61.0	18.6	3.4	0.0	1.7	0.0	11.9	3.4
⑧居宅訪問型児童発達支援 (n=79)	65.8	22.8	1.3	0.0	0.0	1.3	3.8	5.1
⑨障害児相談支援 (n=45)	64.4	6.7	4.4	0.0	4.4	2.2	11.1	6.7
⑩移動支援(ガイドヘルプ) (n=67)	71.6	11.9	1.5	1.5	0.0	1.5	4.5	7.5

12. 障害者理解・権利擁護について

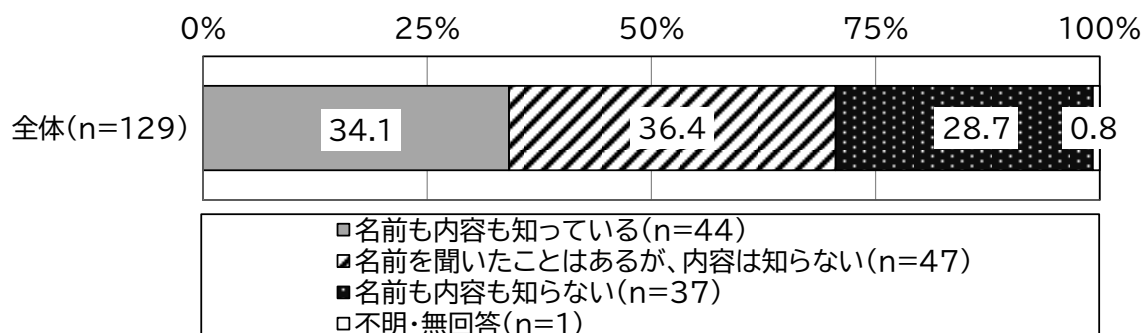
問 33 「障害者差別解消法」は、障害を理由とする差別の解消の推進を目的として、平成 28 年 4 月に施行、令和 3 年 5 月に改正されました。この法律について知っていますか。(1つに○)

「障害者差別解消法」の認知度についてみると、「名前も内容も知らない」が 51.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 36.4%となっています。



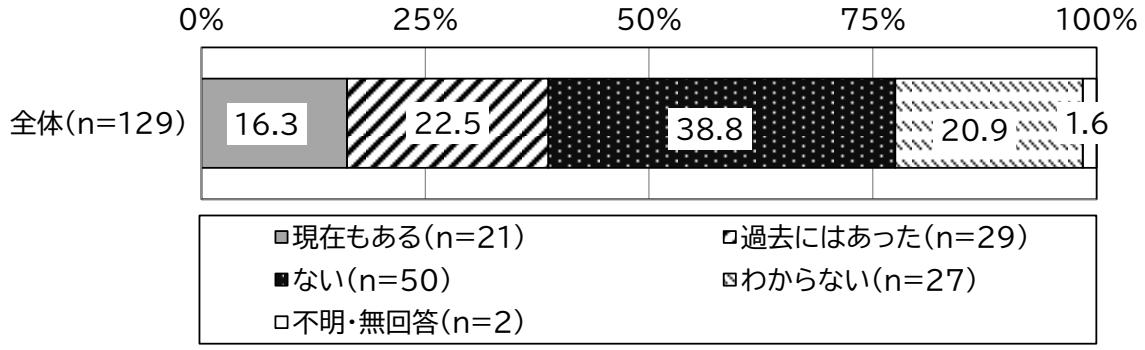
問 34 「合理的配慮」を知っていますか。(1つに○)

「合理的配慮」の認知度についてみると、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 36.4%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」が 34.1%となっています。



問 35 お子さんは、障害があることで差別されたり、嫌な思いをしたことがありますか。
(1つに○)

差別経験についてみると、全体では「ない」が 38.8%と最も高く、次いで「過去にはあった」が 22.5%、「わからない」が 20.9%となっています。



障害別にみると、精神障害では「過去にはあった」が最も高くなっています。
年代別にみると、0～5歳では「ない」が6割を超えて最も高くなっていますが、12～14歳では「過去にはあった」が最も高くなっています。

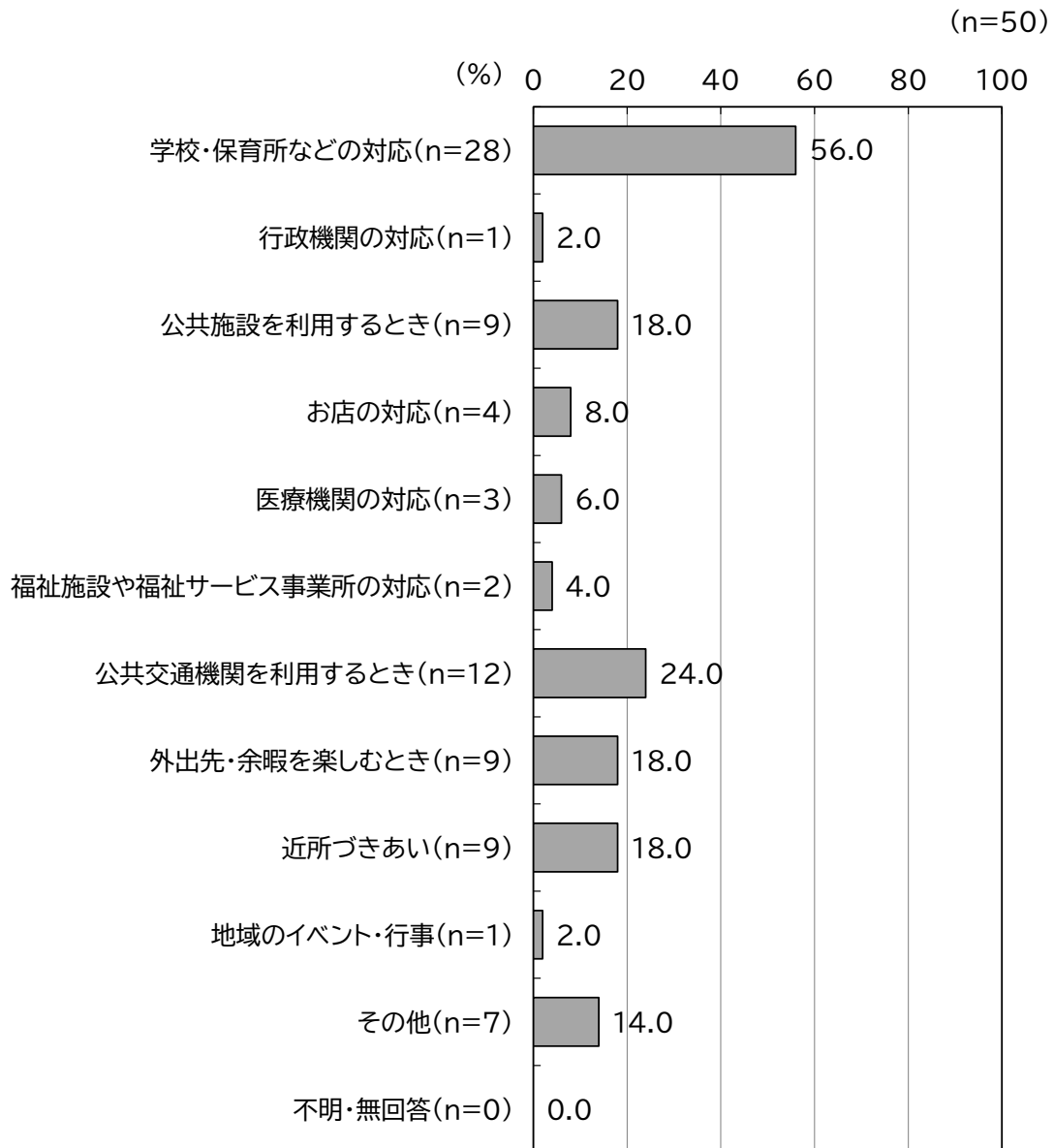
		(n)	現在もある	過去にはあった	ない	わからない	不明・無回答
全体		129	16.3	22.5	38.8	20.9	1.6
障害別	身体障害	11	27.3	0.0	45.5	27.3	0.0
	知的障害	51	23.5	29.4	29.4	15.7	2.0
	精神障害	10	10.0	60.0	10.0	20.0	0.0
年代別	0～2歳	39	7.7	7.7	61.5	23.1	0.0
	3～5歳	60	25.0	23.3	28.3	20.0	3.3
	6～8歳	13	7.7	46.2	23.1	23.1	0.0
	15歳以上	17	11.8	35.3	35.3	17.6	0.0

【問 35 で「現在もある」または「過去にはあった」と答えた方にお聞きします】

問 36 差別や嫌な思いについて、具体的に、どのような場面（場所）で、どのようなことがありましたか。（①②それぞれについて、あてはまるものすべてに○）

【①どのような場面（場所）で】

差別経験がどのような場面（場所）かについてみると、「学校・保育所などの対応」が 56.0%と最も高く、次いで「公共交通機関を利用するとき」が 24.0%となっています。

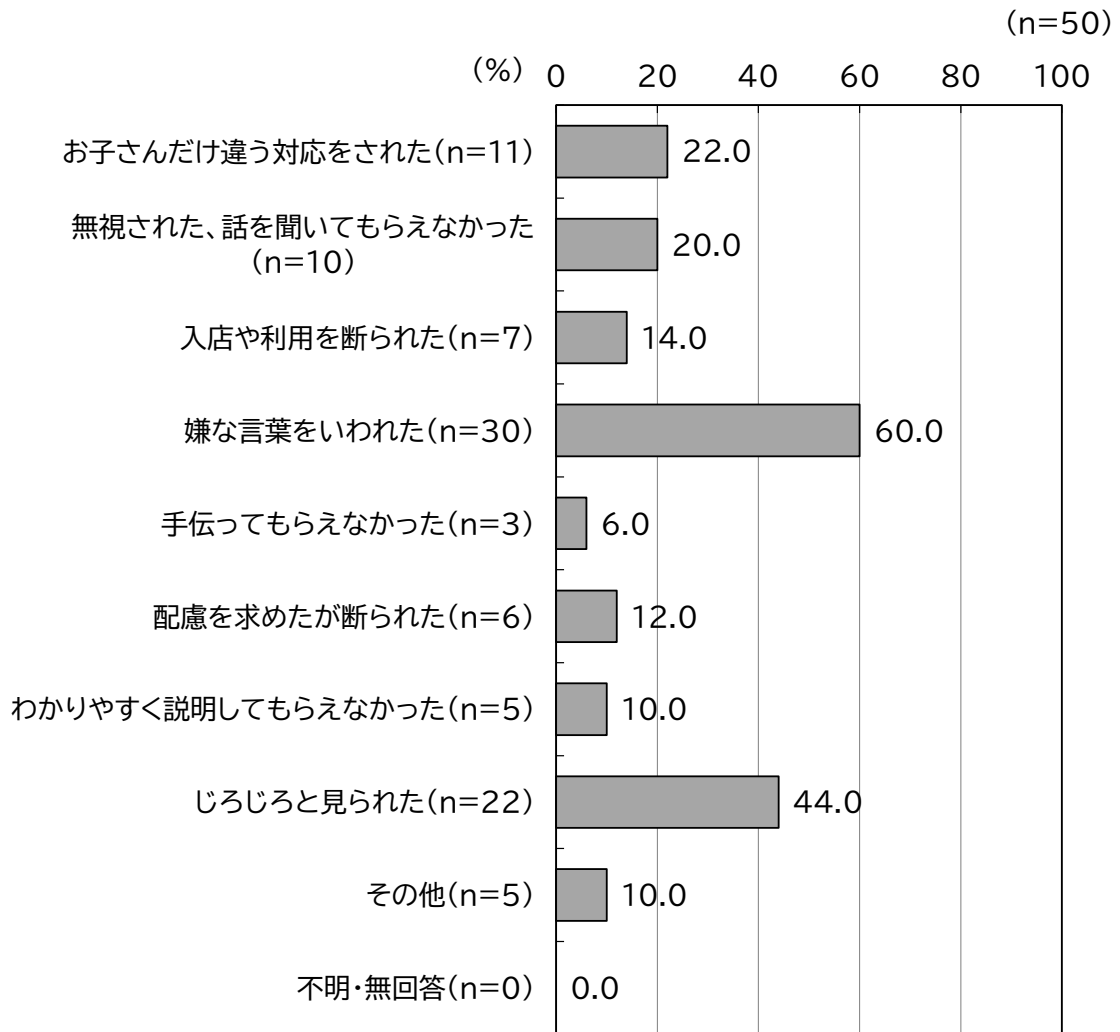


◇差別や嫌な思いの経験 ①どのような場面で「その他」の回答

内容
学校生活で
小学校の年上の子供
スイミングスクール
私立幼稚園で入園面談時
面倒くさそうな対応をされた。「〇〇ちゃんはこっち側(障害有)として育ててね」と言われた。

【②どのような内容か】

差別経験の内容についてみると、「嫌な言葉をいわれた」が60.0%と最も高く、次いで「じろじろと見られた」が44.0%となっています。

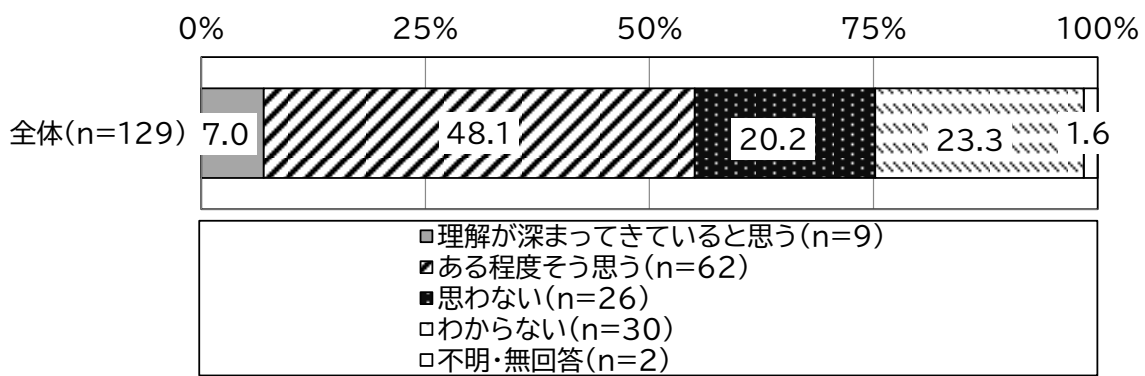


◇差別や嫌な思いの経験 ②どのような内容か「その他」の回答

内容
学校の友達
登校班内でのトラブル
危険視されたトラブルを起こしそう等
保育所で、他の児童に心ない言葉をかけられた。
昨年、小学校担任より皆の前で叱責されることが多く、つらかった。
同級生とのコミュニケーションがとりにくかった為、年の小さい子とか遊べなかった。

問 37 地域や周囲の人の「障害」や「障害のある人」に対する理解が深まっていると思いますか。(1つに○)

障害がある人に対する理解が深まっていると思うかについてみると、全体では「ある程度そう思う」が48.1%と最も高く、次いで「わからない」が23.3%、「思わない」が20.2%となっています。



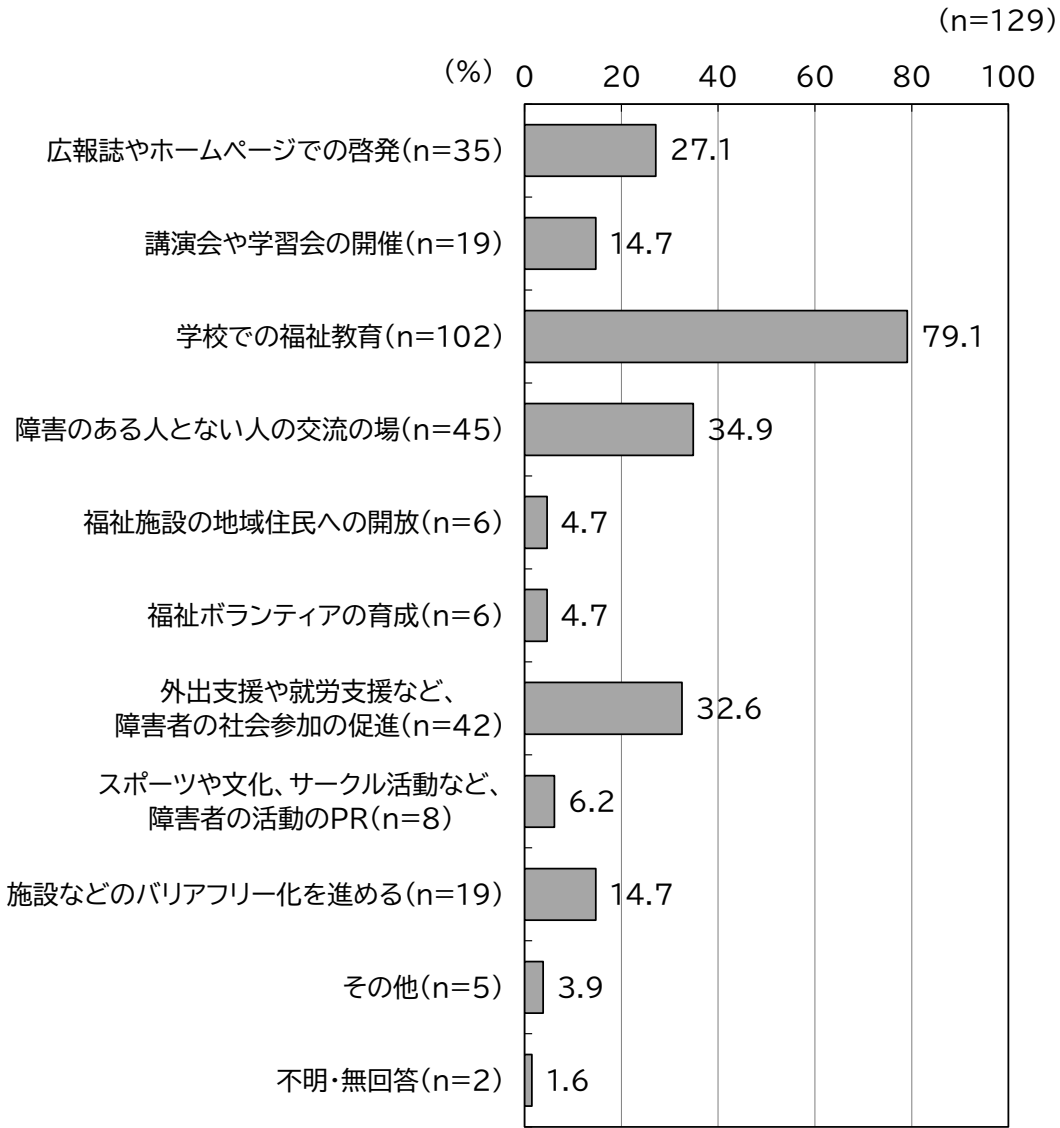
障害別にみると、いずれも「ある程度そう思う」が最も高くなっていますが、身体障害では「わからない」、精神障害では「思わない」が同率となっています。

年代別にみると、12～14歳では「思わない」が3割と比較的高くなっています。

		(n)	理解が深まってきていると思う	ある程度そう思う	思わない	わからない	不明・無回答
全体		129	7.0	48.1	20.2	23.3	1.6
障害別	身体障害	11	0.0	45.5	9.1	45.5	0.0
	知的障害	51	7.8	39.2	27.5	21.6	3.9
	精神障害	10	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
年代別	0～2歳	39	7.7	46.2	12.8	30.8	2.6
	3～5歳	60	8.3	48.3	23.3	18.3	1.7
	6～8歳	13	0.0	61.5	30.8	7.7	0.0
	15歳以上	17	5.9	41.2	17.6	35.3	0.0

問 38 地域や周囲の人の「障害」や「障害のある人」への理解を深め、差別や偏見をなくすためには、何が必要だと思いますか。(3つまで○)

差別や偏見をなくすために必要なことについてみると、「学校での福祉教育」が79.1%と最も高く、次いで「障害のある人となない人の交流の場」が34.9%、「外出支援や就労支援など障害者の社会参加の促進」が32.6%となっています。



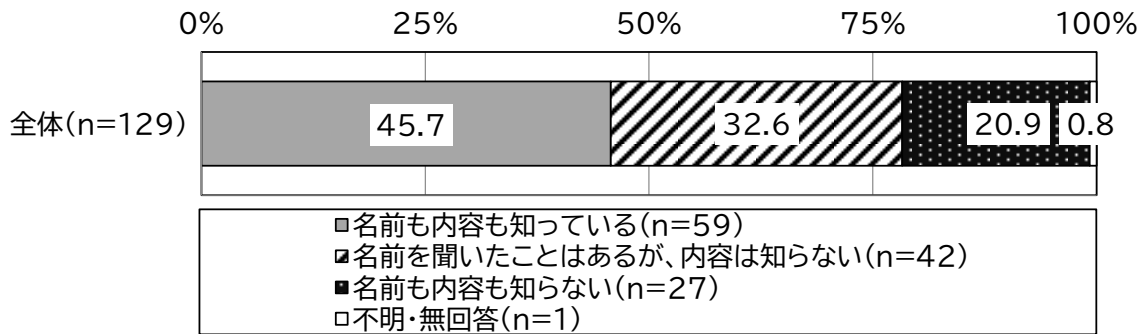
◇差別や偏見をなくすには何が必要か「その他」の回答

内容
なくすのは難しいと思う
完全なるインクルーシブ社会
他人事から自分のことへ意識がかわるような啓発活動
保育所、学校への受け入れ拡充、職員教育(役所も含め)
公務員の理解、教育委員会などは率先すべき、学校側ががんばっても、こっちは他人ごとのような扱いをすることがある。

問 39 知的障害や精神障害、認知症などにより、判断能力が十分でない人の権利や財産を守り、日常生活を支援する制度として、「成年後見制度」があります。あなたはこの制度のことを知っていますか？ また、利用したいと思いますか？ (①②それぞれについて、1つに○)

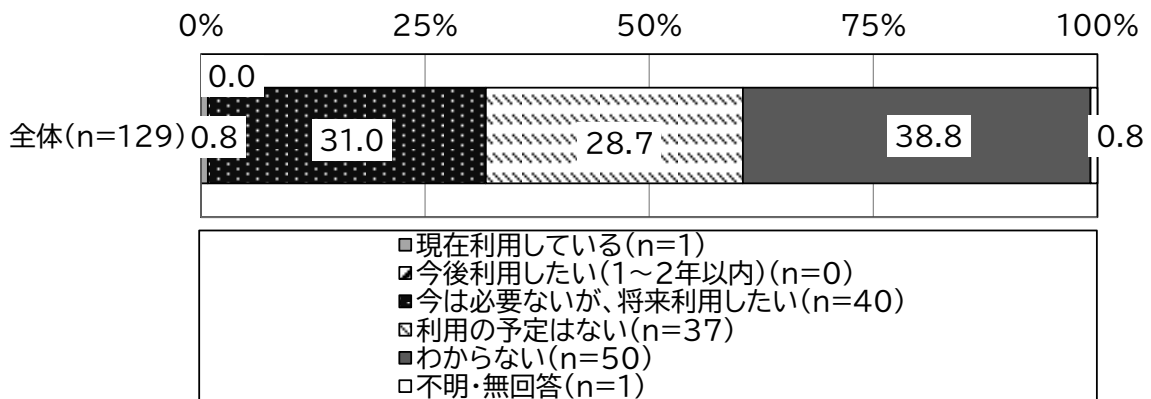
【①知っているか】

成年後見制度の認知度についてみると、「名前も内容も知っている」が45.7%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が32.6%となっています。



【②利用したいと思うか】

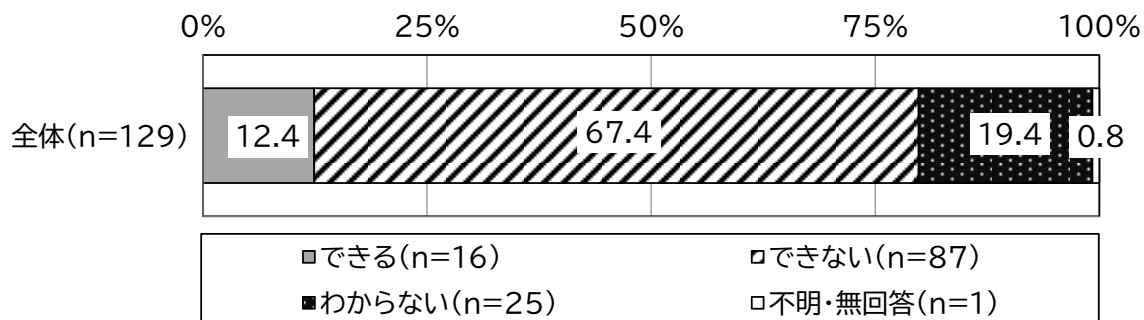
成年後見制度の利用意向についてみると、「わからない」が38.8%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用したい」が31.0%となっています。



13. 災害時の対応について

問40 お子さんは、水害や地震などの災害時に、一人で避難できますか。(1つに○)

災害時に一人で避難できるかについてみると、全体では「できない」が67.4%と最も高く、次いで「わからない」が19.4%となっています。



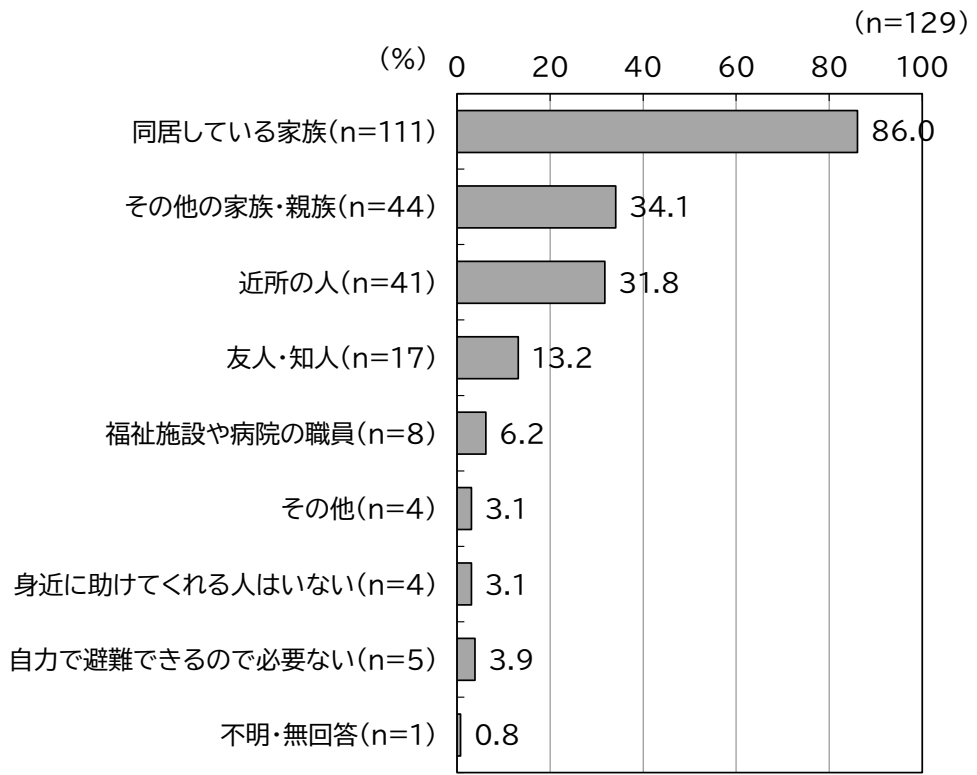
障害別にみると、身体障害では「できない」が8割を超えて高くなっています。

年代別にみると、年齢が低いほど「できない」の割合が高く、「できる」の割合が低くなっています。

		(n)	できる	できない	わからない	不明・無回答
全体		129	12.4	67.4	19.4	0.8
障害別	身体障害	11	18.2	81.8	0.0	0.0
	知的障害	51	13.7	68.6	15.7	2.0
	精神障害	10	40.0	50.0	10.0	0.0
年代別	0～2歳	39	2.6	87.2	7.7	2.6
	3～5歳	60	6.7	70.0	23.3	0.0
	6～8歳	13	23.1	46.2	30.8	0.0
	15歳以上	17	47.1	29.4	23.5	0.0

問 41 災害で避難が必要なときに、身近にお子さんを助けてくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

身近に助けてくれる人がいるかについてみると、全体では「同居している家族」が 86.0%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が 34.1%、「近所の人」が 31.8%となっています。



◇災害時に身近に助けてくれる人はいるか「その他」の回答

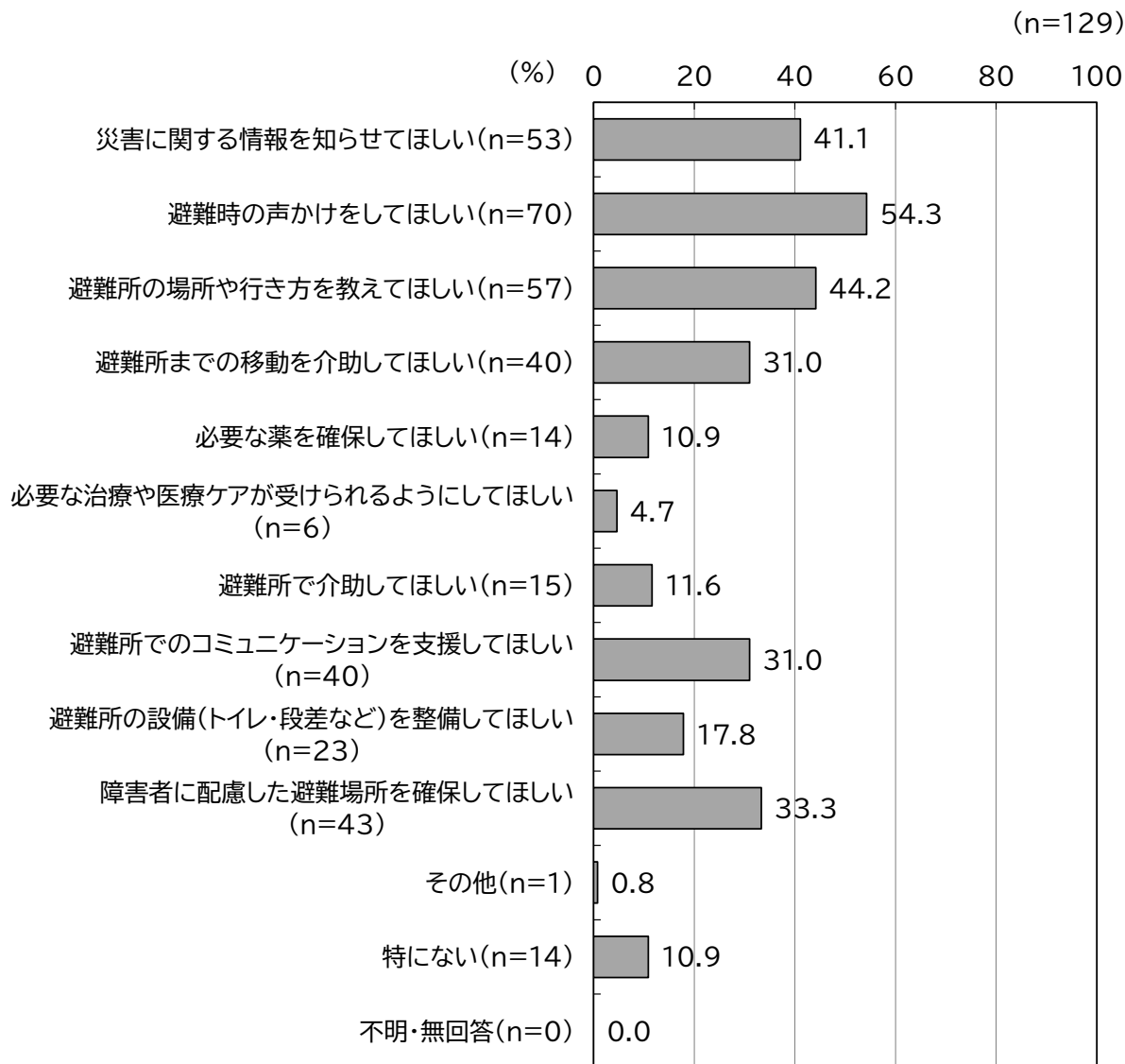
内容	
保育所職員	保育所の先生
保育所・事業所	

障害別・年代別にみると、いずれも「同居している家族」が最も高くなっています。

	(n)	同居している家族	その他の家族・親族	近所の人	友人・知人	福祉施設や病院の職員	その他	ない	身近に助けてくれる人はいない	自力で避難できるので必要ない	不明・無回答
全体	129	86.0	34.1	31.8	13.2	6.2	3.1	3.1	3.9	0.8	
障害別	身体障害	11	90.9	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	知的障害	51	92.2	41.2	27.5	17.6	13.7	2.0	2.0	0.0	2.0
	精神障害	10	70.0	20.0	40.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0
年代別	0～5歳	39	74.4	35.9	20.5	7.7	0.0	5.1	7.7	0.0	2.6
	6～11歳	60	91.7	30.0	33.3	15.0	11.7	3.3	0.0	3.3	0.0
	12～14歳	13	100.0	38.5	53.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	82.4	41.2	35.3	17.6	5.9	0.0	5.9	17.6	0.0

問 42 お子さんのことで、災害時に支援してほしいことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

災害時に支援してほしいことについてみると、全体では「避難時に声かけをしてほしい」が 54.3%と最も高く、次いで「避難所の場所や行き方を教えてほしい」が 44.2%、「災害に関する情報を知らせてほしい」が 41.1%となっています。



◇災害時に支援してほしいこと「その他」の回答

内容
障害者家族のみが利用できる福祉避難所を作してほしいです。
・避難場所の個室化(家族や顔みしりの方等の少人数だけで使える)なるべく気をつかわなくてもよい。
・おもちゃや絵本、福祉支援者(スタッフ、保育師等)がいて下さると長期の時は助かるのでは。

障害別にみると、身体障害では「障害者に配慮した避難場所を確保してほしい」、知的障害では「避難時に声かけをしてほしい」、精神障害では「災害に関する情報を知らせてほしい」「避難時に声かけをしてほしい」が最も高くなっています。

年代別にみると、いずれも「避難時に声かけをしてほしい」が最も高くなっています。

		(n)	災害に関する情報を知らせてほしい	避難時の声かけをしてほしい	避難所の場所や行き方を教えてほしい	避難所までの移動を介助してほしい	必要な薬を確保してほしい	必要な治療や医療ケアが受けられるようにしてほしい	避難所で介助してほしい	避難所でのコミュニケーションを支援してほしい	避難所の設備を整備してほしい	障害者に配慮した避難場所を確保してほしい	その他	特にない	不明・無回答
全体		129	41.1	54.3	44.2	31.0	10.9	4.7	11.6	31.0	17.8	33.3	0.8	10.9	0.0
障害別	身体障害	11	0.0	27.3	9.1	27.3	36.4	18.2	27.3	9.1	36.4	45.5	0.0	9.1	0.0
	知的障害	51	41.2	58.8	41.2	35.3	9.8	9.8	19.6	45.1	21.6	56.9	0.0	5.9	0.0
	精神障害	10	60.0	60.0	40.0	30.0	0.0	0.0	10.0	50.0	10.0	30.0	0.0	30.0	0.0
年代別	0～5歳	39	28.2	41.0	30.8	20.5	10.3	0.0	5.1	20.5	15.4	23.1	2.6	17.9	0.0
	6～11歳	60	43.3	55.0	48.3	40.0	10.0	3.3	16.7	33.3	21.7	38.3	0.0	6.7	0.0
	12～14歳	13	69.2	76.9	69.2	38.5	7.7	7.7	7.7	61.5	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
	15歳以上	17	41.2	64.7	41.2	17.6	17.6	17.6	11.8	23.5	23.5	47.1	0.0	17.6	0.0

14. 自由意見

問 43 最後に、障害者福祉についてご意見、ご提案（町に伝えたいこと）がありましたら、自由にお書きください。

<障害や障害者への理解、啓発など>

- 障害者理解は学校や幼稚園(保育園)の先生レベルで差がなくなればお子さんへの周知、かかわり全てが変わってくるのかなと思う。数の正義みたいなところがあるので、仕方ありません。助けてあげたくなる、子供に育ててあげられたらと常に思います。
- 問38の地域や周囲の人の障害への理解については、興味が無かったり、自分の生活だけで精一杯の方には何をしても無理だと思います。格差社会？で誰もが自分だけで大変な世の中。相手の立場を考えるのは、なかなかむずかしいですし、税金を使ってサービスしてもらえことからズルイと思われることもあり、相手から歩みよりがなければ理解してもらえないとあきらめることは多いです。
- 発達障害の中でも、知的、身体的に健常者と差異を感じられない人は多く見られます。露見していないだけで、各々に努力を重ねてそれらをカバーしている人は多いと思います。目に見える障害者への配慮はわかりやすいのですが、いわゆるグレーゾーンの障害者への理解はまだ浸透していないように思います。うちの子の場合、多動と衝動を薬で抑えているの普段は他のお子さんと変わらないように見えます。薬の話をする、薬をのまないと手がつけられなくて危険のように思われることもあります。決して他人を害したりしません。自分が危ないだけで。(とびだしたり、危険物をさわってみたり)何も知らない人からすると、「できるだろう」と扱われるので苦労することがとても多いです。こういう特性に理解がある職員さんが特に教育委員会に増えてほしいです。

<療育・保育・教育・子育てなど>

- 福祉と教育現場のつながりを作ってほしい。学校では障害に対して理解できていない教員もいる。
- 発達等で学校になじめず、不登校となってしまったときのサポートがない(少ない)ことに我が子が直面して感じました。臨床心理士さんとの面談はとても有意義ですが、月に1回程度。学校に行けるようにするには少なすぎると思います。結局民間のサポートを受けて1ヶ月で30万円程かかりました。不登校に対するサポートがもっとあればなあと思いました。(障害者福祉のサポートとは違うかもしれませんが、発達などの子は不登校になりやすいという情報もあり書かせて頂きました)
- 小学校の先生は発達障害で困る子供への理解もあり、とても助かっています。中学校では対応がかなり手薄になるような事を聞いています。各校での対応や町の福祉サービスについてももっと具体的に発信していただくと、困っている子も親も助かります。ひと目でわかるような障害ではなくても、確かに困っている親子は相談先に悩みます。
- 福祉の充実や広報などを見ても感じています。うれしいです。小さいお子さんを持つ方は助かっていると思います。合理的配慮は先生により違い、説明が難しいと感じる時が多い。先生を傷つける気はないのですが、言葉を出さないと伝わらず、親も先生も子供も傷つくと感じる。地元の学校でもっとハードルを下げることができれば、みんな幸せだったのかと思うと、間に入って違う眼での助言もあつたらと思う。
- 島本町の子育て支援に障害児通所事業所の先生が携わってくださっている事は、とてもありがたいです。今後も先生とのご縁を大切にしたい。

- 中学校教員の「発達障害」に対する理解が遅すぎる。理解にはやや時間がかかるが、理解できる物事を「もっとゆっくり説明するべき。」や「理解できていない」ような対応があり不快でした。
- 学校教育の場での、支援担任・支援員の質が悪く感じます。担任は毎年変わるので前年度との引継がされているのか？毎年同じことを説明したり(こちらが特性のこと等)信頼を築く前に、担任が変わってしまう、障害は十人十色なのに、自分の経験から本人の障害を考えずに対応していることが多いように感じられる、また、学校の支援員は人員が少なく、適時に支援員の少なさから、支援できない状況だと感じます。賃金を上げて、人員をまずは確保してほしい。
- 私立の幼稚園の先生にも研修や講習の機会をつくってほしい、私立幼稚園との就学に向けての連携、合理的配慮を十分に、学習を受ける権利をしっかり守ってほしい！そのためには職員の確保と理解、親がくじけてしまったら、とぎれてしまうような仕組みではだめ、学校へ登校するために通学手段として親の送迎が必要→そのための兄弟のめんどうはファミサポに頼むのがいいの？お金もかかる、一緒に連れて行くのも大変、利用にも補助金などもほしい。
- 子供の事で困り事があった時、よく話を聞いて頂き利用できる福祉など案内してもらっています。これまでのように取り組んで下されば嬉しいです。問24で回答していますが、保育園での生活に困っています。障害への理解を職員に深めてほしい。環境が合わず、辛いようです。保育所等訪問を利用予定です。退園する他、手段がない現状です。
- 長期休暇(夏休み・冬休み・春休み(支援学校・地域の学校)等)・休日の障害を持つ子ども達のための遊び場を確保して頂き、広報や、地域の伝言板等でお知らせしてもらえると助かります。ご検討宜しく願いいたします。ありがとうございます。(切手は不要←助かります)
- 小学生の頃、学校の先生から嫌がらせを受けて今でもその当時の記憶が残り、トラウマになっています。教員の先生方の心のケアも必要だと思うと同時に、グレーゾーンの子達への理解や意識向け等のご指導をお願いしたいです。・今回、この様にアンケートを書く機会を作って頂いて(役場に出向く事なく、意見をお伝えできたので)本当に助かりました。ありがとうございます。今後も定期的に宜しく願いいたします。(切手不要なものも助かりました)
- 小学校の支援学級を利用しているが、インクルーシブ教育をもっと推進してほしいです。”分ける”のではなく、共に学べる環境を整えてほしい。また、学習支援をメインにした放課後デイサービスを島本町にも入れてほしいです。学習に対する親の負担が大きいです。かといって皆のように公文や塾を利用することもできないので困っています。

<保健・医療>

- 保健師さんに相談に行った時にとってもいねいに話を聞いてくださり、他に利用できるサービス等についても詳しく教えてくれました。定期的に連絡をくださって様子を聞いてくださったり、幼稚園や小学校とも連携して色々サポートしてくださっていて本当に感謝しています。相談したときも否定的なことはいっさい言われず本当に親身になって下さいました。他の自治体だと色々傷つくことをいわれた等聞きますが、島本町の人でどういった話は全く聞かないので、町全体でそういったすばらしい対応をしてくださっていると思います。本当にいいことだと思うのでこれからもこういう対応を続けていただけたらうれしいです。
- 最初に相談した時に保健師さんが親身に話を聞いてくれて、いろいろなサービスや検査の案内をしてくれてとても助かった。その後も定期的に連絡をいただいたり、気にかけていただいているので安心して過ごすことができている。本当にありがとうございます。

<福祉サービス・福祉施設など>

- 児発(放デイ)の場は増えたものの、まだまだ質の低さを感じる。もう少し施設個人にまかせるのではなく、町としてよい人材をいつでも相談できるところがほしい。我が子はもう利用しないが、町内の育児支援施設などはせまく、すぐしまるので利用しにくい。高槻のカンガルーのような広くて、障害のある子が他見を気にせず広々とあそべる場がほしかった。
- 発達等で学校になじめず、不登校となってしまったときのサポートがない(少ない)ことに我が子が直面して感じました。臨床心理士さんとの面談はとても有意義ですが、月に1回程度。学校に行けるようにするには少なすぎると思います。結局民間のサポートを受けて1ヶ月で30万円程かかりました。不登校に対するサポートがもっとあればなあと思いました。(障害者福祉のサポートとは違うかもしれませんが、発達などの子は不登校になりやすいという情報もあり書かせて頂きました)
- 学童の加配や放課後デイサービスの利用を今後考えていますが、空きが少なく入れるか不安です。利用人数を増やしてほしいです。
- 現在、高槻まで電車通って、学習支援サービスを利用しています。島本町にも児童発達支援、放課後デイサービスを利用できる場をもっと増やしてもらえると嬉しいです。
- 現在、放課後デイサービスを利用させてもらってます。これまでにいくつか見学に行きましたが、中には、障害を持つ子達を預る十分な知識とサービスがあるようには思えない事業所もありました。施設が増えるのはいいことですが、内容も精査してほしいです。
- 児童発達支援事業所や放課後デイサービスの事業所が少ない。今ある事業所もせまくて人数(受入れ)が少なかったり、未就学、小学、中学と年齢別で大きな枠で通える所が増えればいいなと思う。そこに専門の(言語や作業療法)訓練が受けられればいいなと思う。こういうアンケートや行政の書類上仕方のないことだと思うけど、「障害児」「障害者」と表記されるのは心が痛い。子が低年齢であればあるほど、親もまだ向き合い始めたばかりの人が多と思うし、こういう直接的な言葉で表され、くられることが差別や偏見を生み出していると思う。
- こういった家族が周りを気にせずに、余暇を過ごせる居場所をもっと作っていただけるとありがたいです。
- 島本町にグループホームを増やしてほしいです。

<家計・経済、年金・手当など>

- 障害者福祉サービスにも所得制限があり、経済的な面で不安がある。身体障害が重く、今後の様々な器具の購入が必要になるがどれも体にあったものを購入しようとすると1つ数十万円するものもある。日々の手当でももらえず、物品購入も10割負担、、、体も大きくなってきていろいろ揃えないといけない時期になってきたので不安です。
- 特別障害者手当の所得制限をなくしてほしい。将来のために残しておきたいのと、所得制限で何でも通所する所は高く取られるので、お金がかかります。姉弟もいるので、その子だけにかけれないところもあります。障害者のための手当なのに、親の所得でももらえないのは不公平だと思います。
- 障害者を支援する家族へ、その子のために金銭的な支援をお願いしたい。
- こういった家族が周りを気にせずに、余暇を過ごせる居場所をもっと作っていただけるとありがたいです。

<情報提供>

- 今回は「障害者手帳」を持っているか、福祉サービスを利用している人が対照ですが、両方無しで特に病名もないが、支援学級に居る。グレーゾーンである子供もたくさんいます。学校はもっとオープンに情報を出していったら障害とは「特別な人」でなく、誰でも当てはまるなら情報を得られるようにしてほしい。
- 他市から住居を島本町に変わった者です。手厚く支援して頂いていると感じております。今回アンケートの対象となった我が子は未熟児なのですが小学校に上がることが心配で就学前相談の情報が欲しいです。HP や広報などでくわしく載せていただけると助かります。どうぞ宜しくお願いします。
- 今後、放課後等デイサービスが増える予定はありますか？就学にあたり、親も働き方を考え直す必要があるかもしれないので、学童や放デイ、小学校に関する情報提供は早目に頂けると助かります。

<生活環境・バリアフリー>

- 緑地公園のバリアフリー遊具はのぼりづらい丘の上ではなく、駐車場の近い広場に作るべきだったのではないかと思います。小学校が遊んでいた丘の上の遊具がなくなってしまったので緑地公園の魅力がなくなってしまい、手持ちぶたさで遊び場として使えなくなり残念です。
- 役場前の道は自転車が通れるのに駐輪場は道路を渡らないといけない。駐輪場がある道は自転車が通れない。役場前の道は学生や通勤の方が広がって通っており、自転車が通りにくいです。どうかしてほしいです。高槻市は給食費が無料になります。島本町も無料にして下さい。

<移動・交通・外出支援>

- 身体機能障害のため、リハビリに通っていますが、島本町内にはなく、高槻市や大阪市の森之宮まで通っています。小学校へ進学したら、学校との両立が不安です。町内にあれば1人で通うことも可能ですが、他市へ通うとなると保護者も会社を休まなくてはならないので負担があります。また、3 級のため(身体障害者手帳)旅客運賃減額は 2 種で、介護者の減額はありません。リハビリに行くための交通費が何の免除も受けられないなら、手帳の意味がないと思います。

<将来の生活など>

- 現在本人は支援学校に通っている学生なので、日中過ごす場所があるのですが、卒業後は日中過ごす事の出来る施設や、短期入所が出来る事業所などが少なく、利用したくても難しいという状況があると思います。介護出来るのも親しかいない為、可能な限りは在宅介護で頑張りたいと思っはいますが、年齢的な事もあり、それが不可能になった時に受け入れてくれる事業所や施設、又、相談出来る相談員さんを増やしていただきたいです。ただ、こうして障害がある人間の事を考えようとして下さる事はとてもありがたく感謝しています。ありがとうございます。

<町行政について>

- 島本町は障害者福祉に手厚く、施設も充実しており、それゆえに職員や町民の方々の理解も深く、障害者とその家族にとって恵まれた環境であると感じています。これは町の特色であり誇れることの一つであると思います。今後ともよりよい町政を進めていただければ幸いです。

- サービスを利用する時の申請や必要書類を集める等の作業が煩雑すぎて、かつ、役所へ行く必要がある。書類関係はペーパーレス化を進めて欲しい。福祉と教育を連携して欲しい。同じ事を説明して2度手間となっている。相談内容を1つの課でとどめず、他の課などに展開して解決する方向へ進めて欲しい。
- 「災害時避難支援」、名簿の作成等(自治会、マンション、町、福祉しせつ)やらなくてはならない事が島本町はまだまだまだありすぎて大変かとは思いますが、(他市と比べると遅れてる?)障がい児・者だけの問題ではなく町全体の問題として全体で勉強会をすとかやっていって(増やしていって)ほしい。「成年後見制度」も同様。アンケート返信は切手いらないのですね。受給者証や特児調査関係も切手代負担していただければいいのですが…。アンケート回答も紙媒体だけでなく、Googleフォームを利用の可等も経費節減だったりできそうですが。
- 現在、高槻まで電車で通って、学習支援サービスを利用しています。島本町にも児童発達支援、放課後デイサービスを利用できる場をもっと増やしてもらえると嬉しいです。
- いきいき健康課からは様子を見ましようしかアドバイスをもらえませんでした。療育に行くこちらから情報を知り利用したいと考えていることを伝えてやっと通うことができました。もっと子どものためになるアドバイスをして欲しいと思います。

<今回のアンケート調査について>

- 教育に注力する事は後に子ども達の自立がより進むため、家族のため、そして結果的に町にとっても節約につながると思います。こうしてアンケートを行い、人々の声に耳を傾けてくださった事、とてもありがたいです。これからもよろしく願いいたします。
- このアンケートは非常に書きづらかったです。未就学児、もしくは12歳未満等(療育手帳、精神、知的別)にもう少し分けてアンケート取るべきだと思います。特児扶養手当の所得制限撤廃・児発、放デイの拡充(共働きの人の為に利用時間を18時半もしくは19時まで、17時半までが多いが、利用できない、仕事を辞めることを検討しないといけない)行きたい放デイも受け入れができるか分からない等、あいまいな解答も多く非常に困る、もう少しくみを考えるべき。個人で各施設に申し込みするシステムはどうか? 現実問題、自身の家族に障害者がいる、興味がある人以外に理解を深めることは不可能に近い、他人事、療育手帳を持っている家族で集まれるイベント等あれば情報交換や交流になると思います。(このアンケートを元にどのように町として考えていく等をふまえた集計結果を教えてください。)

<その他>

- 娘が生まれる前から、染色体異常の可能性を指摘されていたことで産まれてからすぐに障害者福祉の制度には多大なるお世話になり続けていますがとても充実した制度に恵まれ、今まで特に不満に思うこともなく、ありがたく使わせていただいております。まだまだこれからもお世話になりつづけると思うのですが、温かい支援と共に、家族である私達にもこれからの障害者福祉がもっとよりよくなるようなお手伝いなどができたらいいなと思っております。
- 児童発達支援を利用させて頂き、本当に感謝しております。緊張、不安の強い子供ですので、自分に出来るという見通しが立たないと行動できません。様々な取り組みや経験をさせ、自信をつけられるように考えていますが、全てを家族で行うと、子供も息抜きができず、疲れてしまいます。親だけでなく、先生の立場からの指導を頂く事で、少しずつ出来る事も増えています。今の環境を与えて下さる皆様、本当にありがとうございます。

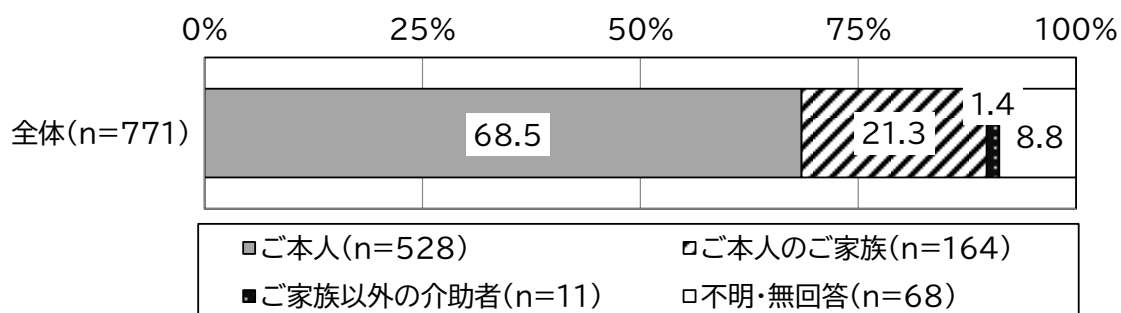
- グループホームを増やして頂きたいです。町内の放課後等デイサービス事業所が今年の夏、ビニールプールで水遊びをされていましたが、人通りの多い場所で子供達が水着(洋服の方もいましたが)で遊ばせる事に抵抗を感じました。パーテーションを置かれていましたが、ほぼ丸見えの状態でした。その様子を見た大人から「あんな所で大きな子を水遊びさせて人権問題じゃないの」という言葉を聞いて心配しています。役場の方から改善依頼して頂ければ幸いです。障がいのある人が安心して利用できる様にして頂きたいです。

3. 18歳以上 調査結果

※n…全体の実数値（回答者数）

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。（1つに○）

回答者についてみると、「ご本人」が68.5%と最も高く、次いで「本人のご家族」が21.3%となっています。



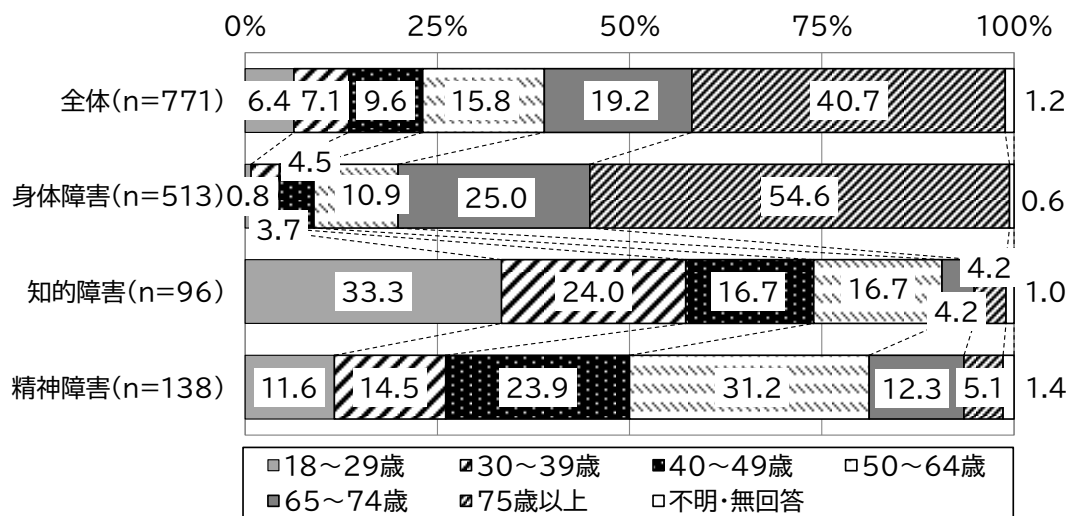
※これ以降、この調査票（18歳以上の方用）が郵送された宛名の方（この調査票の対象者：ご本人）を「あなた」と表記します。

1. あなたの年齢について

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年8月1日現在)

全体では「75歳以上」が40.7%と最も高くなっており、次いで「65～74歳」が19.2%、「50～64歳」が15.8%となっています。

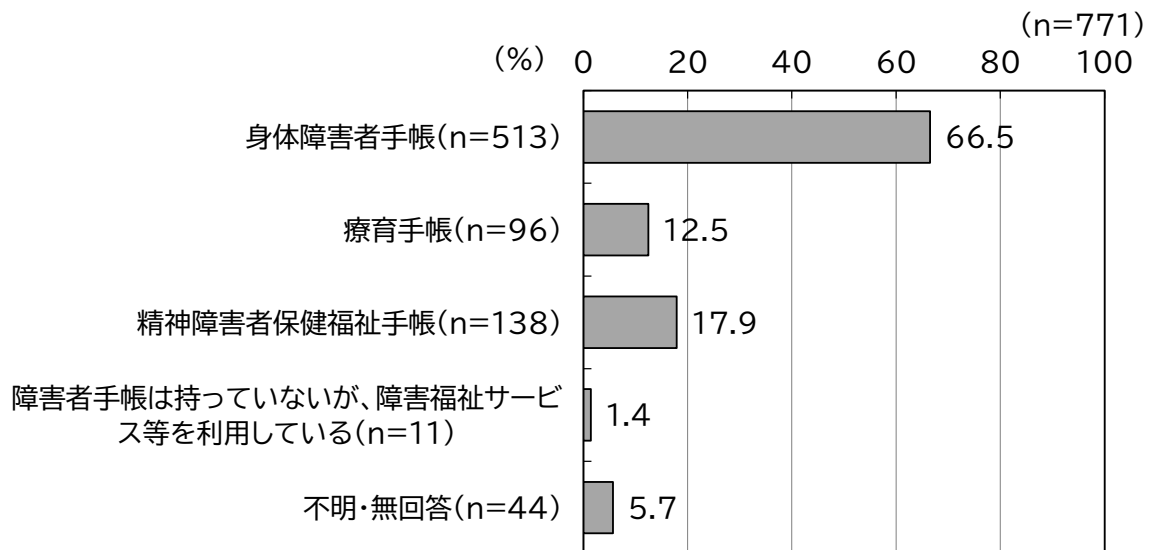
障害別にみると、身体障害では「75歳以上」、知的障害では「18～29歳」、精神障害では「50～64歳」が最も高くなっています。



2. あなたの障害の状況について

問3 あなたがお持ちの障害者手帳をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

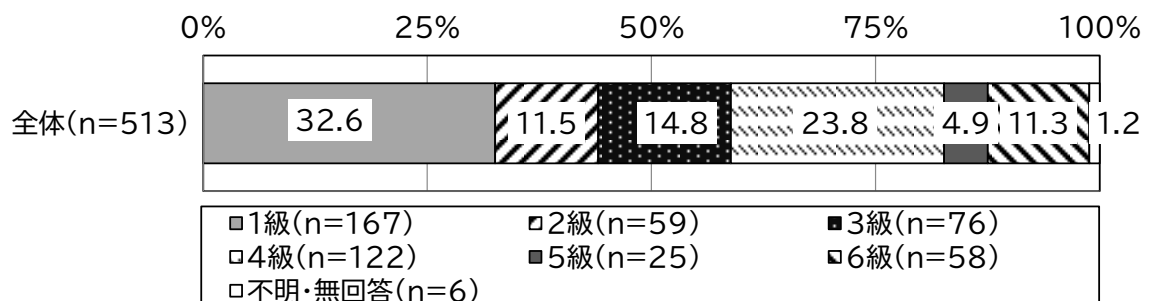
手帳の種類についてみると、「身体障害者手帳」が66.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が17.9%、「療育手帳」が12.5%、「障害者手帳は持っていないが、障害福祉サービス等を利用している」が1.4%となっています。



【問3で「身体障害者手帳」と答えた方にお聞きします】

問4 身体障害者手帳の総合等級をお答えください。(1つに○)

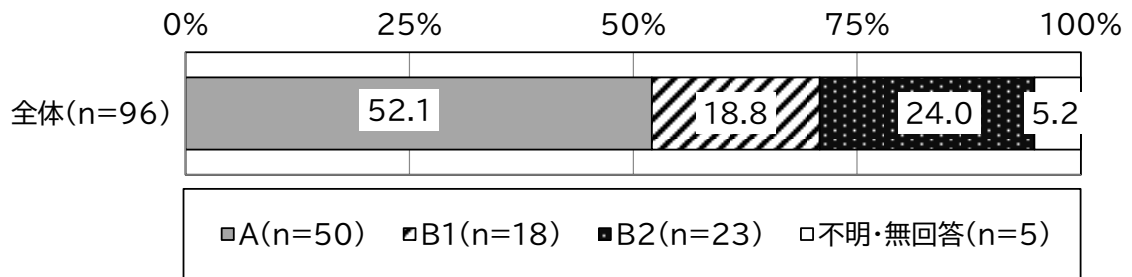
身体障害者手帳所持者の等級についてみると、「1級」が32.6%と最も高く、次いで「4級」が23.8%となっています。



【問3で「療育手帳」と答えた方にお聞きします】

問5 療育手帳の総合判定をお答えください。(1つに○)

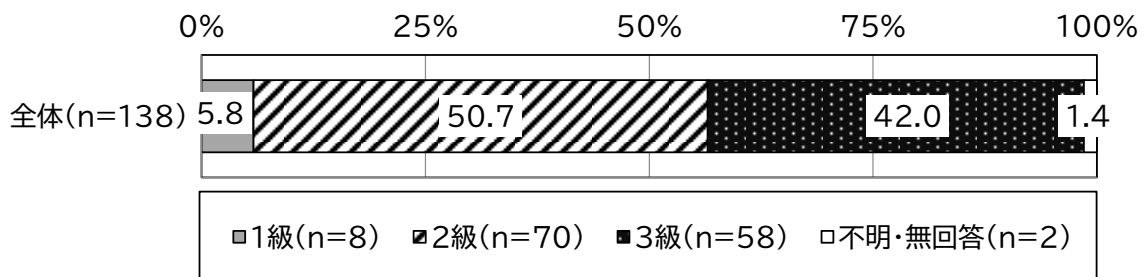
療育手帳所持者の判定についてみると、「A」が52.1%と最も高く、次いで「B2」が24.0%となっています。



【問3で「精神障害者保健福祉手帳」と答えた方にお聞きします】

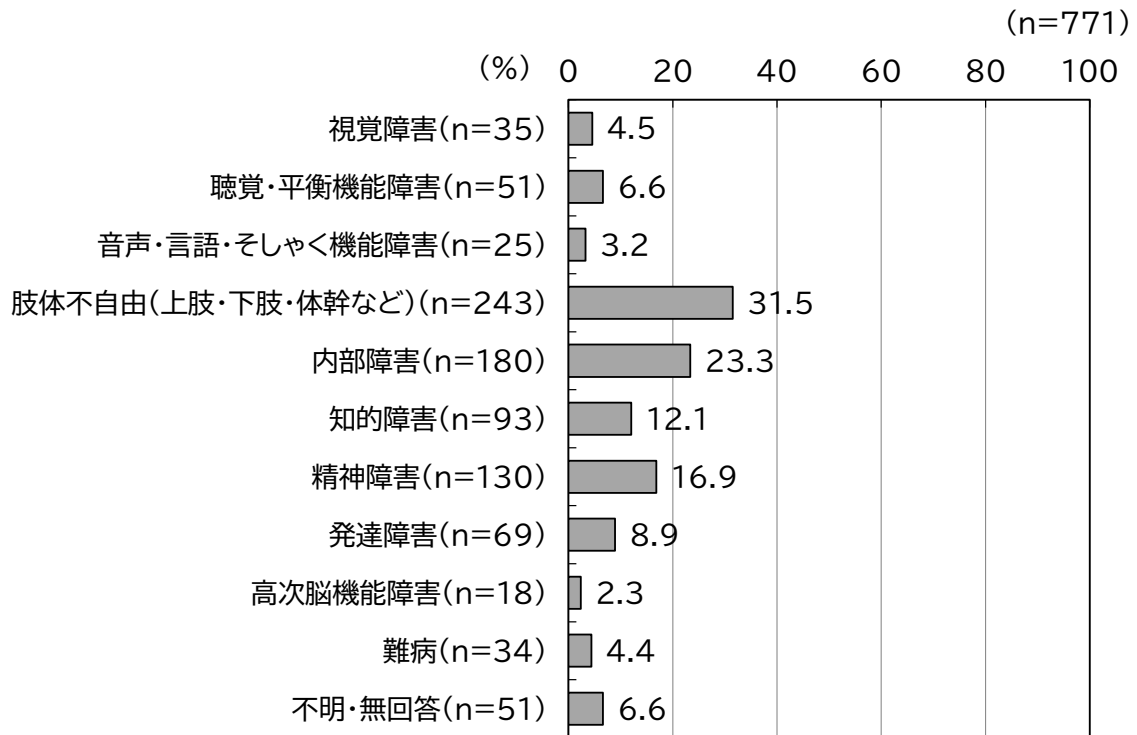
問6 精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。(1つに○)

精神障害者保健福祉手帳所持者の等級についてみると、「2級」が50.7%と最も高く、次いで「3級」が42.0%となっています。



問7 あなたの障害の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

障害の種類についてみると、全体では「肢体不自由」が31.5%と最も高く、次いで「内部障害」が23.3%、「精神障害」が16.9%となっています。

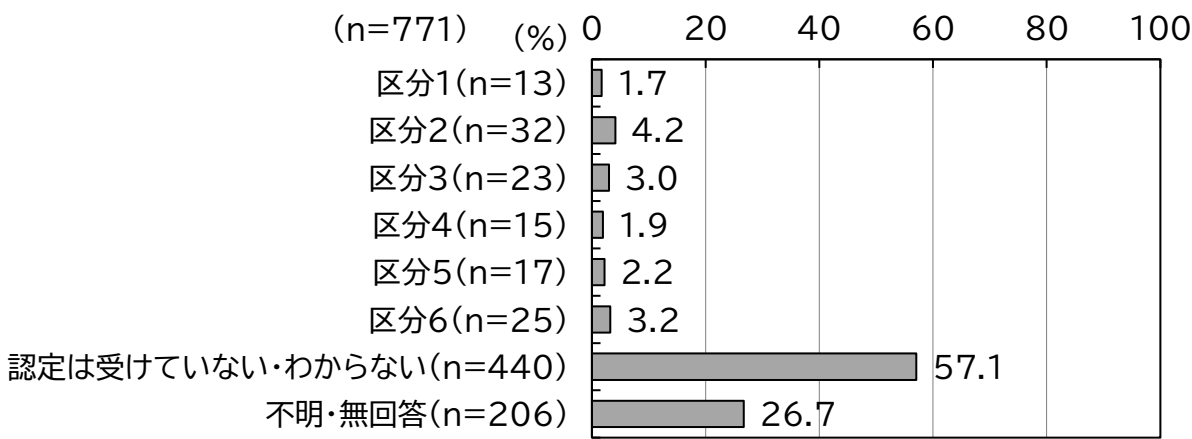


年代別にみると、18～39歳では「知的障害」、40～64歳では「精神障害」、65歳以上では「肢体不自由」が最も高くなっています。

		(n)	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	不明・無回答
全体		771	4.5	6.6	3.2	31.5	23.3	12.1	16.9	8.9	2.3	4.4	6.6
年代別	18～39歳	104	1.0	4.8	1.9	14.4	4.8	47.1	25.0	42.3	3.8	3.8	1.9
	40～64歳	196	2.6	5.6	3.1	21.9	10.7	17.3	40.8	11.7	3.6	5.6	1.0
	65歳以上	462	6.1	7.6	3.7	40.0	33.1	1.7	4.5	0.2	1.3	3.9	9.7

問8 あなたは、「障害支援区分」の認定を受けていますか。受けている場合は、認定結果（認定区分）をお答えください。（1つに○）

認定状況についてみると、全体では「認定を受けていない・わからない」が57.1%と最も高く、次いで「区分2」が4.2%、「区分6」が3.2%となっています。



障害別にみると、いずれも「認定を受けていない・わからない」が最も高く、身体障害、精神障害では約6割となっています。知的障害では、「認定を受けていない・わからない」に次いで「区分6」が16.7%、「区分2」が14.6%となっています。

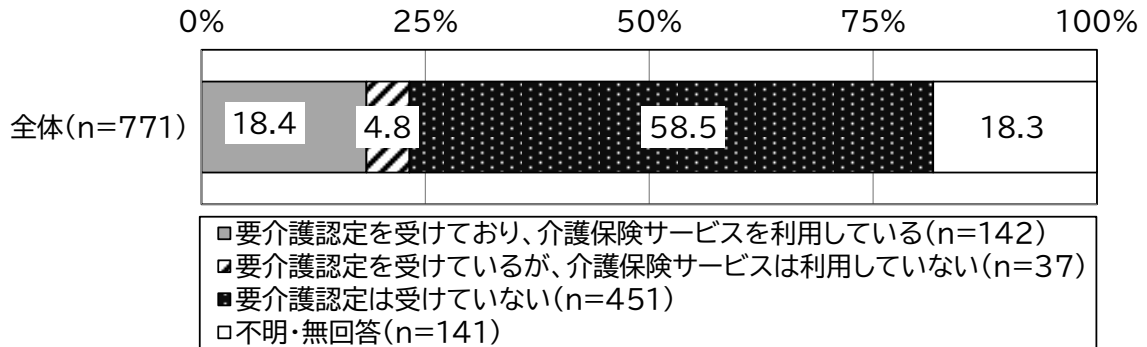
年代別にみると、いずれも「認定を受けていない・わからない」が最も高くなっています。

	(n)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	認定を受けていない・わからない	不明・無回答	
全体	771	1.7	4.2	3.0	1.9	2.2	3.2	57.1	26.7	
障害別	身体障害	513	1.9	1.6	1.2	1.2	1.2	1.9	60.6	30.4
	知的障害	96	3.1	14.6	6.3	9.4	12.5	16.7	24.0	13.5
	精神障害	138	0.7	8.0	6.5	2.2	1.4	1.4	63.0	16.7
年代別	18～39歳	104	1.9	10.6	7.7	7.7	6.7	8.7	45.2	11.5
	40～64歳	196	2.6	7.7	4.6	1.5	4.1	3.6	61.7	14.3
	65歳以上	462	1.3	1.3	0.9	0.9	0.4	1.9	58.0	35.3

【40歳以上の方にお聞きします】

問9 あなたは介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

介護サービスの利用状況についてみると、全体では「要介護認定は受けていない」が58.5%と最も高くなっており、次いで「要介護認定を受けており、介護保険サービスを利用している」が18.4%となっています。



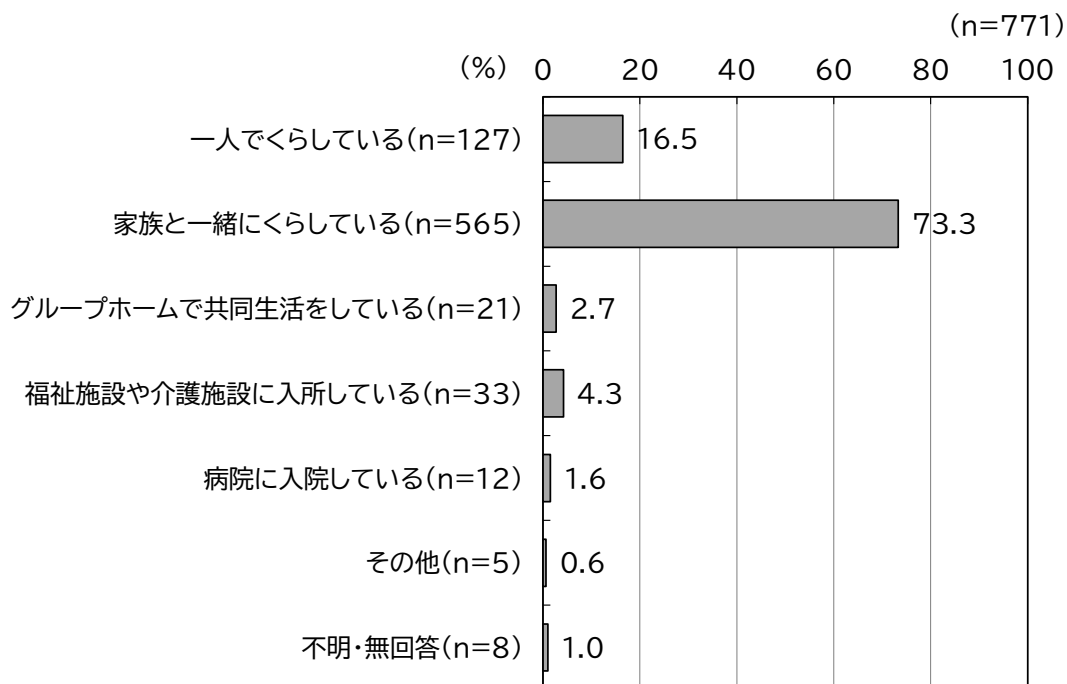
障害別・年代別ともに「要介護認定は受けていない」が最も高くなっています。身体障害では2割強、65歳以上では3割弱が「要介護認定を受けており、介護保険サービスを利用している」と回答しています。

		(n)	要介護認定を受けており、 介護保険サービスを利用している	要介護認定を受けているが、 介護保険サービスは利用していない	要介護認定は受けていない	不明・無回答
全体		771	18.4	4.8	58.5	18.3
障害別	身体障害	513	23.2	5.8	60.0	10.9
	知的障害	96	4.2	1.0	38.5	56.3
	精神障害	138	8.7	1.4	61.6	28.3
年代別	40～64歳	196	4.6	1.5	89.8	4.1
	65歳以上	462	28.4	7.4	56.3	8.0

3. 住まいや暮らしについて

問10 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(1つに○)

現在の暮らしについてみると、全体では「家族と一緒に暮らしている」が73.3%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が16.5%となっています。



◇現在どのように暮らしているか「その他」の回答

内容
夫婦二人
主人と二人暮らし
月に一度の通院(血液検査)
里親と一緒に暮らしている。
一人暮らしではあるがほぼ全面的に家族のサポートが必要で長女と同居に近い。

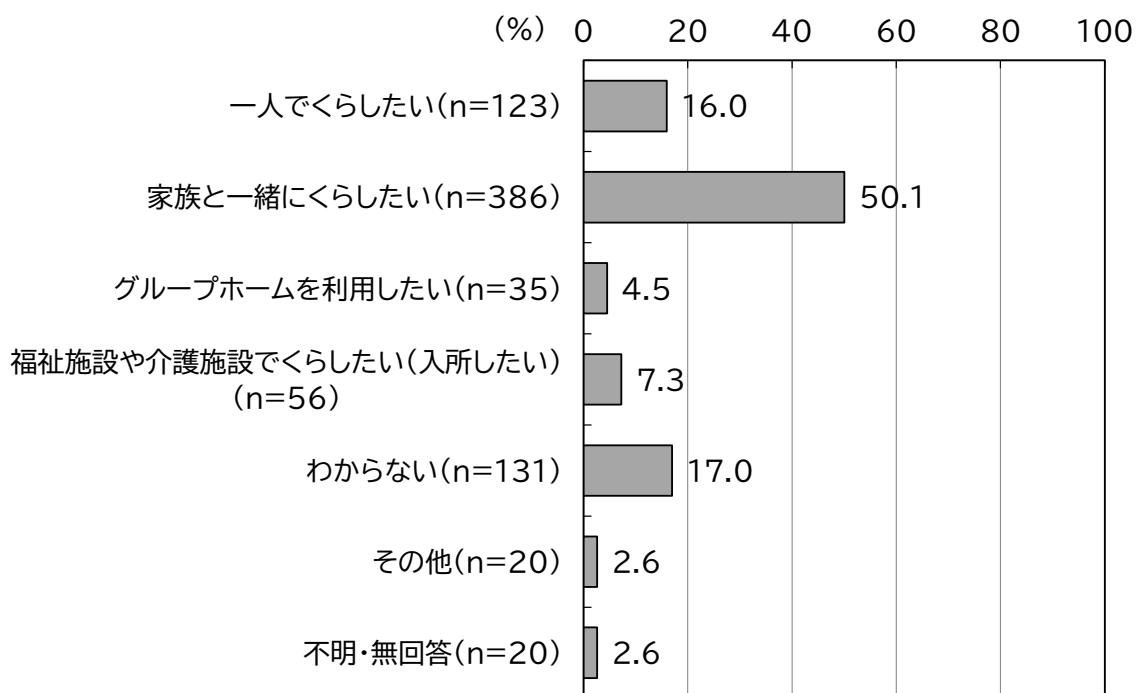
障害別・年代別ともに「家族と一緒にくらしている」が最も高くなっています。次いで、身体障害、精神障害、40歳以上では「一人でくらしている」、知的障害、18～39歳では「グループホームで共同生活をしている」が高くなっています。

		(n)	一人でくらしている	家族と一緒にくらしている	グループホームで共同生活をしている	福祉施設や介護施設に入所している	病院に入院している	その他	不明・無回答
全体		771	16.5	73.3	2.7	4.3	1.6	0.6	1.0
障害別	身体障害	513	17.2	74.7	0.6	4.7	1.4	0.8	0.8
	知的障害	96	4.2	64.6	18.8	10.4	1.0	1.0	0.0
	精神障害	138	20.3	71.0	3.6	0.7	2.9	0.0	1.4
年代別	18～39歳	104	3.8	86.5	7.7	0.0	0.0	1.0	1.0
	40～64歳	196	14.3	74.0	6.1	3.6	2.0	0.0	0.0
	65歳以上	462	19.7	70.6	0.2	5.6	1.7	0.9	1.3

問11 あなたは将来、どのようにくらしたいと思いますか。(1つに○)

将来どのようにくらしたいかについてみると、全体では「家族と一緒にくらしたい」が50.1%と最も高く、次いで「わからない」が17.0%、「一人でくらしたい」が16.0%となっています。

(n=771)



◇将来どのようにくらしたいか「その他」の回答

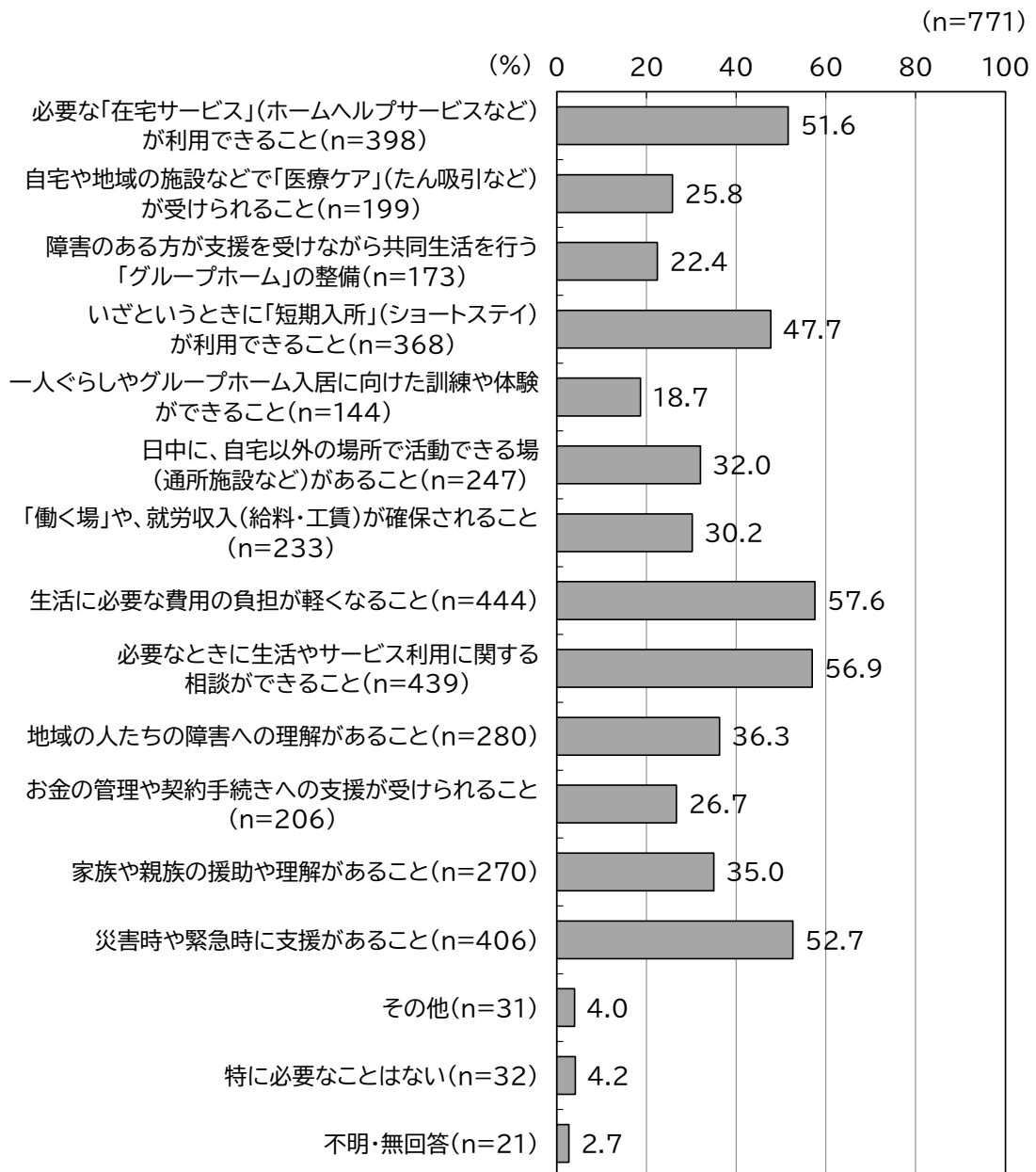
内 容
現状維持
今の療育型病院で可
一人で、介護補助の方に手助け頂き
老人施設
個室のある介護施設でくらしたい(親なき後)。
家族の負担になるようだったら施設に入所したい。
一人での生活が難しいのでグループホーム、福祉施設、介護施設を考えています。
ひとりで暮らしたいけど通年働ける気がしないから。病気に理解のある家族以外の人とくらしたい。
結婚して暮らしたい。
パートナーと暮らしたい。
今は親と同居ですが、いずれパートナーをみつけて暮らしたいです。
家族と一緒にくらしたいが不可能だと思っている。
本当は、家に帰りたいたいと思っていますが、鼻から栄養をとっているので病室だと思います。
状態により、回答が変わる
現時点では、どうするか考えたことがない。
その時の状況によって選びたい。
私自身や家族の状況によって変わってきます。
まだ介護の必要な状態でないため今の所現状のままだがわからない。
入院中でまだよく話しあっていない。
家族が今一緒ですが一人になると未だ考えていません。

障害別・年代別にみると、知的障害では「グループホームを利用したい」が最も高くなっていますが、その他の障害・年代では「家族と一緒にくらしたい」が最も高くなっています。次いで、精神障害、18～39歳では「一人でくらしたい」が高くなっています。

	(n)	一人でくらしたい	家族と一緒にくらしたい	グループホームを利用したい	福祉施設や介護施設でくらしたい	わからない	その他	不明・無回答	
全体	771	16.0	50.1	4.5	7.3	17.0	2.6	2.6	
障 害 別	身体障害	513	13.1	56.3	1.8	7.8	16.8	2.1	2.1
	知的障害	96	12.5	19.8	28.1	9.4	20.8	5.2	4.2
	精神障害	138	26.1	42.8	4.3	4.3	16.7	3.6	2.2
年 代 別	18～39歳	104	24.0	29.8	17.3	4.8	15.4	6.7	1.9
	40～64歳	196	18.4	50.0	5.6	5.6	17.3	1.0	2.0
	65歳以上	462	12.8	55.2	1.1	8.7	17.3	2.2	2.8

問 12 障害のある方が地域で生活するために、何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するために必要なことについてみると、全体では「生活に必要な費用の負担が軽くなること」が57.6%と最も高く、次いで「必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること」が56.9%、「災害時や緊急時に支援があること」が52.7%となっています。



◇地域で生活するために必要なこと「その他」の回答

内 容
1 つずつあげるとすべてに○がつきます。
視覚障害者の方が共同で住めるグループホームの整備
趣味等の活動の場、多様な交流の場
障害者施設の拡充
安心して金銭管理を任せられる公的な場がある事。
通所施設でリハビリを受けられる体制があればうれしい。
バリアフリー(使用できる道、トイレ、バス)
医療ケアが足を利用しなくても必要な医療ケアサービス、グループホーム、短期入所などがそろっていること。
補助金など金銭面でのサービスを増やしてほしい。
病院代が毎月何万円もかかるので助成をしてほしい。
生活に必要な金銭や経済的援助がほしい。衣食住の確保。
持続的な障害年金(ベーシックインカム)
補助金など金銭面でのサービスを増やしてほしい。
サービス事業所の職員の質をあげる研修など町が行い利用者が安心できること。
障害福祉サービスが一般的に認知されること。
障害者が利用できるサービス(上記諸項目など)について周知・情報提供されること。
町全体がバリアフリー化することで町民の意識(障がいのある方への)が全体的に上がると思う。
タクシー等、通院等に使える物が必要になります。
バスやタクシーに車いすが乗車出来る事。
回復する迄入院
土、日、預かってほしい。家族は大変なんです。
手術後健常者と同様に過ごさせて頂いてるのでわかりません。
ともだち
移動手段(公共交通)がないので不便。①ふれあいバスの多便化必要。②一回 3000 円月 3 回までのタクシー代利用は不便。③月額 9000 円内で複数回に！利用対象に限らずにして欲しい。④1 回 〇〇円を〇〇枚数配布。チケット制等と自由に使えないか？
ハローワークなどで仕事を探したいと思っているけど遠くて通える気がしない。ので、近くに欲しい。長期で働けないので、短期(1 か月～)で短時間(4h/日)で、DM 封入やシール張りなどの仕事がほしい。自分みたいに普通未満、普通の場所では役立たず。障害者雇用では舐めた態度をとられる。本当に助けが必要な障害者の人のような人が働く場が欲しい。
6番の「通所施設」のように、特別なものではなく、ふれあいセンターのB1のテーブルと椅子のあるコーナーのように気軽に(予約などなしに)訪れて、1日過ごして帰れる所がもっと沢山のスペースであればとても良いと思います。日曜にふれあいセンターを訪れ、B1のスペースか1杯で仕方なく上階の自習室へ行った学生を見ました。「シーン」と静まりかえっているのもこわいのでBGMがあるとよいと思います。町役場の庁舎建て替えて自習室も今後少なくなりますから町民全体の居場所としてプライバシーが保て、気軽に訪れられる所が少ないと思います。

障害別にみると、多くの障害では「生活に必要な費用の負担が軽くなること」が最も高くなっています。また、「必要な「在宅サービス」が利用できること」は視覚障害、肢体不自由、「必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること」は視覚障害、内部障害、難病で最も高くなっています。

年代別にみると、65歳以上では「必要な在宅サービスが利用できること」が最も高くなっています。

問12 地域で生活するために必要なこと①

	(n)	必要な「在宅サービス」が利用できること	「医療ケア」が受けられること	障害のある方が支援を受けながら共同生活を行う「グループホーム」の整備	いざというときに「短期入所」が利用できること	一人ぐらしやグループホーム入居に向けた訓練や体験ができること	日中に、自宅以外の場所で活動できる場があること	「働く場」や、就労収入が確保されること	生活に必要な費用の負担が軽くなること	
全体	771	51.6	25.8	22.4	47.7	18.7	32.0	30.2	57.6	
障 害 別	身体障害	513	55.2	27.1	18.1	50.3	15.6	29.4	20.1	52.4
	視覚障害	35	57.1	34.3	14.3	40.0	11.4	22.9	20.0	51.4
	聴覚・平衡機能障害	51	49.0	33.3	21.6	52.9	17.6	39.2	29.4	58.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	52.0	40.0	12.0	52.0	12.0	24.0	20.0	72.0
	肢体不自由	243	58.4	30.0	21.8	56.8	16.5	33.3	24.3	53.9
	内部障害	180	57.2	29.4	16.7	48.3	16.1	29.4	16.1	57.8
	知的障害	96	41.7	16.7	50.0	46.9	32.3	47.9	53.1	66.7
	精神障害	138	41.3	26.1	25.4	39.1	24.6	35.5	54.3	72.5
	発達障害	69	37.7	21.7	34.8	43.5	36.2	47.8	62.3	71.0
	高次脳機能障害	18	55.6	38.9	33.3	44.4	27.8	55.6	50.0	77.8
難病	34	61.8	38.2	17.6	47.1	17.6	23.5	38.2	70.6	
年 代 別	18～39歳	104	43.3	26.0	46.2	46.2	35.6	51.0	68.3	75.0
	40～64歳	196	44.4	27.0	30.1	46.9	24.0	39.3	57.7	65.8
	65歳以上	462	56.7	25.8	14.3	48.9	12.6	24.7	10.0	50.0

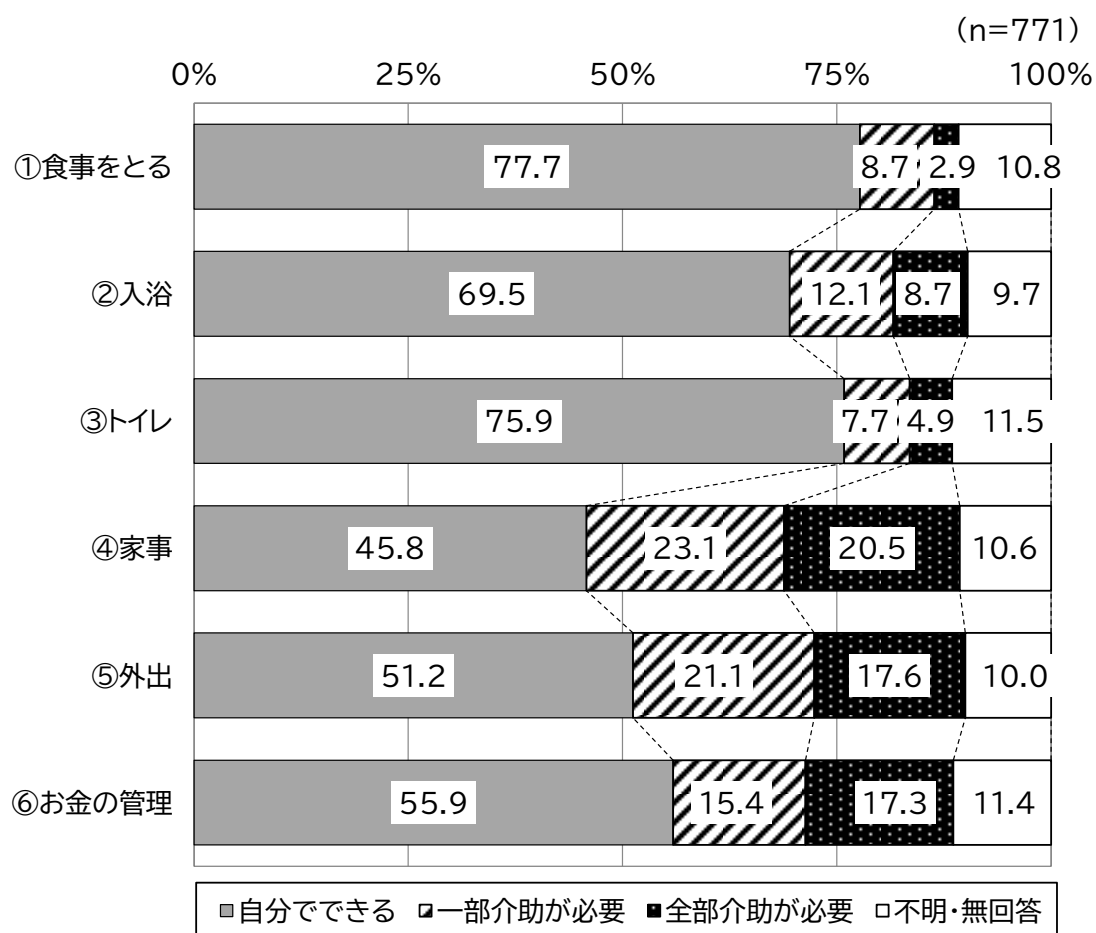
問 12 地域で生活するために必要なこと②

		(n)	必要なときに生活やサービス利用に関する相談ができること	地域の人たちの障害への理解があること	お金の管理や契約手続きへの支援が受けられること	家族や親族の援助や理解があること	災害時や緊急時に支援があること	その他	特に必要なことはない	不明・無回答
全体		771	56.9	36.3	26.7	35.0	52.7	4.0	4.2	2.7
障 害 別	身体障害	513	55.4	29.6	17.3	31.6	52.6	2.7	4.9	2.3
	視覚障害	35	57.1	42.9	17.1	31.4	48.6	0.0	5.7	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	49.0	47.1	23.5	39.2	54.9	3.9	3.9	3.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	44.0	36.0	36.0	44.0	56.0	0.0	0.0	8.0
	肢体不自由	243	57.2	30.9	18.9	31.3	56.4	3.7	5.3	2.1
	内部障害	180	60.0	26.1	13.9	34.4	54.4	1.7	3.9	1.1
	知的障害	96	62.5	62.5	61.5	39.6	61.5	9.4	2.1	3.1
	精神障害	138	64.5	44.9	44.2	46.4	51.4	6.5	2.2	1.4
	発達障害	69	59.4	55.1	58.0	49.3	56.5	5.8	2.9	1.4
	高次脳機能障害	18	72.2	61.1	66.7	66.7	66.7	11.1	0.0	0.0
	難病	34	70.6	41.2	32.4	32.4	61.8	5.9	0.0	2.9
年 代 別	18～39 歳	104	62.5	63.5	60.6	54.8	61.5	9.6	1.9	1.0
	40～64 歳	196	61.7	44.9	36.7	37.2	52.0	7.1	3.1	2.0
	65 歳以上	462	53.7	27.1	15.2	29.9	51.1	1.5	5.2	3.2

4. 介助について

問13 あなたは日常生活で、どのようなときに介助（手助け）を必要としますか。
 (①～⑥の各項目で、1～3のいずれか1つに○)

「①食事をとる」「②入浴」「③トイレ」については、自分でできる割合が約7～8割で、介助を要する割合は約1～2割となっています。一方で、「④家事」「⑤外出」「⑥お金の管理」については、自分でできる割合が約4～5割とやや低くなり、介助を要する割合が約3～4割となっています。



障害別にみると、多くの障害では「④家事」で介助を必要とする割合が最も高くなっています。また、「⑤外出」は視覚障害、肢体不自由、内部障害、「⑥お金の管理」は音声・言語・そしゃく機能障害、知的障害、高次脳機能障害で最も高くなっています。

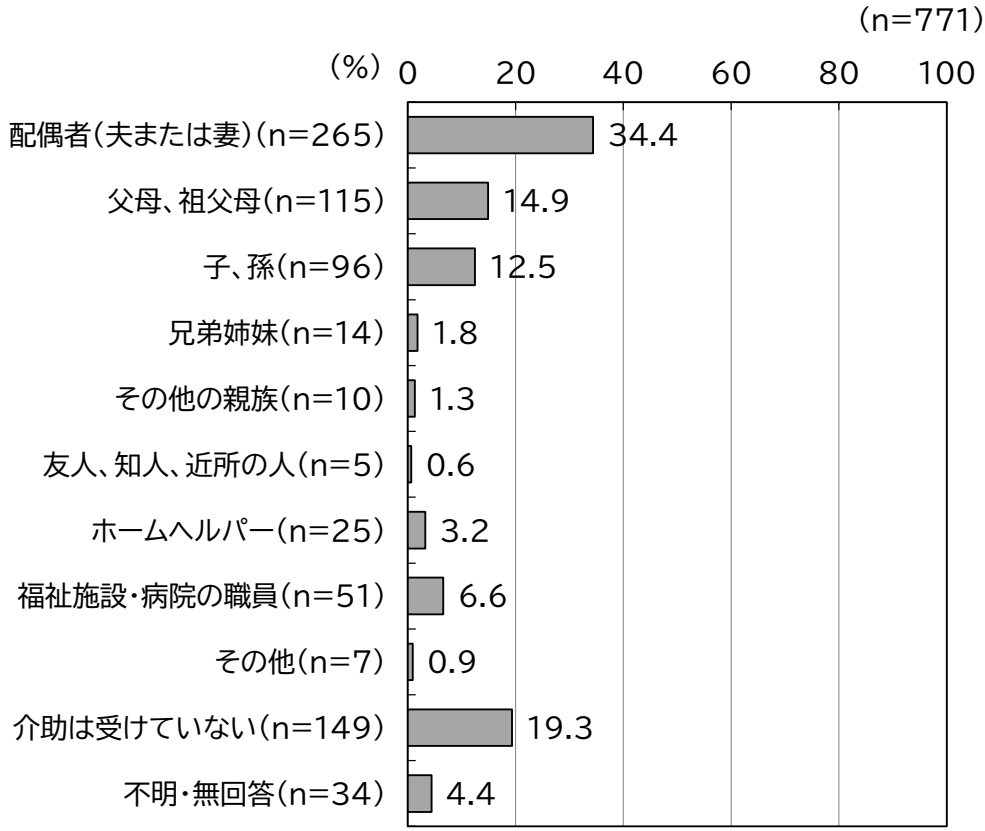
年代別にみると、いずれも「④家事」が最も高くなっています。

	(n)	①食事をとる			②入浴			③トイレ			
		一部介助	全部介助	計	一部介助	全部介助	計	一部介助	全部介助	計	
全体	771	8.7	2.9	11.5	12.1	8.7	20.8	7.7	4.9	12.6	
障 害 別	身体障害	513	9.0	2.9	11.9	10.3	10.1	20.5	6.6	5.8	12.5
	視覚障害	35	20.0	2.9	22.9	14.3	11.4	25.7	8.6	8.6	17.1
	聴覚・平衡機能障害	51	13.7	5.9	19.6	11.8	9.8	21.6	9.8	7.8	17.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	20.0	16.0	36.0	20.0	28.0	48.0	12.0	28.0	40.0
	肢体不自由	243	11.5	5.8	17.3	12.8	16.9	29.6	8.6	10.7	19.3
	内部障害	180	5.6	1.7	7.2	10.0	5.6	15.6	6.7	1.7	8.3
	知的障害	96	17.7	7.3	25.0	29.2	12.5	41.7	19.8	7.3	27.1
	精神障害	138	5.8	0.7	6.5	7.2	4.3	11.6	5.8	1.4	7.2
	発達障害	69	11.6	1.4	13.0	18.8	1.4	20.3	10.1	1.4	11.6
	高次脳機能障害	18	44.4	5.6	50.0	16.7	44.4	61.1	16.7	22.2	38.9
難病	34	20.6	11.8	32.4	14.7	26.5	41.2	20.6	17.6	38.2	
年 代 別	18～39 歳	104	16.3	3.8	20.2	20.2	6.7	26.9	18.3	2.9	21.2
	40～64 歳	196	8.7	3.1	11.7	11.7	6.6	18.4	4.6	4.1	8.7
	65 歳以上	462	7.1	2.6	9.7	10.6	10.2	20.8	6.7	5.8	12.6

		(n)	④家事			⑤外出			⑥お金の管理		
			一部介助	全部介助	計	一部介助	全部介助	計	一部介助	全部介助	計
全体		771	23.1	20.5	43.6	21.1	17.6	38.8	15.4	17.3	32.7
障害別	身体障害	513	17.7	19.1	36.8	19.1	17.5	36.6	9.2	13.5	22.6
	視覚障害	35	28.6	31.4	60.0	20.0	42.9	62.9	22.9	25.7	48.6
	聴覚・平衡機能障害	51	23.5	19.6	43.1	23.5	17.6	41.2	13.7	19.6	33.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	12.0	44.0	56.0	16.0	36.0	52.0	12.0	44.0	56.0
	肢体不自由	243	19.3	24.7	44.0	21.0	24.3	45.3	10.3	17.3	27.6
	内部障害	180	12.2	16.7	28.9	16.7	12.2	28.9	8.9	8.9	17.8
	知的障害	96	33.3	45.8	79.2	31.3	35.4	66.7	29.2	52.1	81.3
	精神障害	138	39.1	13.8	52.9	28.3	10.1	38.4	28.3	15.2	43.5
	発達障害	69	39.1	21.7	60.9	21.7	15.9	37.7	30.4	26.1	56.5
	高次脳機能障害	18	38.9	55.6	94.4	27.8	50.0	77.8	27.8	66.7	94.4
	難病	34	32.4	29.4	61.8	20.6	32.4	52.9	20.6	38.2	58.8
年代別	18～39歳	104	40.4	27.9	68.3	31.7	21.2	52.9	33.7	30.8	64.4
	40～64歳	196	27.6	16.3	43.9	19.4	14.8	34.2	20.9	16.8	37.8
	65歳以上	462	17.1	21.0	38.1	19.7	18.2	37.9	8.7	14.7	23.4

問 14 日常生活において、あなたを主に介助（手助け）している人はどなたですか。
 （特に中心となっている方1つに○）

介助している方についてみると、全体では「配偶者」が34.4%と最も高く、次いで「介助は受けていない」が19.3%、「父母、祖父母」が14.9%となっています。



◇介助している方について「その他」の回答

内 容	
自室へ電話、毎日	里親
盲導犬・ボランティアさん	社会福祉協議会
主治医、カウンセラー	訪問介護
訪問看護、島本町役場員	町の職員、支援機関の職員

障害別にみると、身体障害では「配偶者」が、知的障害、精神障害では「父母、祖父母」が最も高くなっています。また、知的障害では、「福祉施設・病院の職員」も20.8%と高くなっています。

年代別にみると、40歳未満では「父母、祖父母」が、40歳以上では「配偶者」が最も高くなっています。

	(n)	配偶者	父母、 祖父母	子、 孫	兄弟 姉妹	その 他の 親族	友人、 知人、 近所 の人	ホ ー ム ヘル パー	福 祉 施 設 ・ 病 院 の 職 員	そ の 他	介 助 は 受 け て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	771	34.4	14.9	12.5	1.8	1.3	0.6	3.2	6.6	0.9	19.3	4.4
障 害 別	身体障害	513	43.1	5.1	16.8	1.6	0.8	2.1	4.9	0.4	20.7	3.9
	知的障害	96	2.1	54.2	0.0	4.2	3.1	0.0	5.2	20.8	1.0	4.2
	精神障害	138	23.2	30.4	0.7	1.4	2.9	0.0	5.8	6.5	1.4	23.2
年 代 別	18～39歳	104	3.8	65.4	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9	5.8	1.9	13.5
	40～64歳	196	26.5	23.0	3.1	1.0	2.6	1.0	5.1	10.2	1.0	20.9
	65歳以上	462	44.8	0.2	19.3	2.2	0.6	0.6	2.2	5.4	0.6	20.1

【問 14 で、1～5（主な介助者が家族・親族）と答えた方にお聞きします】

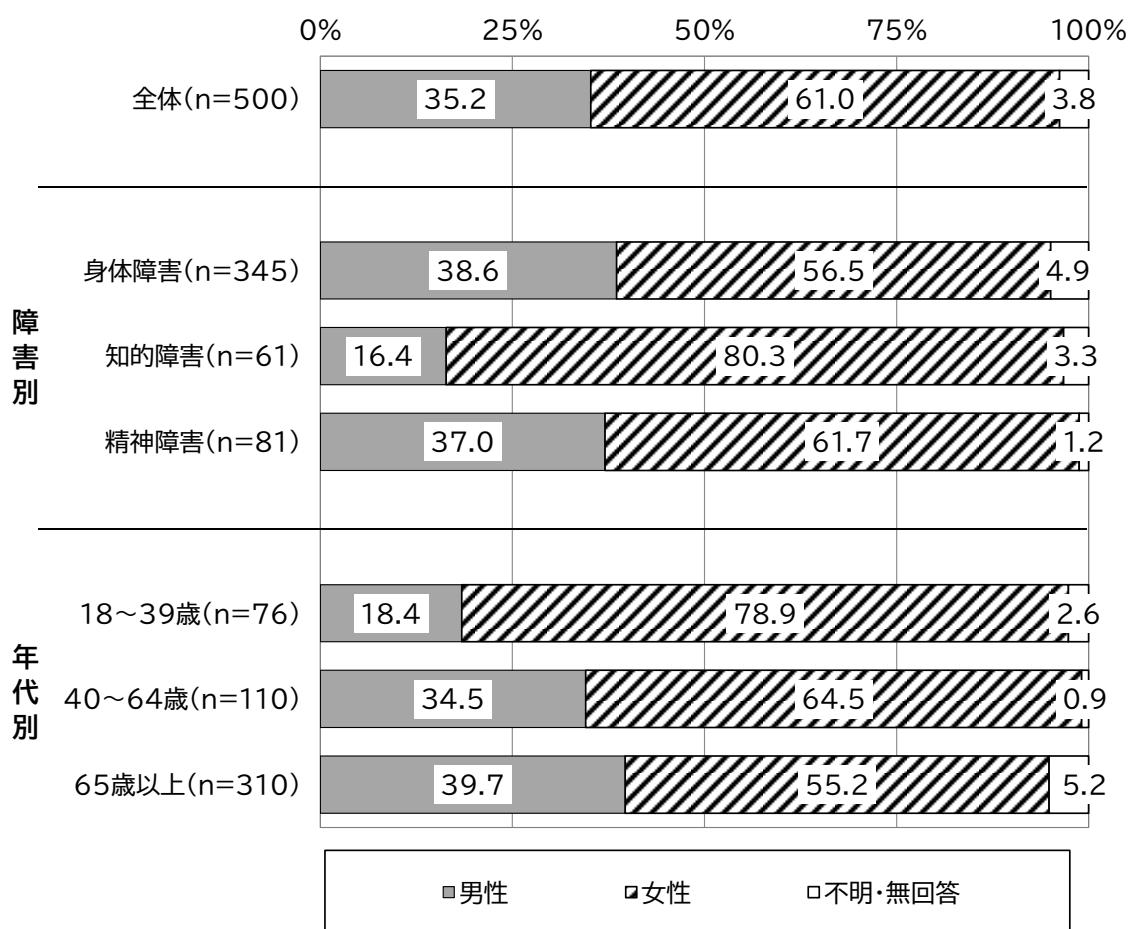
問 15 あなたを主に介助している家族・親族（特に中心となっている方）の性別、年齢、健康状態をお聞きします。（①～③の各項目で、いずれか1つに○）

【①性別】

介助している家族・親族の性別についてみると、全体では「女性」が61.0%と最も高く、次いで「男性」が35.2%となっています。

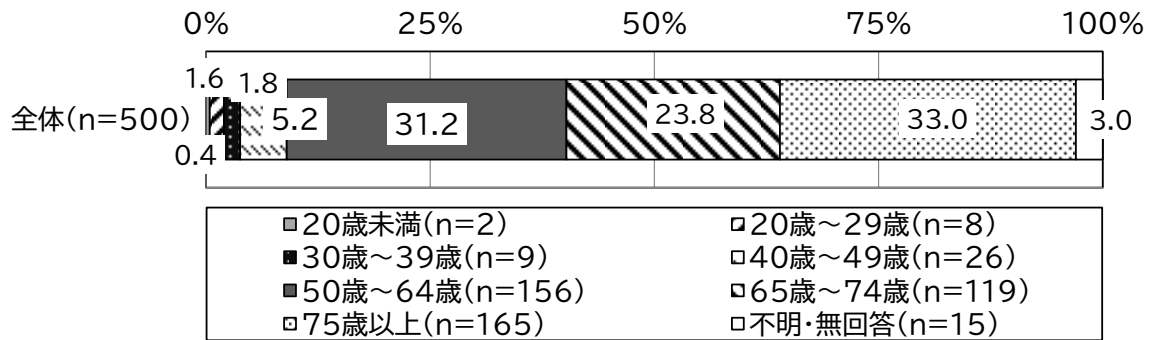
障害別にみると、いずれも全体と同じ傾向がみられますが、特に知的障害については、「女性」が8割を超えており、他の障害と比べて割合が大きくなっています。

年代別にみると、いずれも「女性」が最も高くなっていますが、40歳以上では「男性」が3割を超え、年齢が上がるほど「男性」の割合が高くなっています。



【②年齢】

介助している家族・親族の年齢についてみると、「75歳以上」が33.0%と最も高く、次いで「50～64歳」が31.2%となっています。



障害別にみると、身体障害では「75歳以上」、知的障害と精神障害では「50～64歳」がそれぞれ最も高くなっています。

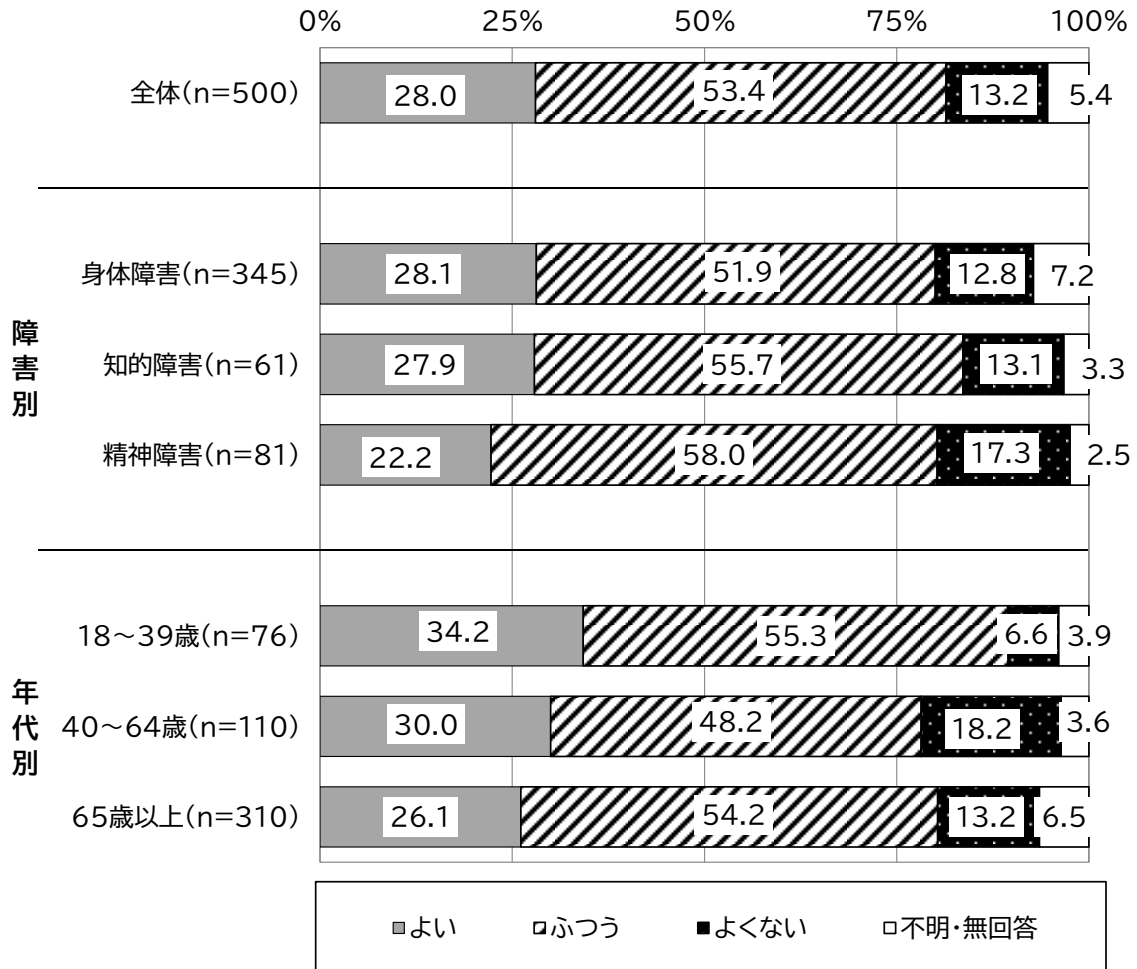
回答者の年代別にみると、64歳以下の介助者は「50歳～64歳」が、65歳以上の介助者は「75歳以上」がそれぞれ最も高くなっています。

		(n)	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	不明・無回答
全体		500	0.4	1.6	1.8	5.2	31.2	23.8	33.0	3.0
障害別	身体障害	345	0.0	0.9	2.3	4.3	26.4	25.2	36.8	4.1
	知的障害	61	1.6	3.3	1.6	4.9	50.8	16.4	18.0	3.3
	精神障害	81	1.2	2.5	0.0	11.1	32.1	28.4	23.5	1.2
年代別	18～39歳	76	1.3	2.6	3.9	9.2	63.2	17.1	0.0	2.6
	40～64歳	110	0.9	3.6	4.5	8.2	36.4	16.4	29.1	0.9
	65歳以上	310	0.0	0.6	0.3	3.2	21.0	28.4	42.6	3.9

【③健康状態】

介助している家族・親族の健康状態についてみると、全体では「ふつう」が53.4%と最も高く、次いで「よい」が28.0%となっており、どの障害においても、全体と同じ傾向がみられます。

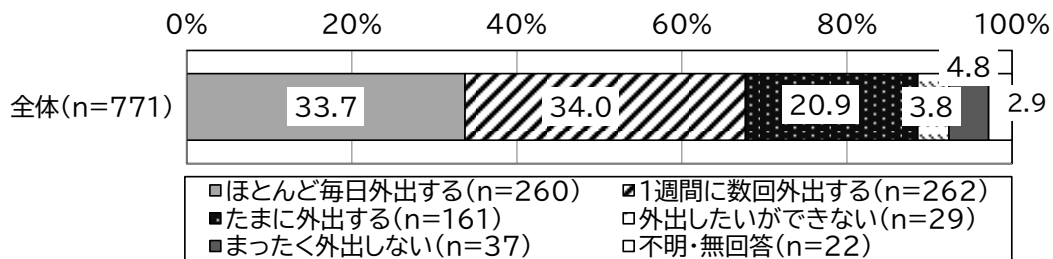
年代別にみても、全体と同じ傾向がみられますが、40～64歳では「よくない」が2割弱をと比較的高くなっています。



5. 外出・余暇支援について

問16 あなたのふだんの外出の回数はどのくらいですか。(仕事、通所、通学などを含む)
(1つに○)

ふだんの外出の回数についてみると、全体では「1週間に数回外出する」が34.0%と最も高く、次いで「ほとんど毎日外出する」が33.7%となっています。



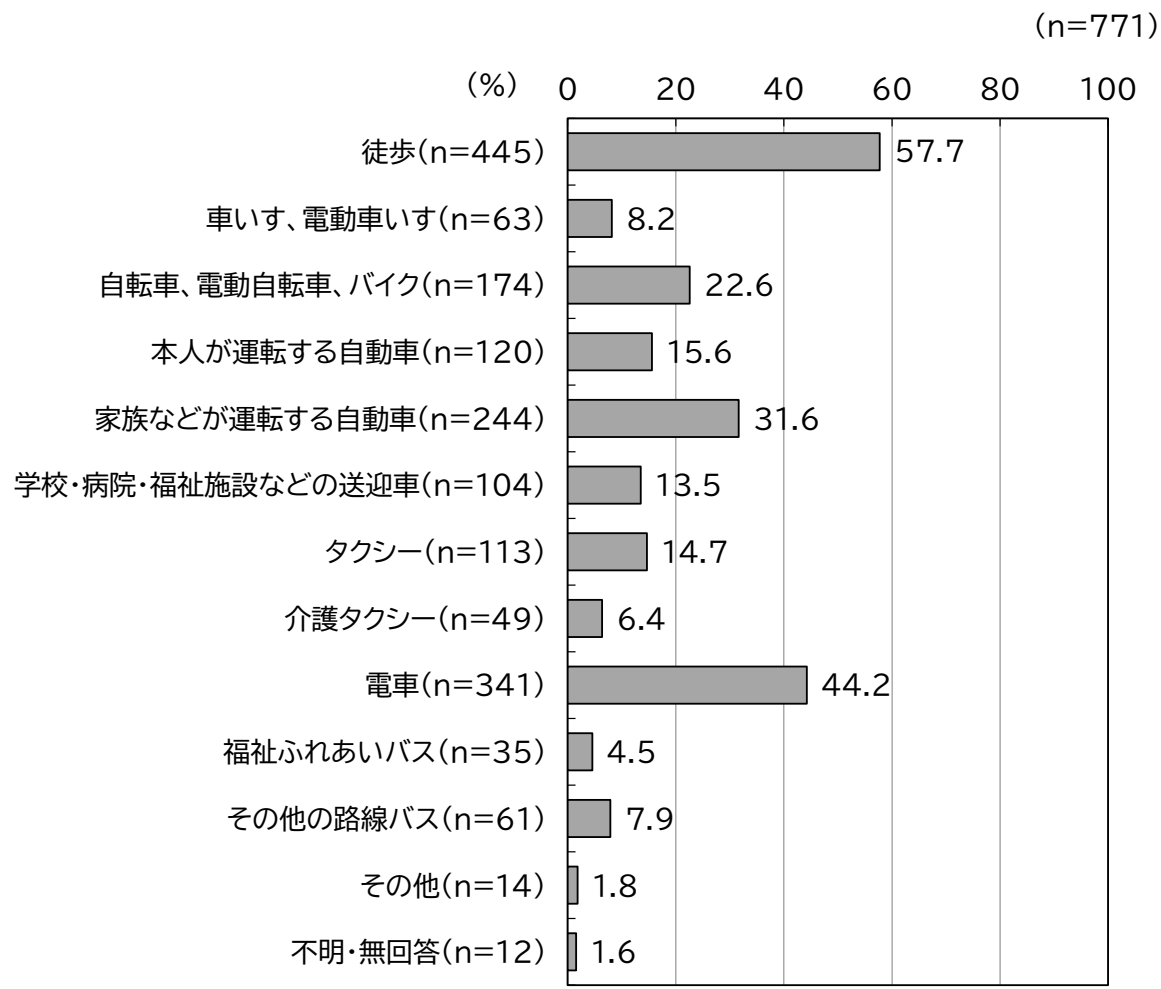
障害別にみると、身体障害、高次脳機能障害、難病では「1週間に数回外出する」、知的障害、精神障害、発達障害では「ほとんど毎日外出する」が最も高くなっています。

年代別にみると、64歳以下では「ほとんど毎日外出する」、65歳以上では「1週間に数回外出する」が最も高くなっています。

		(n)	ほとんど毎日外出する	1週間に数回外出する	たまたま外出する	外出したいができない	まったく外出しない	不明・無回答
全体		771	33.7	34.0	20.9	3.8	4.8	2.9
障害別	身体障害	513	27.9	38.2	21.4	4.3	4.9	3.3
	視覚障害	35	8.6	34.3	31.4	11.4	8.6	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	33.3	41.2	9.8	5.9	3.9	5.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	28.0	36.0	0.0	8.0	20.0	8.0
	肢体不自由	243	25.1	39.1	20.6	6.2	5.8	3.3
	内部障害	180	28.9	39.4	22.2	1.7	5.6	2.2
	知的障害	96	66.7	15.6	8.3	2.1	4.2	3.1
	精神障害	138	35.5	29.0	28.3	3.6	2.9	0.7
	発達障害	69	66.7	13.0	15.9	2.9	1.4	0.0
	高次脳機能障害	18	22.2	33.3	22.2	0.0	22.2	0.0
難病	34	23.5	29.4	23.5	5.9	5.9	11.8	
年代別	18～39歳	104	66.3	17.3	11.5	1.9	1.0	1.9
	40～64歳	196	47.4	24.5	19.4	3.6	3.1	2.0
	65歳以上	462	20.3	42.0	23.6	4.3	6.5	3.2

問 17 あなたが外出するときの主な交通手段をお聞きします。(3つまで○)

主な交通手段についてみると、全体では「徒歩」が 57.7%と最も高くなっており、次いで「電車」が 44.2%、「家族などが運転する自動車」が 31.6%となっています。



◇外出時の主な交通手段「その他」の回答

内 容	
盲導犬	歩行器
歩行器が無ければ歩けない。	入院中につき外出ナシ。
病院のバス	イオンバス
デイサービスの送迎サービスバス	デイサービスの送迎車

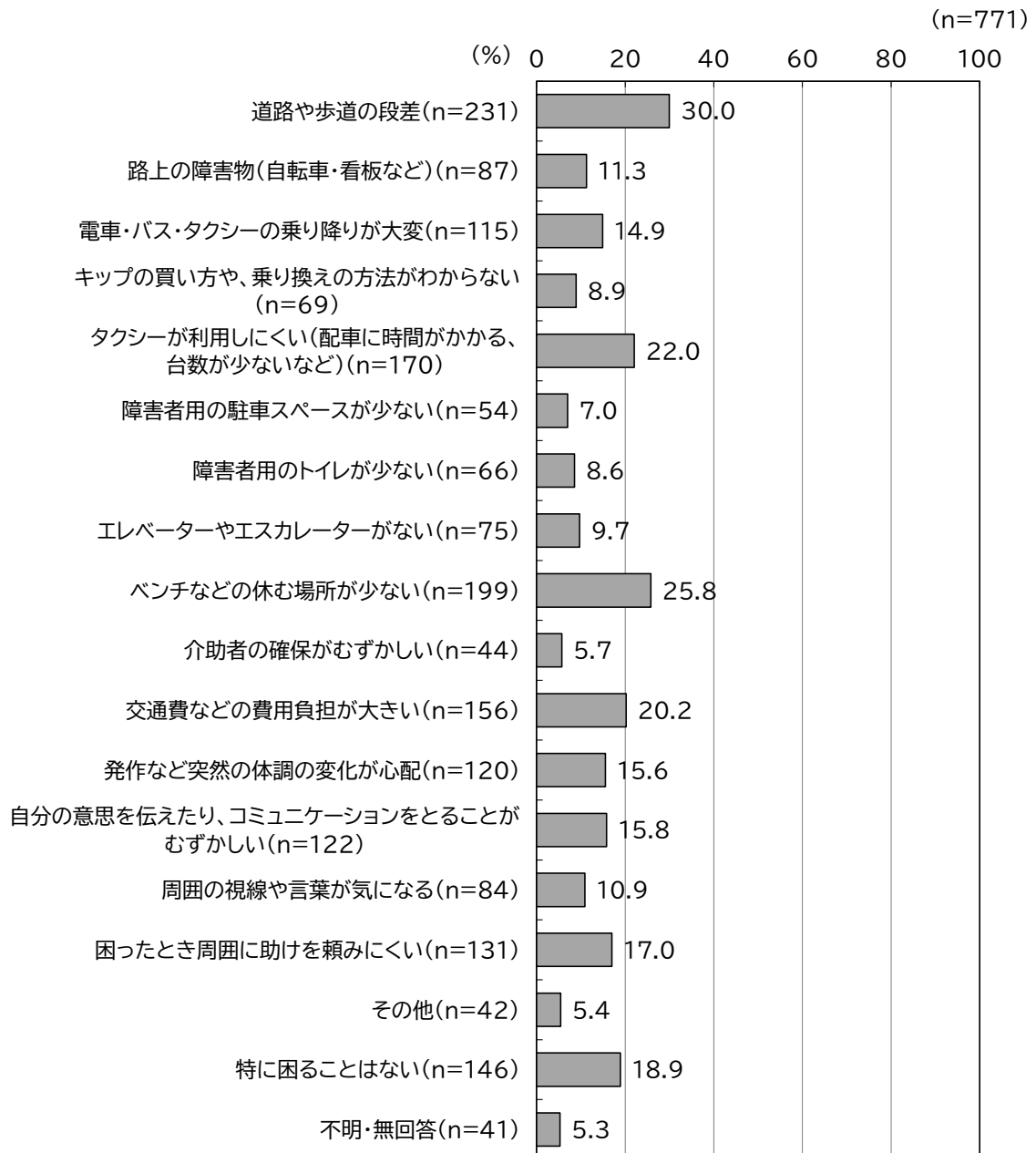
障害別でみると、ほとんどの障害で「徒歩」が最も高くなっています。また、高次脳機能障害では、「電車」、難病では、「家族などが運転する自動車」が最も高くなっています。

年代別でみると、いずれも「徒歩」が最も高くなっています。

	(n)	徒歩	車いす、電動車いす	自転車、電動自転車、バイク	本人が運転する自動車	家族などが運転する自動車	学校・病院・福祉施設などの送迎車	タクシー	介護タクシー	電車	福祉・ふれあいバス	その他の路線バス	その他	不明・無回答	
全体	771	57.7	8.2	22.6	15.6	31.6	13.5	14.7	6.4	44.2	4.5	7.9	1.8	1.6	
障害別	身体障害	513	51.9	9.6	20.3	19.3	33.5	11.1	18.7	8.0	36.6	5.5	7.2	1.9	1.6
	視覚障害	35	51.4	8.6	5.7	2.9	34.3	11.4	31.4	11.4	37.1	2.9	14.3	0.0	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	62.7	5.9	27.5	23.5	35.3	17.6	9.8	7.8	33.3	3.9	7.8	2.0	2.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	52.0	4.0	12.0	16.0	16.0	24.0	12.0	12.0	36.0	8.0	12.0	8.0	4.0
	肢体不自由	243	40.3	20.2	14.8	15.2	41.2	13.2	16.9	14.0	32.9	4.9	6.2	3.3	2.1
	内部障害	180	56.1	2.2	22.8	27.8	27.8	13.3	19.4	5.0	42.2	3.9	6.1	0.6	1.1
	知的障害	96	63.5	7.3	13.5	2.1	42.7	31.3	9.4	3.1	58.3	1.0	9.4	0.0	3.1
	精神障害	138	74.6	3.6	33.3	10.9	21.7	10.9	5.8	2.2	63.0	4.3	9.4	1.4	0.7
	発達障害	69	84.1	0.0	27.5	10.1	31.9	18.8	1.4	0.0	66.7	1.4	5.8	1.4	0.0
	高次脳機能障害	18	33.3	16.7	5.6	5.6	27.8	22.2	11.1	33.3	38.9	11.1	5.6	11.1	0.0
難病	34	32.4	17.6	8.8	11.8	41.2	11.8	11.8	23.5	38.2	0.0	5.9	2.9	2.9	
年代別	18～39歳	104	72.1	8.7	25.0	8.7	49.0	23.1	3.8	1.9	60.6	1.0	5.8	0.0	1.0
	40～64歳	196	69.9	5.6	26.0	18.4	22.4	10.2	7.1	2.6	57.7	1.5	8.7	2.0	1.0
	65歳以上	462	49.4	9.3	20.6	16.0	32.3	12.8	19.9	9.1	34.8	6.7	8.2	1.9	1.7

問18 あなたが外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出するときに困ることについてみると、全体では「道路や歩道の段差」が30.0%と最も高く、次いで「ベンチなどの休む場所が少ない」が25.8%、「タクシーが利用しにくい」が22.0%となっています。



◇外出するときに困ること「その他」の回答

内 容	
階段の登り降り	エスカレーターの下りが少ない。
信号が見にくい。	雑音
電車が止まった時のアナウンスがわからない。	言葉の聞き取り
運転中パニックになる事がある。	車が運転できない。
介助者がいないと外出できない	車イスへの移乗介助者が必要。
ひとりで外出できない。	思ってる言葉が出しにくい。
タクシーが予約できず、また、時間がかかる 介護タクシーは予約できるので、一度利用したが+900円必要。	山崎在住、駅まで遠い。特に昨今、タクシーが少なく予約できない。
島本町バスの回数を増やしてほしい。	福祉ふれあいバスが乗れない。
不注意、方向がわからなくなる。	方向オンチ
外出の準備(メイク・髪型・服装など)	家を出るまでにやる気が出ず行くのをやめてしまう。着替え整容がめんどろ。
JR 地下道の歩行者道路のでこぼこ	病気の症状が出ること
人が多い場だとよけて歩くことが大変に感じる。	満員電車でケータイにより不整脈が出て困っている。
山崎在住、駅まで遠い。特に昨今、タクシーが少なく予約できない。	電話が困難、FAX だとタクシー会社からの返事が来ない(翌日などになる)。
事故など遅延迂回しなければならない時に働けなくなってしまう。	学生、子供、主婦、交通ルールが悪い。
入院中につき外出しない。	外出しない、できない。
歩けないので項目ない。	1人での行動ができない・不安
面識がない女性が乗っている電車やバスに乗らないといけないこと。(痴漢のえん罪の被害に遭うかもしれないという強迫観念と不安から過呼吸気味になる。)	

障害別にみると、身体障害、高次脳機能障害、難病では「道路や歩道の段差」、知的障害、発達障害では「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとること」、精神障害では「周囲の視線や言葉が気になる」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい」、40～64歳では、「困ったとき周囲に助けを頼みにくい」が、65歳以上では「道路や歩道の段差」が最も高くなっています。

問18 外出するときに困ること①

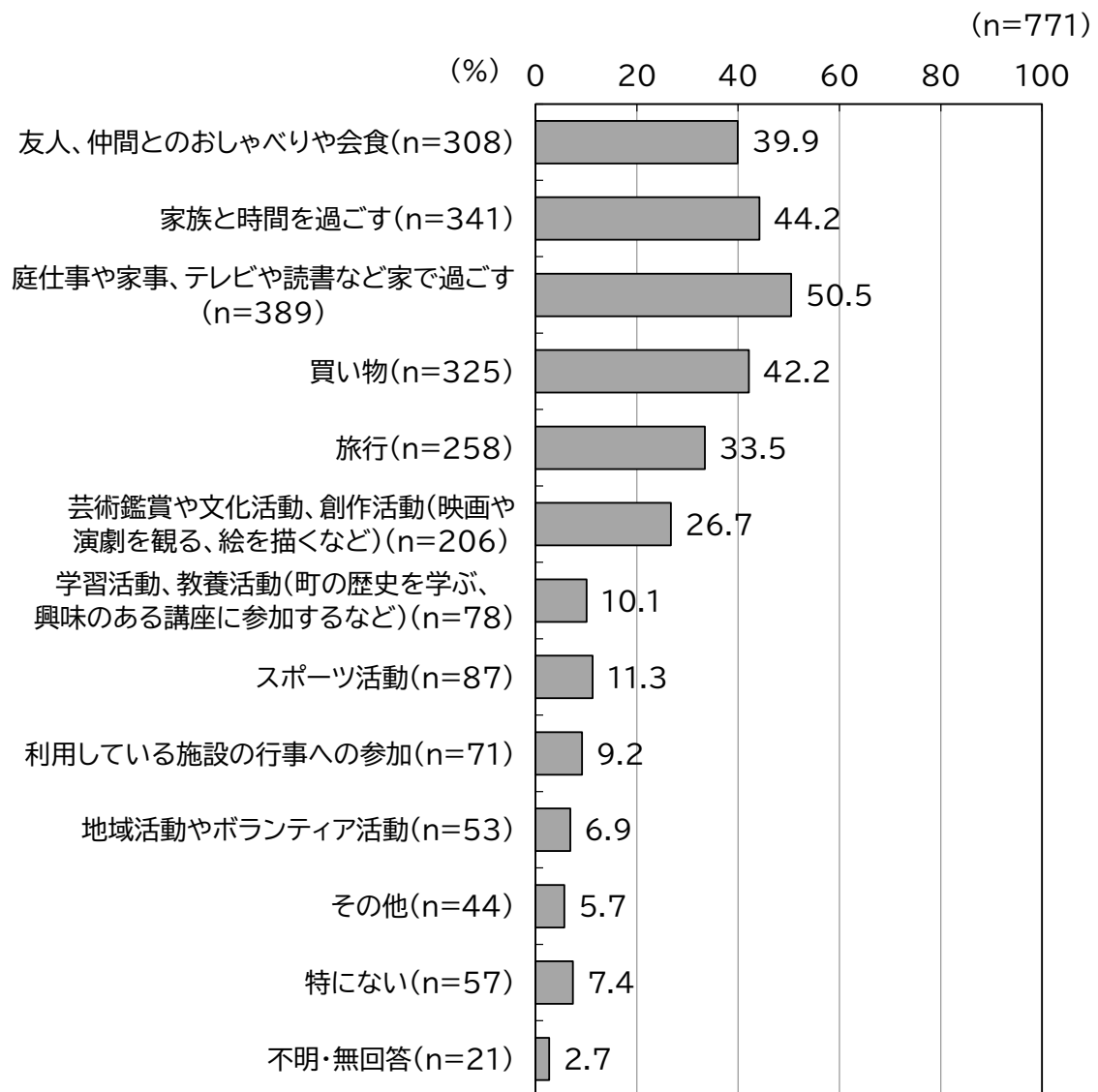
	(n)	道路や歩道の段差	路上の障害物	電車・バス・タクシーの乗り降りが大変	キップの買い方や、乗り換えの方法がわからない	タクシーが利用しにくい	障害者用の駐車スペースが少ない	障害者用のトイレが少ない	エレベーターやエスカレーターがない	ベンチなどの休む場所が少ない	
全体	771	30.0	11.3	14.9	8.9	22.0	7.0	8.6	9.7	25.8	
障害別	身体障害	513	38.0	14.6	17.9	5.5	26.1	7.8	9.4	11.3	29.2
	視覚障害	35	71.4	40.0	31.4	20.0	37.1	0.0	5.7	11.4	20.0
	聴覚・平衡機能障害	51	35.3	9.8	21.6	11.8	11.8	9.8	5.9	9.8	23.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	32.0	32.0	32.0	20.0	16.0	8.0	16.0	16.0	28.0
	肢体不自由	243	48.1	16.5	23.5	3.3	25.1	11.9	15.2	16.9	30.0
	内部障害	180	27.8	10.0	13.3	7.8	27.8	6.7	5.0	10.6	35.0
	知的障害	96	16.7	6.3	14.6	31.3	11.5	6.3	16.7	8.3	15.6
	精神障害	138	15.9	6.5	7.2	8.0	15.2	6.5	5.8	8.0	23.9
	発達障害	69	4.3	2.9	5.8	20.3	8.7	5.8	10.1	1.4	18.8
	高次脳機能障害	18	55.6	27.8	38.9	16.7	11.1	11.1	22.2	27.8	27.8
難病	34	35.3	26.5	26.5	11.8	32.4	8.8	14.7	20.6	29.4	
年代別	18～39歳	104	12.5	7.7	10.6	22.1	12.5	8.7	16.3	10.6	18.3
	40～64歳	196	22.4	9.2	9.7	8.7	12.2	8.2	8.7	11.2	25.0
	65歳以上	462	37.4	13.2	18.4	6.1	28.6	6.3	6.9	9.1	28.1

問 18 外出するときに困ること②

		(n)	介助者の確保がむずかしい	交通費などの費用負担が大きい	発作など突然の体調の変化が心配	自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることがむずかしい	周囲の視線や言葉が気になる	困ったとき周囲に助けを頼みにくい	その他	特に困ることはない	不明・無回答
全体		771	5.7	20.2	15.6	15.8	10.9	17.0	5.4	18.9	5.3
障害別	身体障害	513	4.1	17.7	12.9	7.8	2.9	9.4	4.3	20.5	5.3
	視覚障害	35	8.6	25.7	2.9	8.6	2.9	20.0	2.9	5.7	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	2.0	11.8	15.7	29.4	7.8	17.6	9.8	17.6	5.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	8.0	8.0	8.0	28.0	4.0	12.0	8.0	24.0	4.0
	肢体不自由	243	4.9	19.8	10.3	6.6	3.7	9.5	4.5	14.8	5.8
	内部障害	180	4.4	17.2	18.3	6.1	3.3	8.3	4.4	26.1	5.6
	知的障害	96	17.7	21.9	19.8	58.3	24.0	46.9	7.3	9.4	4.2
	精神障害	138	5.1	29.7	29.7	24.6	31.9	26.1	6.5	15.9	3.6
	発達障害	69	10.1	21.7	17.4	46.4	34.8	40.6	10.1	14.5	0.0
	高次脳機能障害	18	5.6	44.4	22.2	44.4	16.7	27.8	11.1	5.6	0.0
	難病	34	14.7	23.5	32.4	17.6	14.7	29.4	11.8	5.9	8.8
年代別	18～39歳	104	13.5	22.1	23.1	47.1	33.7	35.6	12.5	14.4	1.9
	40～64歳	196	5.6	24.5	20.9	21.4	18.9	25.5	4.1	17.3	3.1
	65歳以上	462	4.1	17.5	11.9	6.7	2.6	9.1	4.5	20.3	6.9

問 19 あなたは自由時間に何をしたいですか。特にしたいことの番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

自由時間にしたいことについてみると、全体では「庭仕事や家事、テレビや読書など家で過ごす」が50.5%と最も高く、次いで「家族と時間を過ごす」が44.2%、「買い物」が42.2%となっています。



◇自由時間にしたいこと「その他」の回答

内 容	
テレビ・パソコン・ユーチューブ・動画視聴	ゲーム
ダイエット・昼寝、youtube 撮影	カラオケ、野球観戦
テレビでスポーツ観戦 特にラグビー	ドライブ
しゅみ(囲碁等)	ピアノレッスン。英会話教室で学んでいる。
編み物とテレビ鑑賞	趣味の洋裁
パッチワーク、編み物	刺繍、洋裁、エコクラフトの作品作り
週 2 回デイサービスを利用している。	スポーツジム
外食	ファミリー農園
自分の趣味をして過ごす。	動物とあそぶ。現在はネコ 2 匹います。
散歩	散歩・音楽鑑しょう
吹田の万博で訪れて自然文化園で写真を撮ること。	上記2, 3, 4, 5, 7、から体調維持でしょうか。
すべて毎日やっている。	ひとりで静かにいられる時間
読書や勉強自分自身の能力向上心への成長のため。	週4回面会に行ってますが、楽しみにしてくれてると思います。
横になりたい。	今は、意欲が自分からわからない。
わからない	自由に動けないのでできない。
病院入院中	入院中につき自由な時間はありません。
下肢股関節が悪くスポーツや他の活動が出来ない。	特にないが、近くに遊べる所があると良いと思う。

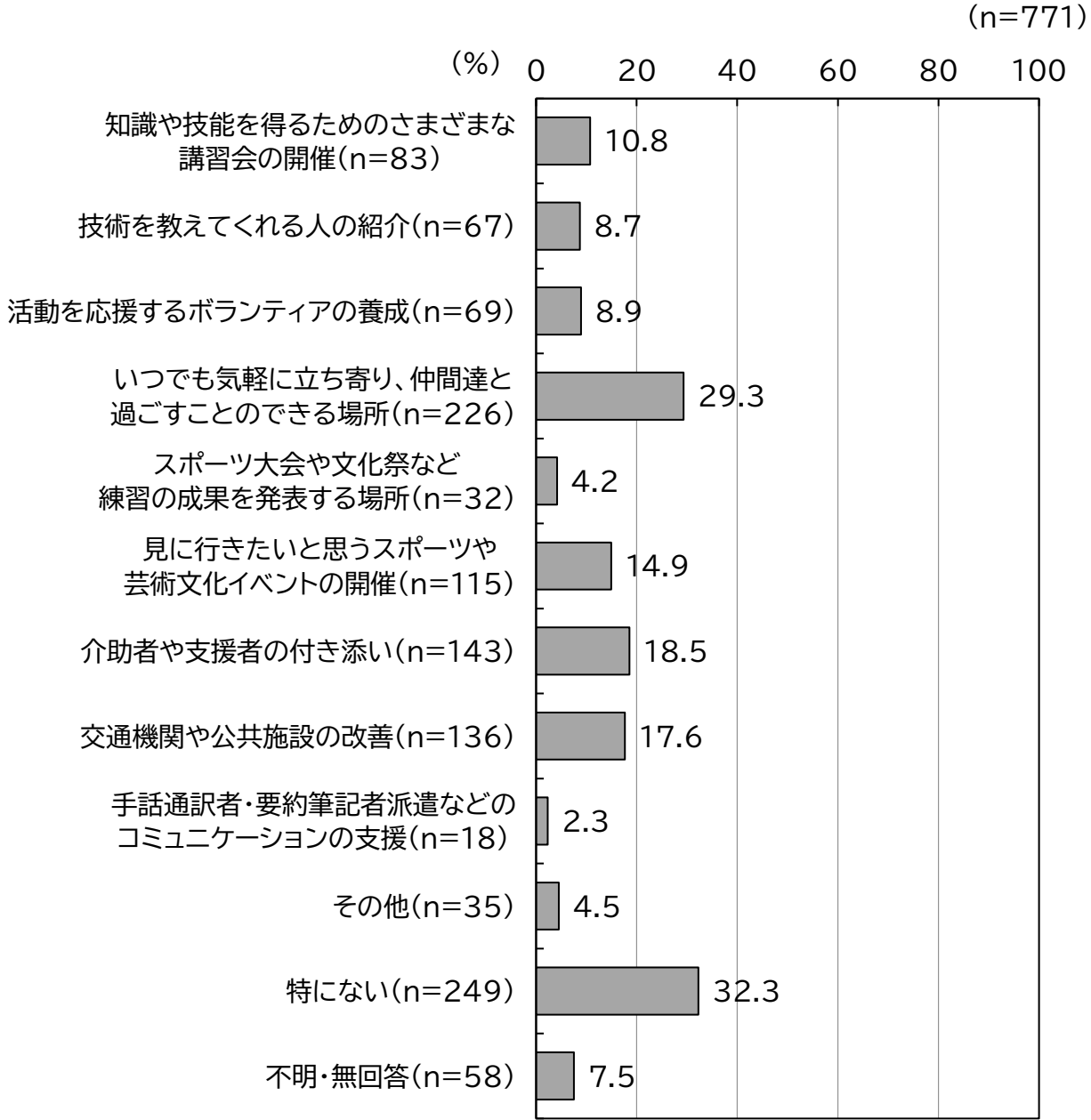
障害別にみると、身体障害、精神障害では「庭仕事や家事、テレビや読書など家で過ごす」、知的障害では「家族と時間を過ごす」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「家族と時間を過ごす」、40歳以上では「庭仕事や家事、テレビや読書など家で過ごす」が最も高くなっています。

		(n)	友人、仲間とのおしゃべりや会食	家族と時間を過ごす	庭仕事や家事、テレビや読書など家で過ごす	買い物	旅行	芸術鑑賞や文化活動、創作活動	学習活動、教養活動
全体		771	39.9	44.2	50.5	42.2	33.5	26.7	10.1
障害別	身体障害	513	41.9	43.1	50.5	39.8	32.6	21.2	9.7
	知的障害	96	29.2	46.9	44.8	45.8	34.4	29.2	6.3
	精神障害	138	37.0	44.2	53.6	50.7	34.8	42.0	14.5
年代別	18～39歳	104	38.5	50.0	46.2	49.0	41.3	45.2	13.5
	40～64歳	196	39.3	50.0	53.1	49.0	40.3	35.7	11.7
	65歳以上	462	40.7	41.1	50.6	37.7	28.8	18.6	8.9
		(n)	スポーツ活動	利用している施設の行事への参加	地域活動やボランティア活動	その他	特にない	不明・無回答	
全体		771	11.3	9.2	6.9	5.7	7.4	2.7	
障害別	身体障害	513	9.7	6.2	6.6	3.9	7.2	3.1	
	知的障害	96	12.5	30.2	4.2	10.4	7.3	3.1	
	精神障害	138	13.8	7.2	7.2	8.0	6.5	0.7	
年代別	18～39歳	104	20.2	20.2	4.8	10.6	3.8	1.0	
	40～64歳	196	14.3	11.2	7.7	8.2	5.1	2.0	
	65歳以上	462	8.0	6.1	7.1	3.7	8.7	3.2	

問 20 あなたが自由時間にしたい活動をするために何が必要ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

自由時間にしたい活動をするために必要なことについてみると、全体では「特にない」が 32.3%と最も高く、次いで「いつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所」が 29.3%、「介助者や支援者の付き添い」が 18.5%となっています。



◇自由時間にしたい活動をするために必要なこと「その他」の回答

内 容	
お金	体力
安定した収入	健康状態の改善
パソコン・インターネット環境	入院中なので必要ないです。
病院入院中	ペースメーカー
駐車場	英検3級程度の英語力
散歩をしたい。	家庭の場所
ふれあいバスの増便をお願いする。	土、日外出させてほしい。
入院中につき何もできない。	女性が乗れない電車の車両が欲しい。
薬を朝・昼・夕・その他など、飲み方に分けて袋に入れてわかるように置いておく。	障害者に対して、スポーツ、ダンス、文化的な、教室等の充実。土、日曜に、作業所が休みの日に開催してほしい。
時間(仕事や家事、介護養護で忙しく自分の時間がない)家族介助者の時間を捻出するために各種サービスの充実が必要)	健常者が居ない事。~してあげている感が下に見られている感じがする。かといって下手に出られると、甘やかされている気がする。

障害別にみると、身体障害では「特にない」、知的障害では「介助者や支援者の付き添い」、精神障害では「いつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所」が最も高くなっています。

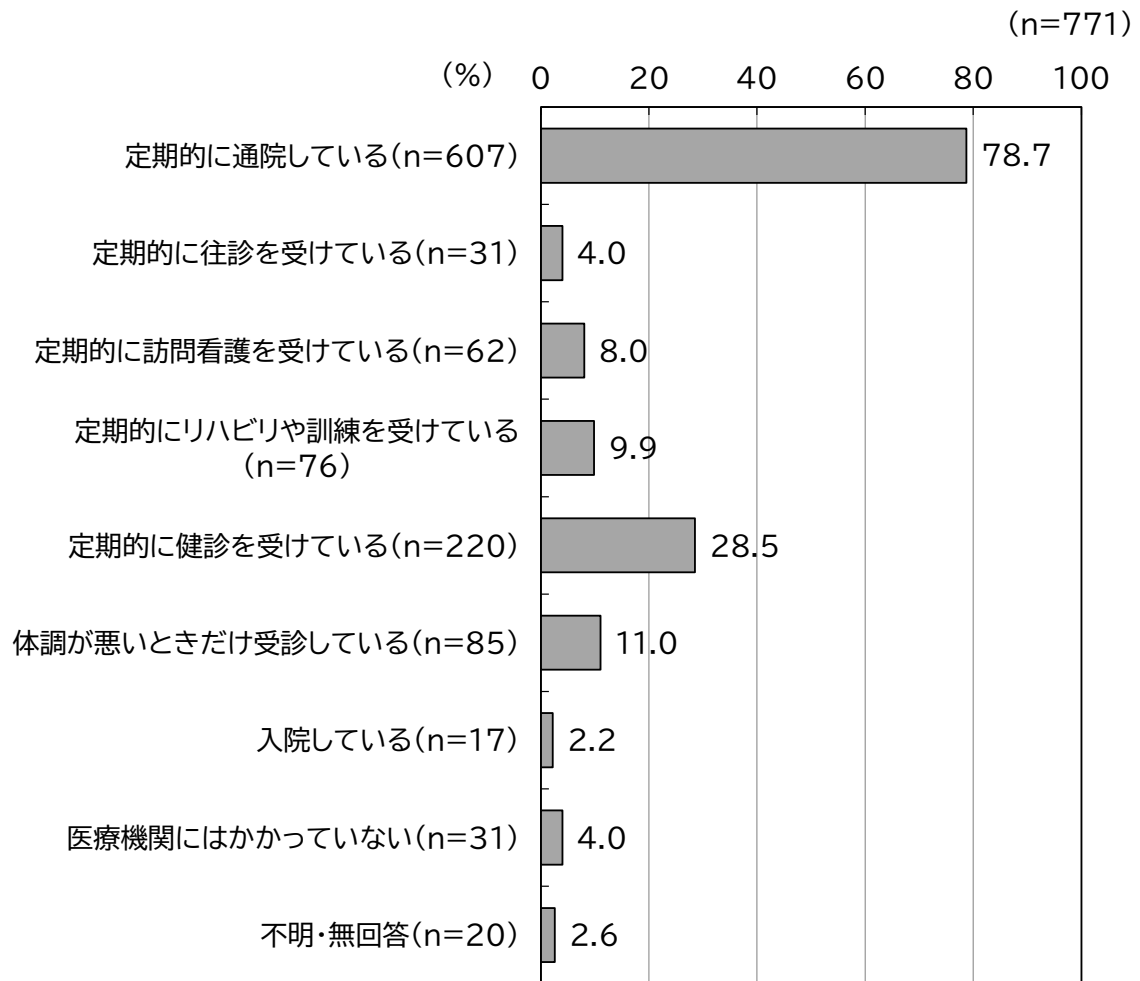
年代別にみると、65歳未満では「いつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所」、65歳以上では「特にない」が最も高くなっています。

		(n)	知識や技能を得るためのさまざまな講習会の開催	技術を教えてくれる人の紹介	活動を応援するボランティアの養成	いつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所	スポーツ大会や文化祭など練習の成果を発表する場所	見に行きたいと思うスポーツや芸術文化イベントの開催
全体		771	10.8	8.7	8.9	29.3	4.2	14.9
障害別	身体障害	513	9.9	6.4	7.4	26.1	2.5	14.0
	知的障害	96	10.4	7.3	18.8	41.7	10.4	18.8
	精神障害	138	16.7	17.4	8.0	34.8	5.1	13.0
年代別	18～39歳	104	15.4	15.4	13.5	44.2	10.6	24.0
	40～64歳	196	17.9	15.3	15.3	32.1	6.6	18.9
	65歳以上	462	6.7	4.1	5.2	24.2	1.5	11.3
		(n)	介助者や支援者の付き添い	交通機関や公共施設の改善	手話通訳者・要約筆記者派遣などのコミュニケーションの支援	その他	特にない	不明・無回答
全体		771	18.5	17.6	2.3	4.5	32.3	7.5
障害別	身体障害	513	16.4	17.0	2.1	2.1	35.3	8.2
	知的障害	96	43.8	15.6	2.1	4.2	18.8	5.2
	精神障害	138	13.8	21.7	3.6	11.6	30.4	3.6
年代別	18～39歳	104	28.8	22.1	3.8	12.5	23.1	2.9
	40～64歳	196	16.8	20.9	5.1	6.6	31.1	3.6
	65歳以上	462	17.3	14.9	0.9	1.9	34.8	10.2

6. 保健・医療について

問 21 あなたの通院の状況や、保健・医療サービスの利用状況をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

通院の状況などについてみると、全体では「定期的に通院している」が78.7%と最も高く、次いで「定期的に健診を受けている」が28.5%となっています。



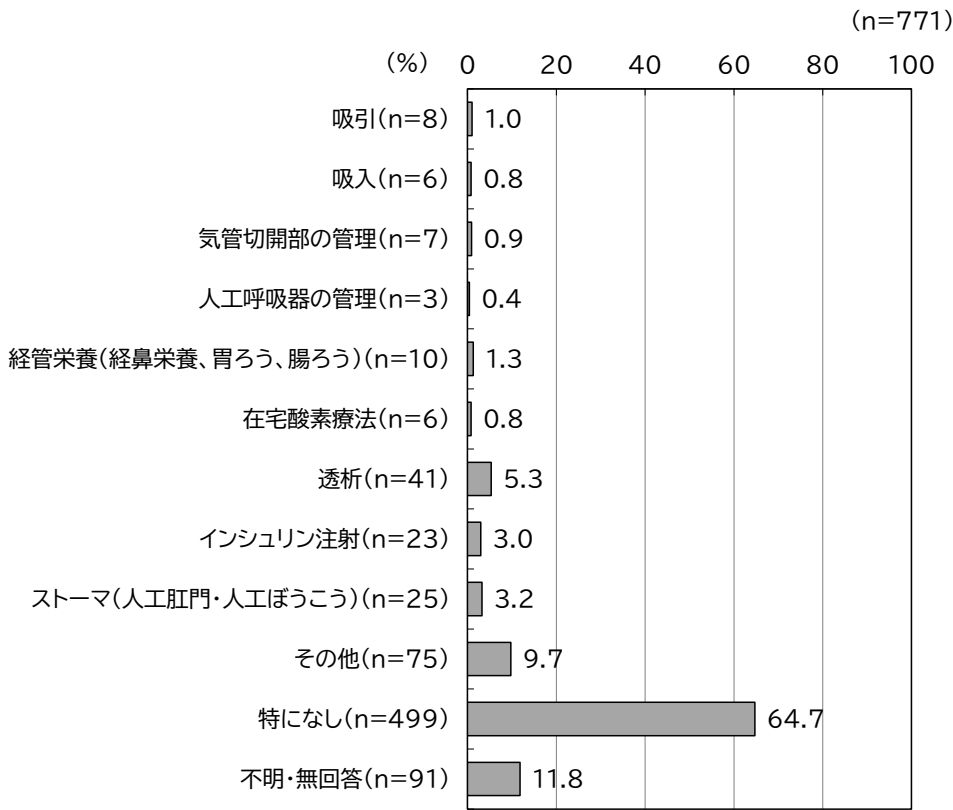
障害別にみると、いずれも「定期的に通院している」が最も高くなっており、ほとんどの障害では、「定期的に健診を受けている」が次に高くなっています。高次脳機能障害では「定期的にリハビリや訓練を受けている」「入院している」、難病では「定期的にリハビリや訓練を受けている」が次に高くなっています。

年代別にみると、いずれも「定期的に通院している」が最も高くなっており、18～39歳では「体調が悪いときだけ受診している」が、40歳以上では、「定期的に健診を受けている」が次に高くなっています。

	(n)	定期的に通院している	定期的に往診を受けている	定期的に訪問看護を受けている	定期的にリハビリや訓練を受けている	定期的に健診を受けている	体調が悪いときだけ受診している	入院している	医療機関にはかかっていない	不明・無回答	
全体	771	78.7	4.0	8.0	9.9	28.5	11.0	2.2	4.0	2.6	
障害別	身体障害	513	79.7	4.3	6.8	12.3	32.0	8.8	2.1	3.5	1.8
	視覚障害	35	80.0	2.9	5.7	5.7	40.0	14.3	8.6	0.0	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	66.7	2.0	3.9	11.8	35.3	15.7	7.8	11.8	3.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	68.0	4.0	12.0	16.0	36.0	12.0	4.0	8.0	0.0
	肢体不自由	243	72.8	6.2	10.7	18.1	29.2	10.7	1.6	5.3	2.1
	内部障害	180	88.9	3.9	6.1	7.2	29.4	7.8	2.2	1.1	0.6
	知的障害	96	64.6	3.1	4.2	5.2	27.1	19.8	1.0	10.4	4.2
	精神障害	138	88.4	4.3	15.2	5.8	18.1	10.1	2.9	1.4	2.9
	発達障害	69	76.8	2.9	5.8	2.9	17.4	14.5	0.0	7.2	1.4
	高次脳機能障害	18	72.2	11.1	16.7	22.2	11.1	16.7	22.2	0.0	0.0
	難病	34	76.5	5.9	32.4	29.4	23.5	8.8	8.8	5.9	0.0
年代別	18～39歳	104	71.2	0.0	5.8	3.8	18.3	19.2	0.0	6.7	2.9
	40～64歳	196	82.7	4.6	11.2	5.6	23.0	11.2	3.1	4.6	1.0
	65歳以上	462	78.8	4.8	7.1	13.0	32.9	9.3	2.4	3.2	2.8

問 22 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

現在受けている医療ケアについてみると、全体では「特になし」が 64.7%と大半を占めていますが、何らかの医療ケアを必要とする人の中では、「その他」が 9.7%、「透析」が 5.3%と多くなっています。



◇現在受けている医療ケア「その他」の回答

内 容	
薬(投薬・処方)	ペースメーカー装着
月1回程度の投薬・通院	精神科
年1回検診	皮膚科
カウンセリング	内科、整形、神経科
採血・検査	耳鼻科
高血圧	整形外科
心臓	循環器内科
突発性難聴	眼科
糖尿病	歯科(月1回)
腎臓	接骨院でのマッサージ
白内障	間接注射
機械による物理療法リハビリ	ホルモン注射(前立腺がん)
時どき身体のリハビリ	痛み止め注射
シーパップ(CPAP)	薬物療法

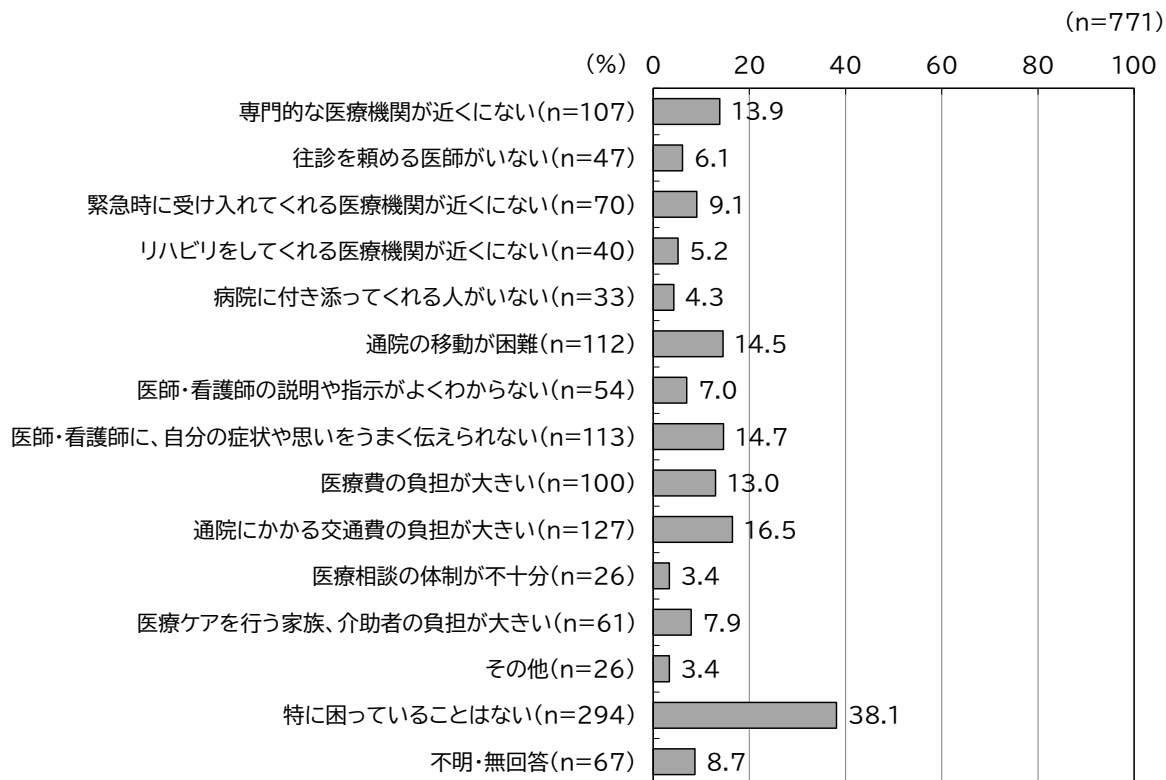
内 容	
腰部	輸液管理【未しょう】
人工股関節	ボックスインシュリン
人工内耳	ICD の遠隔管理
尿道カテーテル	てんかん発作の指導
PSA チェック	両膝の術後の検診
脳深部刺激装置植込み	背骨の圧迫骨折治療
管理	挨拶
安定アリ	今は先生がいらっしゃるんですが、高齢のため今後が不安です。

障害別・年代別にみると、以下の通りとなっています。

	(n)	吸引	吸入	気管切開部の管理	人工呼吸器の管理	経管栄養	在宅酸素療法	透析	インシュリン注射	ストーマ	その他	特になし	不明・無回答	
全体	771	1.0	0.8	0.9	0.4	1.3	0.8	5.3	3.0	3.2	9.7	64.7	11.8	
障害別	身体障害	513	1.2	0.6	1.4	0.6	1.6	0.8	8.0	3.3	4.9	8.6	61.2	12.3
	知的障害	96	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	11.5	71.9	12.5
	精神障害	138	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	0.0	11.6	74.6	9.4
年代別	18～39 歳	104	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	7.7	81.7	6.7
	40～64 歳	196	1.0	1.5	0.5	0.0	1.0	0.0	4.1	2.6	1.0	10.7	68.9	10.7
	65 歳以上	462	1.3	0.4	1.3	0.6	1.7	1.1	6.9	3.7	4.8	9.7	59.1	13.4

問 23 あなたが医療を受けるうえで困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

医療を受ける上で困っていることについてみると、全体では「特に困っていることはない」が38.1%と最も高く、次いで「通院にかかる交通費の負担が大きい」が16.5%、「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」が14.7%、「通院の移動が困難」が14.5%となっています。



◇医療を受けるうえで困ること「その他」の回答

内 容
病院入院中
通院時間の負担
医療費以外の負担
介護をしながら通院する時が困る。
通院のために仕事を休む必要がある。
通院の付き添いが母のみでスケジュール管理が大変。
平日のみ病院が空いているため、休みを取る必要がある。
病院の待ち時間で疲れて体調が悪くなる。
緊急時の通院移動
身体が不自由な家族の心配
訪問リハビリを週に1回以上受けてたい。
診察までの待ち時間がじっとできないので厳しい。
服用の管理が出来ない。薬を飲んだかどうか忘れる。
車いす用駐車場に元気な高齢者が止まっていること。
リハビリ入院のベッドがあかず近くの病院に入院できない。
病気全体を見てくれるところがない。
うつでしんどい時間(深夜)に病院がやってない。
幻聴を治す方法が医学界にない。
カウンセリングに保険適用が効かない。
入院した途端に福祉サービスが受けられなくなる。現在入院中です。24 時間家族が付き添っています。いつかでもなくなります。
町の国民健康保険について ①障害者でも健常者と同様に算出され、請求される。これは国の仕組みだから100歩ゆずって、②保険料自体が高槻市や茨木市に比して高くつく。理由はご担当から説明をうけましたが、今一つふに落ちない。

障害別にみると、「特に困っていることはない」を除くと、身体障害では「通院の移動が困難」、精神障害、知的障害では「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」が最も高くなっています。

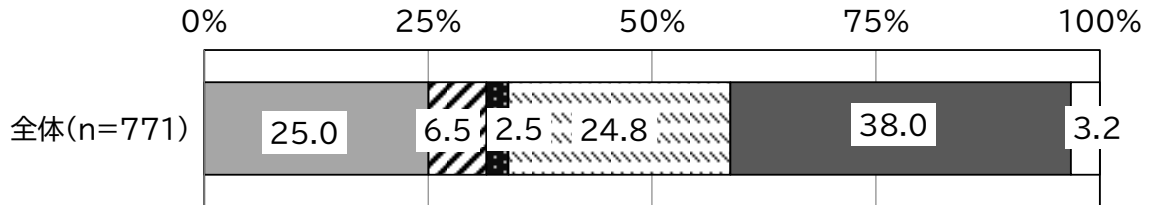
年代別にみると、「特に困っていることはない」を除くと、65歳未満では「医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない」、65歳以上では「通院にかかる交通費の負担が大きい」が最も高くなっています。

	(n)	専門的な医療機関が近くにない	往診を頼める医師がいない	緊急時に受け入れてくれる医療機関が近くにない	リハビリをしてもらえる医療機関が近くにない	病院に付き添ってくれる人がいない	通院の移動が困難	医師・看護師の説明や指示がよくわからない	医師・看護師に、自分の症状や思いをうまく伝えられない	医療費の負担が大きい	通院にかかる交通費の負担が大きい	医療相談の体制が不十分	医療ケアを行う家族、介助者の負担が大きい	その他	特に困っていることはない	
全体	771	13.9	6.1	9.1	5.2	4.3	14.5	7.0	14.7	13.0	16.5	3.4	7.9	3.4	38.1	
障害別	身体障害	513	10.1	6.2	7.6	5.8	15.2	4.1	7.2	11.9	14.6	2.7	8.4	2.7	42.1	
	知的障害	96	18.8	4.2	10.4	6.3	15.6	22.9	46.9	17.7	17.7	1.0	9.4	5.2	19.8	
	精神障害	138	28.3	8.0	16.7	5.1	5.8	13.0	10.9	28.3	15.9	24.6	8.0	7.2	5.8	28.3
年代別	18～39歳	104	22.1	3.8	9.6	4.8	6.7	17.3	15.4	33.7	15.4	18.3	1.9	6.7	10.6	25.0
	40～64歳	196	21.9	7.1	15.8	6.6	5.1	10.7	9.2	22.4	17.3	16.3	5.6	8.2	3.1	33.7
	65歳以上	462	8.7	6.3	6.3	4.5	3.5	15.6	4.3	7.1	10.4	15.8	2.8	8.2	1.9	43.1
現在受けている医療ケア別	吸引	8	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5
	吸入	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	50.0
	気管切断部の管理	7	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3
	人工呼吸器の管理	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	経管栄養	10	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	10.0
	在宅酸素療法	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7
	透析	41	14.6	2.4	12.2	0.0	2.4	9.8	2.4	7.3	7.3	17.1	4.9	7.3	0.0	48.8
	インシュリン注射	23	0.0	17.4	4.3	4.3	4.3	17.4	4.3	13.0	13.0	30.4	4.3	8.7	0.0	17.4
	ストーマ	25	16.0	8.0	0.0	12.0	12.0	12.0	4.0	12.0	36.0	28.0	8.0	16.0	8.0	28.0
	その他	75	16.0	5.3	10.7	8.0	1.3	16.0	10.7	17.3	13.3	13.3	6.7	16.0	6.7	32.0
	特になし	499	14.0	5.8	9.6	5.0	4.8	13.8	7.4	14.8	12.6	15.4	2.4	6.6	2.8	44.7

7. 就労について

問 24 あなたは、現在働いていますか。(1つに○)

現在の就労状況についてみると、全体では「高齢であるため働いていない」が38.0%、次いで「働いている」が25.0%、「働いておらず、今後も働く予定はない」が24.8%となっています。



- 働いている(福祉施設や作業所などでの福祉的就労を含む)(n=193)
- ▣ 働いていないが、働きたいと考えている(求職中、訓練中を含む)(n=50)
- 休職中である(n=19)
- 働いておらず、今後も働く予定はない(働けない)(n=191)
- 高齢であるため働いていない(n=293)
- 不明・無回答(n=25)

障害別にみると、身体障害では「高齢であるため働いていない」、知的障害、精神障害では「働いている」が最も高くなっています。

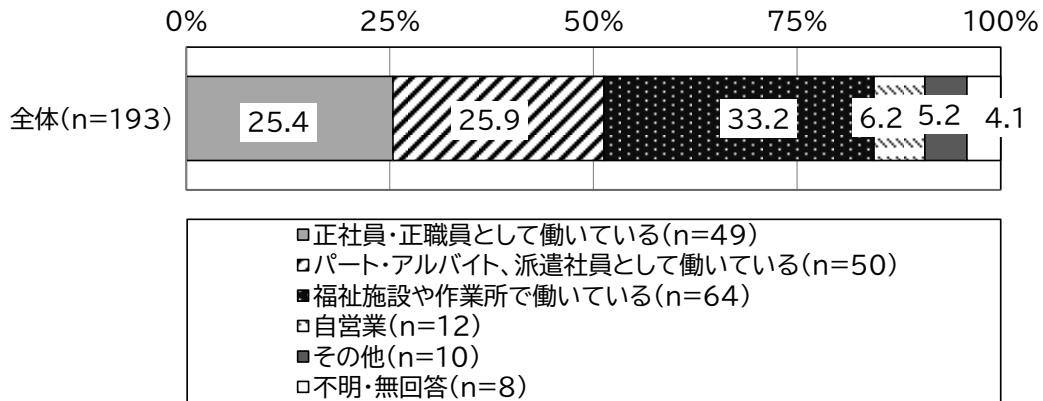
年代別にみると、65歳未満では「働いている」、65歳以上では「高齢であるため働いていない」が最も多くなっています。

	(n)	働いている	働いていないが、働きたいと考えている	休職中である	働いておらず、今後も働く予定はない	高齢であるため働いていない	不明・無回答	
全体	771	25.0	6.5	2.5	24.8	38.0	3.2	
障害別	身体障害	513	16.0	3.3	1.4	25.7	50.3	3.3
	知的障害	96	65.6	5.2	0.0	24.0	3.1	2.1
	精神障害	138	34.1	18.8	9.4	26.1	10.1	1.4
年代別	18～39歳	104	63.5	16.3	1.9	17.3	0.0	1.0
	40～64歳	196	45.4	13.3	7.7	31.1	0.5	2.0
	65歳以上	462	7.4	1.5	0.4	24.0	62.8	3.9

【問 24 で「働いている」と答えた方にお聞きします】

問 25 あなたは、現在どのような形で働いていますか。(1つに○)

現在の就労（雇用）形態についてみると、全体では「福祉施設や作業所で働いている」が 33.2% と最も高く、次いで「パート・アルバイト、派遣社員として働いている」が 25.9%、「正社員・正職員として働いている」が 25.4%となっています。



◇就労形態「その他」の回答

内 容	
島本町シルバー人材センター	協同組合役員として働く。
ピアノ指導	ヘルパー
契約社員	月2回パート
在宅ワーク	時短社員
今後正職員の研修予定	施設入居(永久的に！)

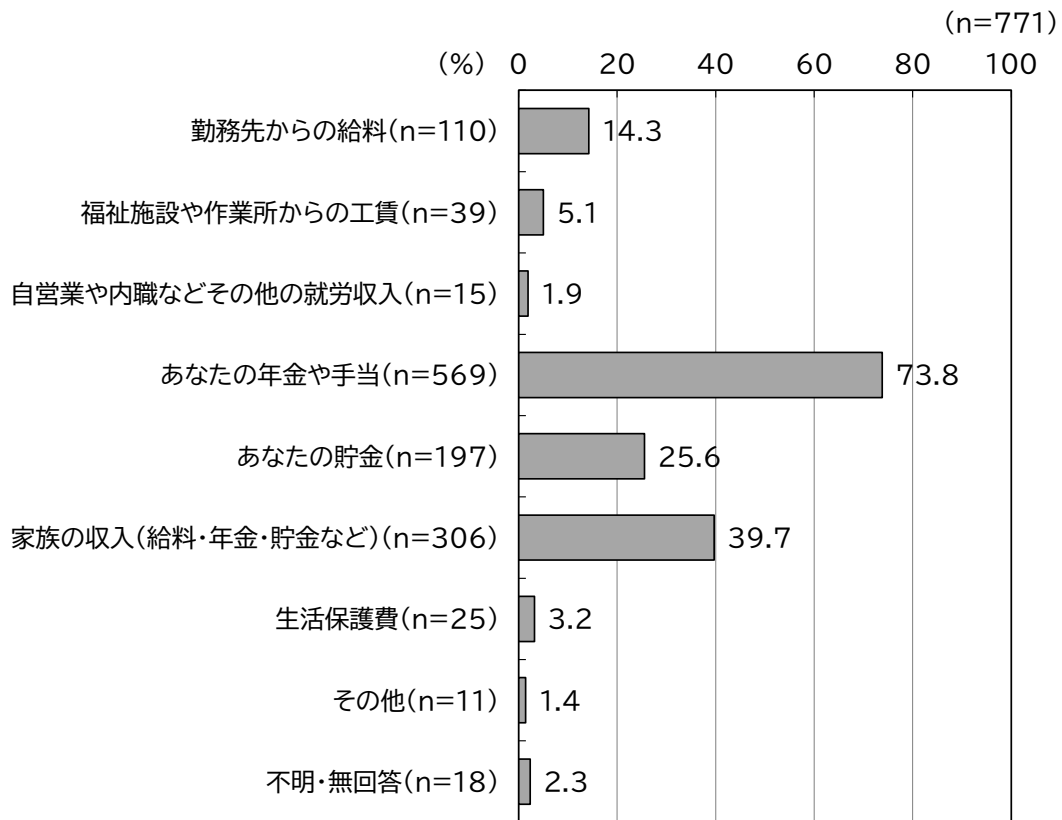
障害別にみると、身体障害者では「正社員・正職員」、知的障害、発達障害では「福祉施設や作業所」、精神障害では「福祉施設や作業所」「パート・アルバイト、派遣社員」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「福祉施設や作業所」が最も高くなっています。

		(n)	正社員・正職員として働いている	パート・アルバイト、派遣社員として働いている	福祉施設や作業所で働いている	自営業	その他	不明・無回答
全体		193	25.4	25.9	33.2	6.2	5.2	4.1
障害別	身体障害	82	34.1	25.6	17.1	12.2	7.3	3.7
	視覚障害	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	聴覚・平衡機能障害	11	18.2	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	8	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0
	肢体不自由	44	36.4	25.0	20.5	13.6	4.5	0.0
	内部障害	27	37.0	25.9	7.4	14.8	7.4	7.4
	知的障害	63	9.5	19.0	66.7	0.0	3.2	1.6
	精神障害	47	23.4	31.9	31.9	2.1	4.3	6.4
	発達障害	37	21.6	35.1	37.8	0.0	2.7	2.7
	高次脳機能障害	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	難病	7	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0
年代別	18～39歳	66	24.2	18.2	53.0	0.0	1.5	3.0
	40～64歳	89	28.1	28.1	27.0	5.6	5.6	5.6
	65歳以上	34	23.5	35.3	5.9	20.6	11.8	2.9

問 26 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入についてみると、全体では「あなたの年金や手当」が73.8%と最も高く、次いで「家族の収入」が39.7%となっています。



◇生活を支えている収入「その他」の回答

内 容	
年金のみ	二人の年金で生活してます。
障害年金	遺族年金
傷病手当	長男からの仕送り

障害別にみると、いずれも「あなたの年金や手当」が最も高く、次いで「家族の収入」となっています。

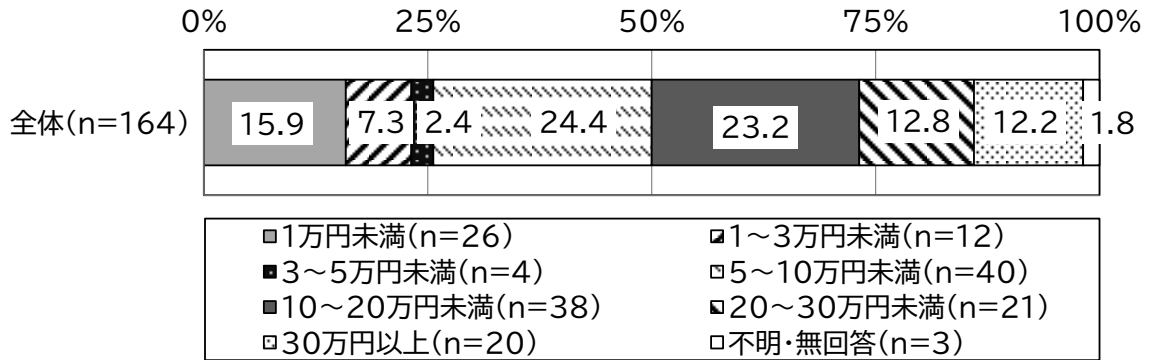
年代別にみると、18～39歳では「家族の収入」、40歳以上では「あなたの年金や手当」がもっとも高くなっています。

	(n)	勤務先からの給料	福祉施設や作業所からの工賃	自営業や内職など その他の就労収入	あなたの年金や手当	あなたの貯金	家族の収入	生活保護費	その他	不明・無回答	
全体	771	14.3	5.1	1.9	73.8	25.6	39.7	3.2	1.4	2.3	
障害別	身体障害	513	9.7	1.6	1.4	79.7	27.7	36.5	2.3	1.8	2.7
	知的障害	96	20.8	24.0	1.0	63.5	11.5	52.1	3.1	1.0	3.1
	精神障害	138	24.6	6.5	2.9	62.3	24.6	50.0	7.2	0.7	0.7
年代別	18～39歳	104	32.7	19.2	1.9	50.0	16.3	64.4	1.0	1.0	2.9
	40～64歳	196	29.6	9.2	3.1	53.1	21.9	47.4	6.1	2.6	0.0
	65歳以上	462	3.9	0.2	1.5	87.9	29.0	31.0	2.4	1.1	3.0

【問 26 で「1～3」（自分の就労収入がある）と答えた方にお聞きします】

問 27 あなた自身が働いて得ている月収（給料や工賃など就労収入の月額）はどれくらいですか。（1つに○）

就労収入（月額）についてみると、全体では「5～10万円未満」が24.4%で最も高く、次いで「10～20万円未満」が23.2%、「1万円未満」が15.9%となっています。



障害別にみると、身体障害では「5～10万円未満」「30万円以上」が、知的障害では「1万円未満」、精神障害では「10～20万円未満」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「1万円未満」「10～20万円未満」、40～64歳では「10～20万円未満」、65歳以上では「5～10万円未満」が最も高くなっています。

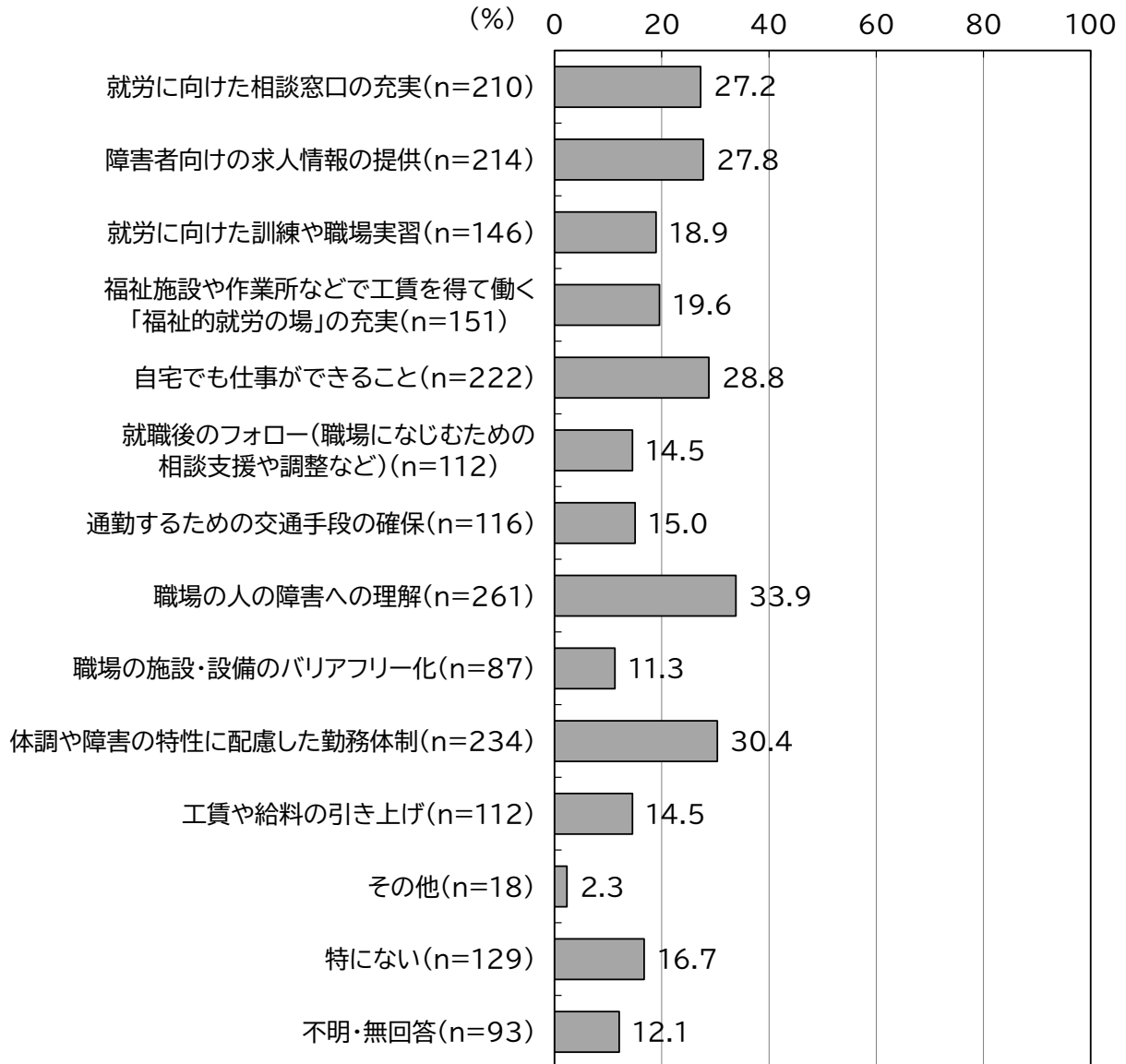
就労（雇用）形態別にみると、正社員・正職員では「10～20万円未満」「20～30万円未満」、パート・アルバイト・派遣社員では「5～10万円未満」が、福祉施設や作業所で働いている人は「1万円未満」が、自営業では「5～10万円未満」「30万円以上」が最も高くなっています。

		(n)	1万円未満	1～3万円未満	3～5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30万円以上	不明・無回答
全体		164	15.9	7.3	2.4	24.4	23.2	12.8	12.2	1.8
障害別	身体障害	65	7.7	3.1	3.1	24.6	13.8	20.0	24.6	3.1
	知的障害	44	34.1	15.9	4.5	18.2	22.7	2.3	0.0	2.3
	精神障害	47	19.1	6.4	0.0	25.5	31.9	10.6	6.4	0.0
年代別	18～39歳	56	26.8	5.4	3.6	23.2	26.8	7.1	5.4	1.8
	40～64歳	82	12.2	7.3	0.0	20.7	26.8	18.3	13.4	1.2
	65歳以上	26	3.8	11.5	7.7	38.5	3.8	7.7	23.1	3.8
就労の形態別	正社員・正職員	48	0.0	0.0	0.0	2.1	33.3	33.3	31.3	0.0
	パート・アルバイト 派遣社員	40	2.5	2.5	2.5	55.0	35.0	2.5	0.0	0.0
	福祉施設や作業所	40	47.5	20.0	2.5	20.0	7.5	0.0	0.0	2.5
	自営業	9	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	33.3	11.1
	その他	5	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0

問 28 障害者が働くために、どのようなことが必要だと思いますか。(5つまで○)

障害のある方が働くために必要なことについてみると、全体では「職場の人の障害への理解」が33.9%と最も高く、次いで「体調や障害の特性に配慮した勤務体制」が30.4%となっています。

(n=771)



◇障害者が働くために必要なこと「その他」の回答

内 容
内職の仕事をしたい。
自分でできることを教えてほしい。
人により違うと思う。
1～11全てがそろえばよい。
仕事があること
時間に決まりあること
回復
障害者が働きたいという気力
障害者を甘やかし過ぎない姿勢
身内の会社に縁故で就職すること
働けない
病気のため、怖くてまだ働くことができない。
入院中なのでわかりません。
高齢になって障害になったので(年金生活者)わかりません。
わからない
社会保険加入で手取り給与が減り生活が苦しい。
障害者の中でもレベル分けされてないと周りに劣っていると感じてしまう気がする。かといってレベルの低い所で無双してしまうと周りに迷惑をかけてしまう完全個室など周りの人が見えない環境が「自分のペース」で仕事が出来て良いと思う。

障害別にみると、多くの障害で「職場の人の障害への理解」が最も高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害、精神障害、難病では「体調や障害の特性に配慮した勤務体制」、内部障害では「障害者向けの求人情報の提供」が最も高くなっています。

年代別にみると、65歳未満では「職場の人の障害への理解」が、65歳以上では「就労に向けた相談窓口の充実」が最も高くなっています。

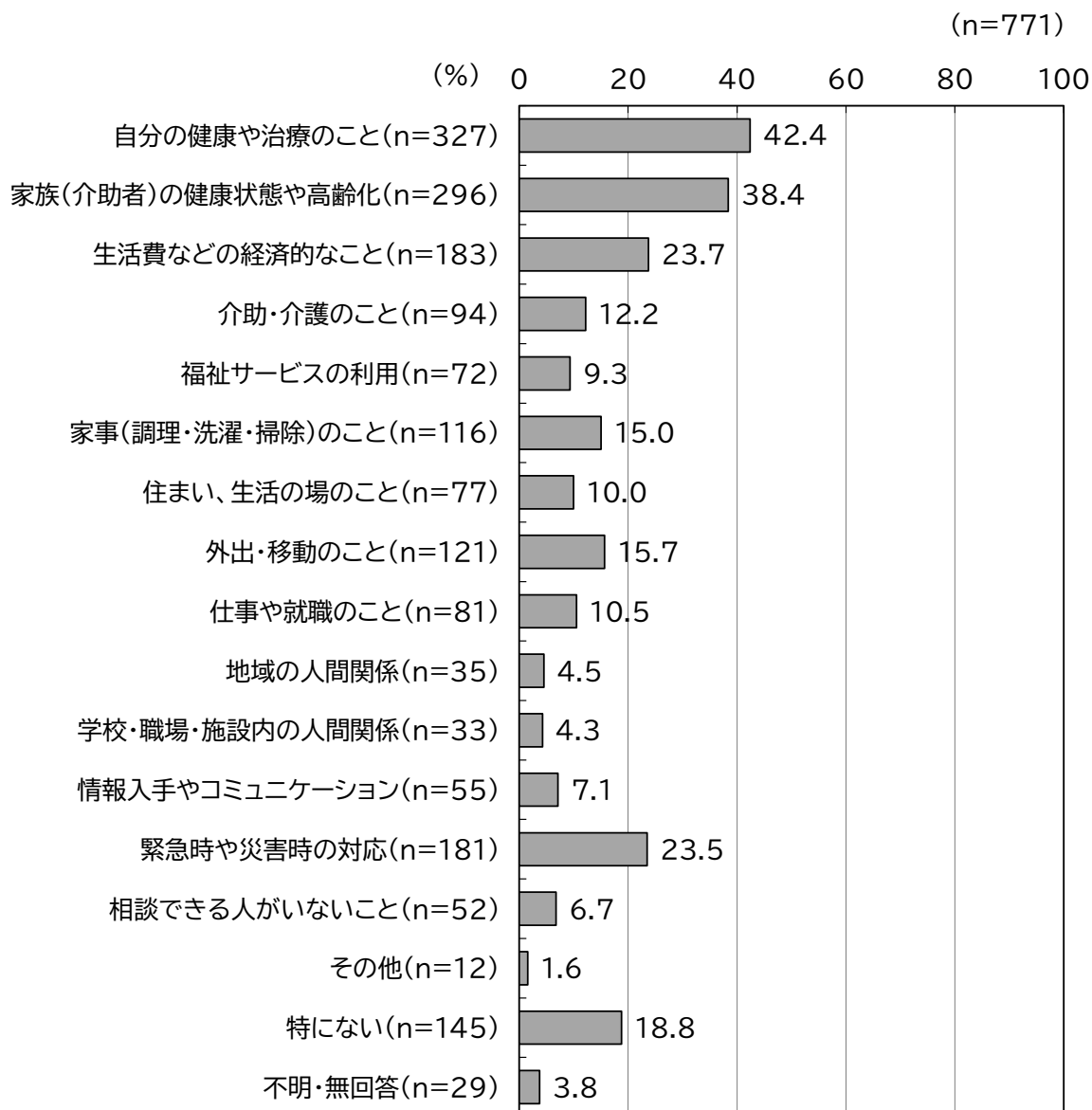
就労形態別では、働きたいと考えている方では「障害者のある方向けの求人情報の提供」、休職中の方では「体調や障害の特性に配慮した勤務体制」が最も高くなっています。

	(n)	就労に向けた相談窓口の充実	障害者向けの求人情報の提供	就労に向けた訓練や職場実習	福祉施設や作業所などで工賃を得る働く「福祉的就労の場」の充実	自宅でも仕事ができること	就職後のフォロー	通勤するための交通手段の確保	職場の人の障害への理解	職場の施設・設備のバリアフリー化	体調や障害の特性に配慮した勤務体制	工賃や給料の引き上げ	その他	特になし	不明・無回答	
全体	771	27.2	27.8	18.9	19.6	28.8	14.5	15.0	33.9	11.3	30.4	14.5	2.3	16.7	12.1	
障害別	身体障害	513	27.3	26.7	17.7	17.0	26.3	9.2	16.0	28.7	13.8	27.7	8.2	2.7	21.1	13.1
	視覚障害	35	22.9	14.3	11.4	11.4	17.1	14.3	25.7	31.4	22.9	28.6	8.6	5.7	17.1	22.9
	聴覚・平衡機能障害	51	27.5	27.5	19.6	23.5	25.5	17.6	5.9	29.4	9.8	25.5	11.8	3.9	23.5	11.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	32.0	28.0	8.0	12.0	28.0	12.0	8.0	28.0	16.0	40.0	16.0	0.0	8.0	20.0
	肢体不自由	243	28.0	25.1	19.3	16.9	28.8	11.9	18.1	29.2	18.1	28.4	10.7	2.5	17.3	14.0
	内部障害	180	28.3	31.7	15.6	17.8	26.1	8.3	16.1	30.6	12.2	29.4	7.2	2.2	23.9	11.1
	知的障害	96	19.8	20.8	19.8	41.7	18.8	24.0	14.6	43.8	8.3	27.1	35.4	3.1	5.2	8.3
	精神障害	138	31.9	35.5	25.4	19.6	43.5	26.8	12.3	46.4	3.6	44.9	26.1	2.2	5.8	6.5
	発達障害	69	31.9	36.2	31.9	29.0	42.0	34.8	14.5	44.9	1.4	40.6	29.0	1.4	1.4	2.9
	高次脳機能障害	18	22.2	22.2	22.2	33.3	27.8	22.2	22.2	44.4	27.8	27.8	33.3	5.6	22.2	5.6
	難病	34	17.6	29.4	11.8	14.7	38.2	14.7	23.5	47.1	20.6	52.9	14.7	2.9	20.6	5.9
年代別	18～39歳	104	26.9	31.7	32.7	39.4	42.3	29.8	12.5	46.2	10.6	35.6	33.7	2.9	1.0	5.8
	40～64歳	196	29.6	37.8	18.4	19.4	36.2	21.9	16.3	47.4	8.7	46.4	23.0	3.1	8.7	5.1
	65歳以上	462	26.6	22.7	15.8	15.2	22.7	8.0	14.9	25.5	12.6	22.5	6.7	1.9	23.6	16.2
現在の労働状況別	働いている	193	28.0	39.4	25.9	33.2	33.7	21.8	17.1	42.0	11.9	39.4	32.6	1.6	6.2	3.6
	働いていないが、働きたい	50	56.0	60.0	36.0	16.0	48.0	32.0	8.0	50.0	4.0	44.0	16.0	2.0	2.0	2.0
	休職中	19	26.3	36.8	10.5	15.8	52.6	15.8	26.3	57.9	5.3	63.2	47.4	0.0	0.0	0.0
	働いておらず、今後も働く予定はない	191	23.6	24.1	17.8	15.2	32.5	13.1	15.7	33.5	9.9	30.9	5.8	4.7	18.3	11.0
	高齢であるため働いていない	293	25.9	17.4	14.3	14.7	18.8	8.5	14.7	26.3	13.7	21.2	7.2	1.7	26.3	18.1
就労形態	正社員・正職員	49	36.7	46.9	20.4	16.3	46.9	14.3	18.4	44.9	16.3	40.8	20.4	4.1	4.1	0.0
	パート・アルバイト・派遣社員	50	34.0	52.0	30.0	16.0	30.0	30.0	16.0	48.0	12.0	48.0	34.0	0.0	8.0	0.0
	福祉施設や作業所	64	21.9	21.9	31.3	62.5	17.2	23.4	17.2	35.9	6.3	31.3	42.2	0.0	4.7	4.7
	自営業	12	8.3	33.3	8.3	16.7	41.7	8.3	16.7	33.3	25.0	33.3	16.7	0.0	25.0	16.7
	その他	10	30.0	60.0	40.0	30.0	50.0	30.0	20.0	40.0	10.0	30.0	40.0	10.0	0.0	0.0

8. 相談について

問 29 あなたが現在の生活で困っていることや不安に思っていることで、相談したいことは何ですか。(5つまで○)

相談したいことについてみると、全体では「自分の健康や治療のこと」が42.4%、次いで「家族(介助者)の健康状態や高齢化」が38.4%となっています。



◇現在の生活で困っていることや不安に思っていること

内 容
お風呂に入るのがしんどい。
重度の幻聴で苦しんでいる。
椅子を置いてほしい。
親亡き後の居場所
施設に入所に対する保険制度の活動を！
施設入居 永久的に！
入院中なのでありません。
たよれる家族が町外です 単身心任。東京へ移動しています 月1回の帰者です。妻、孫も大阪府内移住 時代の流れでしょう！
なにに困っているか分からないこと。今生きているのに精いっぱいこのまま生きて何に困るのか分からない。基本的にすべて不安で何が本当に不安か分からない。

障害別にみると、身体障害、精神障害では「自分の健康や治療のこと」、知的障害では「家族（介助者）の健康状態や高齢化」が最も高くなっています。

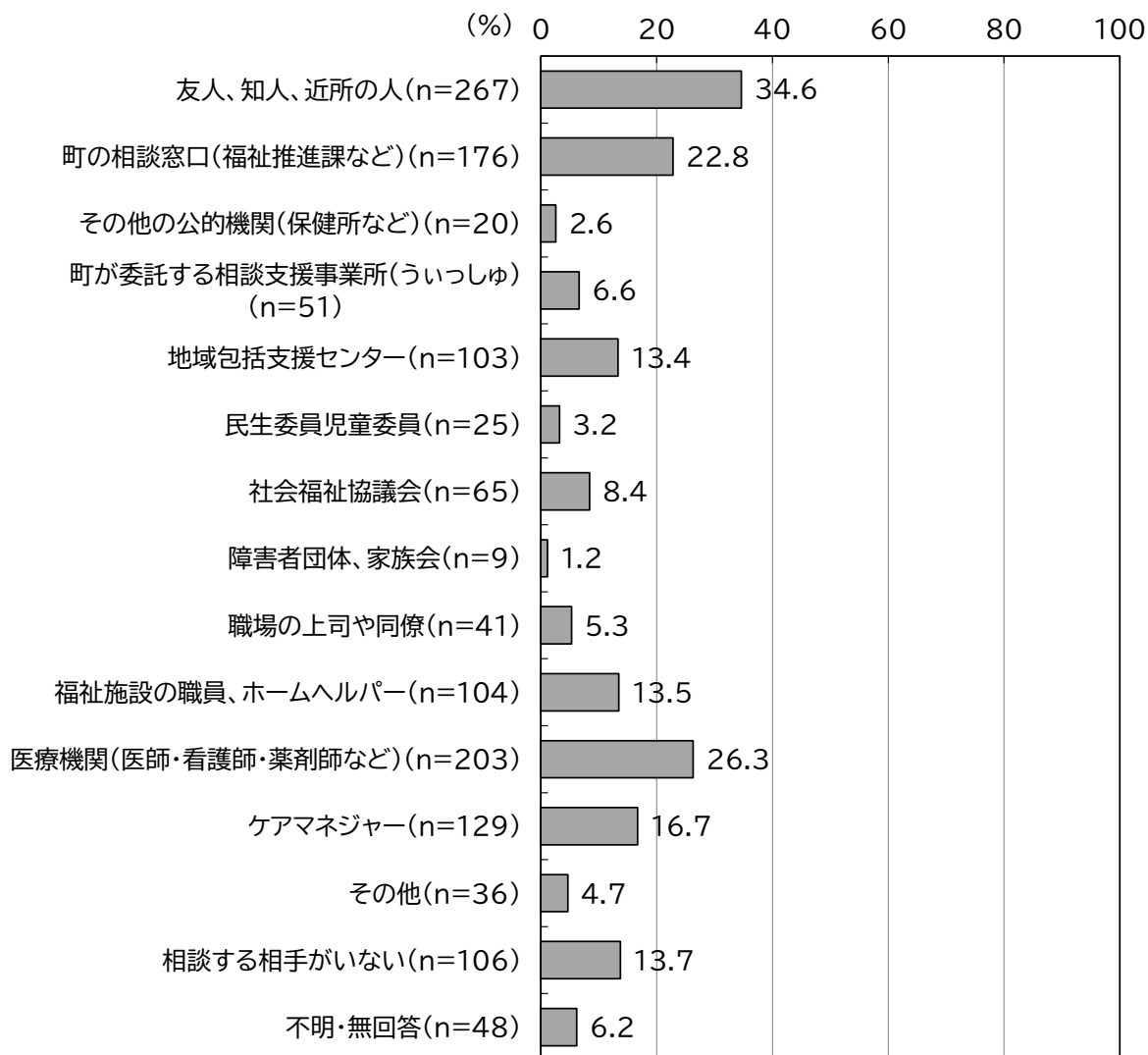
年代別にみると、18～39歳では「家族（介助者）の健康状態や高齢化」、40歳以上では「自分の健康や治療のこと」が最も高くなっています。

		(n)	自分の健康や治療のこと	家族（介助者）の健康状態や高齢化	生活費などの経済的なこと	介助・介護のこと	福祉サービスの利用	家事のこと	住まい、生活の場のこと	外出・移動のこと	仕事や就職のこと
全体		771	42.4	38.4	23.7	12.2	9.3	15.0	10.0	15.7	10.5
障害別	身体障害	513	42.3	38.6	18.9	13.8	8.8	13.6	6.8	14.8	5.1
	知的障害	96	32.3	44.8	20.8	13.5	10.4	14.6	16.7	20.8	18.8
	精神障害	138	50.0	34.8	42.0	7.2	7.2	18.8	18.1	15.9	26.1
年代別	18～39歳	104	30.8	37.5	25.0	10.6	9.6	13.5	20.2	19.2	31.7
	40～64歳	196	47.4	35.2	35.7	7.7	8.2	18.9	17.3	14.3	20.9
	65歳以上	462	43.1	39.8	18.2	14.7	10.0	13.6	4.5	15.4	1.3
		(n)	地域の人間関係	学校・職場・施設内の人間関係	情報入手やコミュニケーション	緊急時や災害時の対応	相談できる人がいないこと	その他	特になし	不明・無回答	
全体		771	4.5	4.3	7.1	23.5	6.7	1.6	18.8	3.8	
障害別	身体障害	513	3.3	1.6	5.3	23.6	5.1	1.0	22.6	4.5	
	知的障害	96	4.2	10.4	15.6	32.3	4.2	2.1	9.4	3.1	
	精神障害	138	9.4	10.1	8.0	20.3	17.4	1.4	8.7	0.7	
年代別	18～39歳	104	2.9	10.6	17.3	26.0	9.6	3.8	10.6	1.9	
	40～64歳	196	9.7	11.2	9.7	24.0	9.2	1.0	11.7	1.5	
	65歳以上	462	2.8	0.0	3.9	22.5	5.2	1.3	23.6	5.0	

問 30 あなたは困ったことがあるとき、家族や親族以外で、だれに相談しますか。
(5つまで○)

家族や親族以外で相談する方についてみると、全体では「友人、知人、近所の人」が34.6%と最も高く、次いで「医療機関」が26.3%、「町の相談窓口」が22.8%となっています。

(n=771)



◇家族や親族以外の相談相手「その他」の回答

内 容	
医療機関	産業医
訪問看護の看護師	成年後見人
若山荘入居	デイケア
学校の先生	グループホーム世話人さん
就労移行支援施設	SNS・ネットの友達
エアトーン	タブレット
困った内容による	無料の電話カウンセリング

相談できない。	話(意思疎通不可)ができない。
内 容	
自分で解決する。	言葉にする。
パーキンソン病で声が出ません。	今のところ困っていない。
自発的に表出てこない為 1 割程度しか話せてない。	前⑥に相談したら外で出会った時に露骨に嫌な顔をされた。

障害別にみると、身体障害、発達障害では「友人、知人、近所の人」、知的障害では「福祉施設の職員・ヘルパー」、精神障害、高次脳機能障害、難病では「医療機関」が最も高くなっています。

年代別にみると、いずれも「友人、知人、近所の人」が最も高く、18～39歳では「福祉施設の職員・ヘルパー」も同率で高くなっています。

問 30 家族や親族以外の相談相手①

		(n)	友人、知人、近所の人	町の相談窓口	その他の公的機関	町が委託する相談支援事業所	地域包括支援センター	民生委員児童委員	社会福祉協議会
全体		771	34.6	22.8	2.6	6.6	13.4	3.2	8.4
障 害 別	身体障害	513	38.6	23.4	3.1	2.7	17.3	4.5	6.6
	視覚障害	35	20.0	17.1	2.9	2.9	25.7	2.9	2.9
	聴覚・平衡機能障害	51	33.3	23.5	3.9	5.9	15.7	9.8	9.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	28.0	16.0	4.0	4.0	8.0	8.0	4.0
	肢体不自由	243	41.2	24.7	3.3	3.3	16.5	2.5	6.2
	内部障害	180	37.2	27.8	3.3	1.7	17.2	2.8	6.7
	知的障害	96	19.8	20.8	1.0	21.9	8.3	0.0	8.3
	精神障害	138	26.8	24.6	2.2	12.3	5.8	1.4	11.6
	発達障害	69	30.4	24.6	1.4	11.6	7.2	0.0	11.6
	高次脳機能障害	18	16.7	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1
難病	34	26.5	26.5	11.8	8.8	20.6	0.0	0.0	
年 代 別	18～39歳	104	30.8	19.2	2.9	13.5	4.8	0.0	5.8
	40～64歳	196	34.7	23.5	1.0	14.8	6.1	1.0	13.8
	65歳以上	462	35.7	23.2	3.2	1.5	18.2	4.8	6.5

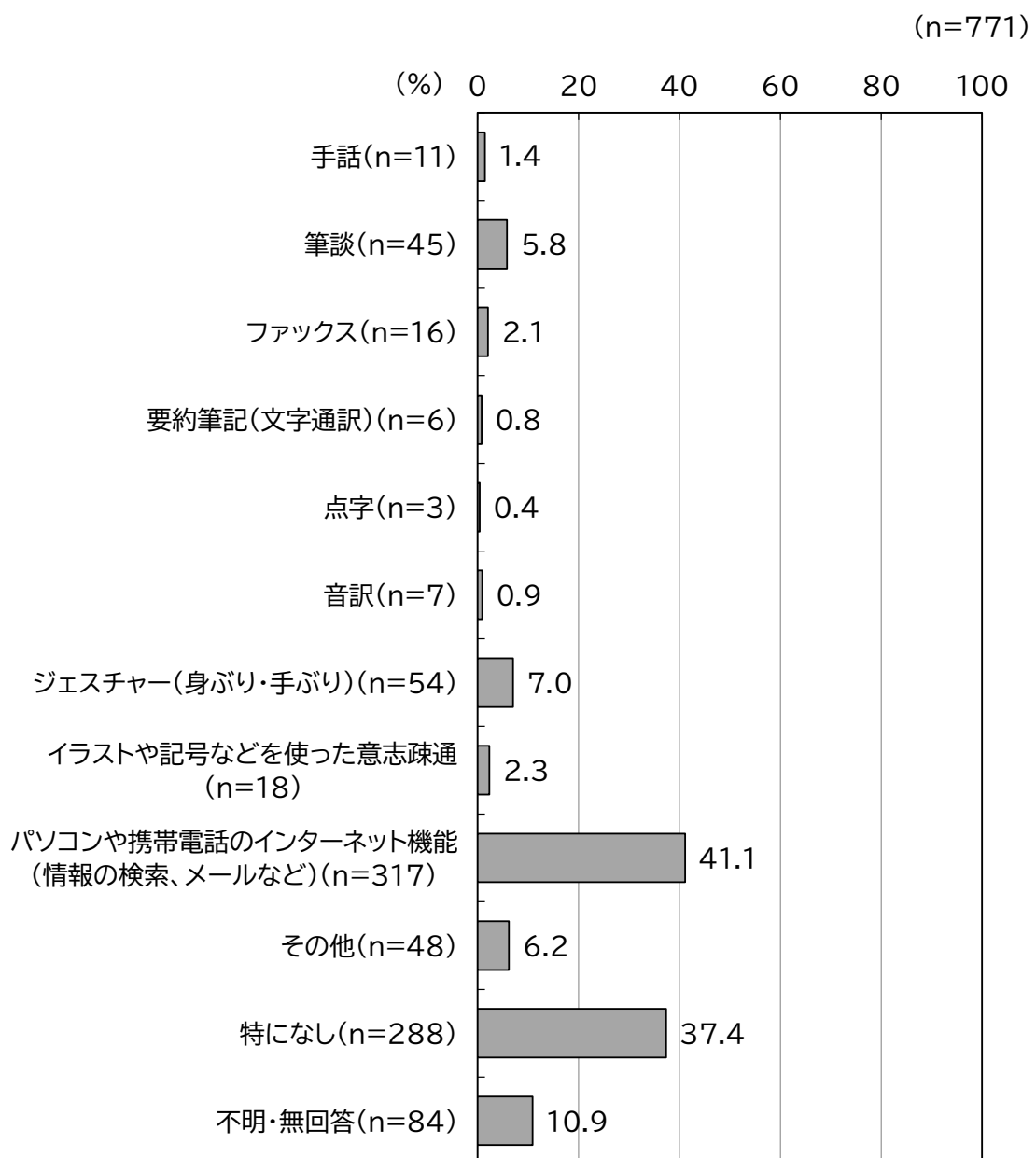
問 30 家族や親族以外の相談相手②

	(n)	障害者団体、家族会	職場の上司や同僚	ホームヘルパー 福祉施設の職員、	医療機関	ケアマネジャー	その他	相談する相手がない	不明・無回答	
全体	771	1.2	5.3	13.5	26.3	16.7	4.7	13.7	6.2	
障 害 別	身体障害	513	1.4	3.5	8.6	24.4	21.6	2.9	13.1	6.8
	視覚障害	35	0.0	5.7	17.1	14.3	17.1	0.0	22.9	11.4
	聴覚・平衡機能障害	51	2.0	0.0	15.7	25.5	23.5	11.8	13.7	0.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	25	0.0	0.0	24.0	36.0	12.0	4.0	16.0	4.0
	肢体不自由	243	2.1	3.7	11.5	18.5	25.5	3.3	9.5	8.6
	内部障害	180	1.1	3.3	3.3	36.7	18.9	1.1	13.9	6.7
	知的障害	96	1.0	11.5	39.6	16.7	4.2	7.3	16.7	5.2
	精神障害	138	0.7	8.7	16.7	37.7	8.0	10.9	17.4	1.4
	発達障害	69	1.4	14.5	21.7	29.0	0.0	7.2	15.9	1.4
	高次脳機能障害	18	0.0	5.6	16.7	33.3	16.7	16.7	27.8	0.0
	難病	34	2.9	2.9	11.8	47.1	26.5	5.9	11.8	5.9
年 代 別	18～39 歳	104	1.9	14.4	30.8	24.0	1.0	8.7	18.3	2.9
	40～64 歳	196	2.0	10.2	16.3	30.1	4.1	7.1	15.8	1.5
	65 歳以上	462	0.6	1.1	8.2	24.7	25.5	2.8	12.1	8.7

9. 情報・コミュニケーションについて

問 31 あなたは、情報の入手や、周囲の人とのコミュニケーションのために、どのような手段を使いますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手や、コミュニケーションのために使う手段についてみると、全体では「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が41.1%で最も高く、次いで「特になし」が37.4%となっています。



◇情報入手やコミュニケーションの手段「その他」の回答

内 容	
会話	電話
新聞・テレビ・ラジオ	表情
口頭	補聴器
携帯のメール・ライン・タブレット	電気式人工咽頭
書籍	簡単な単語
健常者と同じ	家族から情報を聞く
耳元で大声でなら理解できる。	コミュニケーションがとりにくい。
知的障害者の為ナシ	問の意味が分からないと思う。
入院中で声も出ないので何もできません。病院には声かけをお願いしてます。	
町の発信する情報、チラシ、広報→本人は知的障害のため情報入手する手段は持っていない。親の立場でいうと、福祉についてどういう情報があるのかわからない。積極的にネット検索するというよりチラシの広報などをみて、必要な話を得る事が多い。行政からの情報発信を多くして欲しい。	

障害別にみると、「特になし」を除けば、ほとんどの障害で「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が高くなっていますが、聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害では、「筆談」が高くなっています。

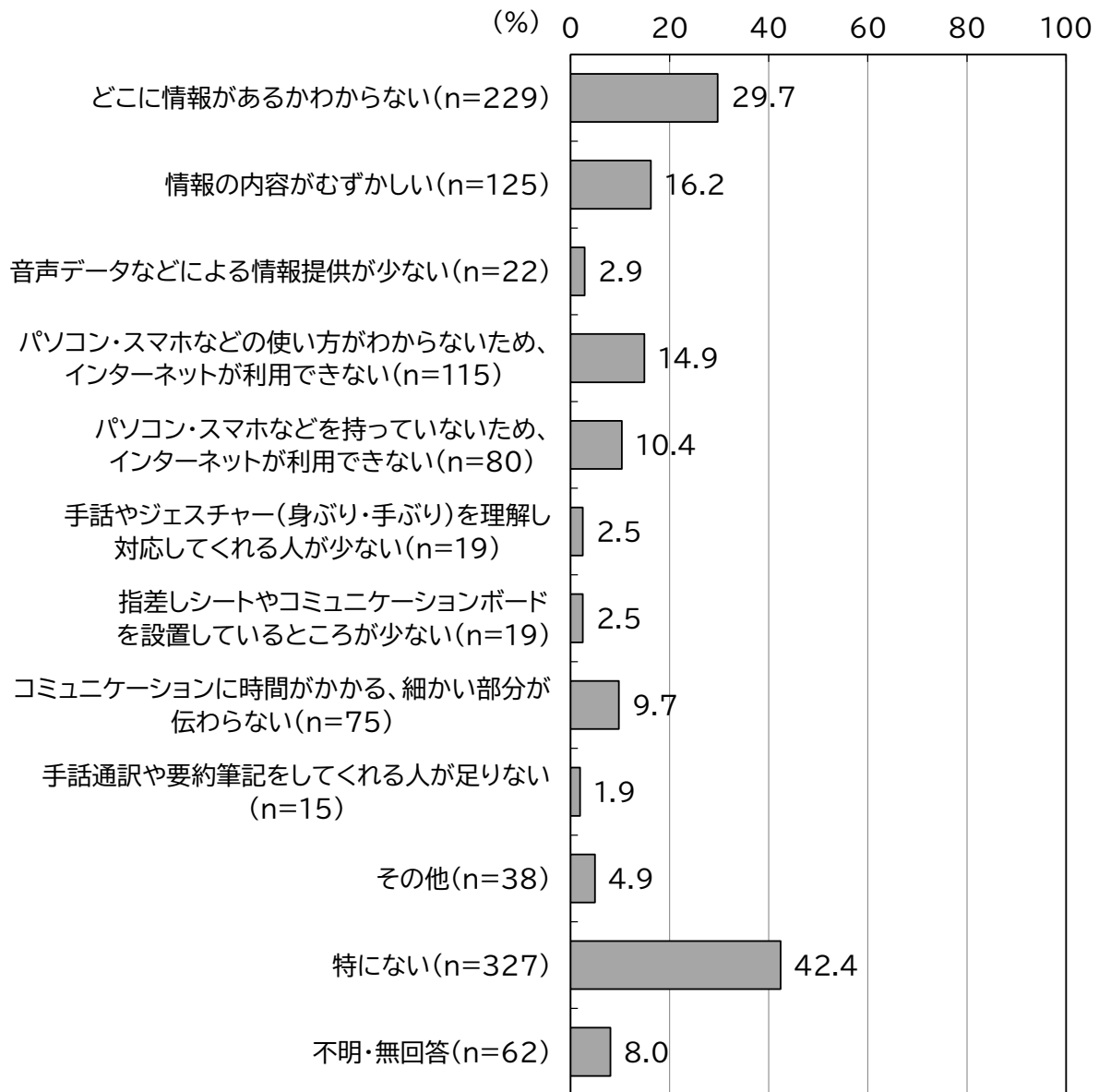
年代別にみると、「特になし」を除けば、いずれも「パソコンや携帯電話のインターネット機能」が高くなっています。

	(n)	手話	筆談	ファックス	要約筆記(文字通訳)	点字	音訳	ジェスチャー	イラストや記号などを使った意志疎通	パソコンや携帯電話のインターネット機能	その他	特になし	不明・無回答	
全体	771	1.4	5.8	2.1	0.8	0.4	0.9	7.0	2.3	41.1	6.2	37.4	10.9	
障害別	身体障害	513	1.9	5.8	2.9	0.8	0.6	1.0	4.5	1.2	38.4	5.5	40.2	12.3
	視覚障害	35	0.0	5.7	0.0	2.9	2.9	8.6	11.4	2.9	40.0	2.9	34.3	8.6
	聴覚・平衡機能障害	51	13.7	41.2	13.7	5.9	0.0	0.0	25.5	2.0	51.0	3.9	21.6	2.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	16.0	28.0	4.0	0.0	0.0	0.0	16.0	4.0	24.0	8.0	36.0	12.0
	肢体不自由	243	1.2	2.5	2.1	0.4	0.4	0.4	4.1	1.6	35.4	6.2	42.4	14.8
	内部障害	180	1.1	2.2	2.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	43.3	5.0	40.6	10.0
	知的障害	96	1.0	11.5	1.0	2.1	0.0	0.0	21.9	8.3	28.1	13.5	36.5	6.3
	精神障害	138	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.7	7.2	2.2	55.8	8.0	29.7	5.8
	発達障害	69	0.0	13.0	1.4	2.9	0.0	1.4	18.8	11.6	53.6	11.6	24.6	2.9
	高次脳機能障害	18	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	44.4	5.6
	難病	34	2.9	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	0.0	58.8	11.8	26.5	2.9
年代別	18～39歳	104	2.9	10.6	1.9	1.0	1.0	1.0	23.1	8.7	52.9	11.5	25.0	3.8
	40～64歳	196	2.0	6.1	1.5	1.0	0.0	1.0	9.2	3.6	50.0	6.6	32.7	5.6
	65歳以上	462	0.9	4.8	2.4	0.6	0.4	0.9	2.6	0.4	34.8	5.0	41.8	14.7

問 32 福祉に関する情報の入手や、周囲の人とのコミュニケーションについて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手や、コミュニケーションで困っていることについてみると、全体では「特にない」が42.4%と最も高く、次いで「どこに情報があるかわからない」が29.7%となっています。

(n=129)



◇情報入手やコミュニケーションについて困ること「その他」の回答

内 容
電話での会話
新聞の購読
小さい・うすい・字が読めない。
会話がかみ合わないことがある。
コミュニケーション自体が苦手なので話そうとするとパニックになる、フリーズしてしまう。
介護者を通じてでないとコミュニケーションができない。
情報量が多くなると理解しづらい。
コミュニケーションをとりたくない。
外からみたら障がい者とならないため、こちらから特性を話したりする。
難聴気味なので、相手にゆっくり はっきり 話してもらう。
家族や上司等、難易度が高い間柄の人とのコミュニケーションが困難。
重度の幻聴で会話に集中できない。
不注意などで言われたことを忘れてしまう。思ったことを口に出してしまい他人をおこらせてしまう。長い会話が集中力がないので興味がなくなると覚えられない。
町の人や担当の方でも理解がされにくい細やかな時に言動で人によっては発作が出ることもある。その他の→職員で助けてくれる方が沢山いてその人達のおかげでフォローやケアをしてもらっている。ありがとうございます。。
情報提供が少ない(インターネット以外で)目立つようにして欲しい。
パソコン、スマホの機能が使いこなせていない。
スマホの使い方に詳しくないため、得たい情報が得られない。
メール・ライン・電話は出来ますがその他はあまり出来ない。
パソコンの使い方がむずかしい。
受けられる サポートの種類・内容がわからない。
一元化されていない、問い合わせ窓口がばらばら。
親が積極的に他者(福祉)へ自分のことに介入してくれない。
発達障害(自閉症等)のことが一般にもっと理解してもらえたらと思います。
まったく動けない「目」も開けられない状態。
通所している福祉施設
施設職員にお任せ
NHK の受信料が障害者は免除される事を最近まで知らなかった。
单身、独居が将来的なこと気になります。
困っているけど何に困っているか分からない・全て理解不可。
町民限定の受け皿が大変少なく、町以外、他市、他府県になると情報収集が大変。自分自身の問題には合致しない。

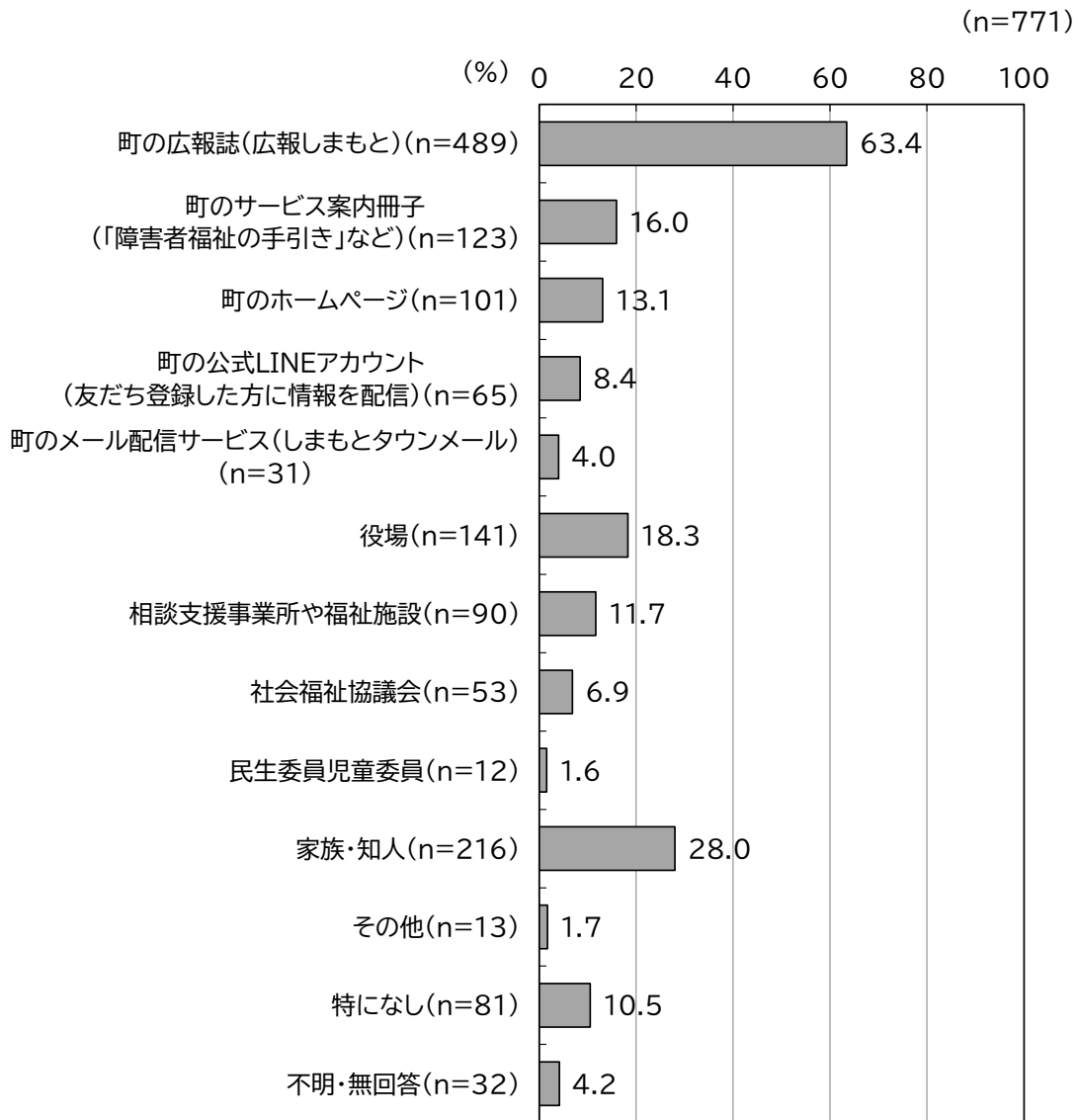
障害別にみると、「特にない」を除けば、ほとんどの障害で「どこに情報があるのかわからない」「情報の内容がむずかしい」が多く回答されています。

年代別にみると、65歳未満では「どこに情報があるのかわからない」、65歳以上では「特にない」が最も高くなっています。

	(n)	どこに情報があるかわからない	情報の内容がむずかしい	音声データなどによる情報提供が少ない	パソコン・スマホなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない	パソコン・スマホなどを持っていないため、インターネットが利用できない	手話やジェスチャーを理解し対応してくれる人が少ない	指差しシートやコミュニケーションボードを設置しているところが少ない	コミュニケーションに時間がかかる、細かい部分が伝わらない	手話通訳や要約筆記をしてくれる人が足りない	その他	特にない	不明・無回答	
全体	771	29.7	16.2	2.9	14.9	10.4	2.5	2.5	9.7	1.9	4.9	42.4	8.0	
障 害 別	身体障害	513	26.1	8.8	2.5	15.6	11.1	2.1	1.4	5.1	1.9	3.5	47.6	9.2
	視覚障害	35	34.3	11.4	8.6	25.7	14.3	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	31.4	14.3
	聴覚・ 平衡機能障害	51	25.5	13.7	5.9	13.7	9.8	15.7	9.8	25.5	13.7	5.9	37.3	5.9
	音声・言語・ そしゃく機能障害	25	40.0	20.0	4.0	12.0	12.0	16.0	12.0	16.0	8.0	4.0	28.0	12.0
	肢体不自由	243	23.0	9.1	2.1	16.0	11.5	2.1	0.8	4.1	0.8	4.5	49.0	9.9
	内部障害	180	28.9	7.2	1.7	14.4	11.7	1.1	0.6	3.3	0.0	2.2	45.6	8.3
	知的障害	96	39.6	41.7	6.3	24.0	13.5	7.3	10.4	32.3	5.2	9.4	17.7	9.4
	精神障害	138	39.1	29.7	3.6	10.1	7.2	2.9	2.9	17.4	1.4	8.0	33.3	3.6
	発達障害	69	44.9	31.9	2.9	11.6	8.7	4.3	5.8	33.3	2.9	11.6	24.6	0.0
	高次脳機能障害	18	50.0	50.0	5.6	16.7	11.1	5.6	11.1	38.9	5.6	16.7	22.2	0.0
難病	34	38.2	20.6	0.0	17.6	14.7	5.9	2.9	17.6	0.0	8.8	23.5	8.8	
年 代 別	18～39歳	104	42.3	32.7	3.8	9.6	4.8	4.8	7.7	29.8	1.9	11.5	26.9	5.8
	40～64歳	196	37.2	24.5	2.0	12.8	7.7	4.1	3.1	12.8	3.6	6.6	36.7	3.6
	65歳以上	462	23.8	9.1	3.0	16.9	12.3	1.3	1.1	4.1	1.3	2.8	48.3	10.4

問 33 あなたは、地域での生活や福祉サービスに関する情報を、どこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

情報をどこから得ているかについてみると、全体では「町の広報誌」が63.4%で最も高く、次いで「家族・知人」が28.0%、「役場」が18.3%となっています。



◇情報の入手先「その他」の回答

内 容	
新聞・テレビ	インターネット・SNS
ケアマネジャー	訪問看護師さん
障害者団体	病院入院中により不詳
知的障害者の為なし。	

障害別にみると、身体障害、精神障害では「町の広報誌」、知的障害では「家族・知人」が最も高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「町の広報誌」が最も高くなっています。

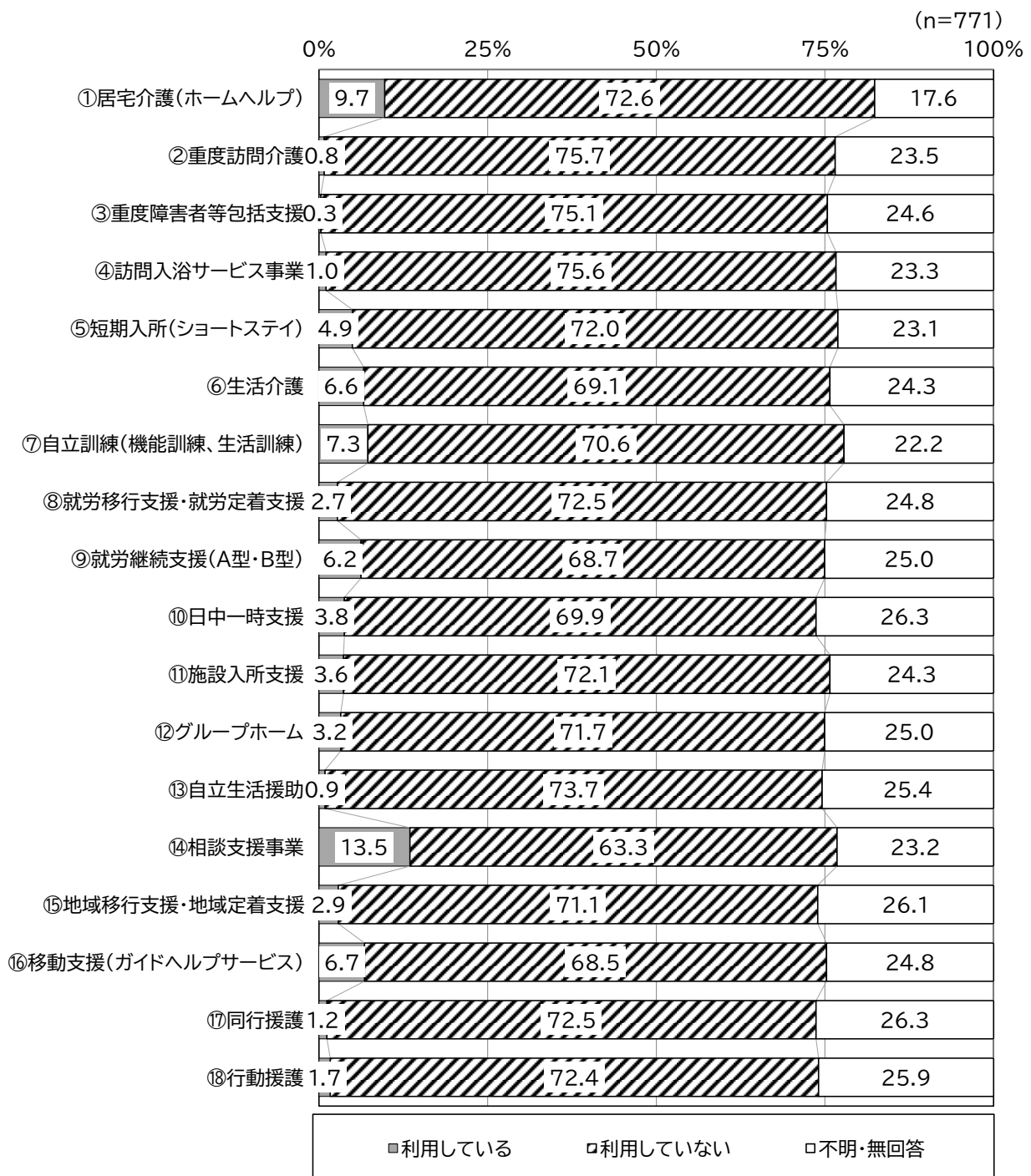
		(n)	町の広報誌	町のサービス案内冊子	町のホームページ	町の公式LINEアカウント	町のメール配信サービス	役場	相談支援事業所や福祉施設
全体		771	63.4	16.0	13.1	8.4	4.0	18.3	11.7
障害別	身体障害	513	70.8	17.0	12.3	9.6	4.9	16.2	6.0
	知的障害	96	37.5	15.6	6.3	4.2	1.0	22.9	38.5
	精神障害	138	58.0	15.9	18.8	10.1	3.6	26.1	14.5
年代別	18～39歳	104	46.2	17.3	15.4	7.7	3.8	23.1	28.8
	40～64歳	196	60.2	18.4	16.3	10.7	3.1	23.0	15.8
	65歳以上	462	69.0	14.7	11.3	7.8	4.5	15.4	5.6
		(n)	社会福祉協議会	民生委員児童委員	家族・知人	その他	特になし	不明・無回答	
全体		771	6.9	1.6	28.0	1.7	10.5	4.2	
障害別	身体障害	513	5.8	1.8	25.9	1.2	9.0	4.5	
	知的障害	96	6.3	0.0	41.7	2.1	11.5	4.2	
	精神障害	138	10.1	1.4	22.5	2.9	13.8	0.7	
年代別	18～39歳	104	5.8	0.0	40.4	3.8	15.4	1.0	
	40～64歳	196	9.7	0.5	23.0	1.5	9.7	2.6	
	65歳以上	462	5.8	2.4	27.5	1.3	10.0	5.2	

10. 福祉サービスの利用について

問 32 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。
 (①から⑱のそれぞれについて、「現在の利用」、「今後3年以内の利用予定」について回答(番号に○)してください)(介護保険サービスの利用分を除く)

【現在の利用】

現在利用しているサービスでは、「相談支援事業」が13.5%、「居宅介護」が9.7%、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」が7.3%、「移動支援」が6.7%、「生活介護」が6.6%、「就労継続支援(A型・B型)」が6.2%となっています。



【今後3年以内の利用予定】

今後3年以内の利用予定についてみると、「今よりも利用を増やす予定」は「相談支援事業」が10.1%で比較的高く、次いで「短期入所」が5.3%、「居宅介護」が4.9%となっています。

(n = 771)	今よりも利用を増やす予定	今と同じくらい利用する予定	今よりも利用を減らす予定	利用予定がない	不明・無回答
①居宅介護（ホームヘルプ）	4.9	5.6	0.3	52.0	37.2
②重度訪問介護	2.1	0.6	0.1	55.8	41.4
③重度障害者等包括支援	1.6	0.4	0.1	54.9	43.1
④訪問入浴サービス事業	1.9	1.3	0.1	55.1	41.5
⑤短期入所（ショートステイ）	5.3	2.7	0.3	49.9	41.8
⑥生活介護	2.5	4.0	0.3	50.1	43.2
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）	3.8	0.0	0.0	51.8	44.5
⑧就労移行支援・就労定着支援	2.3	0.0	0.0	50.8	46.8
⑨就労継続支援（A型・B型）	1.8	3.5	0.4	47.9	46.4
⑩日中一時支援	1.7	1.9	0.3	49.9	46.2
⑪施設入所支援	2.9	0.0	0.0	49.3	47.9
⑫グループホーム	3.4	0.0	0.0	49.0	47.6
⑬自立生活援助	1.4	0.0	0.0	50.3	48.2
⑭相談支援事業	10.1	0.0	0.0	42.2	47.7
⑮地域移行支援・地域定着支援	2.6	0.0	0.0	49.8	47.6
⑯移動支援（ガイドヘルプサービス）	3.8	3.4	0.1	47.9	44.9
⑰同行援護	0.4	0.5	0.0	51.1	48.0
⑱行動援護	1.8	0.9	0.0	50.3	47.0

【利用予定がない理由】

利用予定がない理由についてみると、すべてのサービスで「サービスを受ける必要がないため」がもっとも高くなっています。

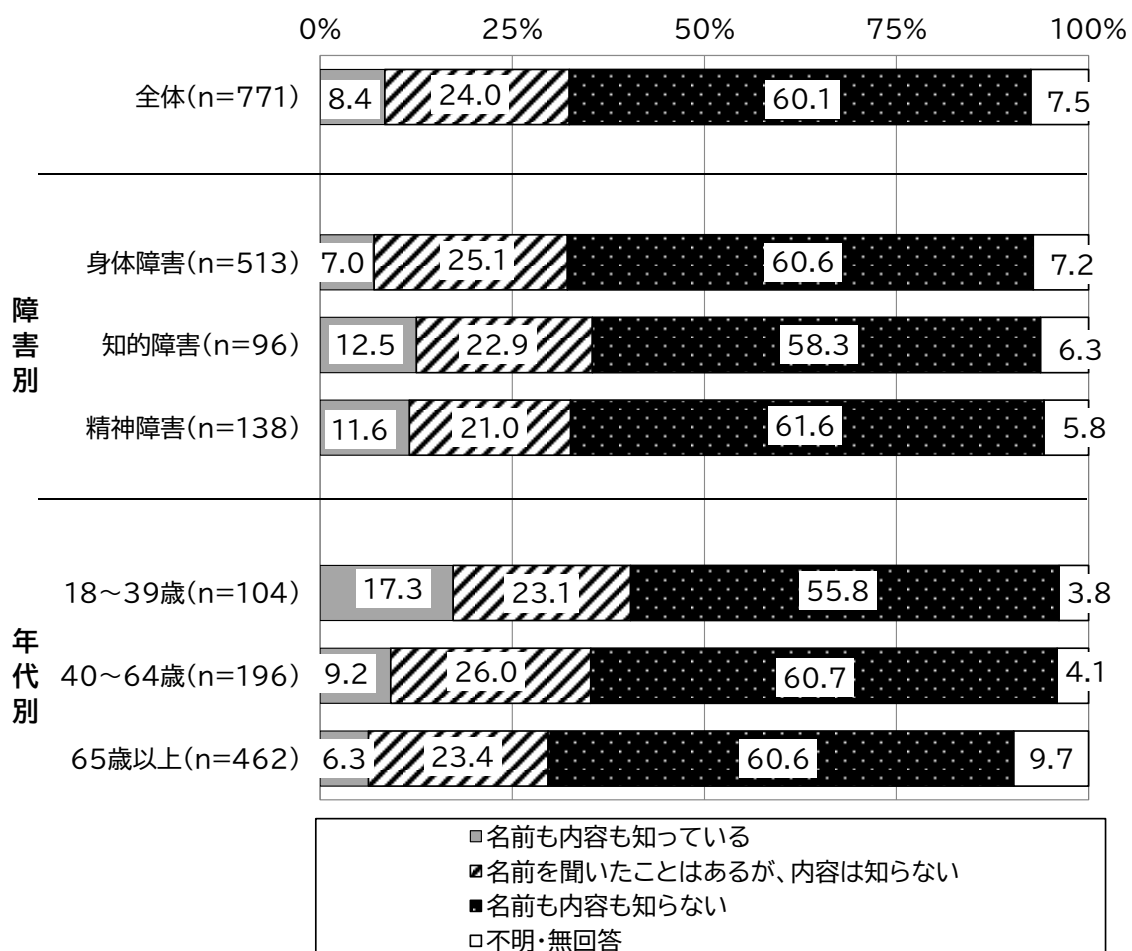
	サービスを受ける必要がないため	(障害要件が合致しないため)	対象者に含まれないため	既に別のサービスの提供を受けているため	サービス利用時間の都合が合わないため	サービス提供場所が近くにないため	利用料金がかかるため	その他	不明・無回答
①居宅介護（ホームヘルプ） (n=401)	66.3	9.0	3.0	0.5	0.2	1.2	4.7	15.0	
②重度訪問介護 (n=430)	67.2	11.2	2.6	0.0	0.0	1.2	3.3	14.7	
③重度障害者等包括支援 (n=423)	67.1	11.1	2.6	0.0	0.0	0.9	3.5	14.7	
④訪問入浴サービス事業 (n=425)	66.8	9.6	3.3	0.0	0.0	0.9	4.0	15.3	
⑤短期入所（ショートステイ） (n=385)	67.3	8.3	3.1	0.0	0.0	1.6	4.7	15.1	
⑥生活介護 (n=386)	67.1	10.4	2.6	0.0	0.0	1.0	3.4	15.5	
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練） (n=399)	64.7	8.8	4.3	0.3	0.3	0.8	6.0	15.0	
⑧就労移行支援・就労定着支援 (n=392)	64.5	7.9	3.8	0.5	1.0	0.5	5.6	16.1	
⑨就労継続支援（A型・B型） (n=369)	66.4	8.1	1.9	0.5	1.1	0.5	5.4	16.0	
⑩日中一時支援 (n=385)	68.8	7.0	2.6	0.3	0.3	1.0	5.5	14.5	
⑪施設入所支援 (n=380)	68.9	7.4	1.6	0.0	0.8	1.3	4.7	15.3	
⑫グループホーム (n=378)	68.8	6.3	1.3	0.0	0.8	1.1	6.3	15.3	
⑬自立生活援助 (n=388)	68.0	7.5	2.1	0.0	0.5	0.5	5.9	15.5	
⑭相談支援事業 (n=325)	67.4	6.8	1.2	0.0	0.3	0.9	7.1	16.3	
⑮地域移行支援・地域定着支援 (n=384)	67.7	7.0	1.6	0.0	0.5	0.8	6.3	16.1	
⑯移動支援（ガイドヘルプサービス） (n=369)	67.8	7.0	0.5	0.3	0.3	1.1	6.0	17.1	
⑰同行援護 (n=394)	67.5	9.6	1.3	0.0	0.0	0.8	4.8	16.0	
⑱行動援護 (n=388)	68.0	7.2	1.3	0.0	0.3	1.0	4.9	17.3	

11. 障害者理解・権利擁護について

問 35 「障害者差別解消法」は、障害を理由とする差別の解消の推進を目的として、平成 28 年 4 月に施行、令和 3 年 5 月に改正されました。この法律について知っていますか。(1つに○)

「障害者差別解消法」の認知度についてみると、全体では「名前も内容も知らない」が 60.1%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 24.0%となっています。

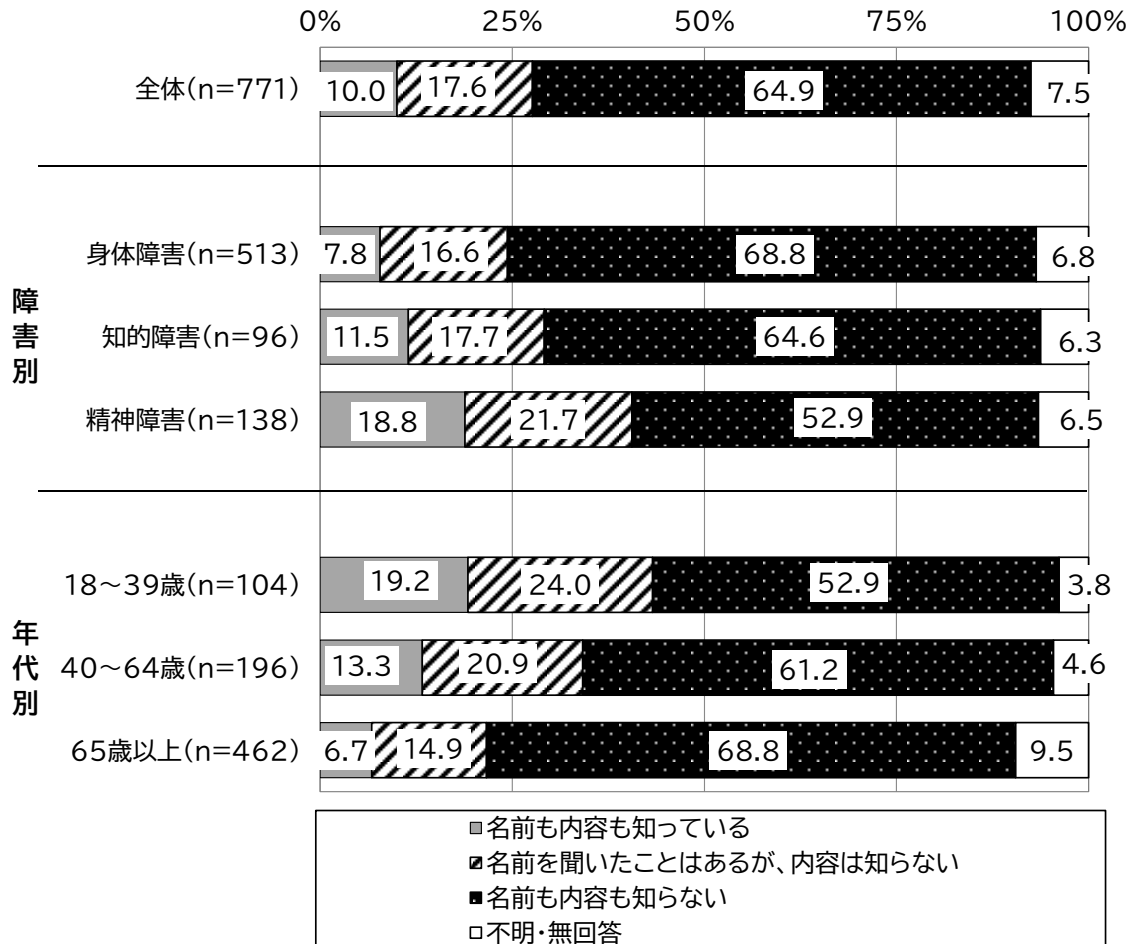
障害別・年代別にみると、いずれも全体と同じ傾向がみられますが、18～39 歳では「名前も内容も知っている」が 2 割弱と比較的高くなっています。



問 36 あなたは「合理的配慮」を知っていますか。(1つに○)

「合理的配慮」の認知度についてみると、「名前も内容も知らない」が64.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が17.6%となっています。

障害別・年代別にみると、いずれも全体と同じ傾向がみられますが、障害別では精神障害、年代別では18～39歳が、「名前も内容も知っている」が2割弱と比較的高くなっています。

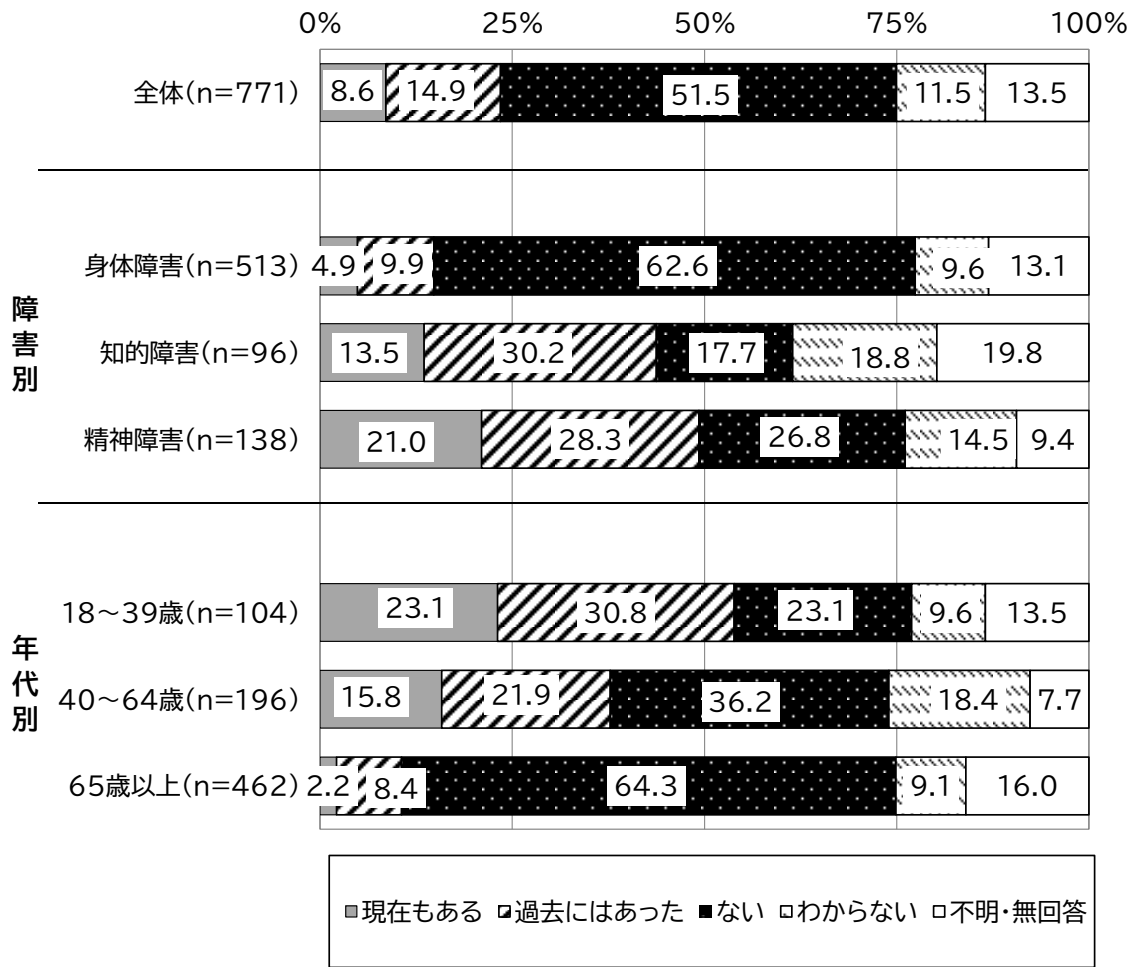


問 37 あなたは、障害があることで差別されたり、嫌な思いをしたことがありますか。
(1つに○)

差別経験についてみると、全体では「ない」が51.5%と最も高く、次いで「過去にはあった」が14.9%、「わからない」が11.5%となっています。

障害別にみると、身体障害では「ない」が最も高くなっていますが、知的障害、精神障害では「過去にはあった」が最も高くなっています。

年代別にみると、年齢が低くなるほど、「現在もある」「過去にはあった」の割合が高く、18～39歳では「過去にはあった」が最も高くなっています。



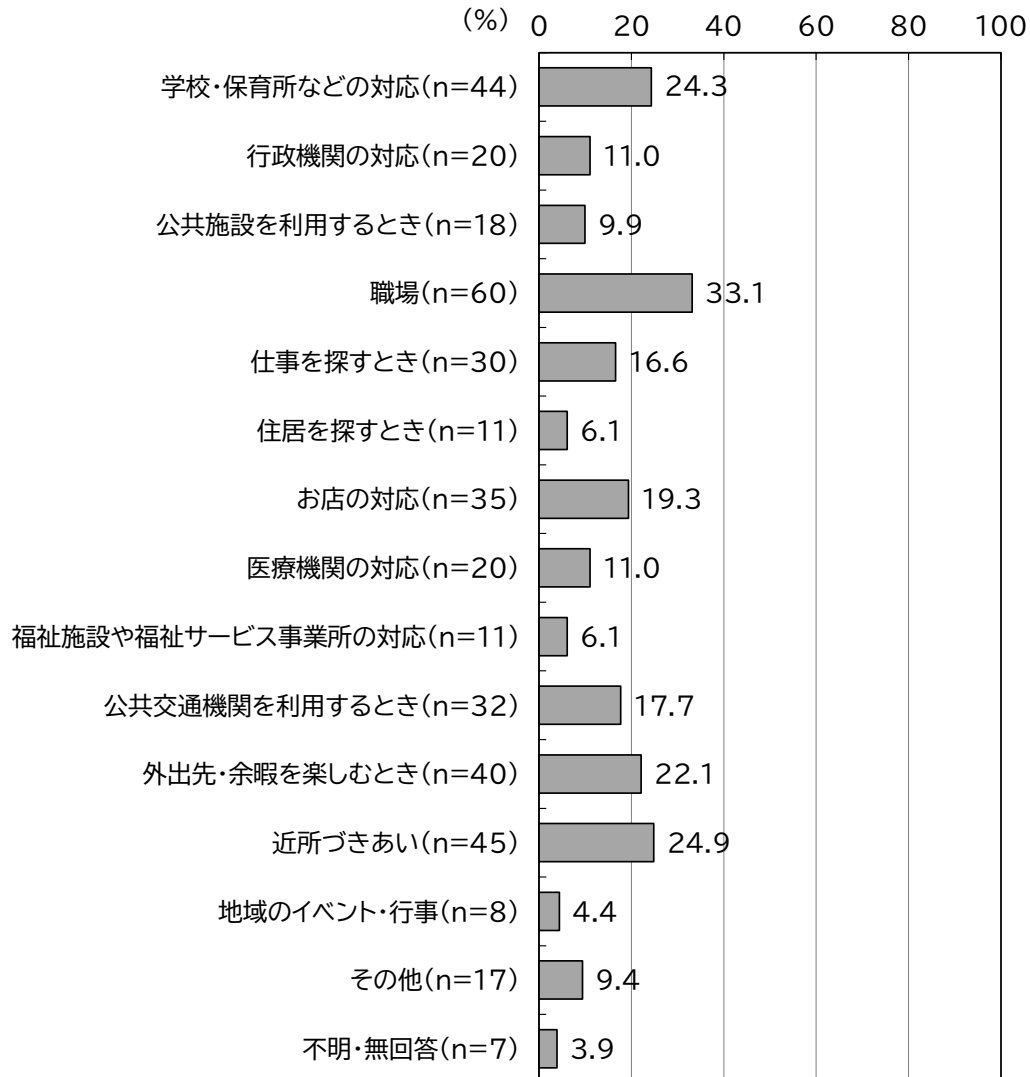
【問 37 で「現在もある」または「過去にはあった」と答えた方にお聞きします】

問 38 差別や嫌な思いについて、具体的に、どのような場面（場所）で、どのようなことがありましたか。（①②それぞれについて、あてはまるものすべてに○）

【①どのような場面（場所）で】

差別経験がどのような場面（場所）かについてみると、全体では「職場」が 33.1%と最も高く、次いで「近所づきあい」が 24.9%、「学校・保育所などの対応」が 24.3%となっています。

(n=181)



◇差別や嫌な思いの経験 ①どのような場面で「その他」の回答

内容	
直接的ではないが障害自体が世間的に差別対象。	ネット
家族・親族の対応や言葉	友人の対応が変わった。
学生時代	小学校・中学校
電話で嫌がらせ	人間とかかわるとき
道路上	人と同じように仕事をさせられた。
交通電車の中の席	席をゆずるよう催促された、ゆずった優先座席で。

障害別にみると、身体障害、精神障害、難病では「職場」、知的障害、発達障害では「学校・保育所などの対応」、聴覚・平衡機能障害では「お店の対応」、音声・言語・そしゃく機能障害では「お店の対応」「外出先・余暇を楽しむとき」、高次脳機能障害では「仕事を探すとき」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「学校・保育所などの対応」が、40歳以上では「職場」が最も高くなっています。

問 38 差別や嫌な思いの経験 ①どのような場面で①

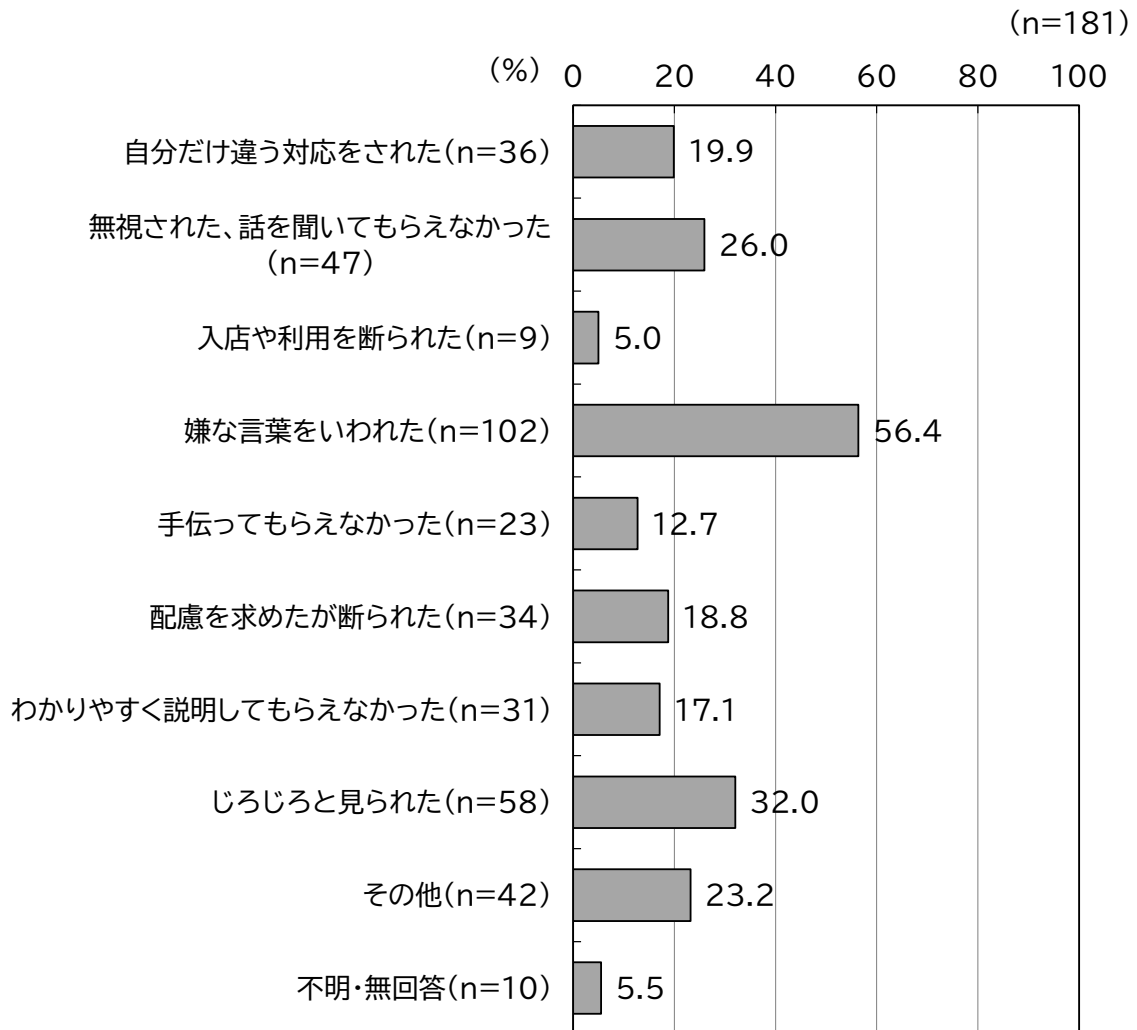
	(n)	学校・保育所などの対応	行政機関の対応	公共施設を利用するとき	職場	仕事を探すとき	住居を探すとき	お店の対応	
全体	181	24.3	11.0	9.9	33.1	16.6	6.1	19.3	
障害別	身体障害	76	19.7	13.2	13.2	32.9	17.1	1.3	18.4
	視覚障害	9	11.1	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2
	聴覚・平衡機能障害	15	33.3	26.7	6.7	40.0	13.3	0.0	46.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	4	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	75.0
	肢体不自由	38	26.3	10.5	18.4	28.9	18.4	2.6	18.4
	内部障害	18	5.6	5.6	11.1	38.9	11.1	5.6	16.7
	知的障害	42	42.9	7.1	7.1	9.5	7.1	4.8	26.2
	精神障害	68	23.5	14.7	5.9	41.2	17.6	10.3	14.7
	発達障害	38	39.5	5.3	10.5	31.6	13.2	2.6	26.3
	高次脳機能障害	8	12.5	12.5	12.5	25.0	50.0	37.5	12.5
	難病	12	25.0	16.7	0.0	41.7	8.3	16.7	33.3
年代別	18～39歳	56	46.4	12.5	14.3	14.3	10.7	5.4	23.2
	40～64歳	74	20.3	10.8	9.5	52.7	25.7	9.5	23.0
	65歳以上	49	4.1	10.2	6.1	26.5	8.2	0.0	10.2

問 38 差別や嫌な思いの経験 ①どのような場面で②

	(n)	医療機関の対応	福祉施設や福祉サービス事業所の対応	公共交通機関を利用するとき	外出先・余暇を楽しむとき	近所づきあい	地域のイベント・行事	その他	不明・無回答	
全体	181	11.0	6.1	17.7	22.1	24.9	4.4	9.4	3.9	
障害別	身体障害	76	7.9	6.6	22.4	21.1	22.4	2.6	7.9	5.3
	視覚障害	9	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1
	聴覚・ 平衡機能障害	15	13.3	6.7	26.7	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	4	0.0	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由	38	5.3	10.5	23.7	23.7	18.4	5.3	7.9	7.9
	内部障害	18	0.0	0.0	27.8	11.1	16.7	0.0	5.6	5.6
	知的障害	42	9.5	11.9	14.3	28.6	14.3	9.5	7.1	7.1
	精神障害	68	17.6	2.9	13.2	19.1	35.3	2.9	13.2	1.5
	発達障害	38	15.8	5.3	21.1	28.9	26.3	5.3	10.5	5.3
	高次脳機能障害	8	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0
	難病	12	0.0	0.0	25.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
年代別	18～39歳	56	8.9	12.5	23.2	33.9	19.6	10.7	10.7	3.6
	40～64歳	74	14.9	2.7	14.9	21.6	29.7	2.7	8.1	1.4
	65歳以上	49	8.2	4.1	16.3	10.2	22.4	0.0	10.2	8.2

【②どのような内容か】

差別経験の内容についてみると、「嫌な言葉をいわれた」が56.4%と最も高く、次いで「じろじろと見られた」が32.0%となっています。



◇差別や嫌な思いの経験 ②どのような内容か「その他」の回答

内容
いじめ
笑われた。
くびになった。
会社を辞めてくれと言われた。
一般の仕事を観たかったのに障害でしょと言われた。
絶交された。
馬鹿にしたような態度と日常会話で傷ついた。
知的障害ではない。
明らかに嫌そうな顔、態度をされた。
悪口を言われた。
正座できない。
不快な対応をされた。

バリアフリーでない。
障害であると思われない。
精神障害であることをややみくだすような表情をされた。
その障害を持っているというだけで無能とされている。
めんどうくさそうな感じ、仕方なくしてる態度。
よく「機械でどうぞ。」と言われる とっても、ややこしいのに。
タクシーで乗車拒否されました。
なんでできないの？みんなできる上等。
家族の理解(自分が動けない事を)。
差別に対して常におびえている。
コミュニケーションがうまく取れず、怒られた。
図書館で留守電を聞けない人はいないと言われる。
カートでの入店を断られ電動車いすとの違いがわからず混乱した。
障がい者席に座ると嫌味を云われた。障害が外からは分かりにくいので誤解された。
清掃活動を割りふられるが嫌なので人に頼んでいる。
電車をおりる時のスピードが違うので後から押され足をふまれ恐くて少しの間乗れなかった。
ご近所で障害があることを理由に、色々なウソのうわさ話を意図的に拡散される。
朝から病院に来るな。仕事をしに行け。元公務員とは思えない言動です。
精神障害だからと入居を断られた。
電車で1人言を言っていると、貧乏揺すりして、床をゴンゴン鳴らされて怖い思いをした。
高次脳機能障害をうちあげたら「最近いろんな障害あるよね～、それやったら私はアンチ障害障害やわ」と言って理解しようとしてくれなかった。
職場で雇用主や複数同僚からハラスメントをうけた。学校で教師に自殺の方法を説明された。又「殺してやりたい」といわれた。
正社員と同じ仕事をしていても障害者雇用は低賃金で条件を何度も付けて結局頑張っても正社員にならない仕組みがある。コロナ禍の人員不足や不景気で会社にも障害者に配慮する余裕がなく賃金に見合わない働きをさせられる。
支援学校で入学を拒否された。バスに乗せてもらえない事があった(てんかん発作のため)地域の中学へ行ってくださいと言われてました。権利を主張して入学させてもらった。当時身体手帳を持っていなかったため支援学校の説明会の時見学を拒否されたこともある。仕方ないと思いました。

障害別にみると、ほとんどの障害で「嫌な言葉をいわれた」が最も高くなっています。また、視覚障害、高次脳機能障害では「じろじろ見られた」、音声・言語・そしゃく機能障害では「自分だけ違う対応をされた」「無視された、話を聞いてもらえなかった」「じろじろと見られた」が最も高くなっています。

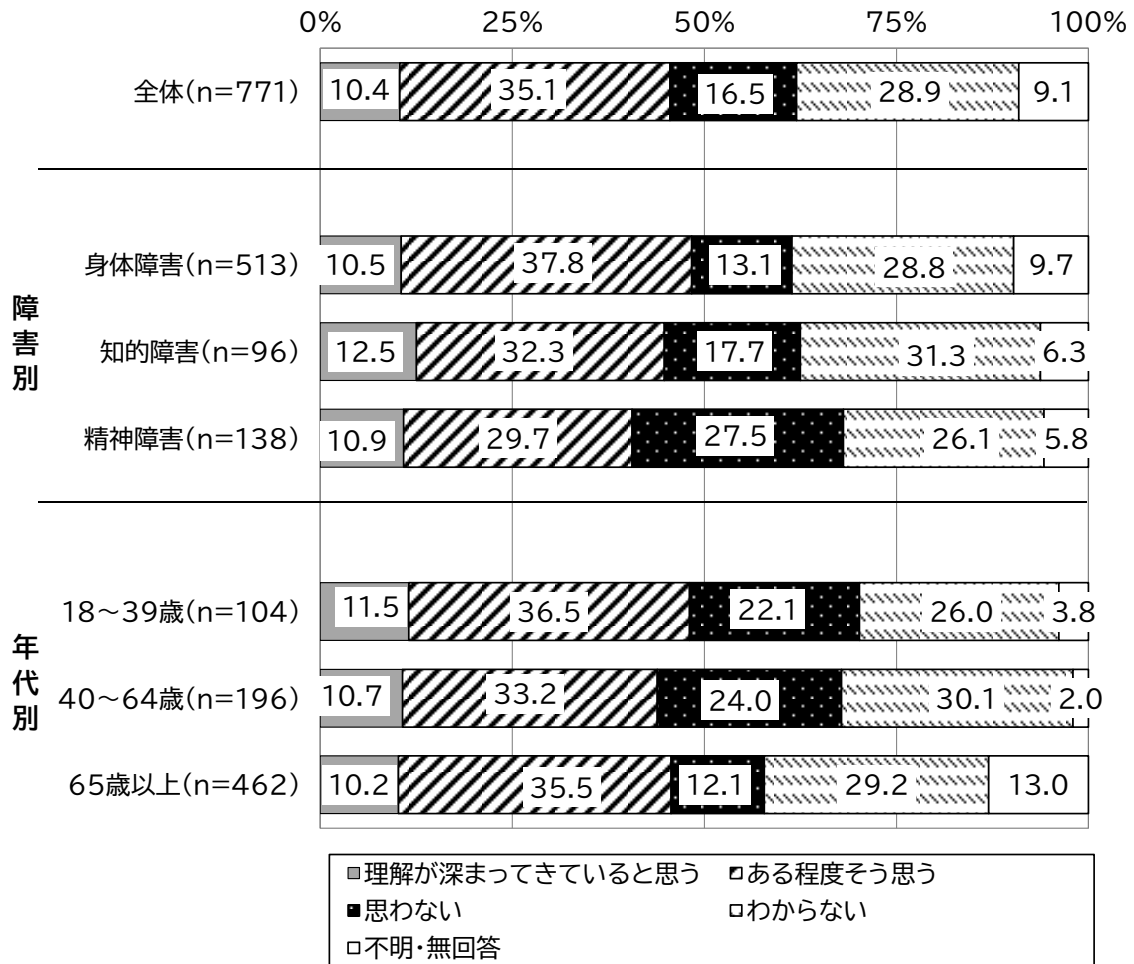
年代別にみると、いずれも「嫌な言葉をいわれた」が最も高くなっています。

	(n)	自分だけ違う対応をされた	無視された、話を聞いてもらえなかった	入店や利用を断られた	嫌な言葉をいわれた	手伝ってもらえなかった	配慮を求めたが断られた	わかりやすく説明してもらえなかった	じろじろと見られた	その他	不明・無回答	
全体	181	19.9	26.0	5.0	56.4	12.7	18.8	17.1	32.0	23.2	5.5	
障害別	身体障害	76	14.5	17.1	2.6	47.4	7.9	19.7	10.5	30.3	21.1	6.6
	視覚障害	9	11.1	0.0	11.1	33.3	11.1	33.3	0.0	44.4	22.2	11.1
	聴覚・ 平衡機能障害	15	13.3	13.3	6.7	40.0	0.0	46.7	26.7	33.3	33.3	0.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	4	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	肢体不自由	38	15.8	18.4	5.3	55.3	10.5	21.1	7.9	34.2	21.1	5.3
	内部障害	18	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	5.6	27.8	22.2	11.1
	知的障害	42	11.9	26.2	9.5	64.3	9.5	11.9	21.4	33.3	9.5	7.1
	精神障害	68	30.9	39.7	2.9	64.7	19.1	20.6	17.6	32.4	29.4	1.5
	発達障害	38	26.3	39.5	2.6	76.3	15.8	23.7	28.9	44.7	15.8	2.6
	高次脳機能障害	8	37.5	37.5	0.0	12.5	37.5	25.0	25.0	50.0	37.5	0.0
	難病	12	25.0	25.0	8.3	50.0	25.0	8.3	25.0	16.7	16.7	0.0
年代別	18～39歳	56	21.4	30.4	5.4	71.4	16.1	21.4	10.7	37.5	14.3	0.0
	40～64歳	74	31.1	35.1	6.8	58.1	17.6	20.3	27.0	35.1	28.4	6.8
	65歳以上	49	2.0	6.1	2.0	36.7	2.0	14.3	8.2	22.4	26.5	10.2

問 39 あなたは、地域や周囲の人の「障害」や「障害のある人」に対する理解が深まっ
ていると思いますか。(1つに○)

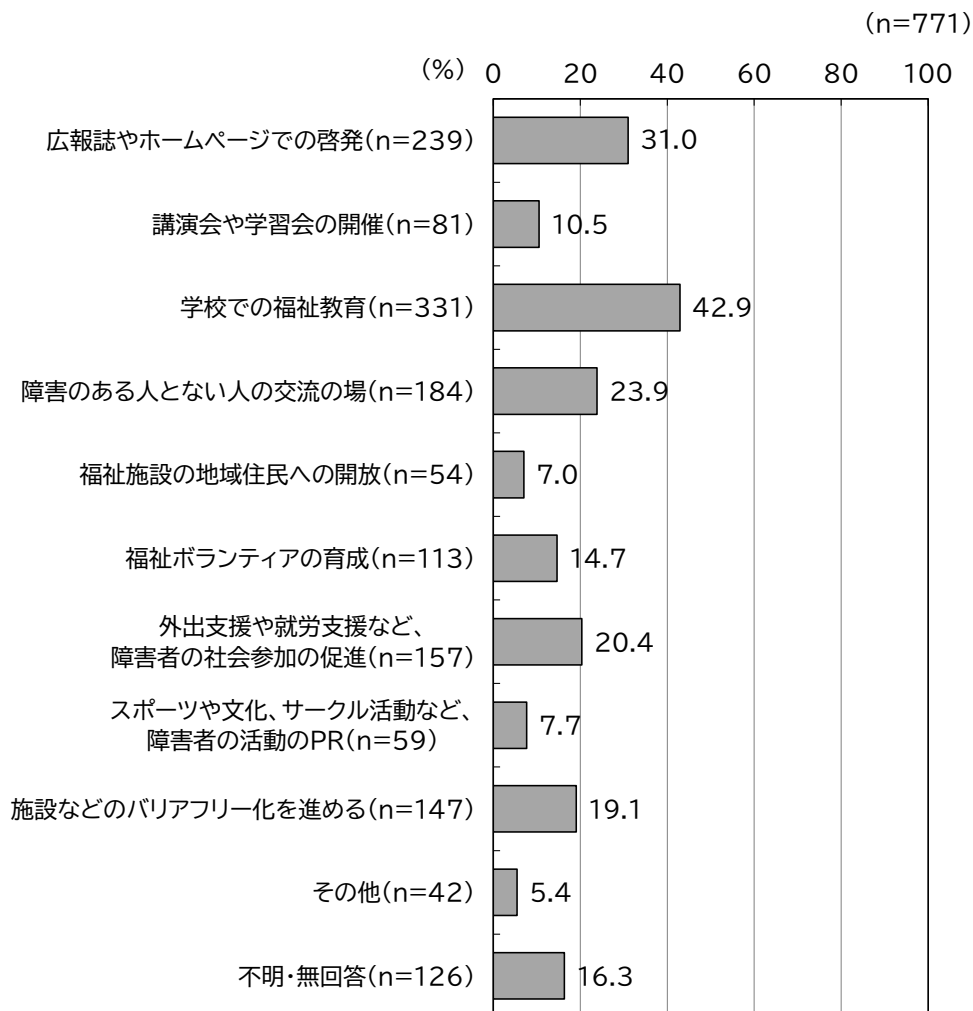
障害がある人に対する理解が深まっていると思うかについてみると、全体では「ある程度そう思
う」が35.1%と最も高く、次いで「わからない」が28.9%、「思わない」が16.5%となっています。

障害別・年代別にみると、いずれも全体と同じ傾向がみられますが、障害別では精神障害、年代
別では65歳未満で、「思わない」が2割を超えて比較的高くなっています。



問 40 地域や周囲の人の「障害」や「障害のある人」への理解を深め、差別や偏見をなくすためには、何が重要だと思いますか。(3つまで○)

差別や偏見をなくすために必要なことについてみると、全体では「学校での福祉教育」が42.9%と最も高く、次いで「広報誌やホームページでの啓発」が31.0%、「障害のある人とない人の交流の場」が23.9%となっています。



◇差別や偏見をなくすには何が重要か「その他」回答

内容
心の余裕が持てる環境
広い心
学生は学校が対応
新聞・TV
障害者であっても犯罪を犯せば刑罰を同じだけ受けること。それを報道する事。
過剰な障害者への甘やかしの撤廃※精神障害によって刑罰が軽くなるなど、ハンデの分のみのサポートで十分。
家族とのんびり
人によって異なる為、ケース・バイ・ケース
人事と思えない PR

内 容
見た目で見えない障害のとりあつかい。
障害、障害のある人のことば。
活動事例の見える化、言葉や文字の啓発は伝わらない。(充分には)
障がい者が周りになじむ方が早い気がする。実際に当事者にならないとわからないと思う。
個人の考え、の改善がないと意味がない！
私は障害ない人と接するのが怖いです。
合理的配慮の気持ちを持つ人の育成。
一般人への啓蒙活動がボランティア社会活動への参加促進！
障害を持ってるので助けて欲しいといつも言っている。
交流の持てる場。幼稚園・小学校・中学校・高校等。
ある人ない人の交流の場。同じ人間なんだと感じる場を。
「特別」に機会を設けるのではなく自然と普通に交流できるようにしてほしいです。

障害別・年代別にみると、いずれも「学校での福祉教育」が最も高くなっています。視覚障害では「広報誌やホームページでの啓発」が同率で高くなっています。

		(n)	広報誌やホームページでの啓発	講演会や学習会の開催	学校での福祉教育	障害のある人となない人の交流の場	福祉施設の地域住民への開放	福祉ボランティアの育成	障害者の社会参加の促進 外出支援や就労支援など、 障害者の活動のPR	スポーツや文化、サークル活動など、 施設などのバリアフリー化を進める	その他	不明・無回答	
全体		771	31.0	10.5	42.9	23.9	7.0	14.7	20.4	7.7	19.1	5.4	16.3
障 害 別	身体障害	513	33.5	8.4	41.7	21.2	6.6	15.8	19.5	8.0	24.6	3.7	17.0
	視覚障害	35	34.3	5.7	34.3	17.1	5.7	14.3	22.9	8.6	20.0	0.0	25.7
	聴覚・ 平衡機能障害	51	37.3	15.7	45.1	27.5	9.8	17.6	21.6	9.8	15.7	5.9	13.7
	音声・言語・ そしゃく機能障害	25	36.0	12.0	40.0	28.0	16.0	20.0	20.0	12.0	12.0	4.0	12.0
	肢体不自由	243	25.1	8.6	45.7	25.9	6.6	14.4	21.8	9.5	30.9	3.3	14.4
	内部障害	180	39.4	11.7	40.6	18.9	6.7	17.2	17.2	9.4	25.6	1.7	14.4
	知的障害	96	20.8	8.3	45.8	31.3	9.4	15.6	26.0	4.2	10.4	9.4	16.7
	精神障害	138	27.5	13.8	44.9	31.2	6.5	10.9	21.7	8.7	7.2	10.9	13.8
	発達障害	69	24.6	7.2	59.4	27.5	8.7	14.5	21.7	4.3	8.7	8.7	11.6
	高次脳機能障害	18	11.1	5.6	55.6	38.9	0.0	22.2	22.2	16.7	22.2	11.1	11.1
難病	34	20.6	2.9	47.1	41.2	5.9	17.6	23.5	5.9	32.4	2.9	11.8	
年 代 別	18～39歳	104	25.0	12.5	63.5	32.7	10.6	11.5	25.0	6.7	9.6	7.7	7.7
	40～64歳	196	29.1	11.2	44.4	32.7	6.6	11.2	27.0	8.7	12.2	8.2	9.7
	65歳以上	462	32.9	9.7	37.9	18.4	6.3	17.1	16.0	7.1	24.0	3.9	21.0

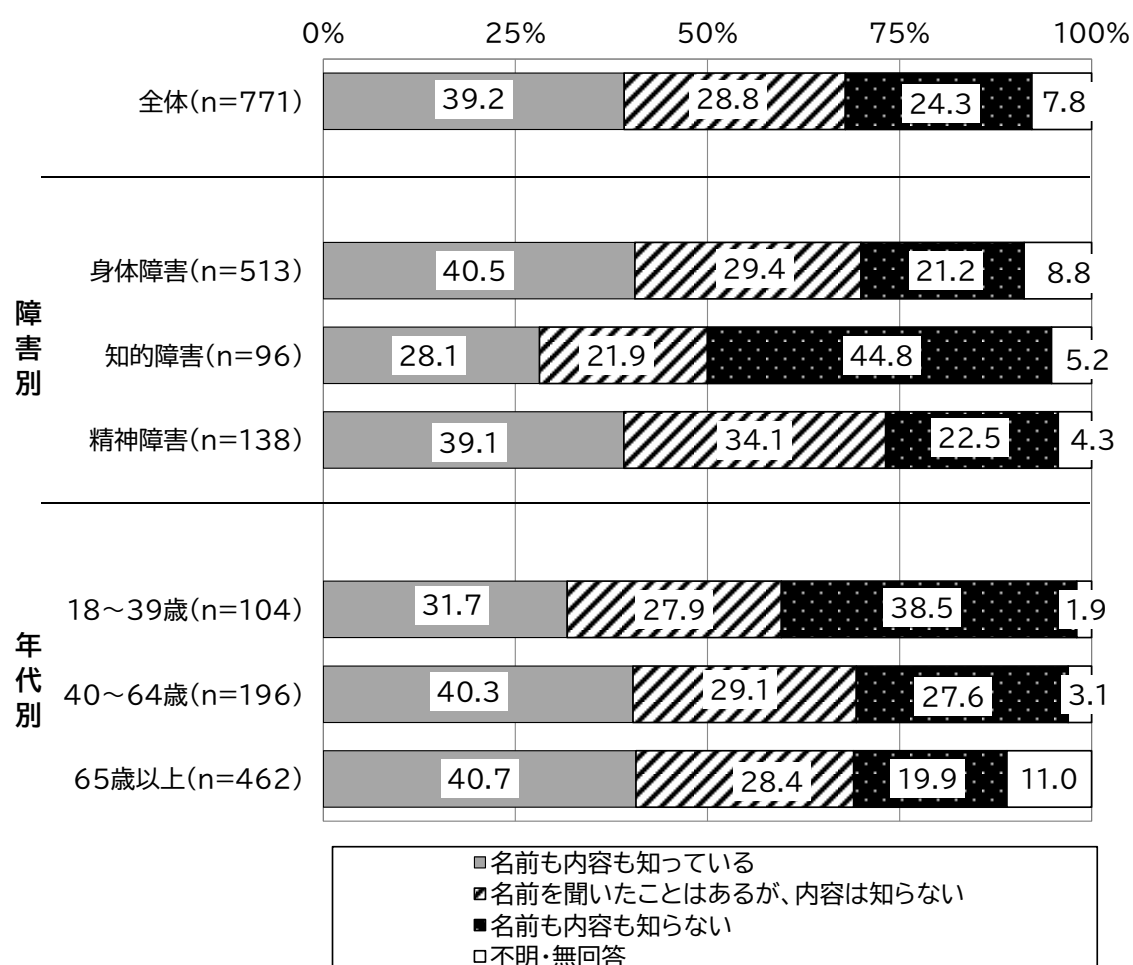
問 41 知的障害や精神障害、認知症などにより、判断能力が十分でない人の権利や財産を守り、日常生活を支援する制度として、「成年後見制度」があります。あなたはこの制度のことを知っていますか？ また、利用したいと思いますか？ (①②それぞれについて、1つに○)

【①知っているか】

成年後見制度の認知度についてみると、全体では「名前も内容も知っている」が39.2%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が28.8%となっています。

障害別にみると、身体障害、精神障害では「名前も内容も知っている」、知的障害では「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「名前も内容も知らない」、40歳以上では「名前も内容も知っている」が最も高くなっています。

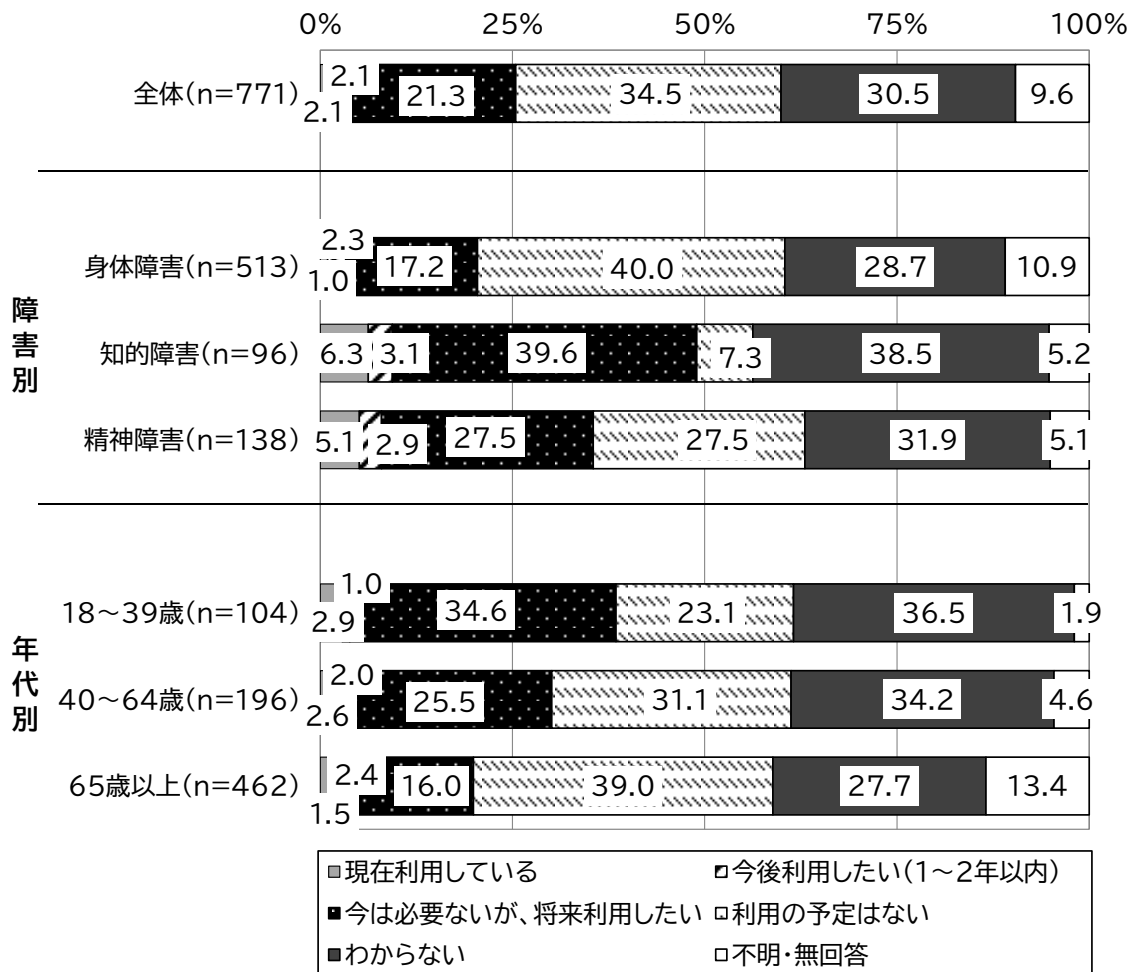


【②利用したいと思うか】

成年後見制度の利用意向についてみると、全体では「利用の予定はない」が34.5%と最も高く、次いで「わからない」が30.5%となっています。1～2年以内の利用希望は2.1%と少ないですが、将来の利用希望も含めると、全体の2割強が利用を考えています。

障害別にみると、知的障害では「今は必要ないが、将来利用したい」が約4割で最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳において、将来の利用を希望する割合が3割を超えて比較的高くなっています。



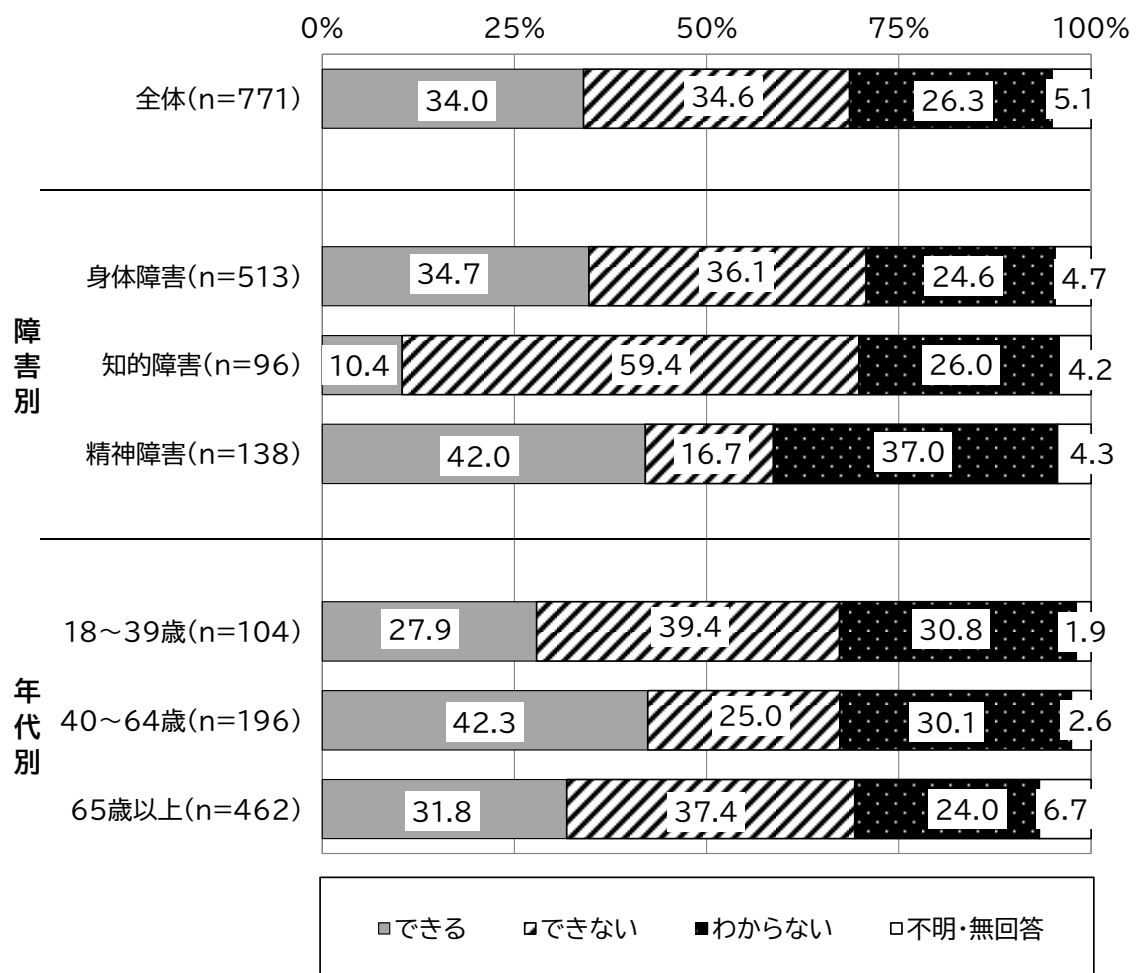
12. 災害時の対応について

問42 あなたは、水害や地震などの災害時に、一人で避難できますか。(1つに○)

災害時に一人で避難できるかについてみると、全体では「できない」が34.6%と最も高く、次いで「できる」が34.0%となっています。

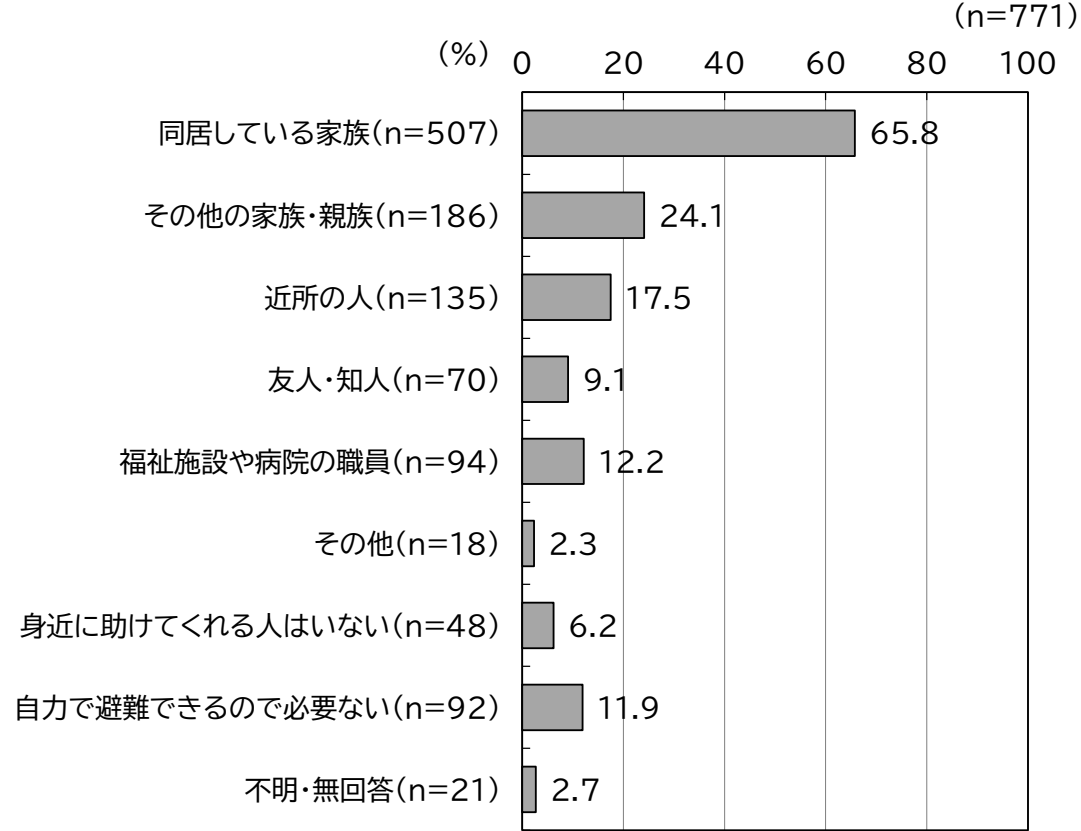
障害別にみると、身体障害、知的障害は「できない」、精神障害は「できる」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～39歳、65歳以上では「できない」、40～64歳では「できる」が最も高くなっています。



問 43 災害で避難が必要なときに、身近にあなたを助けてくれる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

身近に助けてくれる人がいるかについてみると、全体では「同居している家族」が 65.8%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が 24.1%、「近所の人」が 17.5%となっています。



◇災害時に身近に助けてくれる人はいるか「その他」の回答

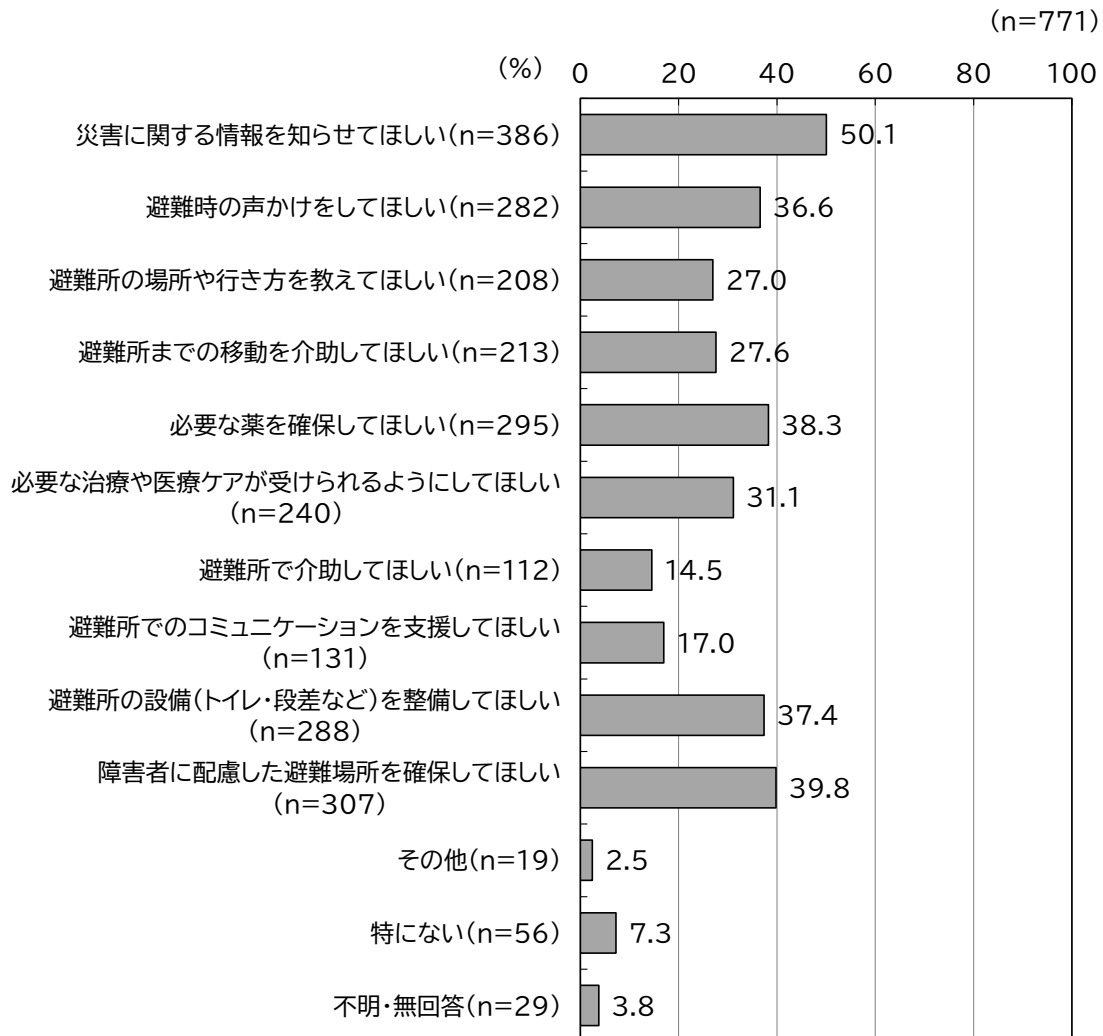
内 容	
いない・自力でするしかない・不確定	そのような話は受けたことがない。
親は妹夫婦がめんどうみてる。	ヘルパー
ケアマネ	自治会役員
近隣も高齢者の為助けてもらえるか分からない。	行先で生活できない

障害別・年代別にみると、いずれも「同居している家族」が最も高くなっています。

		(n)	同居している家族	その他の家族・親族	近所の人	友人・知人	福祉施設や病院の職員	その他	身近に助けしてくれる人はいない	自力で避難できるので必要ない	不明・無回答
全体		771	65.8	24.1	17.5	9.1	12.2	2.3	6.2	11.9	2.7
障害別	身体障害	513	65.9	26.9	20.5	9.2	8.2	2.1	5.7	11.3	3.3
	知的障害	96	69.8	18.8	11.5	8.3	39.6	3.1	3.1	4.2	3.1
	精神障害	138	63.0	18.1	11.6	8.7	11.6	2.9	8.7	18.1	1.4
年代別	18～39歳	104	81.7	22.1	12.5	15.4	22.1	1.9	1.9	12.5	2.9
	40～64歳	196	65.8	21.4	10.2	8.2	15.3	2.6	7.7	13.3	1.0
	65歳以上	462	62.6	25.8	21.4	8.0	8.9	2.4	6.3	11.3	3.2
一人 で 避難 か ら な い	できる	262	67.6	24.0	22.1	13.7	3.1	1.5	2.7	28.2	1.1
	できない	267	69.7	21.3	13.1	7.1	24.3	1.9	6.7	0.0	1.5
	わからない	203	62.1	28.6	17.7	6.9	7.9	4.4	10.3	6.4	3.4

問 44 あなたが災害時に支援してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に支援してほしいことについてみると、全体では「災害に関する情報を知らせてほしい」が50.1%と最も高く、次いで「障害者に配慮した避難場所を確保してほしい」が39.8%、「必要な薬を確保してほしい」が38.3%となっています。



◇災害時に支援してほしいこと「その他」の回答

内 容
パニックになるので、介助する人をつけてほしい。
避難場所までの移動車がほしい。
避難所でのプライバシーの確保を保障してほしい。
障害のない人と接しないですむようにしてほしいです。
体育館のような大きな所への避難時は、無理かも知れないが、少しでも隣との仕切りが出来るとか着替え用の三角テントのような物が必要だと思います。
避難所内、災害の情報を大きなボードに書き出して欲しい。
防災放送等使って早く住民に伝えてほしい。多数に早く。を！
ガスが止まったとき、どうやって元にもどすかわからない。
ダンボールベッドがあればうれしいです。

内 容
列に並んで支援物資を受け取るのが難しそう。
緊急用の障害用器具の備蓄場所の提供。
ペット(猫)も一緒に避難できるシェルターのような施設を作っていただきたい。
ペットを置き去りにしなきゃいけないのが不安。ネットで情報を集めるので WI-FI 完備してほしい。
障害をもっているペットとくらして支えになっているのでお世話もできるので飼っていても理解してほしい。
今のところ思いつかないが、色々あると思う。

障害別にみると、身体障害、発達障害では「災害に関する情報を知らせてほしい」、知的障害、高次脳機能障害、難病では「障害者に配慮した避難場所を確保してほしい」、精神障害では「必要な薬を確保してほしい」が、それぞれ最も高くなっています。身体障害のうち、肢体不自由の方は「避難所の設備の整備」を希望する方が多くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「障害者に配慮した避難場所を確保してほしい」、40歳以上では「災害に関する情報を知らせてほしい」が最も高くなっています。

災害時に一人で避難できない人では、「避難所までの移動を介助してほしい」が最も高く、次いで「障害者に配慮した避難場所」となっています。

	(n)	災害に関する情報を知らせてほしい	避難時の声かけをしてほしい	避難所の場所や行き方を教えてほしい	避難所までの移動を介助してほしい	必要な薬を確保してほしい	必要な治療や医療ケアが受けられるようにしてほしい	避難所で介助してほしい	避難所でのコミュニケーションを支援してほしい	避難所の設備を整備してほしい	障害者に配慮した避難場所を確保してほしい	その他	特になし	不明・無回答	
全体	771	50.1	36.6	27.0	27.6	38.3	31.1	14.5	17.0	37.4	39.8	2.5	7.3	3.8	
障害別	身体障害	513	50.1	35.7	22.0	30.4	35.1	31.2	13.8	13.1	41.3	38.6	1.9	6.6	3.9
	視覚障害	35	51.4	34.3	17.1	42.9	28.6	11.4	14.3	17.1	42.9	42.9	5.7	11.4	5.7
	聴覚・平衡機能障害	51	45.1	39.2	27.5	23.5	25.5	21.6	7.8	39.2	35.3	33.3	2.0	17.6	3.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	48.0	48.0	44.0	36.0	32.0	28.0	24.0	16.0	32.0	56.0	0.0	8.0	4.0
	肢体不自由	243	47.3	34.6	21.4	36.6	32.9	30.9	19.3	11.5	52.7	48.1	1.6	5.3	4.5
	内部障害	180	55.0	30.0	22.2	24.4	46.1	40.6	8.3	6.7	35.0	32.2	2.2	4.4	2.8
	知的障害	96	40.6	58.3	52.1	39.6	35.4	21.9	34.4	35.4	37.5	59.4	3.1	4.2	2.1
	精神障害	138	52.2	34.8	32.6	16.7	54.3	35.5	11.6	21.7	27.5	39.9	5.1	9.4	2.9
	発達障害	69	58.0	39.1	43.5	23.2	40.6	27.5	18.8	37.7	30.4	55.1	2.9	5.8	0.0
	高次脳機能障害	18	33.3	27.8	27.8	50.0	50.0	44.4	27.8	16.7	55.6	66.7	5.6	11.1	0.0
	難病	34	47.1	38.2	29.4	55.9	50.0	44.1	29.4	17.6	44.1	64.7	2.9	8.8	0.0
年代別	18～39歳	104	48.1	46.2	41.3	28.8	34.6	22.1	23.1	34.6	35.6	51.0	4.8	5.8	1.9
	40～64歳	196	52.0	33.2	30.1	17.3	50.5	35.2	11.7	21.4	31.1	45.4	2.6	5.1	2.0
	65歳以上	462	50.0	35.9	22.5	31.6	33.8	31.8	14.1	11.0	40.7	35.3	1.9	8.2	4.8
一人で避難できるか	できる	262	58.8	26.3	19.8	5.7	37.0	25.2	2.7	8.8	26.3	24.8	2.3	13.0	1.5
	できない	267	40.4	41.9	30.7	58.8	39.7	34.8	31.1	22.8	52.1	57.3	3.0	3.7	3.0
	わからない	203	52.2	44.3	32.5	17.2	41.9	36.0	8.4	18.7	36.0	39.4	2.0	4.9	3.0

13. 自由意見

問 45 最後に、障害者福祉についてご意見、ご提案（町に伝えたいこと）がありましたら、自由にお書きください。

<障害や障害者への理解、啓発など>

- 表面的に見える障がい者と、見えない(内面的)障がい者がいる事の案内が必要かなと思う事がある。
- 軽度の障害はぱっと見家族以外では分かりませんから、周囲の理解や何かあった時の支援と言うのは難しいのではと思います。本人も自分で何が困っているのか理解できていないし伝えることもできないと思う。大きい声で周囲にアウンスするわけにもいかないし。民生委員さんとかに知っただけだと助かるかも。
- 身体障害者や知的障害者に対しては理解をしめすのに、精神障害(高次脳機能障害)に対する理解が全然進んでない気がする。ほとんどの一般人は精神障害者に対して甘えているという認識を示す。
- 障がい者手帳を持ってみて、社会の理解が深まっていることにあらためて気づきました。世の中の人々とても気持ちよく受けとめて下さいます。
- 障害者に対する差別、偏見は、昔にくらべ非常に少なくなって来ている。このようなアンケートが実施される事自体が意識改革のたまものと思う。根本的な解決は難しいと思われるけど、子供の頃からの人格形成、品格が養われる事によって少しでも弊害が減って来るのではないかと考えております。
- 差別は昔からあるんだから。障害者自身もあまり気にしすぎないようにと思う。
- 障害についての理解が、広がればもう少し生きやすくなると思います。昔よりはインターネットの、おかげで広まったけど悪い意味でも広まるようになったので、どちらが良かったのか判断できません。ありがとうございました。
- 普通の道路歩行のさいに少しでもゆずるとか手助けをまったくしない者がいたり、補助やゆずるというやさしさがまったくない。ながいものです。
- 私自身、両膝の関節の痛みで苦しんでいましたが、人工関節のおかげで、あの痛みは何だったのだろう…今は感謝でいっぱいです。友人とスケッチに行こうと誘われても、断ることの多かった事は嘘みたいです。ありがたい事だと感謝しています。本当に！！ 障害…ってあまりにも幅がありどうお答えしていいのか？ 例えは公共交通の乗りものに乗っています時、大騒ぎしている精神面の障害者の方への視線は冷ややかです。このことは皆の本音ではないでしょうか。
- 内部障害なので動くことに支障なく上記のような記入になっています。身近に障害者手帳を持っていないくても、杖を突いたり歩きにくい様子の方も多いです。高齢化も進み、ちょっとした会話から自分の状況を話し始める方もおられます。そういう方の気持ちの支援が福祉の初めの一步かと思います。難しいことですが。
- 障害者だからかわいそうと見られたくありません。がんばってると思われる事で生きる気力になります。達成感を感じたいです。
- 発達障がいとは外からわかりにくいらしい。初めは「この人いい人かな」と近づいてくるが、月日が立ち、何度も会ってくるとこちらの特性に怒り爆発したりする。とくに職場で起きるとなぜか障がい者をクビにする。障がい者をいじめる人をクビにすべきだろう。会社はまず障がい者を全員就職させて1～2年様子を見るとかいいのでは？障がい者は何も直すことはなく、周囲が受け入れる力をつけていく必要がある。

<雇用・就労>

- 私は成人するまで健常者として育てられ、実は精神病なのに病院に連れて行ってもらえなかった。中途半端な障害者です。普通の場所に行くことができなくて浮いてしまい、障害者の中に入るとできすぎてしまいます。一人で作業できる仕事は高槻より近い場所が無くて困っています。1日4時間、週3~4、昼はじまりの仕事がほしいです。一人で誰にも見られない事で、劣等感もなく優越感もない仕事を作ってもらいたいです。Ps 町営プール復活待ってます。町体新しくしてください。水きれいなのでカキ氷屋作りませんか。バーベキュー施設作ってください。
- 現在、子供は就労支援A型を利用させて頂き、毎日元気に通所させて頂いております。毎月多額のご支援を頂き、本当に感謝しております。障害者への差別は以前と根深く、最近では物価高などの社会全体のストレスが高まると、一部の人ですが弱者に向けてストレス発散の矛先を向けてしまうこともあるようです。色々と感じることもありますが、通所させて頂けることで日々の生活が整い、頂けるお給料でスポーツや色々な活動も続けることも出来有難いと思っております。今後共充実した福祉サービスが継続されますように願っております。家族がストーカー被害に悩まされており、8月中旬頃から外出のたびに尾行を受けるなどその対応に追われてしばらく落ちつかない日々で気持ちに余裕がなく遅くなりすみません。遅くなりましたが目を通して頂けましたらうれしいです。(母)
- 島本町に障害者が働ける農園があると嬉しいです。いつも親切、丁寧な対応ありがとうございます。島本町民でよかったです。
- 自治体から職場へ定期的に体調の変化や思っていることを伝える制度などがあれば利用したいと思っています。
- A型を島本町にも作って頂きたいです。働きたい障害者の方々がたくさん居ると思います。自分自身もそうです。

<保健・医療>

- 役場の方々にとっても親切にご対応いただき、毎日感謝しております。いつもありがとうございます。介護する者(家族)として、いろんな疑問や悩みがありますが、どこか相談できる場所はあるのでしょうか？病人の気分の落ち込みや、フラッシュバックで苦しんでいる場合どこに連れて行ってあげたらよいのかなど、病人の話を聞いてあげる機関などあるのか？
- 町内にクリニックが少なすぎてかかりつけ医が見つからない。
- 介護老人保健施設治療棟に入所。3ヶ月ルールのある事を告げられて居る。再度透析の可能性があり血液検査を毎月行っている。薬で解毒作用を試みて居る状態。落ち着いて治療が受けられる施設がほしい。
- ヘルパー等時間支給されても、事業所(ヘルパー)が見つからない。訪問リハビリ等のサービス量が不足している。医療的ケアを必要とする人のショートステイ施設が町内にない。
- 身体障害者手帳1級1種なのですが、病院(通院が必須ですが)通い頻繁です。障害年金、もちろん、障害年金もらってません。金額的な事を言うと、現実では0円か、もらえるかと言う決まりですが、段階を決めて、ここのラインまで、いくらとかと言う風にはできないのでしょうか？ それから、大阪府外での治療費は、(医療証はもっています)支払いし、その都度、役場に行き、手続きしなければ、なりません。現在は行けてますが、老化で行けなくなる事にいずれなるでしょう。この世の中、PCの時代に手続きをスムーズに、できないのでしょうか？
- 65歳以上になると介護保険の適用をなにごとも前提にしている場合が多い。医療保険との両立がわかりにくく、介護保険を優先する仕組みの為特定医療(難病)での公費が使えるのに介護認定を受けると負担が急増する恐れがあり、制度が複雑すぎて理解しにくい。うかつに介護認定を受けられな

い。(65歳の壁)分かりやすく説明できるように(理解できるように)制度の改善を求む。

- 現在、島本町内の入院出来る病院及び施設における備品等によるリース料契約(パジャマ、タオル、洗面関係)が一般の所よりも高く、高槻～枚方の病院へ施設の様に安価な大手基準寝具メーカーとの取組みをすべきである。

<福祉サービス・福祉施設など>

- 年長になるに従い難聴になりつつあります。外出すると車や人ごみがこわくなりますが補聴器は高くて困ります。補助の対象に町の方で考えていただきたいです。
- 障害者とその介護者が時々他の障害者の家族と顔を合わせ語り合ったりお茶を飲んだり出来るような場所を町内に作ってほしい。
- 息子も30才をすぎ、老化に向かっています。肢体不自由なため、訓練をしたいが子供のころ通っていた藍野療育園のような訓練ができない(近くにない)。島本町でも訓練ができる場所を作って欲しい。
- 島本町の福祉推進課や社協南山城学園などの様々な人々に相談にのって頂いてきました。感謝申し上げます。町では、障害のある方々の利用できるサービスや施設は増えてきており、公的には理解が進みサービスも充実していると思います。ただ、やはり、問12で書かせて頂いたように、日中や夜、居場所に困る人が、予約や契約なしにしかも秩序を保って過ごすことができる場所のニーズは増していると思います。特に土・日・祝。これから役場庁舎の建設に伴い自習室が減るのであれば併せて考えて頂きたいと思います。障害を持つ人が、家族から離れても安心して生活できる場所の提供を望みます。生活力がなくてもサポートが入って1人暮らしができたり、安く賃貸できる住居などがあると助かります。既にあつたらすみません。南山城学園がそうなのかもしれませんが施設ではなく、本当に民間一般の住居に入って1人暮らしをした時の金銭面と生活面でのサポートをお願いしたいです。
- 親の高齢化で心配事はいろいろあります。親が元気であるのと、いないのとは雲泥の差があると思います。グループホームを作って欲しいと切に思います。親と子が一緒に住めるグループホームが富山県にはありません。(敷地内で)
- グループホームを増やしてほしい。
- 障がい者のグループホーム入所施設を増やしてほしい。
- いつもありがとうございます。作業所・グループホーム・日中一時支援事業が増える事を希望します。
- 将来の行き場がない。親が高齢になって介護がむずかしい。グループホームが近くにない。島本町のサービス提供がほとんど増えていない。日中一時支援を受ける所がない。
- 年齢が上がリそろそろ親の体力も限界に近い。他害がある時があるので、難しいと思いつつ、グループホームに入れたいいと希望しています。本当にしんどい。在宅だとソファに私がじっと座れることはない。常に呼ばれるのでゆっくりはできません。でもそれは子育てを放棄しているのでは？と自分を責めてしまいます。まだ葛藤中！でも本人の将来の為にはGHが一番だと思っています。グループホームを作ってほしい。
- グループホームを作ってほしい。
- グループホーム、入所施設など親亡き後も地域の障害者が安心して暮らせる町作りをぜひ考えていただきたいです。現在通ってる施設にも50歳以上の障害者70歳以上の障害者の親達が多くおります。
- 医療ケア児が支援受けて在宅もしくはグループホーム、ショートステイを受けながら在宅で家族と生活できるように島本町内に福祉サービスできる場所を作ってほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者の親の高齢化で、行き場が確保できていない現在、町としては、障害者の人数も把握されてると思います。成人の日中一時が不足しています。町の援助が必要です。町立の福祉施設やグループホームの整備を早急にお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 町内に充実した福祉サービスの施設が増えてほしいです。グループホームなど将来子供を遠い場所へ行かさないといけないのでは？と思うと少し不安があります。地域で未永くサービスを利用しながら子供と暮らしていきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ● まだ親の年齢本人の年齢のことを考えると今すぐに入所施設やグループホームの利用はないですが町内に本人の年金額で利用できる場所ができる事が望みです。現在あるグループホームも本人の年金のみでは利用できずにいます。以前よりショートステイも町内で利用できるようになり、過ごしやすくなりました。もっと利用しやすい環境が整うことを望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 一人暮らしをして自由な時間がほしいが、一人での生活が苦しい。グループホームはたくさんのお金があるので、入居は難しい将来施設が出来たらよいのに。
<ul style="list-style-type: none"> ● 島本町でこれから自分らしく暮らして行ってほしいと親として願っています。一人で買い物ができる、一人で図書館で本が借りられることは、地域のあたたかい目があるからこそありがたいと思っています。今後は身近にいつでも通えるような文化施設やグループなどがあれば余暇時間を充実させられると思います。障がいのある方が生き生きと暮らせる島本町に発展して行ってほしいと願います。
<ul style="list-style-type: none"> ● いつも様々な福祉に関わる方々や制度に助けて頂いています。ありがとうございます。問20の4にあったようにいつでも気軽に立ち寄り、仲間達と過ごすことのできる場所を増やしてほしいです。「仲間達」というのは障害の有無で区別せず、色々な人が気軽に集まれる場所をお願いします。障害者を区別するのではなく、そうではない人にとってもお互いにとってより良い社会や地域になってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ● ふらっとおたみたいなところがほしい。選挙所に行かなくても、投票しやすくしてほしい。見た目は普通に見えるが発達障害、うつがあるので、そういう人が経済的にも生活力的にも助けてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者施設の拡充。
<ul style="list-style-type: none"> ● A型の施設をつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ● いつもお世話になり有り難うございます。今年てんかん発作が多くてケガが多いです。骨折して手術して治って来ていたのですが、感染症？になり長い(2~3週間といわれています)入院治療中です。入院したら福祉サービスが使えなくなり困っています。面会可能な時間帯だけでも福祉サービスが使えれば助かります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害や薬を理由に施設入所を断られることがある 施設の増設や増室を希望する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 以前よりもサービスが充実していると思うが、様々な状況や想定していないことでまだまだ援助がいきとどいていない、対応していないという事があると思います。その時々、時勢、情勢により望まれるサポート、サービスが確立、運用されていくことを願います。
<ul style="list-style-type: none"> ● デイサービスでの入浴回数が週1回に限られているのがとてもつらい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 以前、在宅支援を受けていましたが、ホームヘルパー不足を理由に十分なサービスを受ける事が出来ず、やむを得ず施設に入所しています。手厚いサービスが受ける事が出来る体制づくりを望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉の日中活動、グループホーム等、毎年提案があっても、町の積極的施策が無い(後回し)となっている。日中一時支援の希望が多い中事業所任せになっている現状を把握し計画を実行して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者本人の家族、特に親が動けなくなった時のことを想定したケアのあり方など相談にのってもらえる窓口の確立、制度設置などに充実してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者施設は自立が困難な障害者のためにあると考えている。その割には、給付金(数百~数千)が出たりして、矛盾を感じる。そもそもサポートを受けなければならない人間が、そのお金を適切に使用できるとは

思えない。それらを廃止して、福祉のお仕事なさっている方々の給与に関してほしい。また、ケアやサポート内容が甘過ぎて、一般社会では役に立たない。障害者を甘やかすのではなく、その障害で活かせる所があるなら伸ばして、個性を持ちつつ普通に生きられるような強い人を育てる方向の方が合理的と思われる。

<家計・経済、年金・手当など>

- 障害に関する支援は対象にならないのでほとんど受けることができない。障害を持っている人はお金がかかるので医療費や生活費を助成してもらえるものが欲しい。国や自治体で障害者が心配なく(生活、病院)生きていけるようにしてほしい。
- 年金生活では施設入所は金額が高すぎるので、もう少し何とかしてほしいです。ショートステイも1日の利用額が高額だと感じました。車いす生活で1人では何もできないのでお金がかかってしまいます。
- 本人及び家族の老後の住居費用が生活を苦しめています。一般の人と違い低給与なので貯えも余裕がありません。対策を期待します。
- 60才より障害福祉年金がもらったのに障害者 5 級で 65 才となるので年金事務所に行って手続きをするときに初めて障害福祉年金のことを知りました。5年間もらえなかった事に対してあまりにも無知でがくぜんとしました。そのような事があるという事実を教えられる所があればもっと金銭面で助かったのではないかと失敗です。
- 金銭的な援助が今まで以上に必要。物価高に合わせて見直してほしい。
- 支援金をカットしないでほしい。
- ゼイタクは言わない。だが障害者枠の給与は安く、将来のための貯金や生活の準備ができない。障害のていども中途半端で障害者年金ももらえない。商売の能力もない。お先まっくらでつらい。
- 金銭的に助けて欲しいです。

<情報・コミュニケーション>

- 他市から移って 5 年まだ島本町の事がわかりません。役場も遠くて広報だけが頼りです。人とのつながりがなく良い町ですが家族だけの世界です。前の市では民生委員さんもよく来て下さいましたが当町では一度も来られません。名前もわかりません。
- 私は難聴ですが、同じ障害者との交流を願っています。個人情報のため、島本町におられる聴覚障害者の方の事は知る事が出来ないためその実がさびしいです。知り合えば、また、交流も出来ますし、これからの人生も楽しくなります。
- 「議会だより」を見ても以前に比べ障害者関連の質疑が殆んど無くなった。議会は「障害者は票にならない」と思っているのでしょうか議会からしてこれでは町全体の障害者福祉の意識レベルアップは難しいと考えます。この為にも積極的な情報発信と啓発をお願い申し上げます。
- 常に役場から声掛けをもっとして欲しい。
- 何もわからないので広報誌で分かりやすく説明してほしい。
- 町からの知らせマイクの声が割れて何を言っているのかよくわかりません。
- 自分の病気ではあるものの、受けているサービスや区分などについて把握しきれてなかった。そこがわりとややこしくて難しいと感じた。
- 声が小さくて聞き取りにくい事がある。同時進行が苦手なのでゆっくり説明してほしいのと口頭だけじゃ意味をはき違えてしまうので紙で書いてもらいたいです。

- いつもお世話になります。常時、手話通訳者が居て、(町外の)遠方の依頼に対しても誠実に対応して下さることに、感謝の意を表します。一方、島本町内で手話通訳者や要約筆記をできる方は限られており養成講座が開かれても(手話ボランティア)、後継者の育成は感じられません。現在、限られた方々に不満はありませんが、今後の為に他の育成中の人にも機会を設けてくださることを望みます。
- 手話通訳派遣先を高槻市・島本町だけにしてほしい。

<生活環境・バリアフリー>

- 視覚障害(弱視)なので、最近、通学路の点字ブロック付きの白線があるのをありがたく思っています。できましたら、山崎駅へ向かう道にもつけていただけると嬉しいです。
- 段差が少ないようにしてほしい。(車イス利用)公共機関。介護タクシーを利用しているが高い。(体が不自由で利用している)タクシーはなかなか予約出来ず、介助が必要な事もあり介護タクシーを利用している。補助金は非常に助かっており有難いと感じています。段差やベッドを置く為、リフォームしたが補助金が出るのを知らず期限が切れて出来ず、広報誌など良く見る事が大事と思った。
- 町内の歩道を整備してほしいです。
- 現在電動カートを利用しています。ふれあいセンターに行く道路がでこぼこで運転がしにくい。周囲の草が邪魔。
- 歩道が傷んでいたり、段差があるなど車いすでの移動で苦労することがある。(ガタガタ、斜め、段差) 少しずつでよいので、改修を進めてほしいと思っている。たとえば、島本駅⇄水無瀬駅間の楠公道路の歩道、各々の駅前広場など、健常者には普通であっても車いす利用者にはつらい、危いと思っている。
- 公共施設(役場・ふれあいセンター)のトイレはウォシュレットを各階に、尿意(便意)をもよした時に1ヶ所・階が違ふと間に合わないことが、しばしば経験(着衣して)もらったまま帰宅することがあった。是非、愛情を思っって考えて欲しい、家に閉じこもってしまう。
- 歩道の乗り入れ段差が2cm以下でないといスムーズにできない為改善してください。
- 福祉バスの停留所に椅子がほしいです。立ったまま待つのはつらいです。
- 歩道を自転車を通るときスピードを落とさないまま通ったり、後ろからベルを鳴らされることもあり安心して歩けません。歩行者優先でお願いしたいです。
- 近所の方々ともずいぶん長い間共に暮らしてまいりましたが、それぞれ高齢化し福祉のお世話にならざるをえなくなり、先を案じています。ごみ出しや清掃など気になります。そんな面で配慮されるようお願いいたします。
- 障害者にとってバリアフリーの設備、道でない。現場を歩いて欲しい。島本町名所に行けない。
- 阪急の駅に車いす置き場がなくて困っている。島本駅も車いす置き場面はあるが屋根がないので雨の時とても困る。どんどんバリアフリー化されて町全体の意識がハンディキャップのある方が居て当たり前という意識になればもっと優しい町になる気がする。今一番の気かりは、娘息子が私にハンディキャップがあることで嫌な事を云われたり辛い思いをしないかという所。保育園や学校で”そういう人もいるんだ”と言う講演など知る機会があればと思う。
- 車いすで入店できる店がふえたらと思う。
- 知的障害者は人から少し変わっているからと人からじろじろ見られ外出することもあまり簡単ではありません。そうなる運動不足にもなりがちなので体育館をもっと沢山無料開放してもらったり運動する機会を作ってほしいです。平日もですが特に土日とか。

- 移動の手段が介護タクシーしかない。介護者と入れるトイレがほとんど無い(病院、ふれあいセンター、大きなスーパーマーケットだけ)車イスで入れるトイレがほとんど無い。
- 身障者にとって道路のガス、水道工事の後処理が元の平坦に戻っていない。又水無瀬川の歩道(ブロック敷)では木の根が盛り上がり凸凹になっている。つまづき転倒する危険があります。足の悪い人にとっては散歩がハビリです。もっと歩きやすく安全に配慮してください。

<移動・交通・外出支援>

- 島本町移送サービス助成で改正点は早く、広く広報して下さい。
- 熱中症やコロナ等、いつもとは違う夏を何とか過ごしております。福祉ふれあいバスがなければ、ふれあいセンターに行くことがきつと出来なかったと思うので、本当に助かっています。気候がよくなってきたら散歩などに出かける方も多いと思うので、出来ればひと休みできるベンチなどあれば助かります。いつも有難うございます。
- 福祉ふれあいバスに車いすが乗車できるようにしてほしい。経済活性化に繋がる。
- 水無瀬駅に障害者用の駐車場を設置してほしい。
- 災害時や通院や通勤時に原付バイクをつかいたいです。
- 通院以外で外出したい時、福祉タクシーを利用できるように教えてほしい。通院の介護タクシーは高額で通院以外に利用できない。
- 島本町から高槻市への通院タクシー利用時、拒否をされる。人手不足？これが一番困る。
- タクシーが島本町に配車できないと言われて困った事がある町内に精神科、心療内科がなく通院が困難になり遠くの県に入院した事がある。ヘルプマークを啓発してほしい。心の健康相談統一ダイヤル(いのちの電話)が島本町からの発信で京都支局に繋がりに対応してもらえなかった。
- ふれあいバスの増便コーナンまで延長・買い物援助(?)重い荷物を運んでもらえたら一人暮らしの高齢者は助かります。障害者の家族の為に横のつながりを持てる場所や茶話会、文化活動、ワークショップなど機会を作る。車いす、ベビーカーでも通りやすい道の整備。
- 島本町内の阪急バスの無料化(手帳提示で)を望みます。
- 山崎地区在住のため”福祉ふれあいバス”を重宝しています。障害者本人の外出の足として、また高齢者となった介助の親の送迎の足として、ダイヤ便数の増加、土・日祝の運航など、充実してほしい。今後、親なきあとどのような支援が、どの程度まで受けられるのかが不安。後見制度の詳細や共同生活、グループホーム等具体的な事例を広報しまもとなどで公開して欲しい。
- 役場の改修工事中の駐車場の場所や止められる台数が心配です。
- 介護タクシー代が高いのももう少し安くなる制度を作してほしい。
- ①現在・医者に通う回数は多いのですが医療費用を持ってもらっているので、経済的に大変助かっております。ありがとうございます。②通院は他市や他県に行く事が定期的であり、個人的に大変体力を使います。要望ですがタクシーの使用の際何らかの補助があれば負担が軽くなり助かりますが。
- タクシーが駅前にもいない、予約も難しいので町で最低保証をして何台か確保する。
- 精神障害者の人々に電車、バス等の割り引きがあったらうれしいです。病院へ良く行くので医療証が発行されてすぐ助かっています。ありがとうございます。ずっと続けて頂きたいです。よろしくお祈りします。
- 役場へバス利用ですが、時刻表見ると数が少ないのでシャトルバスを利用したい。(高齢者も必要)
- タクシーの台数がコロナから減り交通が不便です。阪急バスと提供し町内一周するようになってほしい。
- タクシーが来ない。予約もすぐにとれない。タクシーが少ない。

<災害時・緊急時>

● 身よりのない一人住まいの高齢者に対する定期的な安否確認をして欲しい。あるいは本人から連絡（発信）するなど地域的な仕組みが作れないものかといつも不安な気持ちであります。
● 週 2 回のデイサービスに行き運動しているので、これが良いと思う。障害で身体の右半身マヒが残り足は少し歩けるが、手の方はまったく動かない。今一番心配なのは、災害が全国的に発生して、どこで起きるかわからない、一人で起きると僕達はどのようにと心配だ。近所の人が増えてくれるが、みんな年がいつているのでアテにはできない。避難場所があるが老朽化しているので役に立つかわからない。災害に強い建物がほしいが、行政に頼るしかないので、ペンを取る次第である。
● 災害時の担当者を明確にしておいて欲しい。
● 障害者の人として特別扱いしないでほしい。災害時に避難した時、イス、ベッドなども用意してほしいです。板の上にすわれなくてイスがなければ立っていないとダメなのです。ベッドがぜいたくと思われるかもわかりませんか足が悪い者にとっては板の上に横になった時おきあがれないのです。両足がまがらないためによろしくお願い致します。
● 土砂によるがけくずれが心配ですが、身動きがとれないので移動が困難です。静かにじーっとしているしか仕方がないです。ありがとうございます。
● 災害発生時の避難生活→(に至る方法→暮らし全般)が今気がかりになっている事です。
● 障害者の高齢化が進んでいますが、何か対策をされていますか？(災害時の)
● 災害時の「透析治療」を受けられる施設・病院を町内に準備してほしい。(通院出来ないことが想像される為)
● 日頃は、通所施設やグループホームに行かせていただいておりますので、安心して暮らしております。ただ災害時や、親亡き後を考えますと、不安があります。緊急避難など実際にどの程度、障害者に配慮していただけるか、心配しています。一般の方々に迷惑がかからない様、障害者自身が困らない様に配慮の仕方を考えていただきたいと思っております。
● 一口に障害者といっても十人十色といって障害は色々な方がいます。足の悪い方。目の不自由な方。手が震えるかた。歩く事はできるが座ることが出来ない方は椅子が必要腰の悪い方は横になれる様にふとんでも。各地域の避難場所が知りたい。自分が行く所が分からない。
● 障害に見合ったサービスの向上。(不十分と思う)利用者の負担額を軽くして欲しい。災害時、一具体的に避難するレベルがどの段階なのか、その情報はどこで知らされるのか知りたい。災害無線が聞こえづらい。多方向に向けて聞こえる様にして欲しい。
● 私が 1 人の時、8.6kg の犬がいます。1 人で避難出来ない。
● 電子板を置いてほしい。(災害時に)

<将来の生活など>

● 親がいなくなった時、高齢になった障害者がどのように生活しているのか知りたいです。
● 内部障害なので(心不全)他人にはわからないので自治会内の行事に参加できない事もあり、(家のまわりの草掃除は毎日やれる事はしています)自治会の当番(毎月 1~2回夜の会合有り)等は服薬時間と目の病気の為夜は出ないようにしていますがひきうけられない理由を公表することがためらいます。自治会を脱会するとゴミを出せないとか回覧板が最近回ってきました。病気の夫と 2 人暮しなので毎週どこかの科への通院以外、買い物で週1回出ます。できる限り自分で生活しています。今までやってきた事ができなくなり、まわりの環境も変わり、先の不安はとてもあります。

● 現在は47歳で体も自由に動きますが、10～20年後を考えると、通院など薬や買物をする事ができるか不安です。ずっと島本町に住んでおり、今後も住みやすい町であってほしいです。水道代が安くなればうれしいですが。
● 精神障害でも、将来不安なく生活できるかと。困ったときの、窓口をきちんとしてほしい。職場などの説明、地域など協力、理解。
● 私の場合は、心臓病による身体障害扱い(4級)ですので日常生活での不自由はあまり感じません。ただし、突然の不調は常に心配なので、救急対応の充実を希望します。
● これから先、色々利用することになるだろうが、どういう手順で話・手続きをしたら良いのが不安。
● 今は元気でも先の事は分からない。将来本当に1人で困った時、すぐに相談したり、行動してくれる人が居ないかもしれない。そんな時どうすれば良いのかが分からない。
● 障害者施設(グループホームの入所)が定員いっぱい、本人の行動などで利用を断られる。両親がいなくなった後や高齢になったとき、将来の不安ばかりが募る。特に精神・知的障害者は、働いて生活すること、一人暮らしなど不可能であり、最終的に入所施設の利用となる。入所できない現実がここにある。入所施設の拡充を！
● 透析を受けているが、日常生活は以前と変わらないので障害者という意識はありませんが、今後高齢になるので先は不安です。その時安心して相談できる役場であってほしい。

<町行政について>

● 以前あった障害者手当があったが現町長になってからなくなった。財政的に苦しい。復活して欲しい。
● 問38で記入したように、前例がないから職員で話し合うと言う事自体が少数の障害に対する想像力の欠如であり、その対応により生きる希望をうしなう町民がいる事を伝えたい。
● 役場の職員さんと相談したい。助言がほしい。
● 障害者手帳を交付してもらったに当たり、職員の女性が高圧的な態度取られ不愉快だった。
● 福祉推進課の職員の対応は優秀と思っています。現在の所特に対応して頂きたいことはありませんが、本体は将来的にも相対的に大変なことになると思われます。先を観たアンケート、課長？に拍手!!
● 人事異動で定期的に担当が変わるのは困る同じ人に継続してほしい。
● 役場に行くとき、福祉課の方はゆっくり、理解しやすい言葉で、伝えてくださいますが、他の課は早口で、理解できない事があるため、手続きに行くことが苦痛になります。
● 町は日頃より障害者の生活状況を把握する為、町による訪問活動を実施すべきと思う。書類のみで判断してはならないと思う。
● 手続きなどの書類提出などわざわざ役場へ出向くのにもすごいエネルギーが要ります。インターネットで手続き可能にしてほしいです。マイナンバーカードもあるので活用してもらいたい。ほとんど変わりはない状況だと思うので(障害の区分)更改などはもう少しやさしい方法でおねがいします。
● 医療証等の更新で何度も役場に行かないといけないので、いかなくてもできる様にしてほしい。
● 義兄が高次脳機能障害の為この先一生自分の足で歩く事も、失語症もある為意思疎通がまったくできません。私達夫婦も年金生活となり、義兄のいる施設は吹田市、ここは島本町で何かと手続きが大変です。ここは吹田市と島本町で分けるのではなく、大阪府として1本化してもらえないものかと思ひますし、それを切に願ひます。
● 島本町は他の市と比べて障害福祉についてはとても丁寧にきめ細かくしてくださっていると感ひます。世の中景気も悪く人の心も荒んでくるので生きにくいのはある程度仕方ないとも思ひます。

● 役場の人達も親切だし感謝していますこれからも宜しくお願い致します。
● 申請書類やこのようなアンケート等、本人一人では読めず意味も理解できないことが多い。そのようなときにすぐに聞きに行ける窓口相談場所があり、説明してもらえるといいなと思う。日中仕事や通所している場合役場のような平日 17:30 分までの窓口では相談にいけない。(土)(日)に気軽に相談に行ける窓口があればいいのと思う。
● いつもお世話になり有り難うございます。ご提案・障害手帳のアプリ(スマホ)化・各種申請のオンライン化など。よろしくお願い致します。
● 私は島本町が大好きです。障害がある人にもない人にも暮らしやすい政策をとっておられると思います。毎日無事に過ごせる事をありがたく思っています。友達が遊びに来ると、いつも「いい町だネ」と言ってくれて住民であることを誇りに思っている次第です。
● コロナ禍の折り、各種の集団注射を申し込むと係員(役場の)から必ず車イスを持って当日迎えに行きましようかと言われた。小生は自力で行くことたえた。日常は接触がないが、身障者に配慮していただいていると思い、心強く思っています。
● 障害者となって島本町にはたいへん助けてもらっています。出来るだけ自立した生活をしたいと思っていますが、必要な時は相談に乗ってほしい。
● 島本町に障害者の仕事の求人が1件もない。ここ30年島本町はカフェやスーパーが1件も建っていない。家ばかりたっている。福祉はタクシーの無料の券を出してほしい。30年この島本町は発展も成長もしていないので少しでもいいので変わってほしい。
● お忙しい中、いつも相談等に笑顔そして、もの静かな丁寧な対応を我々に弱者にして頂き本当に有難うございます。我々弱者は大変うれしい所存です。これからも無理、難題等を持ちお伺いする事も多々ある事かも知れませんが、今まで同様に接して頂ければ幸いです…有難うございます。※障害者、難病者、福祉の手引き…もし前回との比較(変更点、削除、追加等)があったのであれば欄外に記して頂けたら、うれしかったです。…いらぬ事記してすみません。
● いつも役場の方には助けてもらっています。これからもよろしくお願い致します。

<今回のアンケート調査について>

● きめこまかい設問で、町の本気度がわかります。82才、ペースメーカーを付けていますので、障害者1級となっていますが、今のところ身体に不自由を感じることはありませんので、素気ない回答になってすみません。いっそう、きめこまかい対策をお願いいたします。
● アンケートの内容が複雑すぎる。計画を策定して、どれだけ実施され、どのような効果があったのか検証して分かりやすく広報すること。計画策定費の無駄遣いにならないように。
● 障害別に分けてアンケートをしてほしい。答えにくい質問があった。
● 私は両足関節系度機能障害(6級)を認定されました。おかげさまで、今のところ、ほぼすべて自立出来、高齢の夫と生活しています。アンケートに目を通させて頂きましたが、不自由ない生活を送れて幸せと間をパスさせて頂きます。明日は、我が身で、近々大変なこともあると思いますが、懇切丁寧なアンケートに恐れ入りました。町が福祉に、力を入れて下さってる事も、ありがたい事です。意見・提案は、ございません。むしろ、こういうアンケートを集計して、前に進んで下さる姿勢に感服です。
● 本アンケートを収集して島本町の障害福祉施設や活動にどのように反映頂いているかが見えてこない。及び変化してきているなど感じる機会がほとんどないと思う所があります。

● こんなに時間のかかるアンケートを書かせるよりも職員が直に現場を見に来てくれた方がよほど良いと思います。現場を肌で感じてほしいです。
● このアンケートでも明らかになるとは思いますが、障害の種類や程度、生活環境、暮し向きによって一人一人の違い(個人差)が大きい。これに個別に対応するのは困難でしょうが、いくつかのグループ分けをすることによって重点的に支援してもらえるターゲットが明らかになるのではないかと思います。
● 障害者福祉について色々アンケートをしていただき大変うれしく思います。ただ障害者認定等に少し時間がかかったように思いますのでできるだけ早くその人の身になって関わってほしいと思います。また、高次脳機能障害の認定についてのおしらせもお願いします。
● 問 34 福祉サービスの利用についての項目ですが、今後 3 年以内の利用予定は、利用予定がない理由とありますが、なかなか 3 年以内の予定は本人だけではどうなるか分からないと思うので記入するには困難ですね。もう少し考えてほしいですね。
● 介護老人保健施設に入居して自宅には帰って来ません！ この様なアンケートは書き難いです。

<その他>

● 民生委員・児童委員はどのように選ばれているのでしょうか。どこに障害者が住んでいるという情報を知っているのですよね。ご近所の方が民生委員だと思えば個人情報を知られているのがとても嫌です。近所の方が民生委員というのはやめてほしいです。ちなみに何をしておこなう方なのでしょうか。会った事も話したこともありません。もしインターホンを押されても出ないと思います。役場の方から先に連絡がほしいです。
● もう少し勉強をよろしくお願いします。
● 自分が身体が不自由でも家族の身の回りのことが心配でいること。
● いつもありがとうございます。
● 困ったときに電話で相談したときなど、いつも親切に対応してくださってありがとうございます。
● その他は役所にて判断することでしょう。※私達夫婦は対象外です。まだ健康です。
● 自立支援制度に大変感謝しております。
● いろいろと大変ですね。よろしくお願いします。
● 今までは充分にいただいていると感謝です。入院中ですのでリハビリ病院での回復がどのようになるか？に大きく変化すると思いますので現段階では回答し兼ねますのでご理解ください 今後共住民の為宜しくお願い申し上げます。
● 現状でおおむね満足しています。
● 何かと、助けてくれてた夫が身体不自由の状態では、自分の事より、夫の介助の方が優先です。
● 今のところは元気ではあるが 何がおこるか分からない 不安はありこのまま、何でもおこらず毎日を幸せに過ごせることを祈ります。
● 町内のケアプランセンター、訪問看護ステーション、福祉用具サービスには大変お世話になりました。何かと相談にのって頂きました。感謝しております。
● スマホを持ってない人でも安心できる社会になってほしいです。
● ご苦労様です。大変なお仕事ですがよろしくお願いします。

● いつもお世話になりましてありがとうございます。
● 島本町はよくやってくださってます。
● 職員の専門性の知識向上。(虐待防止、教養、平等性)
● 私は今後、家族や身分が残してくれた財産(土地・家・地代収入等)で生活していけると、家柄上、自らが障害者として扱われる事がとても抵抗を感じさせているため、障害者手帳の返納を申請します。
● 施策の充実に向き合って頂きたい
● 今は自立できていますが、いつ何時お世話になるかわかりません。お手伝いできることがあればしたいと思います。
● 困っている事を相談した時に、もっと真剣に対応をしてもらいたいです。
● 介護をする側にも心の余裕が必要 福祉関係者への行為と相応の報酬、休息の提供を忘れないでほしい。
● 今も昔のように社会見学等は行っておりますか。
● 私は聴覚障害者の為質問に答えられない部分もあって、身体は何とか元気でいても将来が分からないし質問に苦労します。ありがとうございました。
● 弱い人達にあたたかい手をさしのべて下さい。お願いします。
● 私の主人が障害者を残して20年前に56歳で亡くなりました。それでも島本町に住んで50年の歳月が経過しました。差別のない島本町でありたい。昭和48年に住んで50年が経過しました。
● 難しい問題ですが常に見直しと改善のサイクルを回して負担と支援のバランスをとりつつ、より町内の皆のために取り組んで下さい。
● 今の所、分かりません。
● 歩行困難ですが、何とかがんばって居ります。現状維持の日々ですが、二人だけでの生活ですが楽しいです。今後共宜敷くおねがい致します。配食サービスを受けてますが、おいしくいただいています。
● 今のところはありますが、もしあれば、その時に応じてお願いいたします。
● 1. 障害でなく、障碍に変更すべきだ。(変更している自治体あり) 2. 障害者計画でなく、障害者福祉計画一語でよいはず。
● 現在、公的支援は受けていませんが、近い将来夫が高齢の為、何かあった時にすぐに支援が受けられる様になれば幸いです。日々不安です。
● 福祉はむずかしいかな。自由にやりたいことができません。自分が役場に行って、気を付けて役場に行けたら。役場に聞くとところがあつたら良いです。
● 一緒に住んでる人が何があっても一方通行。絶対に考えない。
● 高齢者の福祉介護も気配りしてほしいです。
● 私も主人の介護をしているのですが家事等で自分の自由時間が忙しくてなかなか取れません。自由時間がほしいです。
● ふれあいセンター図書館などにもありますが民間のレンタルビデオショップがあればいいと思います。
● 本人ではないので答えられないところが多々あります。申し訳ありません。
● この町の福祉サービスが長く続いていけるように頑張ってください。
● 要介護認定は以前受けていたけど、再診しないまま置いてます。行くのがめんどうなので、そのまま。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● お世話になっております。障害が進んだ際には、具体的なご相談をさせていただくことがあるかもしれません。よろしくお願いします。 |
| <ul style="list-style-type: none">● 東本願寺へお参りした時に、”人は役に立つために生まれてきたのではない、命を生きる為に生まれてきた”と書いてありました。障害のある息子を介護しているのですが、日に日に手がかかるようになって毎日不安な日々を送っています。私も70才になり、力もだんだんなくなってきて支えていくのが本当にたいへんで先が見えないです。ごめんなさい。ぐちを書いてしまいました。 |
| <ul style="list-style-type: none">● なんの期待もしていません！ |
| <ul style="list-style-type: none">● 障害者は兄ですが、母(89才)と同居していますが、母が認知症なので私(妹、実娘68才)が、家の事、食事すべての事を助けています。母も朝の着替えなどの事で介護サービスを受けています。私も毎日昼頃には来て、食事の用意やすべてしていますが、兄が障害で音声、言葉、そしゃく機能障害になっていますが、このごろ身体的に動きが悪くなってきて歩き方がとてもたいへんそうで、すぐにくろびます。外出の靴も介護用の軽い物にしていますが一度、相談したいと思っています。 |